

鹿児島大学構内遺跡 郡元団地L-11・12区

鹿児島大学稲盛会館建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

1994年11月

鹿児島大学埋蔵文化財調査室



鹿児島大学郡元団地



9層出土土師器

序

このたび、鹿児島大学工学部の創立50周年を迎えるにあたり、同学部卒業生の稲盛和夫様および稲盛家の皆様方の計り知れない御厚志によって、きわめてユニークな形と機能をもった稲盛会館が竣工する運びとなりました。

「世のため、人のために尽くすことが人間として最高の行為である」という確固たる信念の持ち主である稲盛様が京セラの会長および稲盛財団の理事長として、各種の事業および京都賞の創設など、全世界を舞台とした数々の業績を挙げられるとともに、国内においては日本の対外政策の理念の構築に指導的な役割を果たしてこられたことは、皆様ご承知のとおりであります。究極的には「世界の人たちから信頼と尊敬されるに値する日本をつくることである」とのお考えに基づいて、母校の鹿児島大学に、国際交流や学術発表の場として、また地域社会に向けての公開講座、生涯学習などを目的とした施設として、稲盛会館をご寄贈下さいました。

また、稲盛会館への並々ならぬ想いをもって、その設計・建築を世界的な建築家である安藤忠雄様に託され、ユニークな施設の実現を目指されました。現代社会における偉大な存在であられるお二人の、深い信頼関係の結晶として稲盛会館が竣工した次第であります。

本学は現在、大学改革の渦中にあり、大学の個性化、高度化、ならびに運営の活性化を促進しているところでありますが、このような時期に、この稲盛会館をご寄贈頂く私たちは、これを学内外の知的交流や国際交流の広場として、また地域社会への窓口として、十二分に活用させて頂き、ご寄贈の趣旨にお応えする所存であります。

稲盛会館を本学にご寄贈下さいました稲盛和夫様ならびに稲盛家の皆様方と、夢にあふれたユニークな会館を作り上げて下さいました安藤忠雄様に、深く感謝の意を捧げます。また、この日を待たずにお亡くなりになりました稲盛様のご両親を記念しKimi and Kesa Memorial Hallという会館の愛称を末長く愛用して参りたいと存じます。

終わりに、稲盛会館の建設工事に先立つ埋蔵文化財調査のための経費をもご援助下さいましたことを、心から感謝申し上げますとともに、本報告書が学術文化の向上に資することを願いつつ、序文とさせていただきます。

鹿児島大学長 早坂 祥三

序

鹿児島大学工学部が創立50周年を迎えるにあたって、本学出身である京セラ会長稲盛和夫氏より、本学のますますの発展のために、教育と国際学術交流の場として、また本学が市民に開かれた大学としての役割を果たすために、稲盛会館を寄付して頂くことになった。この主旨に基づき、現代の世界的建築家である安藤忠雄氏の設計による同会館を工学部敷地内に建設することになった。

稲盛会館建設予定地は、専門家による埋蔵文化財発掘調査を必要とする場所である。そこで、鹿児島大学埋蔵文化財調査室長上村俊雄教授に調査をご依頼したところ、快く承諾して下さいました。稲盛和夫氏の多額のご寄付による発掘調査が開始されたのは平成5年5月6日である。度重なる豪雨の中での上村教授を始めとする調査室の方々の4ヶ月あまりのご苦勞の末、9月27日に発掘調査は終了した。

平成6年11月18日に予定されている稲盛会館開館記念式典へ向けて、埋蔵文化財調査室の皆様には、ご多忙の中、通常より6ヶ月も早く埋蔵文化財発掘調査報告書を完成して頂いた。報告書によると、出土遺物は年代の新しい順に上から層をなしていたとのことである。先祖の残した文化遺産の上に、我々の世紀を代表する文化遺産を構築し、子孫へ伝えることができることに感激している。

本学の教育と研究の飛躍を象徴する稲盛会館完成も、埋蔵文化財発掘調査に関係して下さいました方々のおかげと深く感謝いたします。

平成6年11月

工学部長 前田明夫

例 言

- 1 本書は鹿児島大学郡元団地内遺跡のうち鹿児島市郡元一丁目21番40号に所在する稻盛会館建設予定地において実施した発掘調査報告である。
- 2 本地点における発掘調査は鹿児島大学埋蔵文化財調査室が1993（平成5）年5月6日～9月29日にかけて行った。
- 3 1985（昭和60）年6月1日の埋蔵文化財調査室の設置を機として、鹿児島大学構内におけるこれからの埋蔵文化財調査に用いるため鹿児島大学構内座標を郡元団地と宇宿（桜ヶ丘）団地とに設定した。郡元団地の設置基準は、国土座標第2座標系（X - 158,200, Y - 42,400）を基点として一辺50mの方形地区割りを行った（Fig. 3参照）。これによれば本調査地点はH - 11・12区に相当する。
- 4 地形図・遺構図の方位は真北を示し、レベルの数値は、すべて海拔高である。
- 5 層位・遺物の色調については、小山正忠・竹原秀雄編『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本色彩研究所色票監修）の表記方法によった。
- 6 調査時の遺構や壁面断面図の実測は大西智和・松村みどり・前幸男・中村直子・峰山いつみ・西谷彰・横手浩二郎・趙国興・古澤生・星野恵・中村由美子・谷村勝・松村恵子が行い、写真撮影は大西・前が行った。
- 7 遺物の取り上げ、調査区の測量、一部の遺構実測にはコンピュータ・システム株式会社のSITEシステムを使用し、プロッターで出力したものを原図として製図を行った。
- 8 自然科学分析は宮崎大学農学部の藤原宏志氏、株式会社古環境研究所に依頼した。なお、藤原宏志氏に依頼した分析のサンプルは埋蔵文化財調査室において採取した。13層の試料は古環境研究所の13層中部の試料に相当する。
- 9 遺物の実測は峰山・古澤・中村が行った。
- 10 遺構図・遺物実測図の製図は峰山・中村が行った。
- 11 出土遺物の写真撮影は峰山・大西・中村が行った。
- 12 遺構は、土壌：SK，溝：SD，畦：AZという略号で表示した。
- 13 出土遺物にはすべて遺物番号を付している。遺物番号はTab. 4の遺物一覧表、Fig.28～40の遺物平面分布図の番号と一致する。また、出土した遺物のうち、実測図を掲載したものについては通し番号を付した。この番号は本文、Tab. 3の遺物観察表、図版の番号、Fig.28～40の遺物平面分布図の（ ）内の番号とも一致する。
- 14 Tab. 3の遺物観察表は古澤が作成した。凡例は以下のとおりである。
 - ・遺物の色調・釉調は前掲の『土色帖』の表記方法にしたがったが、土色帖に見られない色調については、もつとも類似する色名を記し、「～に類似」と表記した。
 - ・粒子の色調についてまでは『土色帖』を使用した色調区分を行うことができなかつたため、たとえば「赤色」、「黒色」のような、大まかな色名を記載した。
 - ・遺物の胎土・磁胎については、粒子の大きさで、直径0.3mm未満を「微粒子」、0.3mm以上0.8mm未満を「細粒子」、0.8mm以上2mm未満を「砂粒」、2mm以上3mm未満のものを「粗砂粒」、3mm以上のものを「礫」として5段階に区分した。
 - ・その粒子が含まれる量については、相対的に少ない方から、「わずかに含む」、「若干含む」、「含む」、「多く含む」の4段階に区分して表記した。
 - ・遺物の磨滅が激しいために調整を明らかにすることができなかつたものについては「磨滅、調整不明」と記した。

・遺物観察表の備考には遺物の種別，法量などを記載した。

- 15 調査に際し，森脇広氏（鹿児島大学法文学部）には土層の観察を中心としてご教示を賜った。報告書作成に際しては新田栄治（鹿児島大学教養部），本田道輝（鹿児島大学法文学部），渡辺芳郎（鹿児島大学法文学部），松永幸男（北九州市立考古博物館），雨宮瑞生，下山寛（指宿市教育委員会），中園聡（九州大学文学部），横手浩二郎（鹿児島大学法文学部）の各氏からご教示を賜った。
- 16 本書の執筆は自然科学分析に関するⅦ章を除き大西が行い，編集は大西が行った。
- 17 本地点の出土遺物は鹿児島大学工学部において保管し，記録図面・写真などは鹿児島大学埋蔵文化財調査室で保管する。

本文目次

| | | |
|------|--|-----|
| I | 調査に至る経過 | 1 |
| | 1. 調査に至る経過 | 1 |
| | 2. 調査の体制 | 1 |
| II | 遺跡の位置と歴史的環境 | 2 |
| | 1. 遺跡の位置 | 2 |
| | 2. 付近の遺跡 | 2 |
| | 3. 鹿児島大学郡元団地内の遺跡 | 6 |
| III | 調査の経過と概要 | 12 |
| IV | 層位 | 13 |
| V | 遺構と遺構出土の遺物 | 17 |
| | 1. 2層上面検出の遺構 | 18 |
| | 2. 5層上面検出の遺構 | 18 |
| | 3. 6a層上面検出の遺構 | 18 |
| | 4. 9層検出の遺構 | 22 |
| | 5. 12層上面の遺構 | 22 |
| VI | 包含層出土の遺物 | 23 |
| | 1. 1層出土の遺物 | 23 |
| | 2. 2層出土の遺物 | 24 |
| | 3. 3層出土の遺物 | 25 |
| | 4. 4層出土の遺物 | 26 |
| | 5. 5層出土の遺物 | 28 |
| | 6. 6a層出土の遺物 | 29 |
| | 7. 6b層出土の遺物 | 30 |
| | 8. 7層出土の遺物 | 36 |
| | 9. 8層出土の遺物 | 37 |
| | 10. 9層出土の遺物 | 37 |
| | 11. 10層出土の遺物 | 38 |
| | 12. 11層出土の遺物 | 38 |
| | 13. 12層出土の遺物 | 38 |
| | 14. その他の遺物 | 38 |
| VII | 自然科学分析 | 77 |
| | 1. 鹿児島大学稲盛会館建設予定地におけるプラント・オパール定量分析結果について | 77 |
| | 2. 鹿児島大学構内遺跡、郡元団地L-11・12区における自然科学分析 | 79 |
| | I. 鹿児島大学構内遺跡の植物珪酸体分析 | 79 |
| | II. 放射性炭素年代測定結果 | 95 |
| | III. 鹿児島大学構内遺跡の花粉分析 | 95 |
| | IV. 鹿児島大学構内遺跡の種実同定 | 101 |
| | V. 鹿児島大学構内遺跡の珪藻分析 | 104 |
| VIII | まとめ | 110 |
| | 1. 遺構について | 110 |
| | 2. 出土遺物について | 110 |
| | 3. 自然科学分析について | 111 |

挿図目次

| | | | |
|---------|--|-------|----|
| Fig. 1 | 鹿児島市の位置 | | 2 |
| Fig. 2 | 遺跡位置図 S = 1/50,000 | | 4 |
| Fig. 3 | 郡元団地調査地点位置図 S = 1/5,000 | | 8 |
| Fig. 4 | トレンチ位置図 S = 1/400 | | 12 |
| Fig. 5 | 層位断面図 S = 1/60 | | 15 |
| Fig. 6 | 遺構平面図 S = 1/200 | | 17 |
| Fig. 7 | 2層上面検出遺構 SD1 S = 1/80 | | 18 |
| Fig. 8 | 5層上面検出遺構 SK2 S = 1/20 | | 18 |
| Fig. 9 | 6a層上面検出遺構 AZ 1・2・3 平面 : S = 1/80 断面 : S = 1/20 | | 19 |
| Fig. 10 | 9層検出遺構 SD2 S = 1/80 | | 21 |
| Fig. 11 | 9層検出遺構 SD3 S = 1/80 | | 22 |
| Fig. 12 | 1層出土の遺物 S = 1/3 | | 23 |
| Fig. 13 | 2層出土の遺物 S = 1/3 | | 24 |
| Fig. 14 | 3層出土の遺物 S = 1/3 | | 26 |
| Fig. 15 | 3層出土の石鏃 S = 1/1 | | 26 |
| Fig. 16 | 4層出土の遺物 S = 1/3 | | 27 |
| Fig. 17 | 5層出土の遺物 S = 1/3 | | 28 |
| Fig. 18 | 6a層出土の遺物 (1) S = 1/3 | | 28 |
| Fig. 19 | 6a層出土の遺物 (2) S = 1/3 | | 29 |
| Fig. 20 | 6b層出土の遺物 (1) S = 1/3 | | 31 |
| Fig. 21 | 6b層出土の遺物 (2) S = 1/3 | | 32 |
| Fig. 22 | 6b層出土の遺物 (3) S = 1/3 | | 33 |
| Fig. 23 | 7層出土の遺物 S = 1/3 | | 34 |
| Fig. 24 | 8層出土の遺物 S = 1/3 | | 37 |
| Fig. 25 | 9層出土の遺物 S = 1/3 | | 37 |
| Fig. 26 | 10・12層出土の遺物 S = 1/3 | | 38 |
| Fig. 27 | その他の遺物 S = 1/3 | | 38 |
| Fig. 28 | 1層出土遺物平面分布図 S = 1/200 | | 54 |
| Fig. 29 | 2層出土遺物平面分布図 S = 1/200 | | 55 |
| Fig. 30 | 3層出土遺物平面分布図 S = 1/200 | | 56 |
| Fig. 31 | 4層出土遺物平面分布図 S = 1/200 | | 57 |
| Fig. 32 | 5層出土遺物平面分布図 S = 1/200 | | 58 |
| Fig. 33 | 6a層出土遺物平面分布図 S = 1/200 | | 59 |
| Fig. 34 | 6b層出土遺物平面分布図 S = 1/200 | | 60 |
| Fig. 35 | 7層出土遺物平面分布図 S = 1/200 | | 61 |
| Fig. 36 | 8層出土遺物平面分布図 S = 1/200 | | 62 |
| Fig. 37 | 9層出土遺物平面分布図 S = 1/200 | | 63 |
| Fig. 38 | 10層出土遺物平面分布図 S = 1/200 | | 64 |
| Fig. 39 | 11層出土遺物平面分布図 S = 1/200 | | 65 |

| | | |
|---------|---|-----|
| Fig. 40 | 12層出土遺物平面分布図 S = 1/200 | 66 |
| Fig. 41 | プラント・オパール定量分析結果 | 78 |
| Fig. 42 | 鹿児島大学構内遺跡郡元団地L-11・12区, 11トレンチ北側東壁の植物珪酸体分析結果 | 86 |
| Fig. 43 | 鹿児島大学構内遺跡郡元団地L-11・12区, 4トレンチ北壁の植物珪酸体分析結果 | 86 |
| Fig. 44 | 鹿児島大学構内遺跡(郡元団地), 11トレンチ北側東壁における主要花粉組成図 | 98 |
| Fig. 45 | 鹿児島大学構内遺跡(郡元団地), 11トレンチ北側東壁の珪藻化石群集 | 107 |
| Fig. 46 | 各層における遺物の種類の比率 | 111 |

表 目 次

| | | |
|--------|---|-----|
| Tab. 1 | 遺跡一覧表 | 5 |
| Tab. 2 | 鹿児島大学構内遺跡郡元団地調査一覧 | 9 |
| Tab. 3 | 遺物観察表 | 39 |
| Tab. 4 | 遺物一覧表 | 67 |
| Tab. 5 | 鹿児島大学稲盛会館建設予定地におけるプラント・オパール定量分析結果 | 78 |
| Tab. 6 | 鹿児島大学構内遺跡, 郡元団地の植物珪酸体分析結果 | 84 |
| Tab. 7 | 鹿児島大学構内遺跡(郡元団地) 11トレンチ北側東壁における花粉分析結果 | 98 |
| Tab. 8 | 鹿児島大学構内遺跡(郡元団地) 11トレンチ北側東壁の珪藻化石産出表(その1) | 105 |
| Tab. 9 | 鹿児島大学構内遺跡(郡元団地) 11トレンチ北側東壁の珪藻化石産出表(その2) | 106 |

図 版 目 次

| | | |
|-------|---|----|
| PL. 1 | 植物珪酸体の顕微鏡写真 | 88 |
| | 1. イネ 2. イネ 3. イネ 4. イネ(側面) 5. サヤマカグサ属 6. オオムギ属(穎の表皮細胞) | |
| PL. 2 | 植物珪酸体の顕微鏡写真 | 89 |
| | 7. オオムギ族(穎の表皮細胞) 8. キビ属(ヒエ属など) 9. キビ属(ヒエ属など) 10. ヨシ属 11. ヨシ属 12. ウシクサ属(ススキ属など) | |
| PL. 3 | 植物珪酸体の顕微鏡写真 | 90 |
| | 13. ウシクサ属(ススキ属など) 14. ジュズダマ属 15. ジュズダマ属 16. シバ属 17. キビ属型 18. ウシクサ属型 | |
| PL. 4 | 植物珪酸体の顕微鏡写真 | 91 |
| | 19. ウシクサ属型(大型) 20. イネ科Aタイプ 21. ネザサ節型 22. クマザサ属型 23. メダケ節型 24. メダケ節型 | |
| PL. 5 | 植物珪酸体の顕微鏡写真 | 92 |
| | 25. マダケ属型 26. 表皮毛起源 27. 棒状珪酸体 28. 棒状珪酸体 29. イネ科の茎部起源 30. イネ科の茎部起源 | |
| PL. 6 | 植物珪酸体の顕微鏡写真 | 93 |
| | 31. 不明 32. 不明 33. 不明 34. カヤツリグサ科 35. ブナ科(シイ属) 36. ブナ科(シイ属) | |

| | | |
|--------|--|-----|
| PL. 7 | 植物珪酸体の顕微鏡写真 | 94 |
| | 37. ブナ科(アカガシ亜属?) 38. マンサク科(イスノキ属) 39. マンサク科(イスノキ属) | |
| | 40. クスノキ科(バリバリノキ?) 41. はめ絵パズル状(ブナ属など) 42. 海綿骨針 | |
| PL. 8 | 鹿児島大学構内遺跡の花粉・孢子遺体 I | 99 |
| PL. 9 | 鹿児島大学構内遺跡の花粉・孢子遺体 II | 100 |
| PL. 10 | 鹿児島大学構内遺跡出土種実 | 103 |
| PL. 11 | (図判1) 鹿児島大学構内遺跡(郡元団地)の珪藻化石顕微鏡写真 | 108 |
| PL. 12 | (図判2) 鹿児島大学構内遺跡(郡元団地)の珪藻化石顕微鏡写真 | 109 |
| PL. 13 | 層位断面 | 117 |
| PL. 14 | 層位断面 | 118 |
| | 1. 3トレンチ北壁 2. 4トレンチ北壁 3. 5トレンチ東壁 | |
| PL. 15 | 層位断面写真・遺構 | 119 |
| | 1. 11トレンチ東壁 2. 12トレンチ北壁 3. S D 1 検出状況 | |
| PL. 16 | 遺構 | 120 |
| | 1. S D 1 完掘状況 2. S K 2 検出状況 3. S K 2 完掘状況 | |
| PL. 17 | 遺構 | 121 |
| | 1. 6a層上面畦検出状況 2. 6a層上面畦検出状況 | |
| PL. 18 | 遺構 | 122 |
| | 1. 6a層上面畦検出状況 2. A Z 2 断面 | |
| PL. 19 | 遺構 | 123 |
| | 1. S D 2 検出状況(9トレンチ) 2. S D 2 検出状況(12トレンチ) | |
| | 3. S D 2 検出状況(6トレンチ) | |
| PL. 20 | 遺構 | 124 |
| | 1. S D 2 完掘状況(9トレンチ) 2. S D 2 完掘状況(12トレンチ) | |
| | 3. S D 2 完掘状況(6トレンチ) | |
| PL. 21 | 遺構 | 125 |
| | 1. S D 3 検出状況 2. S D 3 完掘状況 | |
| PL. 22 | 遺構・全景 | 126 |
| | 1. S K 3 完掘状況 2. 調査区完掘状況(全景) | |
| PL. 23 | 出土遺物 | 127 |
| | 1. 1層出土遺物表 2. 1層出土遺物裏 3. 2層出土遺物表 4. 2層出土遺物裏 | |
| PL. 24 | 出土遺物 | 128 |
| | 1. 3層出土遺物表 2. 3層出土遺物裏 3. 3層出土遺物 | |
| | 4. 3層出土石鏃表 5. 3層出土石鏃裏 | |
| PL. 25 | 出土遺物 | 129 |
| | 1. 4層出土遺物表 2. 4層出土遺物裏 | |
| PL. 26 | 出土遺物 | 130 |
| | 1. 2層出土遺物側面 2. 4層出土遺物側面 3. 2層出土遺物半段部分 | |
| | 4. 2層出土遺物裏下から 5. 4層出土遺物側面 6. 4層出土遺物側面 | |
| | 7. 5層出土遺物表 8. 5層出土遺物裏 | |

| | | |
|--------|--|-----|
| PL. 27 | 出土遺物 | 131 |
| | 1. 6 a 層出土遺物 1 表 2. 6 a 層出土遺物 1 裏 | |
| PL. 28 | 出土遺物 | 132 |
| | 1. 6 a 層出土遺物 2 表 2. 6 a 層出土遺物 2 裏 | |
| PL. 29 | 出土遺物 | 133 |
| | 1. 6 b 層出土遺物 1 表 2. 6 b 層出土遺物 1 裏 | |
| PL. 30 | 出土遺物 | 134 |
| | 1. 6 b 層出土遺物 2 表 2. 6 b 層出土遺物 2 裏 | |
| PL. 31 | 出土遺物 | 135 |
| | 1. 6 b 層出土遺物 3 表 2. 6 b 層出土遺物 3 裏 | |
| PL. 32 | 出土遺物 | 136 |
| | 1. 6 b 層出土遺物 4 表 2. 6 b 層出土遺物 4 裏 | |
| PL. 33 | 出土遺物 | 137 |
| | 1. 6 b 層出土遺物 5 表 2. 6 b 層出土遺物 5 裏 | |
| PL. 34 | 出土遺物 | 138 |
| | 1. 7 層出土遺物表 2. 7 層出土遺物裏 | |
| PL. 35 | 出土遺物 | 139 |
| | 1. 6 a 層出土土錘 _{側面} 2. 6 a 層出土土錘 _{真上から} 3. 6 b 層出土土錘 _{側面} | |
| | 4. 6 b 層出土土錘 _{真上から} 5. 8 層出土遺物表 6. 8 層出土遺物裏 | |
| PL. 36 | 出土遺物 | 140 |
| | 1. 9 層出土遺物表 2. 9 層出土遺物裏 3. 9 層出土土師器 _{側面} | |
| | 4. 9 層出土土師器 _{真下から} 5. 10・12 層出土遺物表 6. 10・12 層出土遺物裏 | |
| | 7. 廃土中採取遺物表 8. 廃土中採取遺物裏 | |

I 調査にいたる経過

1. 調査にいたる経過

鹿児島大学では稲盛和夫氏の寄付により、科学技術、人文社会など、広い範囲にわたった学内外の情報交換、知的交流を促進するための施設として、鹿児島大学稲盛会館が建設されることになり、工学部の南西部、工学部管理棟の西側がその予定地とされた。

鹿児島大学郡元団地は周知の遺跡上に立地しており、本地点の北西約60mのところに位置する工学部危険物薬品庫において、改築に伴う事前の発掘調査が行われ、水田遺構などが検出されている⁽¹⁾。

これらのことから、本地点における埋蔵文化財包蔵の有無を確認するために、鹿児島大学埋蔵文化財調査室では1992年10月20日から30日にかけて試掘調査を行った。その結果、水田層やピット群が検出され、土器などの遺物も出土した⁽²⁾。

試掘調査の結果をふまえ、埋蔵文化財調査室は1993年5月6日から9月29日にかけて本地点における発掘調査を実施した。

2. 調査の体制

本発掘調査は平成5年5月6日から9月29日にかけて、下記の体制で行われた。

| | |
|---------|--|
| 調査主体者 | 鹿児島大学埋蔵文化財調査室 室長 上村俊雄 |
| 調査担当 | 鹿児島大学埋蔵文化財調査室 |
| 室長 | 上村俊雄 |
| 室員 | 大西智和・前幸男・松村みどり・中村直子・峰山いつみ |
| 発掘調査作業員 | 岩戸エミ子・岩戸トシ子・岩戸ミツ子・末吉ナミ・末吉ミヤ・野下ヨシエ・脇俊子・脇ツルエ・野下チリ子・安倍松伊都子・寺光ミツ子・松下ミチ・請園チリ・請園アキエ・諏訪田フサエ・西村チエ子・増満ミエ子・谷口ノリ子・末吉サチ子・石谷トキエ・牧島知子・西庄司・田野辺昭穂・谷村勝・臼田和吉 中村由美子・上地博（鹿児島大学大学院生） 古澤生・池口洋人・西谷彰・横手浩二郎・甲斐光代・今村知子・星野恵美・小原愛・国分リカ・西中川泉・坂元裕子・鮎川章子・松村恵子（鹿児島大学学生） 趙国興（鹿児島大学研究生） |

註

- (1) 鹿児島大学法文学部考古学研究室 【神川堤第一地点遺跡（鹿児島大学工学部危険物薬品庫改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書）】鹿児島大学工学部・鹿児島大学法文学部考古学研究室，1985
- (2) 鹿児島大学埋蔵文化財調査室 「第Ⅱ部 第3章 郡元団地L-11・12区（稲盛ホール建設予定地）における試掘調査」【鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報Ⅳ 平成4年度】鹿児島大学埋蔵文化財調査室，1993

II 遺跡の位置と歴史的環境

1. 遺跡の位置 (Fig. 1)

本遺跡が所在する鹿児島市は薩摩半島の北東部に位置する。東側には鹿児島湾(錦江湾)が広がり、他の三方は、始良カルデラに由来するシラス台地に囲まれている。

市の中心部は南東流する甲突川や田上川などによって形成された沖積平野上に立地し、鹿児島大学郡元団地はその南端部付近に位置している。

本遺跡は鹿児島大学郡元団地内のほぼ中央部の西端部にあたり、標高は約6.7mを測る。

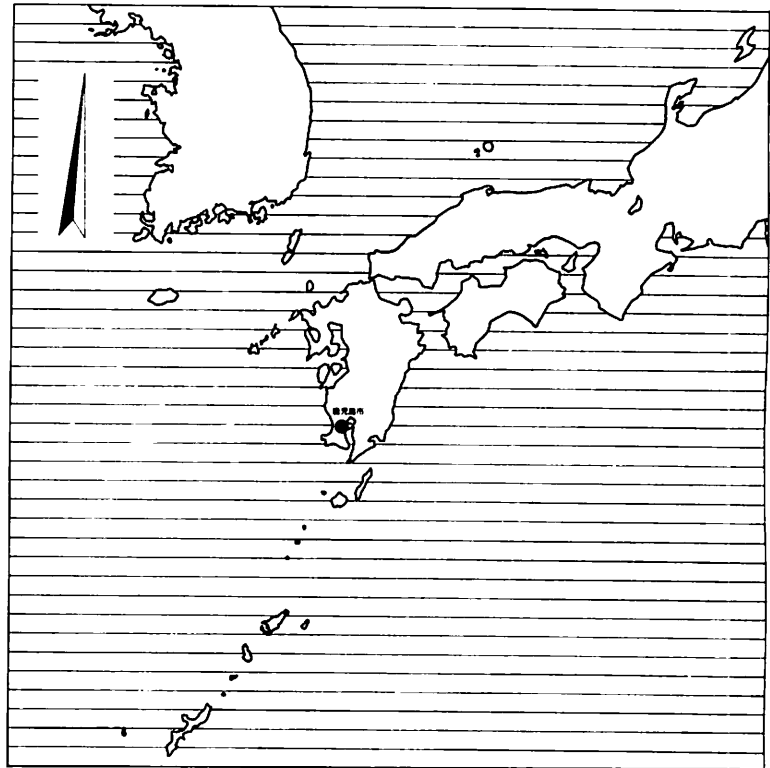


Fig. 1 鹿児島市の位置

2. 付近の遺跡

鹿児島市内の遺跡は、シラス台地上あるいは、小丘陵上に集中している。「鹿児島市文化財基本調査報告書」⁽¹⁾などによると、100遺跡中64の遺跡が台地や丘陵上に位置することからもそのことがうかがえる。しかしながら、鹿児島大学を中心として作成した分布図 (Fig. 2) と地名表 (Tab. 1) に見られるように、平野部に立地する遺跡も多い。

まず旧石器時代の遺跡としては、鹿児島市北西部に位置する加栗山遺跡⁽²⁾・加治屋園遺跡⁽³⁾、鹿児島市に隣接する松元町の仁田尾遺跡⁽⁴⁾を挙げることができる。いずれも、鹿児島市西側のシラス台地上に位置している。

縄文時代草創期の遺跡としては、市南部の台地上に掃除山遺跡⁽⁵⁾ (Tab. 1-35) があり、住居跡2軒などが出土している。この時期までの遺跡は非常に少ない。

早期になると、住居跡が出土した遺跡としては、先述の加栗山遺跡、松元町前原遺跡⁽⁶⁾、鹿児島大学桜ヶ丘団地⁽⁷⁾ (Tab. 1-25) などを挙げることができる。前二者からは十数基の竪穴式住居跡が検出されているが、後者から検出された住居跡は1基のみである⁽⁸⁾。いずれも台地上に立地する遺跡である。当該時期の土器などを出土する遺跡数はかなり増加し、平地に立地する遺跡も含まれるようになる。

前期～中期になると平地部に立地する遺跡がさらに増加するが、遺構を伴う遺跡は少ない。春日町⁽⁹⁾ (Tab. 1-7)・大龍遺跡⁽¹⁰⁾ (Tab. 1-8) などが代表的な遺跡として挙げられる。

後期には遺跡の数は増加しているものの、遺構を伴う遺跡は少ないといえる。代表的な遺跡として、市北部に位置する春日町・大龍遺跡の他、若宮神社遺跡⁽¹¹⁾ (Tab. 1-6)、市南部に位置する草野貝塚⁽¹²⁾などを挙げることができる。

晩期になると遺跡は平地部へと移動してしまった感を受ける。しかし、該期の遺物が出土する遺跡の数

は後期に比べると非常に少ない。

弥生時代前期も前時期と同様、平地に立地する遺跡が多い。遺跡の数はかなり増加するが、遺構が検出されている例はほとんどない。

しかし、中・後期になると遺構を伴う遺跡も増えてくる。一の宮遺跡⁽¹³⁾ (Tab. 1-18) では中期の住居跡が検出され、さらに「一の宮式」と呼ばれる土器群も出土している。なお、一の宮遺跡と鹿児島大学郡元団地はほとんど隣接しているが、郡元団地内からは弥生時代の遺構は検出されていない。

古墳時代の遺跡は非常に多く知られている。住居跡が出土した遺跡としては大龍⁽¹⁰⁾・鹿児島大学郡元団地⁽¹⁴⁾ (Tab. 1-17)・武⁽¹⁵⁾ (Tab. 1-14)・(薬師堂)遺跡⁽¹⁶⁾ (Tab. 1-31)などが挙げられ、分布における地域的な偏りはほとんどないといえる。住居跡が出土した遺跡は分布図で取り上げた遺跡以外にも各地に多く見られることや、「成川式」土器が出土する遺跡が多く存在することから、この時期には広い範囲にわたって、人口が増加したことが予想できる。

その後の時代については遺構の検出例は少ないものの、遺物はほぼ連続的に出土していることから、連続と人々の営みがあったことは確実である。江戸時代になると、城下町としての整備が進み、城下、寺院跡などの遺跡が多く知られている。

なお、分布図中には江戸時代以前の城跡も多く含まれるが、表示は省略した。

註

- (1) 山之内宏行・出口浩編「鹿児島市文化財基本調査報告書」、鹿児島市文化財調査報告書(5)、鹿児島市教育委員会、1988
- (2) 鹿児島県教育委員会「加栗山遺跡・神ノ木山遺跡」鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書(16)、鹿児島県教育委員会、1981
- (3) 鹿児島県教育委員会「加治屋園遺跡・木の迫遺跡」鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書(14)、鹿児島県教育委員会、1981
- (4) 鹿児島県立埋蔵文化財センター「埋文だより」4、1994
- (5) 出口浩編「掃除山遺跡-県道玉取迫~鹿児島港線建設に伴う緊急発掘調査報告書-下巻」鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(12)、鹿児島市教育委員会、1992
- (6) 前迫亮一「鹿児島縄文新発見」『歴史九州』1994・前迫亮一「南九州縄文時代早期の集落相」『考古学ジャーナル』378、1994
- (7) 桜ヶ丘団地G-11区(受水槽設置地点)における発掘調査で検出された。
- (8) 住居跡は調査区の北東隅で検出されたため調査区外に住居跡が存在している可能性がある。
- (9) 文献 6, 9, 11, 13, 16, 27, 32
- (10) 文献 23
- (11) 文献 3, 11, 13, 16, 27, 32
- (12) 河口貞徳「草野貝塚発掘報告」『鹿児島県考古学会紀要』1, 1952
出口浩・中村直子編「草野貝塚-宅地造成に伴う第1次・第2次緊急発掘調査報告書-」鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(9)、鹿児島市教育委員会、1988
- (13) 文献 2, 8, 13, 16, 27, 32
- (14) 文献 4, 8, 11, 26, 29, 34, 36
この他に、1993年1~3月、5~9月に発掘調査したK・L-6区(中央図書館増築地)、1994年1~4月に発掘調査したM~T-7~9区(運動場)からも住居跡が検出されている。
- (15) 文献 42
- (16) 薬師堂遺跡では住居跡の検出はされていないが、その存在が推定されている。

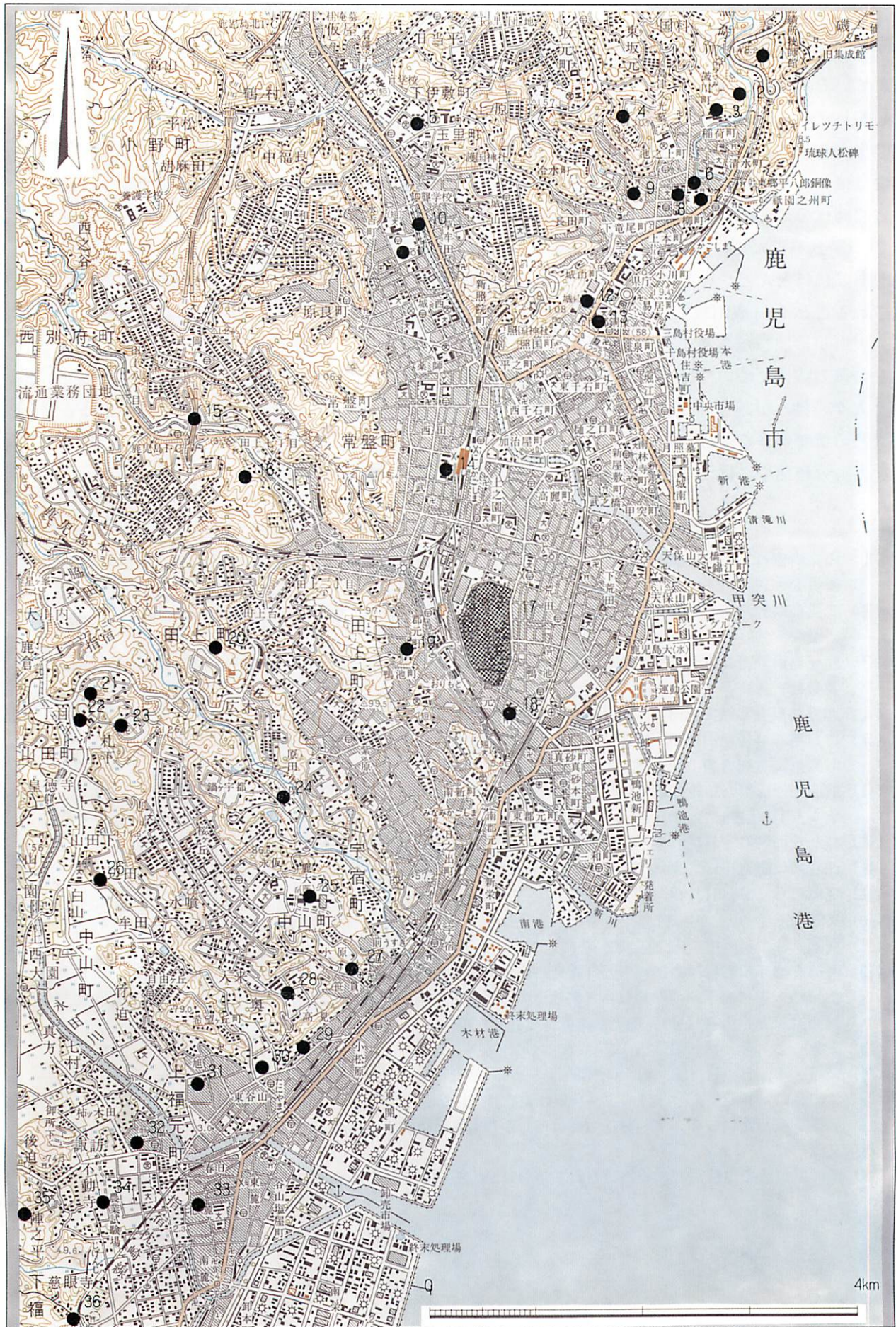


Fig. 2 遺跡位置図 S = 1/50,000

Tab. 1 遺跡一覧表

| 番号 | 遺跡名 | 所在地 | 縄文時代 | | | | | | 弥生時代 | | | 古墳 | 古代 中近世 | 文 献 |
|----|----------------|-----------------|------|----|----|----|----|----|------|----|----|----|-----------|--|
| | | | 草創期 | 早期 | 前期 | 中期 | 後期 | 晩期 | 前期 | 中期 | 後期 | | | |
| 1 | 前平 | 吉野町雀ヶ宮前平 | | ○ | | | | | | | | ○ | | 8,11,13,27,32 |
| 2 | 滝ノ上火薬製造所跡 | 吉野町滝ノ上 | | | | | | | | | | | ○ | 32 |
| 3 | 大乘院 | 稲荷町清水中学校内 | | | | | | | | | | | ○ | 21,32 |
| 4 | 丸岡 | 坂元町たんたとう丸岡 | | ○ | | | | ○ | | | | | | 11,13,27,32 |
| 5 | 玉里 | 玉里町旧練兵場跡 | | | | | | | ○ | | | | | 3,13,19,27,32 |
| 6 | 若宮神社 | 池之上町若宮神社 | | | | | | ○ | | | | | | 8,11,13,16,27,32 |
| 7 | 春日町 | 春日町5番地 | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | 6,9,11,13,16,27,32 |
| 8 | 大龍 | 大龍町11番44号 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 11,13,15,17,23,27,32,40 |
| 9 | 南洲神社 | 上竜尾町南洲神社 | | ○ | | | | | | | | | | 11,13,27,32 |
| 10 | 甲突川川底 | 永吉町玉江橋~鶴尾橋 | | | | | | | | | | ○ | | 11,27,32 |
| 11 | 刑務所跡 | 永吉町旧刑務所敷地 | | | | | | | | | | ○ | | 32 |
| 12 | 演武館・造士館 | 山下町中央公園内 | | | | | | | | | | | ○ | 32,39 |
| 13 | 名山 | 山下町名山小学校内 | | | | | | | | | | | ○ | 31,32 |
| 14 | 武A・B・C | 武1丁目2番 | | | ○ | ○ | ○ | | △ | ○ | ○ | | ○ | 42 |
| 15 | 後庵 | 西別府町後庵 | | | | | | | | | | ○ | | 32 |
| 16 | 堀ノ内 | 田上町堀ノ内 | | | | | | | | | | ○ | | 32 |
| 17 | 鹿児島大学 郡元団地 | 郡元鹿児島大学構内 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4,11,12,14,16,20,24,26~ 30,32~37,41 |
| 18 | 一の宮 | 郡元一の宮神社境内 | | | | | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | 2,8,13,16,27,32 |
| 19 | 鹿児島大学 学生寮 | 唐湊3丁目3番1号 | | | | | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | 36 |
| 20 | 伊佐ノ原 | 田上町天神ヶ瀬戸 | | ○ | | | | | | | | | | 18,27,32 |
| 21 | 坂下 | 山田町坂下 | | | | | | | △ | △ | △ | ○ | | 11,13,27,32 |
| 22 | 札下 | 山田町札下 | | | | | | | △ | △ | △ | ○ | | 11,13,27,32 |
| 23 | 上ノ原 | 山田町上野札下 | | ○ | | | ○ | | | | | ○ | | 13,27,32 |
| 24 | 原田久保 | 宇宿町原田久保 | | | | | | | | | | ○ | | 32 |
| 25 | 鹿児島大学 桜ヶ丘団地 | 桜ヶ丘8丁目35番1号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | 25,27,32 |
| 26 | 辺田 | 中山町辺田中山 小学校裏 | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | | ○ | | 13,22,27,32 |
| 27 | 笹貫 | 宇宿町笹貫湯貫迫 | | | | | | | | | | ○ | | 4,11,13,16,27,32 |
| 28 | 亀ヶ原 | 魚見町東谷山小 学校一帯 | | | | | | | △ | △ | △ | ○ | | 32 |
| 29 | 高見 | 上福元町高見 | | | | | | | △ | △ | △ | ○ | | 32 |
| 30 | 波ノ平 | 上福元町高見波ノ平 | | | | | | | | | | ○ | | 11,13,27,32 |
| 31 | 薬師堂 | 上福元町薬師堂 | | | | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | | 5,7,11,13,27,32 |
| 32 | 堂園 | 上福元町堂園 | | | | | | | | | | ○ | | 11,13,27,32 |
| 33 | 北麓 | 北麓平田病院敷地 | | | | | | | | | | ○ | | 11,13,27,32 |
| 34 | 不動寺 | 上福元町不動寺 | | | | | | | | | ○ | ○ | | 1,11,27,32 |
| 35 | 掃除山 | 下福元町後迫宇掃除山 | ○ | ○ | | | ○ | | | | | ○ | ○ | 38 |
| 36 | 慈眼寺 | 下福元町慈眼寺 | | | | | | | △ | △ | △ | ○ | | 10,11,13,27,32 |

凡例 ○：該期の遺構・遺物が確認されている。
△：細かい時期を特定できないもの。

3. 鹿児島大学郡元団地の遺跡

稲盛会館が建設される鹿児島大学郡元団地は従来から周知の遺跡として知られており、校舎などの建設に伴う事前の発掘調査も多く行われてきている。郡元団地内で今までに行われた発掘調査は (Fig. 3・Tab. 2) のとおりであり、学術調査・本調査・試掘調査に限っても51件を数えている。

郡元団地内において確認された遺構には、水田・溝・河川・住居跡などがある。その他、古墳時代・中世の遺物包含層も確認されている。

これまでに行われた発掘調査の結果から、郡元団地内の過去の状況がかなり具体的に把握できるようになった。以下に時代を追ってその状況を素描したい。

縄文時代の初め頃は、海水面が現在よりも高かったことから、このあたりは、海であったと考えられる。稲盛会館建設予定地で採取した泥炭層をサンプルとして、放射性炭素年代測定を行ったところ、今から四千数百年前という年代が得られた⁽¹⁾。したがって、この時期にはこのあたりは湿地ではあるものの、陸地化していたと推定できる。つまり、この時代以後の遺跡は存在する可能性があるということになる。

郡元団地から出土した遺物で現在のところ、もっとも古く遡るものは縄文時代前期の曾畑式土器⁽²⁾である。そして、それ以後の時代の遺物はほぼ連続的に出土している。しかし、縄文時代から弥生時代までの遺構は今までのところ検出されていない。また、縄文時代・弥生時代の単純な包含層も確認されていない。

郡元団地において、遺構と遺物包含層の存在がはっきりと確認できるのは古墳時代以降であり、遺構としては住居跡・溝・ピットなどが確認されている。

郡元団地は今までの調査結果から、古墳時代の集落であるとされてきた。しかし、郡元団地すべての地点から住居跡が検出されるわけではない。

住居が集中して検出されるのは、Fig. 3の赤色の網かけで示した範囲である。この2カ所はいずれも微高地で、北側の範囲については、青色の網かけで示した自然河川の自然堤防に位置しているといえるかもしれない。南側の範囲については、郡元団地の東に位置する一の宮遺跡に連続していく微高地だといえる。

両方の範囲から約100軒の住居跡が検出されている⁽³⁾。各調査区では、住居は何度も切り合った状態で検出されることが多く、たとえば、Fig. 3 - 25番の理学部1号館増築地〔文献26〕では約30m×15mの調査範囲から、27軒の住居跡が検出されている。現在のところ、両範囲からは同時期の遺物も出土するため、同時に併存していた可能性が高いが、各範囲において同時に何軒の住居が存在していたのかということとは不明である。

郡元団地で確認されているこの時期の住居は竪穴式で、竪穴の平面プランは方形のものが多く、まれに、柄鏡形などを呈するものも検出されている。柱穴は竪穴の内側にあるもの、外側にあるものの両者が見られる。竪穴内のほぼ中央部に炉が設けられたものもあるが、竈を有するものは確認されていない。竪穴の規模は1辺が3～4mのものがほとんどである。

この集落の生業は何であったのだろうか。郡元団地において、古墳時代の畦や畝などの水田遺構は現在のところ検出されていない。しかし、この時代の生活面 - 黒色を呈する包含層であるが、この層からは多量のイネプラント・オパールが検出されている⁽⁴⁾ことから、稲作がこの地点あるいは付近で行われていたことは確実だと考えられる。

Fig. 3の青色の網かけで示した部分が自然河川の河道であるが、東側については調査例が無いため、推定のラインである。古墳時代にこの河が流れていたということは1 - 8区 (理学部2号館増築地)〔文献26〕などの調査から明らかであるが、この河川が弥生時代やそれ以前まで遡って存在していたかどうかは不明である。

郡元団地における古墳時代以後の遺構としては水田に伴う畦や畝、水田に伴う可能性が指摘できる溝などが検出されている。土層の観察からも、水田の特徴が読みとれ、プラント・オパール定量分析の結果もこのことを裏付けている。このあたりは平安時代以降は確実に水田であったと考えられる。水田層はかなり厚く堆積していることから、長期にわたって、連続的に水田耕作が行われてきたと考えられる。出土する遺物は、水田という性格上量は少ないものの、各時代のものが出土していることから、そのことを裏付けていると考えられる。なお、古墳時代以後は明確に時期を特定できる住居跡などの出土例は無いため、集落は郡元団地の外に移ったものと考えられる。

註

- (1) Ⅶ章 2. - Ⅱ. に報告。
- (2) 1994年1～4月にかけて実施したM～T-7～9区(運動場)の発掘調査において出土した。
- (3) 北側の範囲からは約65軒、南側の範囲からは約30軒の住居跡が検出されている。
- (4) L-6区(中央図書館増築地)におけるプラント・オパール定量分析の分析結果などによる。

文献

- (1) 山崎五十磨「弥生式土器遺跡と墳墓の関係」『考古学雑誌』10-1, 1919
- (2) 河口貞徳「一の宮遺跡報告」『考古学雑誌』37-4, 1951
- (3) 麻生孝行「有溝の石庖丁」『鹿児島県考古学会紀要』2, 1952
- (4) 河口貞徳「鹿児島県の弥生諸遺跡について」『鹿児島県考古学会紀要』2, 1952
- (5) 河野治雄「谷山町薬師堂遺跡について」『鹿児島県考古学会紀要』2, 1952
- (6) 河口貞徳「鹿児島県鹿児島市春日町遺跡」『日本考古学年報』6, 1953
- (7) 河野治雄「谷山町における先史時代遺物の分布状況について」『鹿児島県考古学会紀要』3, 1953
- (8) 河口貞徳「鹿児島のおいたち-先史時代」鹿児島市 1955
- (9) 河口貞徳・河野治雄「鹿児島市春日町遺跡発掘調査報告」『鹿児島県考古学会紀要』4, 1955
- (10) 河野治雄「先史時代」『谷山市史』1967
- (11) 河口貞徳「原始・古代編」『鹿児島市史Ⅰ』鹿児島市史編纂委員会, 1969
- (12) 平田信芳「釘田遺跡」『日本考古学年報』28, 1975
- (13) 鹿児島県教育委員会「市町村別遺跡地名表」1977
- (14) 戸崎勝洋「釘田遺跡第6地点」『日本考古学年報』31, 1978
- (15) 上村俊雄編「大龍遺跡」鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(1), 鹿児島市教育委員会, 1979
- (16) 南日本新聞社「鹿児島大百科事典」1981
- (17) 本田道輝・田中修編「大龍遺跡」鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(2), 鹿児島市教育委員会, 1982
- (18) 上田耕「薩摩半島の考古学-伊佐の原遺跡」『鹿児島考古』17, 1983
- (19) 鹿児島市教育委員会「文化財の手引きその3 埋蔵文化財・史跡分布地図-鹿児島市北部-」1985
- (20) 上村俊雄他「神川堤第一地点遺跡」鹿児島大学工学部・鹿児島大学法文学部考古学研究室, 1985
- (21) 出口浩編「大乘院跡」鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(6), 鹿児島市教育委員会, 1985
- (22) 鹿児島市教育委員会「文化財の手引きその4 埋蔵文化財・史跡分布地図-鹿児島市南部-」1986
- (23) 本田道輝・下山覚編「大龍遺跡」鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(7), 鹿児島市教育委員会, 1986
- (24) 本田道輝編「鹿児島大学郡元団地内遺跡(J-7地点)-鹿児島大学理学部公用車車庫改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-」鹿児島大学理学部・鹿児島大学法文学部考古学研究室, 1986
- (25) 本田道輝「脇田亀ヶ原遺跡について-鹿児島大学宇宿キャンパス及びその周辺地区に於ける採集遺物の紹介-」
- (26) 松永幸男・坪根伸也編「鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報Ⅰ 昭和60年度」鹿児島大学埋蔵文化財調査室, 1986
- (27) 坪根伸也編「水町遺跡(鹿児島大学郡元団地内遺跡 P-6・7地点)-鹿児島大学教育学部校舎新築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」鹿児島大学教育学部・鹿児島大学法文学部考古学研究室, 1987
- (28) 本田道輝編「鹿児島大学郡元団地内遺跡(B～D・9, 10地点)-鹿児島大学農学部温室改築及び実験温室, 網室等新設に伴う試掘調査報告書-」鹿児島大学農学部・鹿児島大学法文学部考古学研究室, 1987
- (29) 鹿児島大学埋蔵文化財調査室「鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報Ⅱ 昭和61年度」鹿児島大学埋蔵文化財調査室, 1987
- (30) 鹿児島大学埋蔵文化財調査室「鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報Ⅲ 昭和62年度」鹿児島大学埋蔵文化財調査室, 1987

Tab. 2 鹿兒島大学構内遺跡郡元団地調査一覧

| No. | 地区名 | 調査主体 | 調査期間 | 遺物 | 遺構 | 縄 | 弥 | 墳 | 古 | 中 | 近 | 文献 | 調査形態 | 備考 |
|-----|-------------------------------------|---------------|------------------|---------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|--------|------|--------|
| 1 | Q-10 (県立医大) | 河口貞徳 | 1951年3月～4月 | 土器, 須恵器 | 円形住居跡 | | | * | * | | | 4, 8 | 学術調査 | |
| 2 | Q-10 (附属中学校敷地内) | 河口貞徳 | 1963年7月 | 土器, 石製品 | 隈丸方形住居跡 | | | * | | | | 11, 29 | 学術調査 | |
| 3 | I-J-4 (教養部校舎) | 鹿兒島県文化課 | 1975年4月～7月 | 土器, 須恵器, 石製品 | 住居跡, 溝状遺構 | | * | * | * | | | 26 | 本調査 | 釘田第1地点 |
| 4 | (理・教養・工・教育学部) | 平田信芳・出口浩 | 1975年9月 | 理学部: 土器, 教養部: 土器 | 工学部: 溝状遺構 (近代) | | | * | | | * | 26 | 試掘調査 | |
| 5 | I-8 (理学部2号館増築地) | 鹿兒島県文化課 | 1976年1月 | | | | | | | | | 26 | 試掘調査 | |
| 6 | I-8 (理学部2号館増築地) | 鹿兒島県文化課 | 1976年5月～12月 | 土器, 須恵器, 石製品, 紡錘車, 土製勾玉・小玉, 木製品 | 方形住居跡, 杭列 | * | * | * | * | | | 26 | 本調査 | 釘田第8地点 |
| 7 | M・N-5・6 (教育学部第2体育館) | 鹿兒島県文化課 | 1978年7月～8月 | 土器, 須恵器 | 溝状遺構 | * | * | * | * | | | 26 | 試掘調査 | 釘田第6地点 |
| 8 | J-5 (教養部講義室) | 鹿兒島県文化課 | 1979年 | 土器 | | | * | | | | | 26 | 試掘調査 | 釘田第2地点 |
| 9 | K・L-9・10 (教養部講義室) | 鹿兒島県文化課 | 1979年 | | 用水路 | | | | | | | 26 | 試掘調査 | 釘田第4地点 |
| 10 | E-6 (農学部研究棟) | 鹿兒島県文化課 | 1979年 | | | | | | | | | 26 | 試掘調査 | 釘田第5地点 |
| 11 | (理学部実験研究棟) | 鹿兒島県文化課 | 1979年 | 土器 | | | * | | | | | 26 | 試掘調査 | |
| 12 | (電算機センター) | 鹿兒島県文化課 | 1979年 | | | | | | | | | 26 | 試掘調査 | |
| 13 | L-3・4 (法文学部講義室) | 鹿兒島県文化課 | 1979年5月 | 土器 | | * | | * | | | | 26 | 試掘調査 | 釘田第3地点 |
| 14 | O-4・5 (教育学部校舎) | 鹿兒島県文化課 | 1979年5月 | 土器 | | | | | | | | 26 | 試掘調査 | 釘田第7地点 |
| 15 | I-11・12 (工学部機械工学科校舎) | 鹿兒島県文化課 | 1980年7月～8月 | 土器, 須恵器, 陶磁器 | 溝状遺構 (弥生～古墳, 中近世) | * | * | * | * | * | * | 29 | 本調査 | |
| 16 | (教育学部) | 鹿兒島県文化課 | 1980年7月～8月 | 土器, 磁器 | 水田 (中世), 溝状遺構 | | | * | * | | | 29 | 試掘調査 | |
| 17 | N・O-5 (教育学部新校舎) | 鹿兒島県文化課 | 1980年8月 | 土器, 磁器 | 水路 (古墳) | | | * | * | * | | 29 | 試掘調査 | |
| 18 | G・H-9 (電子計算機室) | 鹿兒島県文化課 | 1983年8月～9月 | 土器, 須恵器, 磁器, 石製品 | 水田, 溝状遺構 (古代?) | | | * | * | * | * | 35 | 本調査 | 釘田第9地点 |
| 19 | J-7 (理学部車庫) | 上村俊雄・本田道輝 | 1983年12月 | 土器 | | * | * | * | | | | 24 | 試掘調査 | |
| 20 | K-12 (工学部危険物薬品庫改修) | 上村俊雄 | 1983年12月 | 土器, 須恵器, 磁器, 土製品, 石製品 | 水田 (古墳・奈良), 足跡?, ビット, 溝状遺構 | | | * | * | * | | 20 | 本調査 | |
| 21 | C・D-9 (農学部温室建替え) | 本田道輝 | 1983年12月 | 土器, 陶磁器, 古銭 | 溝状遺構・土壇・ビット・水田 (室町以前) | | | | | * | | 28 | 試掘調査 | |
| 22 | J-7 (理学部車庫) | 本田道輝 | 1984年11月～12月 | 土器, 須恵器, 石製品 | ビット・溝状遺構 (古墳), 土壇 | * | * | * | | | | 24 | 本調査 | |
| 23 | P-6・7 (教育学部校舎) | 上村俊雄・本田道輝 | 1984年11月～1985年3月 | 土器, 須恵器, 磁器, 硬玉製勾玉 | 水田, 溝状遺構 | | * | * | * | * | | 27 | 本調査 | 水町遺跡 |
| 24 | B-C-9 (農学部園芸学科実験温室・網室・ガラス室および附属棟新設) | 本田道輝 | 1985年3月 | 土器, 陶磁器, 土製品 | 溝状遺構, ビット, 土壇 | | | * | * | * | | 28 | 試掘調査 | |
| 25 | I・J-9・10 (理学部1号館増築地) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1985年6月～10月 | 土器, 須恵器, 石製品, 石庖丁 | 方形住居跡 (焼失住居1基)・溝状遺構・配石をもつ方形掘り込み (古墳) | * | * | * | | | | 26 | 本調査 | 理学部3号館 |
| 26 | O-3・4 (教育学部福利厚生施設) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1985年6月 | 土器, 陶磁器 | | | | * | * | | | 26 | 試掘調査 | |
| 27 | I-J-4 (教養部校舎増築地) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1986年3月 | 土器 | 溝状遺構 | | | * | | | | 29 | 試掘調査 | |
| 28 | Q-6・7 (教育学部音楽美術科棟) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1986年3月 | 土器, 須恵器, 陶磁器, 土製品 | 溝状遺構, ビット, 水田層 (古墳～) | | | * | * | * | * | 29 | 試掘調査 | |
| 29 | J-9 (理学部塵捨場) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1986年7月 | 土器 | 住居跡? (古墳) | | | * | | | | 29 | 試掘調査 | |
| 30 | B-8 (農学部R I増築地) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1986年11月 | 土器, 陶磁器 | 河川跡 (中近世) | | | | | * | * | 29 | 試掘調査 | |
| 31 | O-7 (教育学部福利厚生施設) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1988年3月 | 土器, 須恵器, 磁器 | 溝状遺構 (古墳以降), ビット (古墳～中近世) | | | * | * | * | * | 33 | 試掘調査 | |
| 32 | G・H-9 (電子計算機室増築地) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1988年7月～8月 | 土器, 土製品, 石製品 | 方形掘込, ビット, 土壇, 溝状遺構 (中世) | * | * | * | * | * | | 30 | 本調査 | |
| 33 | P-4・5 (教育学部教育実践研究指導センター及び音楽・美術科棟) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1988年11月～12月 | 土器, 須恵器, 陶磁器 | 溝状遺構, 落ち込み (古墳以降), ビット | | * | * | * | * | * | 33 | 試掘調査 | |
| 34 | F-3・4 (大学院連合農学研究科校舎) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1989年10月～12月 | 土器, 陶磁器, 土製品, 石製品, 石鍋, 古銭, 煙管 | ビット (平安～鎌倉), 水田跡・円形遺構・溝状遺構・不定形土壇・ビット群 (江戸～明治) | | | * | * | * | * | 34 | 本調査 | |
| 35 | Q-9・10 (教育学部附属中学校プール上屋) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1989年12月 | 土器, 須恵器, 土製品, 石製品, 陶磁器 | 住居跡? (古墳) | | | * | * | * | * | 34 | 本調査 | |
| 36 | H-11・12 (工学部情報工学科校舎) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1990年3月 | 土器, 須恵器, 陶磁器 | 河川跡, 柱穴状ビット (弥生～古墳かそれ以前) | * | * | * | * | * | * | 35 | 試掘調査 | |
| 37 | S・T-6・7 (教育学部附属小学校プール上屋) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1990年8月 | 土器, 須恵器, 陶磁器 | ビット | | * | * | * | * | * | 35 | 試掘調査 | |
| 38 | S・T-6・7 (教育学部附属小学校プール上屋) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1990年11月～1991年1月 | 土器, 須恵器, 陶磁器, 石製品, 石庖丁, 鉄製品 | 方形住居跡・溝状遺構 (古墳), 土壇, ビット | | * | * | * | * | * | 36 | 本調査 | |
| 39 | H-11・12 (工学部情報工学科校舎) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1990年12月～1991年3月 | 土器, 陶磁器, 石製品, 石鍋 | 河川跡 | * | * | * | * | * | * | 36, 41 | 本調査 | |
| 40 | B-8・9 (課外活動施設) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1991年3月 | 土器, 陶磁器, 土製品, 石製品 | ビット, 土壇 | | | * | * | * | * | 36 | 試掘調査 | |
| 41 | H-11 (地域共同研究センター) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1992年2月 | 土器, 陶磁器 | 河川跡?, 杭列? | | | * | * | * | * | 41 | 試掘調査 | |
| 42 | O・P-4・5 (教育学部音楽・美術科棟) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1992年6月～10月 | 土器, 須恵器, 陶磁器 | 畝状遺構, 溝状遺構, 土壇, ビット | * | * | * | * | * | * | | 本調査 | |
| 43 | K-12 (工学部応用工学科エレベーター) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1992年6月 | | 水田層? | | | | | | | 41 | 本調査 | |
| 44 | O-7 (教育学部福利厚生施設) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1992年10月～12月 | 土器, 陶磁器 | 溝状遺構・ビット (古墳) | | | * | * | * | | | 本調査 | |
| 45 | L-11・12 (稲盛会館) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1992年10月 | 土器, 須恵器, 陶磁器 | ビット, 足跡? | | | * | * | * | | 41 | 試掘調査 | |
| 46 | L-6 (中央図書館増築地) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1993年1月～3月 | 土器, 石製品 | 溝状遺構・柄鏡形住居跡・ビット (古墳) | | | * | | | | | 本調査 | |
| 47 | K・L-6 (中央図書館増築地) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1993年5月～9月 | 土器, 陶磁器, 石製品 | 土壇, 溝状遺構, 方形住居跡 (古墳) | | * | * | * | * | | | 本調査 | |
| 48 | L-11・12 (稲盛会館) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1993年5月～9月 | 土器, 須恵器, 陶磁器, 土製品, 石製品 | 溝状遺構, 土壇, 畔 | | * | * | * | * | * | | 本調査 | |
| 49 | P-5 (教育学部教育実践研究指導センター) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1993年10月～12月 | 土器, 須恵器, 陶磁器, 石製品 | 溝状遺構 (古墳, 近代～), 土壇, 畝状遺構, ビット | | * | * | * | * | * | | 本調査 | |
| 50 | H-11・12 (地域共同研究センター) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1993年12月～1994年4月 | 土器, 石製品, 石庖丁, 紡錘車, 木製品 | 河川跡, 杭列 | * | * | * | * | * | * | | 本調査 | |
| 51 | M～T-7～9 (運動場) | 鹿兒島大学埋蔵文化財調査室 | 1994年1月～4月 | 土器, 須恵器, 陶磁器, 石製品, 石庖丁, 紡錘車 | 方形・柄鏡形住居跡 (古墳), 土壇 | * | | * | * | * | | | 本調査 | |

査室, 1988

- (31) 出口浩編「名山遺跡」鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(8), 鹿児島市教育委員会, 1988
- (32) 山之内宏行・出口浩編「鹿児島市文化財基本調査報告書」, 鹿児島市文化財調査報告書(5), 鹿児島市教育委員会, 1988
- (33) 鹿児島大学埋蔵文化財調査室「鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報Ⅳ 昭和63年度」鹿児島大学埋蔵文化財調査室, 1989
- (34) 鹿児島大学埋蔵文化財調査室「鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報Ⅴ 平成元年度」鹿児島大学埋蔵文化財調査室, 1990
- (35) 鹿児島大学埋蔵文化財調査室「鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報Ⅵ 平成2年度」鹿児島大学埋蔵文化財調査室, 1991
- (36) 鹿児島大学埋蔵文化財調査室「鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報Ⅶ 平成3年度」鹿児島大学埋蔵文化財調査室, 1992
- (37) 鹿児島大学埋蔵文化財調査室「釘田第1地点(鹿児島大学教養部)遺跡発掘調査報告-遺構及び遺構出土遺物編-」『南九州地域における原始・古代文化の諸様相に関する総合的研究』鹿児島大学法文学部, 1992
- (38) 出口浩編「掃除山遺跡-県道玉取迫~鹿児島港線建設に伴う緊急発掘調査報告書-下巻」鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(12), 鹿児島市教育委員会, 1992
- (39) 出口浩・濱川まゆみ編「造士館・演武館跡」鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(13), 鹿児島市教育委員会, 1992
- (40) 出口浩編「大龍遺跡」鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(15), 鹿児島市教育委員会, 1992
- (41) 鹿児島大学埋蔵文化財調査室「鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報Ⅷ 平成4年度」鹿児島大学埋蔵文化財調査室, 1993
- (42) 「1993年度 鹿児島県関係発掘調査一覧」『鹿児島考古』28, 1994

Ⅲ 調査の経過と概要

5月6日から10日までは、重機を用いて表土層の除去を行った。表土層の厚さは平均で約0.6mほどであった。

5月12日と14日には鹿児島大学構内座標にもとづいて基準点の設定を行った。

5月17日から、掘り下げを開始した。

まず、調査区の北東隅（3トレンチ）、北西隅（4トレンチ）、南隅（5トレンチ）に3ヶ所、先行トレンチを設定して掘り下げた（Fig 4）⁽¹⁾。次に1～5トレンチの土層観察を行い調査区全体の基本層位をあらかじめ設定した⁽²⁾。その後、調査区全体を層ごとに掘り下げた。

7層までは調査区全体を掘り下げたが、8層以下については、先行トレンチにおいて、遺物がほとんど出土しなかったことから、6カ所のトレンチを設けて掘り下げることにした（Fig. 4 - 6・7・8・10・11・12トレンチ）。

12トレンチの9層において溝（SD2）を検出したため、溝の方向や規模を確認するために、溝の北側への延長線上にさらに、1ヶ所トレンチを設定した（Fig. 4 - 9トレンチ）。

地表下約1.5 mのところ泥炭層を検出した。泥炭層は調査区全体に広がっており、その厚さは平均で、約1 mほどである。

泥炭層の下には粗砂が堆積していた。これより下では水が湧き出すため、以下の掘り下げを行うことはできなかった。

掘り下げ終了後、自然科学分析に用いるサンプルを採取し、調査区壁面の土層断面図を作成して、発掘調査を終了した。

註

- (1) Fig. 4の1・2トレンチは1992年度に行った試掘調査のトレンチと同一である。（鹿児島大学埋蔵文化財調査室、「第3章 郡元団地L-11・12区における試掘調査」『鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報Ⅷ 平成4年度』1993）
- (2) 試掘調査時の層の数よりも若干減少しているが、これは、調査区全体の共通した層を得ることができるよう、類似の層を統合したためである。

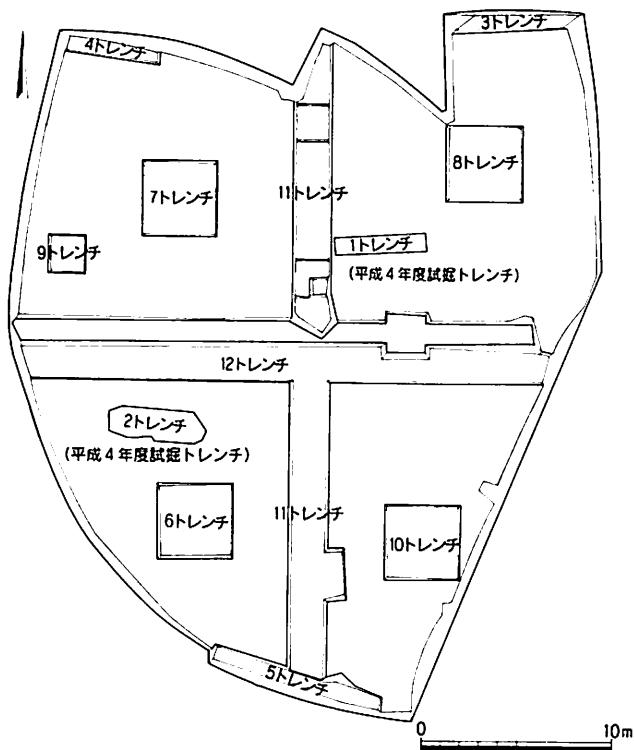


Fig. 4 トレンチ位置図 S = 1/400

IV 層 位 (Fig. 5)

表土層, 客土, カクラン層などは一括して表土とした。

- 1層 にぶい黄褐色 (10YR5/3) を呈する細砂質土で, マンガンの浸透が見られ, 0.3~0.5cm 大のパミスを含む。2層との境のところどころに, 黄褐色 (10YR5/6) の粗砂を含む。粘性は少ない。1層は調査区の中央部を中心に部分的に確認できた。
- 2層 にぶい赤褐色 (5 YR4/3) のシルト~細砂質土で, マンガンの浸透が多く見られ, パミスや褐色 (7.5YR4/6) の斑点を含む。粘性は少ない。
- 3層 暗褐色 (7.5YR3/3) 細砂質土で, マンガンの浸透が見られ, 0.5~1 cm 大のパミスを含む。粘性は無い。
- 4層 灰黄褐色 (10YR4/2) 細砂質土。マンガンの浸透がわずかに見られ, 0.5~1 cm 大のパミスを含む。褐色 (7.5YR4/6) の斑点も多く含み, 粘性は少ない。
- 5層 褐色 (7.5YR4/3) シルト~細砂質土。マンガンの浸透が見られ, パミスを含む。粘性は無い。5層は調査区の北側に部分的に確認できた。
- 6a層 灰褐色 (5 YR4/2) シルト~細砂質土。暗褐色 (10YR3/4) を呈するマンガンの浸透が見られ, パミスを含む。粘性を少し帯びている。
- 6b層 灰褐色 (5 YR5/2) シルト~細砂質土。暗褐色 (10YR3/4) を呈するマンガンや, 褐色 (10YR4/6) の鉄分が浸透している。パミスを含み, やや粘性を帯びている。6a層とは色調が異なる以外はよく類似している。
- 7層 灰褐色 (7.5YR4/2) シルト質層。6b層よりも若干薄い色調を呈する。暗褐色 (10YR3/4) のマンガンの浸透が見られ, パミスをわずかに含む。やや粘性を帯びている。
- 8層 黄灰色 (10YR4/1) シルト質層。マンガンの浸透は見られず, パミスをごくわずかに含む。粘性がやや強い。
- 9層 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト質層。黄灰色 (2.5YR5/1) を呈する粒子の細かい砂をブロック状に含む。マンガンの浸透が若干認められ, 0.5~1 cm 大のパミスをごくわずかに含む。褐色 (10YR4/4) の鉄分を含み, やや粘性を帯びる。
- 10層 灰褐色 (7.5YR4/2) を基調とし褐色 (10YR4/4) が混ざるシルト質層。0.5~1 cm 大のパミスをまれに含み, 粘性を帯びている。
- 11層 褐灰色 (10YR4/1) のシルト粗砂 (2 mm 大) 混じりの層である。粘性を帯びている。
- 12層 暗灰黄色 (2.5YR5/2) 粗砂層。0.5~1 cm 大のパミスを含む。
- ①層 黒褐色 (2.5YR3/1) 粗砂層。0.5~1 cm 大の軽石を多く含む。
- ②層 灰黄褐色 (10YR4/2) を呈し, パミスの含み方などは10層に類似する。
- 13層 黒色 (5 YR1.7/1) を呈する粘性のある泥炭層。アシ・ヨシ系の植物繊維を含む。
- 14層 オリーブ黒色 (5 Y3/2) を呈する粘性のある泥炭層。アシ・ヨシ系の植物繊維を含む。
- 15層 オリーブ黒色 (5 Y2/2) を呈する粘性のある泥炭層。アシ・ヨシ系の植物繊維を含む。
- 16層 オリーブ黒色 (5 Y3/1) を呈する粘性のある泥炭層。アシ・ヨシ系の植物繊維を含む。
- 17層 北側では黄褐色 (10YR5/6) を, 南側では青灰色 (5 GB6/1) を呈する粗砂層。下方ほどパミスを多く含み, その大きさは5 cm 大である。全体に植物繊維状のものを含む。

1層~11層までは粒子の大きさ, 粘性, 鉄分やマンガンの浸透の状態から水田層であると考えられる。プ

ラント・オパール定量分析からもこのことは裏付けられるといえる⁽¹⁾。

13層から16層までは泥炭層である。これらの層が形成された時、この地点は後背湿地であったことがわかる。なお、13層以下から遺物は出土しなかった。

註

(1) VII章に報告。

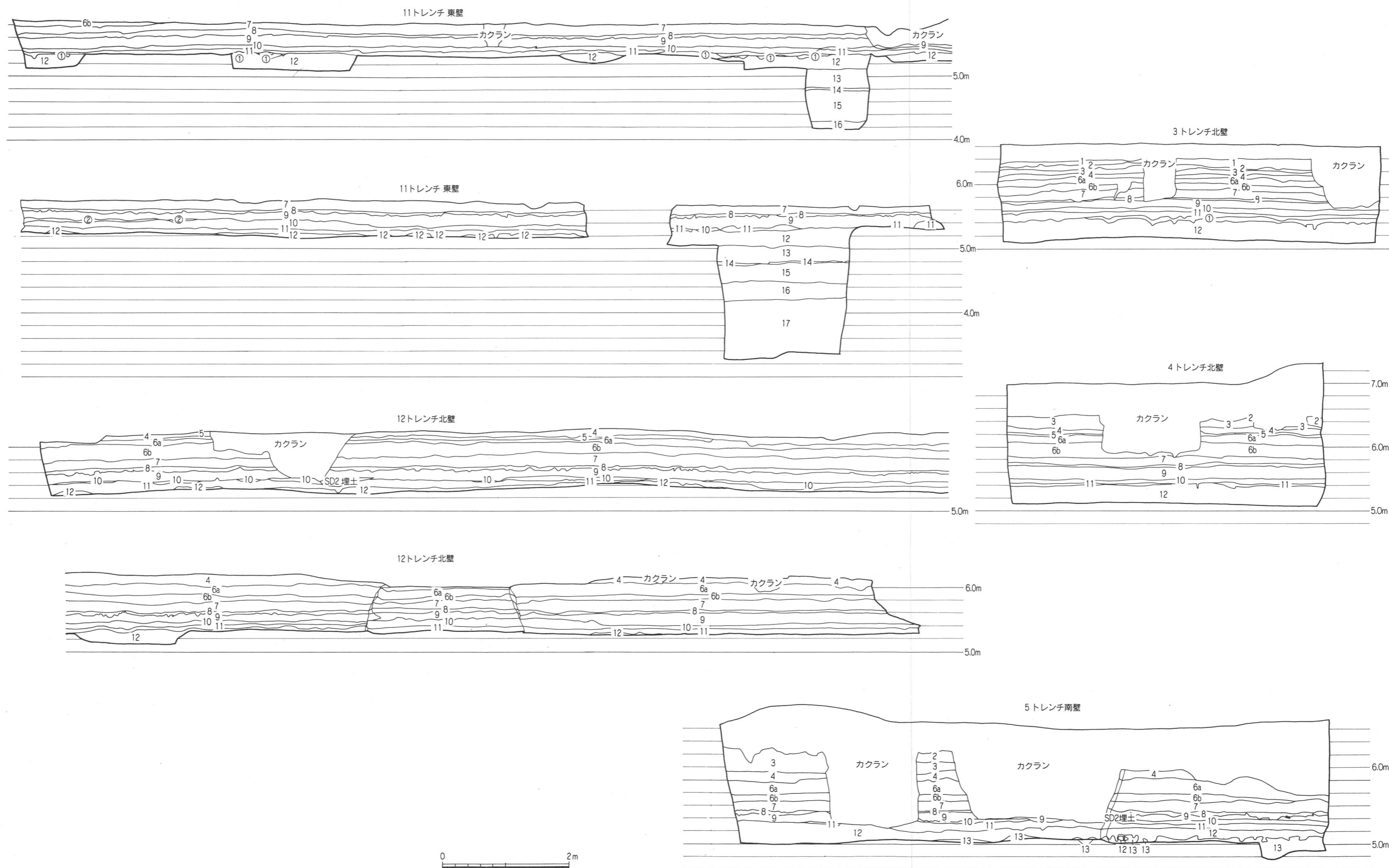


Fig. 5 層位断面図 S = 1/60

V 遺構と遺構出土の遺物

本調査区で検出された遺構としては、溝状遺構が3条（SD1～3）、畦が3本（AZ1～3）、土壇が2基（SK2・3）ある（Fig.6）。SK1とした土壇については調査の結果、カクランであることがわかったため削除した。

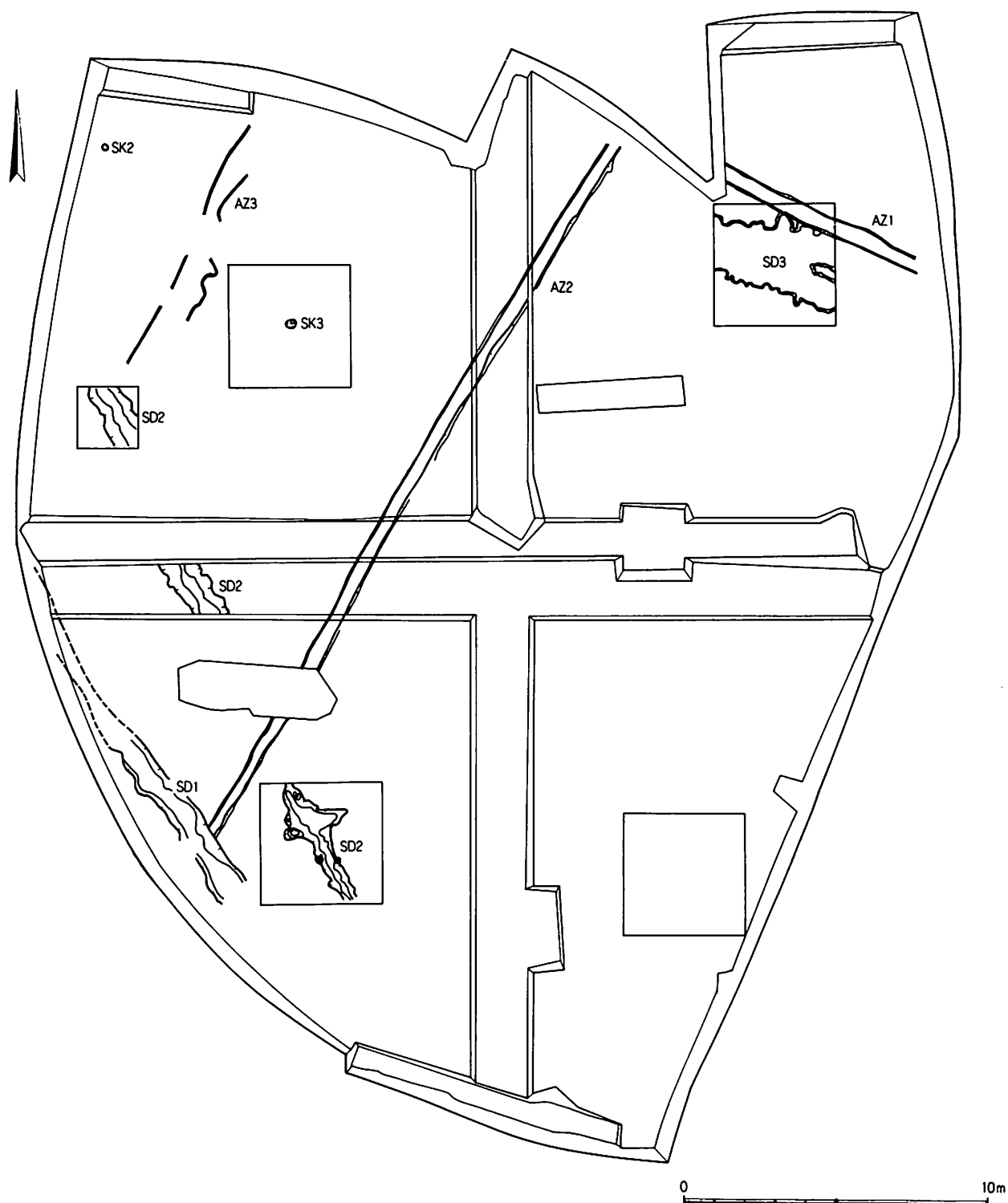


Fig. 6 遺構平面図 S = 1/200

畦が検出されたことから、水田を遺構として確認することができたことになる。土層観察やプラント・オパール分析結果を総合すると、畦が検出された層以外でも水田耕作が行われたと推定できることから、本地点は連続的に水田として利用されてきた遺跡であるといえる。

1. 2層検出の遺構

SD1 (Fig. 7)

調査区南西部の2層上面で検出した。北西から南東に向かって傾斜し、南端はごみ穴によって切られている。埋土は砂で、遺物はほとんど出土していない。検出した長さは約5.5m、最大幅1.18m、最小幅0.9m、平均幅1.0m、平均の深さ0.17mである。

2. 5層検出の遺構

SK2 (Fig. 8)

5層上面で検出した。埋土は4層の土である。長径0.5m、短径0.43mで、深さ0.08mを測る。遺物の出土はなく、土壌の性格は不明である。

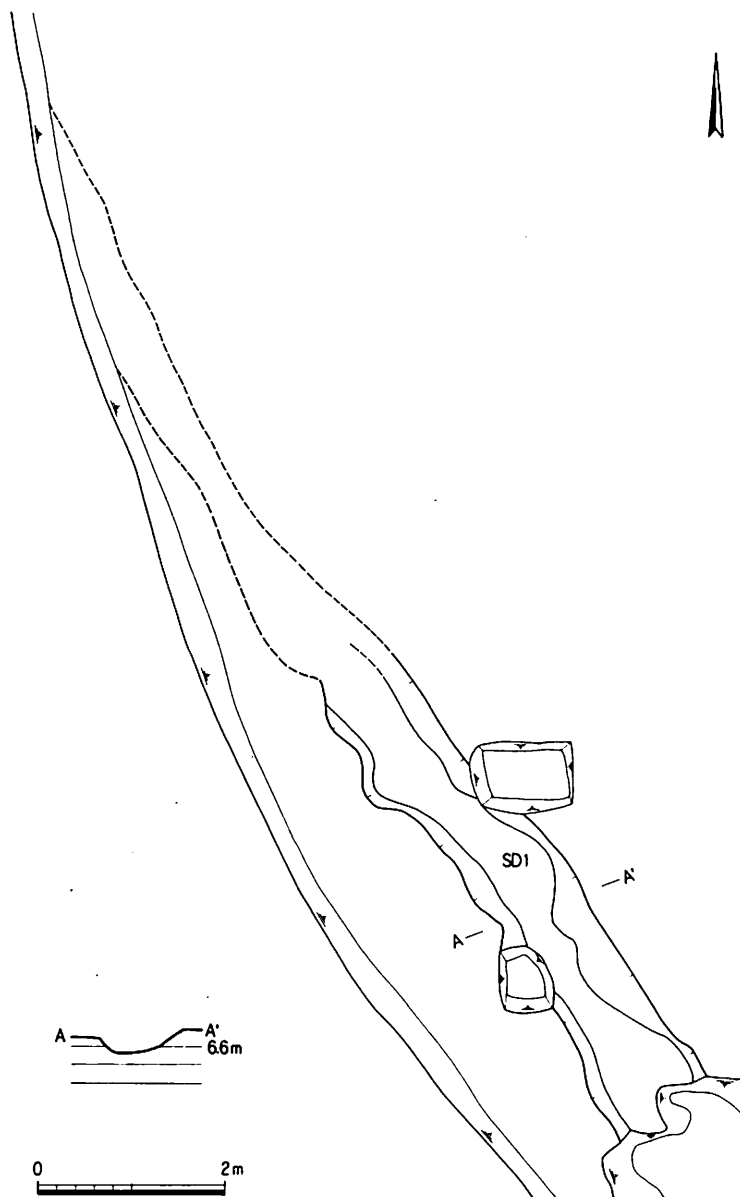


Fig. 7 2層上面検出遺構 SD1 S = 1/80

3. 6a層検出の遺構 (Fig. 9)

全部で3本の畦を検出した。畦1は北西-南東方向で、畦2・3はそれと直行するように、北東-南西方向に延びている。

A Z 1

北西-南東方向で、長さ7.3mにわたって検出した。幅は平均で0.48m、高さは平均で0.04mである。

A Z 2

北東-南西方向に、長さ約26.4mにわたって検出された。幅は平均で0.41m、高さは平均で0.05mを測る。3本の畦のうちもつとも残りがよい。

A Z 3

A Z 2と同様、北東-南西方向に、長さ18.6mにわたって検出された。残りは良くないが、幅約0.7m、高さ約0.03mを測る。

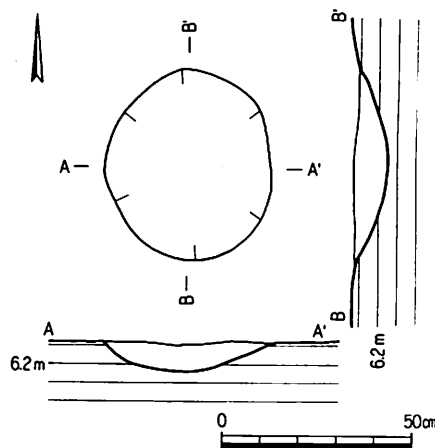


Fig. 8 5層上面検出遺構 SK2 S = 1/20

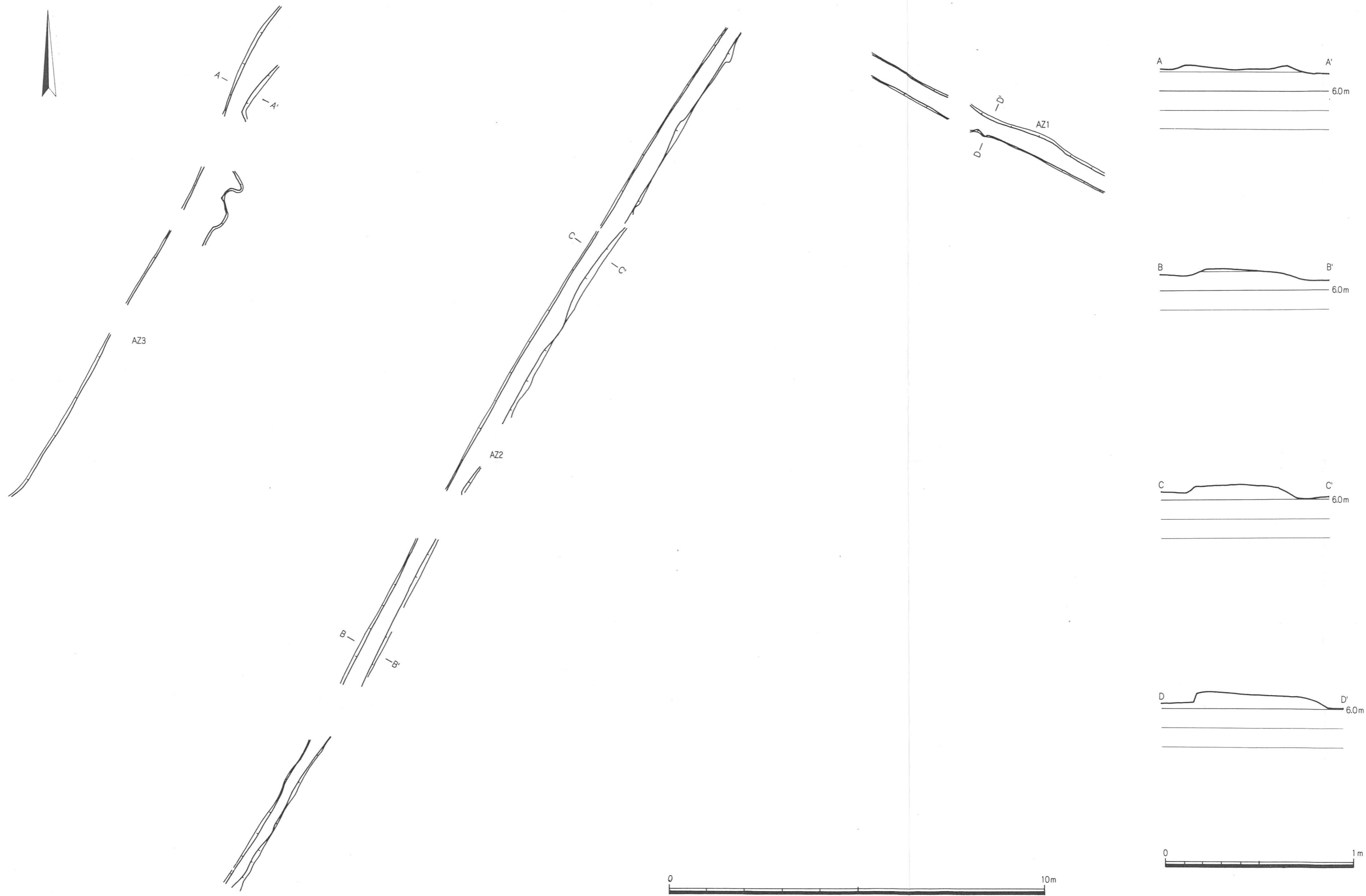


Fig. 9 6a層上面検出遺構 AZ1・2・3 平面：S = 1/80 断面：S = 1/20

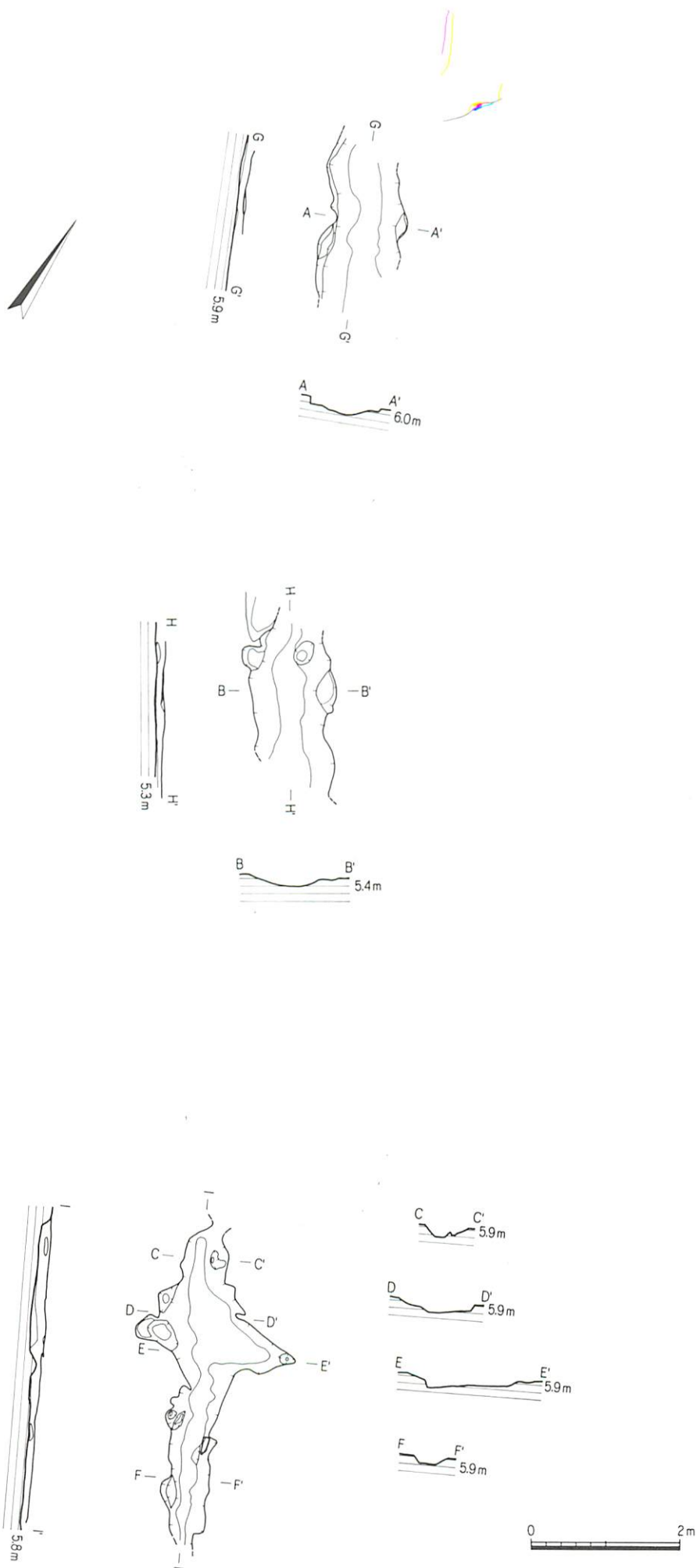


Fig. 10 9層検出遺構 SD2 S = 1/80

畦が検出された6a層は出土遺物の検討から、江戸時代に比定できると考えられる。畦の形態がよく整っており、また、AZ1とAZ2・3が直行していることなどから、当時、整然と区画された水田が作られていたことが想定できる。

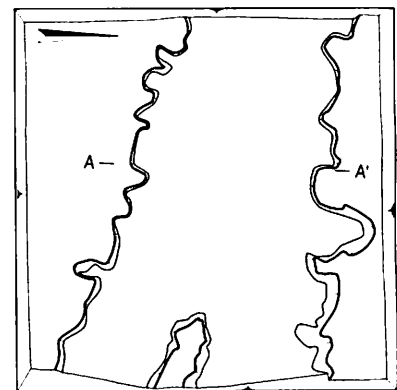
AZ2とAZ3の間は約10mあり、AZ2の南東側にAZ2・3と平行する畦は確認されていない。このため、AZ2の南東側に位置する畦があるとすれば、それは調査区外に存在することになる。そしてその畦までの距離は16m以上はあったということになり、畦による区画の幅は一定ではないということがわかる。ところで、溝の流れの方向が推定できるものについては北西→南東であることから、当時、地形は調査区の北西側が高く、南東方向に向かって低くなっていたと考えられる。畦が等間隔でないのは、当時の地形の影響を受けているためだと考えられ、AZ2とAZ3の間はもともとAZ2の南東側に比べて傾斜が急であったことが想定できる。

4. 9層検出の遺構

SD2 (Fig.10)

12トレンチ西側の9層を掘り下げる過程で検出した。溝の方向を確認するため、溝の延長と予想される部分に、6・9トレンチを設定して掘り下げたところ、いずれからも溝の続きが検出された。その結果SD2は北西から南東にほぼ直流していたことが明らかになった。埋土は細砂である。3ヶ所のトレンチにより溝の長さは18.7m以上あったことがわかる。最大幅は2.25m、最小幅は0.5m、平均の幅は1.15m、深さは平均で0.15mである。

出土した遺物はいずれも土師器あるいは素焼き土器で、埋土中から1点、溝底から3点が出土している。そのうちの1点はFig.25-299番の土師器と接合した。いずれも小破片であるため、299番と接合した資料以外の実測はできなかった。なお、この土師器は平安時代のものと考えられることから、SD2についてもこれに近い時期を想定できる。



SD3 (Fig.11)

調査区北東部の8トレンチ内において9層を掘り下げる過程で検出した。東西方向に延びると考えられるが、溝底部のレベルはほとんど同じであることから、溝の流れていた方向を決定することはできない。埋土は砂である。検出した長さは3.6m、最大幅2.9m、最小幅1.85m、平均の幅は2.35mで、深さは0.02mと非常に浅い。

遺物は埋土中から2点出土しており、1点は土師器、もう1点は素焼き土器である。いずれも小破片であるため実測することはできなかった。

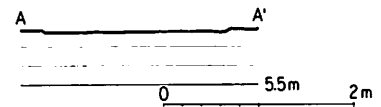


Fig.11 9層検出遺構SD3 S=1/80

5. 12層検出の遺構

SK3 (Fig.6)

12層上面で検出した。長径0.35m、短径0.35m、深さ0.21mを測る。遺物の出土はなく、土壌の性格は不明である。

IV 包含層出土の遺物

各包含層について、遺物の種別ごとに分布図を作成した (Fig.28~Fig.40)。色とマークの凡例は Fig.28のとおりである。

全体を通して見てみると、上部の層では磁器、陶器などが多いが、中部~下部の層では土師器や素焼きの土器が多くなるのがわかる。

まず、各包含層ごとの遺物分布図について触れ、次に、個々の遺物について述べる⁽¹⁾。遺物は基本的には磁器、陶器、須恵器、土師器、「成川式」土器、弥生土器、土製品、石製品の順に配列した。

なお、以下の点を留意事項として記しておく。

- ・本調査区は大雨により数度にわたって全体が水没したため、調査区の断面に残るごみ穴からの落ち込みや、調査区外からの流れ込みなど二次的な遺物が含まれてしまった可能性がある。
- ・1・5層は調査区の一部で確認された層であり、それらの層の分布図には偏りがある。また、8層以下はトレンチ内のみからの出土である。
- ・分布図に用いた素焼き土器は縄文土器、弥生土器、「成川式」土器、土師器（古墳時代の土師器は含まれない）のいずれであるのかが不明なものである。
- ・「成川式」土器は古墳時代の土器という意味で用いることにした。中津野式（弥生時代終末期に併行する）とはつきりわかる場合は弥生土器としたが、不明瞭なものについては「成川式」土器に含めた可能性がある。

1. 1層出土の遺物 (Fig.12)

磁器や陶器の他、ガラスなど総数で約10点が出土している。出土点数が少ないのは1層が確認された範囲がわずかであることにもよると考えられる。

1は白磁の皿である。口縁端部はやや外方に開く。2・3は白磁の杯でいずれも口縁部を欠く。高台の下端部は無釉である。4は染付の碗と考えられる。

5は陶器（薩摩焼）の徳利の口縁部と考えられる。口縁部上端は無釉である。6は陶器の鉢で、外面は風化しているが施されている釉は褐釉と思われる。内面および底面は無釉である。

7は土師器の杯で、焼成前に半裁している。糸切り底である。

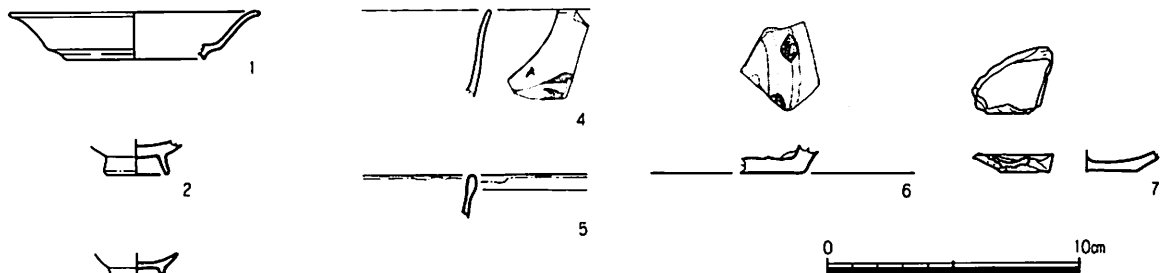


Fig. 12 1層出土の遺物 S = 1/3

2. 2層出土の遺物 (Fig.13)

磁器、陶器、素焼き土器など、総数約50点が出土している。

8は磁器の杯で、口縁端部付近で外方にやや屈曲する。暗青灰色と明赤褐色の2色で模様が施されている。高台壘付部は無釉である。9は白磁の碗である。10は染付の碗である。外面に蝶の文様を描いている。11は染付の碗である。12は染付の皿である。部分的に口縁部を外側から内側に少し押しつけて屈曲させている。外面には貫入が見られる。13・14は染付の碗である。外面と内面に貫入が見られる。15は白磁の瓶と考えられる。16は磁器の碗である。内面見込みには蛇の目状に釉を掻き取った部分がある。また、高台壘付部も無釉である。17は磁器の碗と考えられる。呉須・緑灰色・灰白色、3色で模様が施されている。高

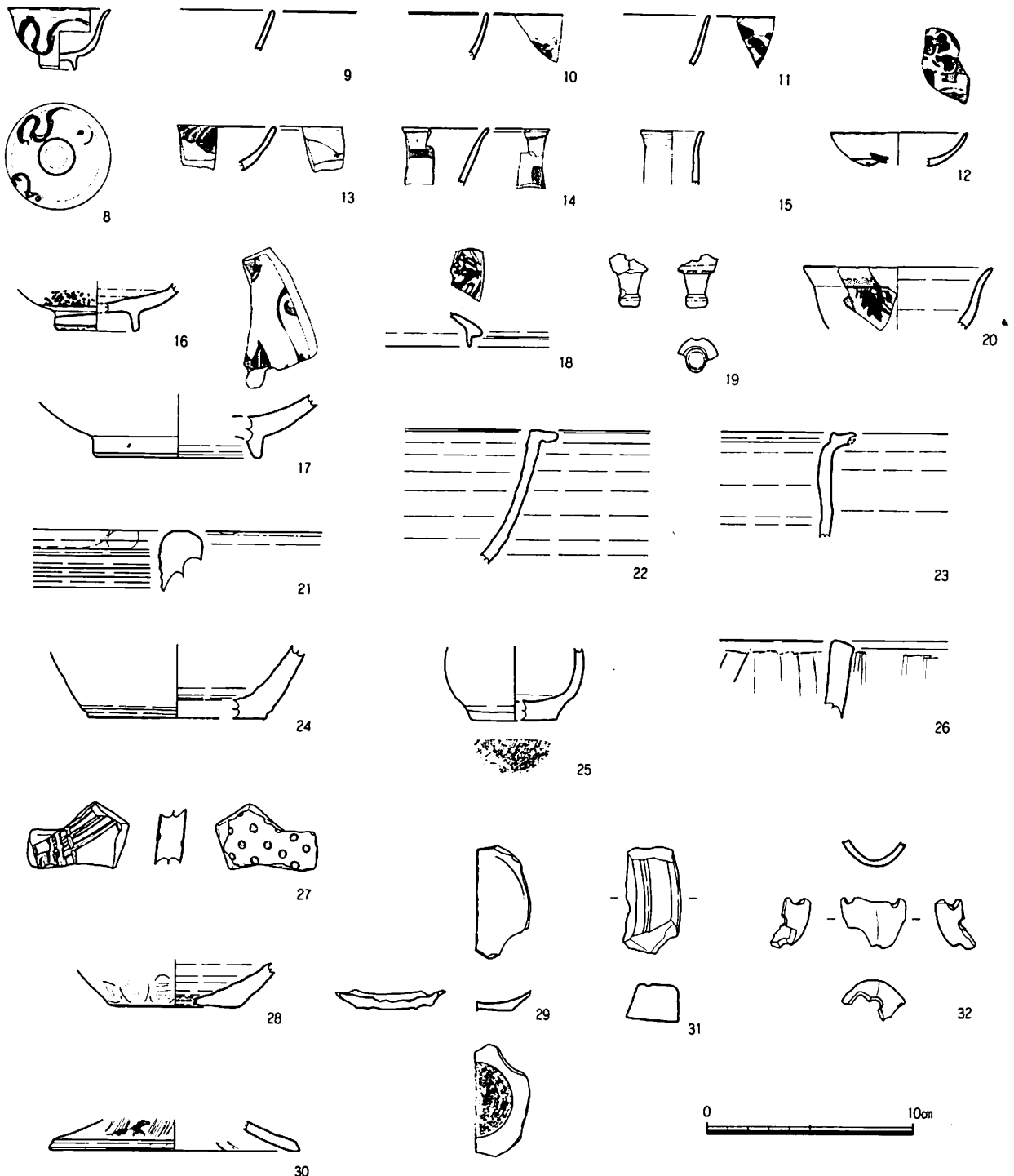


Fig. 13 2層出土の遺物 S = 1 / 3

台の畳付部は無釉である。18は染付の蓋である。かえりの外面は無釉である。19は磁器の脚である。上部に直径約5 mmの穿孔がある。穿孔部から上部と、下端部には施釉されている。

20は陶器の碗である。内外面に細かい貫入が見られる。21は陶器の甕と考えられる。内面には数条のくぼみが見られ、内外面とも鉄釉が施されているが、上端部は無釉である。22は陶器の鉢である。整形の際の凹凸が明瞭に残っており、外面には鉄釉が施される。23は陶器の甕であり、かなり風化しているが、全体に鉄釉が施されている。胴部にゆがみがある。24は陶器の鉢である。外面は回転ヘラケズリ、内面にのみ緑灰色の釉が施される。

25は磁器の杯と考えられる。器表は風化しているが、褐釉が施され、底部付近から底面は無釉、糸切り底である。

26は素焼き土器で器種は不明であるが、口縁部であると考えた。内外面とも工具によるナデによって調整されている。

27は陶器であるが、内面に溝が刻まれていることから播鉢であると考えた。外面には円形の刺突が多数施されている。

28は土師器の杯で、内面には整形時の凹凸が明瞭に残る。おそらく糸切りである。29は土師器の皿である。焼成前に半裁されている。

30は「成川式」土器の高杯の脚部で、脚端部はわずかにくぼんでいる。赤色顔料がわずかに残っている。

31の器種は不明である。内側と下側は接合面である可能性がある。32は土製の鈴であると考えられる。直径約6 mmの円孔が遺存部分だけについても5カ所確認できる。

3. 3層出土の遺物 (Fig.14・15)

陶器が多く見られる他、磁器、土師器なども比較的多く含まれる。打製石鏃、葉きょうなどもあり、総数で約50点が出土している。

33は白磁であるが器種は不明である。脚端部は無釉である。34・35は染付であるが器種は不明である。36は陶器の浅鉢と考えられ打刷毛の技法が見られる。施されている釉は褐釉であると考えられる。37は陶器の小鉢ではないかと考えられる。口縁端部の外面が肥厚している。38は陶器(薩摩焼)の茶家本体の口縁部である。黒釉が施され口縁上端部は無釉である。39も陶器(薩摩焼)の茶家本体の口縁部である。黒釉が施されるが、口縁内側の一部は釉が拭き取られている。40は陶器であるが器種は不明である。施された釉は鉄釉と考えられるが口縁上端部は無釉で、外面には貫入が見られる。41は陶器の碗であると考えられ、黒釉が施されている。42は陶器の皿と考えられる。施されている釉は褐釉と考えられるが、外面は無釉である。43は陶器の播鉢の口縁付近である。釉はかなり風化している。44は陶器の皿である。目跡には1 mm大の砂目が残っている。45は陶器の鉢の底部と考えられる。内面には砂目が残っている。46は陶器の碗で、飴釉が施される。見込みには釉を剥ぎ取った跡が残るが、砂目は見られない。高台～底部は無釉である。47は陶器(薩摩焼)の小燈である。見込み中心部には中央に穴をあけた半円錐形の粘土を接合している。脚部中央には円錐形の穴がつけられている。褐釉が施され、脚部は無釉である。48は陶器の小型釜と考えられる。外面にはヘラケズリによる稜線が明瞭に残っている。透明釉が施されるが、受け部上面から内面にかけては無釉である。49は陶器の茶家(琉球系瑠璃紺茶家)の蓋である。沈線で描かれた円と星形部分の外枠は呉須で、星形の内側は茶色の顔料で彩色されている。50は陶器の播鉢の底部である。内面の溝はかなりシャープな感じを与える。底部外面にはカキメが施されており、器表は風化しているが褐釉が施され、底部は無釉である。51も陶器の播鉢の底部である。内面の溝は50に比べるとシャープさに欠け、外面にはカキメ状の痕跡が残る。器表は風化しているが褐釉が施され、底部は無釉である。

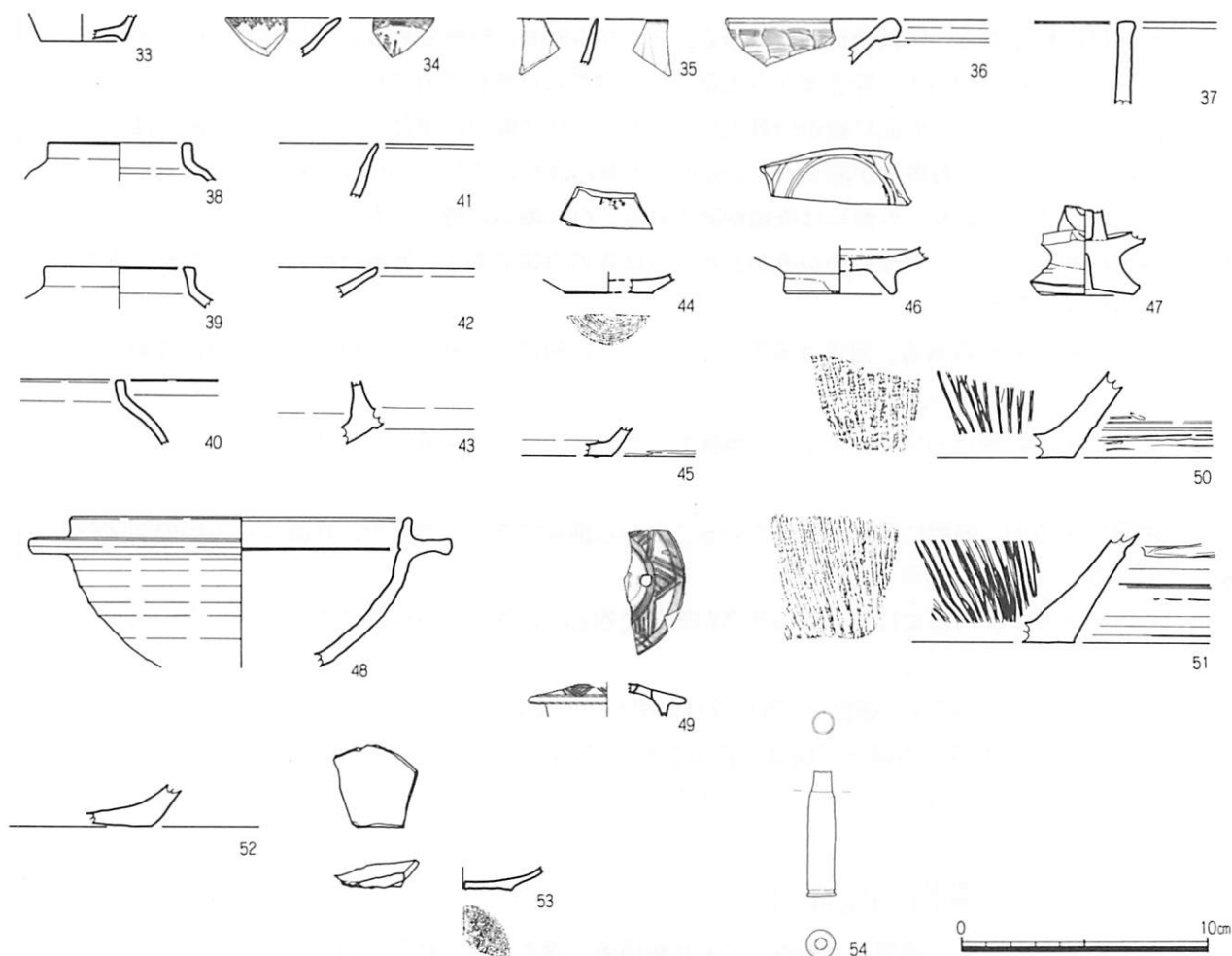


Fig. 14 3層出土の遺物 S = 1 / 3

52は土師器の杯の底部である。53は土師器の杯である。焼成前に半裁しており、底部には糸切りの痕跡が残る。

54は薬きょうである。

Fig.15の55は石鏃で、基部に抉入がある凹基無茎鏃と呼ばれるものである⁽²⁾。先端は欠損しているが、残存部の長さ2.8cm、最大幅2.25cm、厚さ0.55cmを測り、重さは1.92gである。石材は頁岩であると考えられる。刃部中央よりもやや上方に2カ所、わずかな抉りが観察できる。形態的特徴から縄文時代中期以降のものと考えられる。

縄文時代の石鏃については長さ1.0cm~3.0cm、重さ0.5~2.0gのものが多くとされていることから⁽²⁾、本遺跡出土の石鏃は長さ、重さともに上限に近い値となっている。

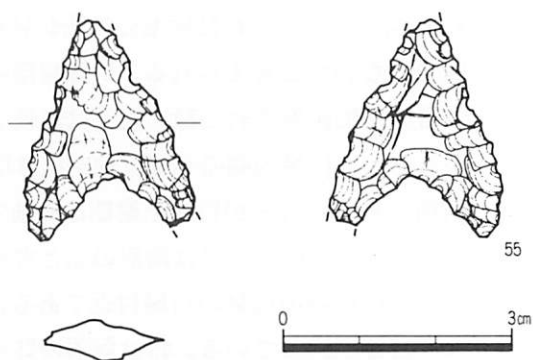


Fig. 15 3層出土の石鏃 S = 1 / 1

4. 4層出土の遺物 (Fig.16)

陶器が多く見られ、他に磁器や素焼き土器なども含まれる。陶器に施された釉は、風化したものが多いのがこの層からの出土品の特徴である。総数で約60点が出土している。

56は染付の碗の口縁部である。57は磁器の碗の口縁部である。58は青磁の碗の口縁部である。59は白磁

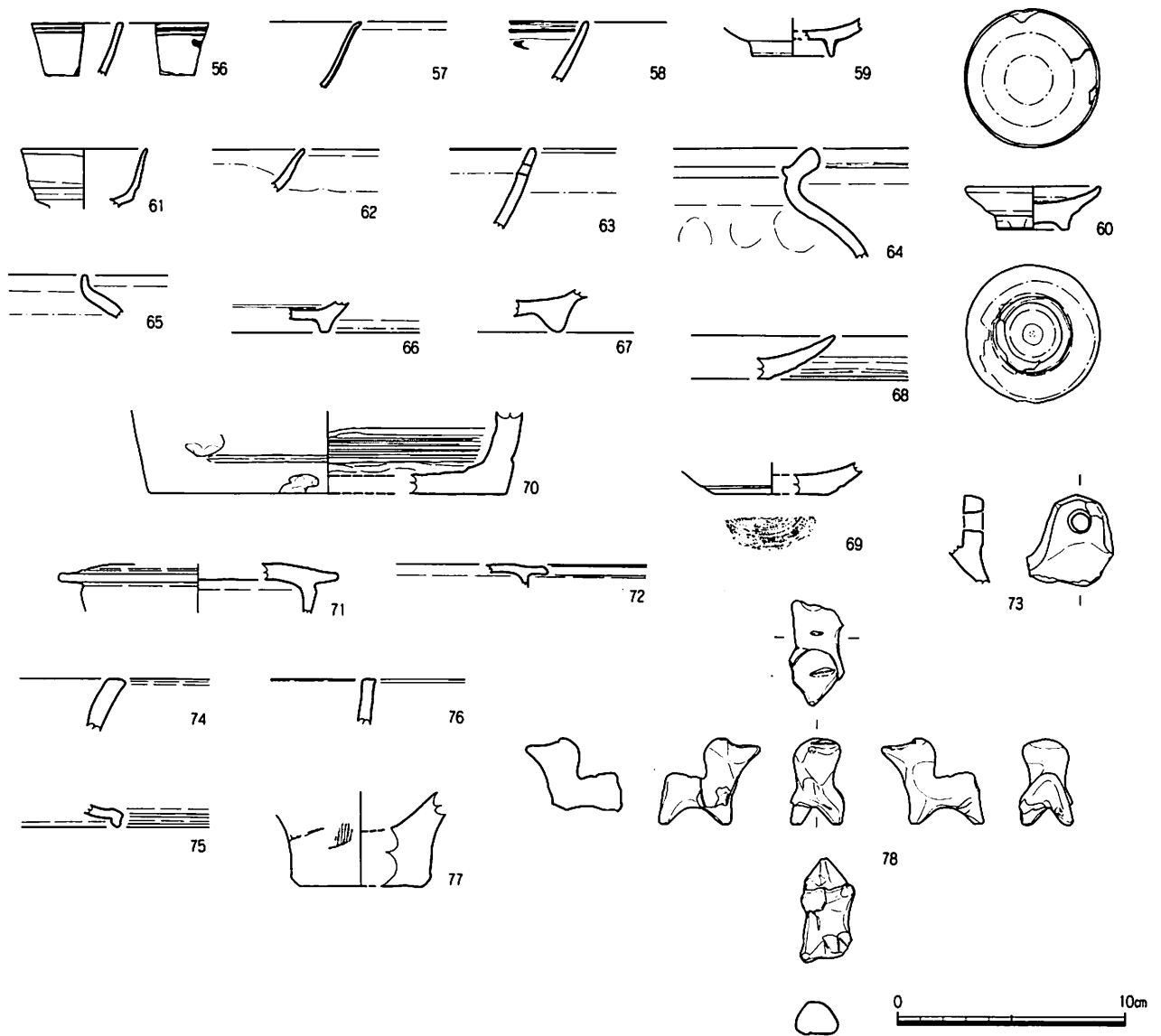


Fig. 16 4層出土の遺物 S = 1/3

の碗の底部である。高台下端付近は無釉である。

60は陶器（薩摩焼－龍門司系二彩灰褐釉）の杯である。見込みには蛇の目状に釉を掻き取った部分があるが、目砂は残っていない。高台から底部にかけては無釉である。61は陶器の仏飯碗ではないかと考えられる。62は陶器（薩摩焼－龍門司系二彩灰褐釉）の碗または杯であると考えられる。63は陶器であるが器種は不明である。口縁端部付近のみ内外とも施釉されているが、風化している。口縁部の下に外側から内側への穿孔がある。外面の穿孔部の周りには剝離した痕跡があることから、突起物状のものが付いていた可能性がある。64は陶器の甕の口縁～胴部である。口縁端部に胎土が付着し、内面にも一部釉が付着している。器表は風化している。65は陶器の壺あるいは茶家の口縁部である。器表は風化しているが、施された釉は黒釉と思われる。口縁上端部と内面下方は無釉である。66は陶器の碗の底部である。黒釉が施され、貫入が見られる。内面と高台下端部は無釉である。67は陶器で器種は不明であるが脚部である。脚は半球形状を呈する。おそらく褐釉が施され、底部の外面のみ無釉である。68は陶器の皿である。施された釉は緑釉と考えられる。内面底部付近と外面は無釉であるが、外面は部分的に釉が流れたように付着している。69は陶器の皿で器表は風化している。内面に施釉されており、底部には糸切りの痕跡が残る。70は陶器の甕である。底部付近の外面の一部に1条の沈線が見られ、底部外面の数カ所に胎土が付着している。器表

はかなり風化している。外面には釉が施され、底部の内外面は無釉であるが、部分的に釉が付着している。71は陶器の茶家の蓋である。天井部にのみ施された釉は黒釉と考えられる。72は陶器の蓋である。天井部にのみおそらく褐釉が施されている。73は陶器の茶家の釣手掛で器表は風化している。内面のみ無釉で、他はすべておそらく黒釉が施されている。

74は須恵器の甕の口縁部であると考えられる。75は須恵器の蓋である。

76は甕の口縁と考えられる。77は弥生土器の甕の底部である。外面にはハケメの痕跡がわずかに残っている。底部内面には炭化物が付着し、黒色を呈している。

78は犬形の土製品である。耳や目などは表現されていない。このような土製品は中世末～近世初頭にほぼ全国的に見られ、安産祈願などの土俗的な信仰にかかわる呪具と考えられる⁽³⁾。

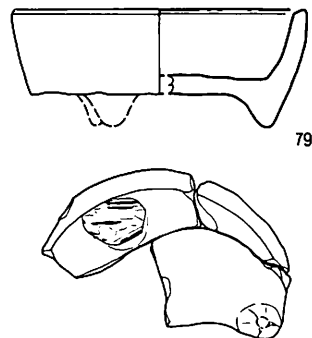


Fig. 17 5層出土の遺物 S = 1/3

5. 5層出土の遺物 (Fig.17)

素焼き土器など約10点が出土している。5層が確認されたのは調査区北半分のみであるので、分布状況と矛盾はしていない。

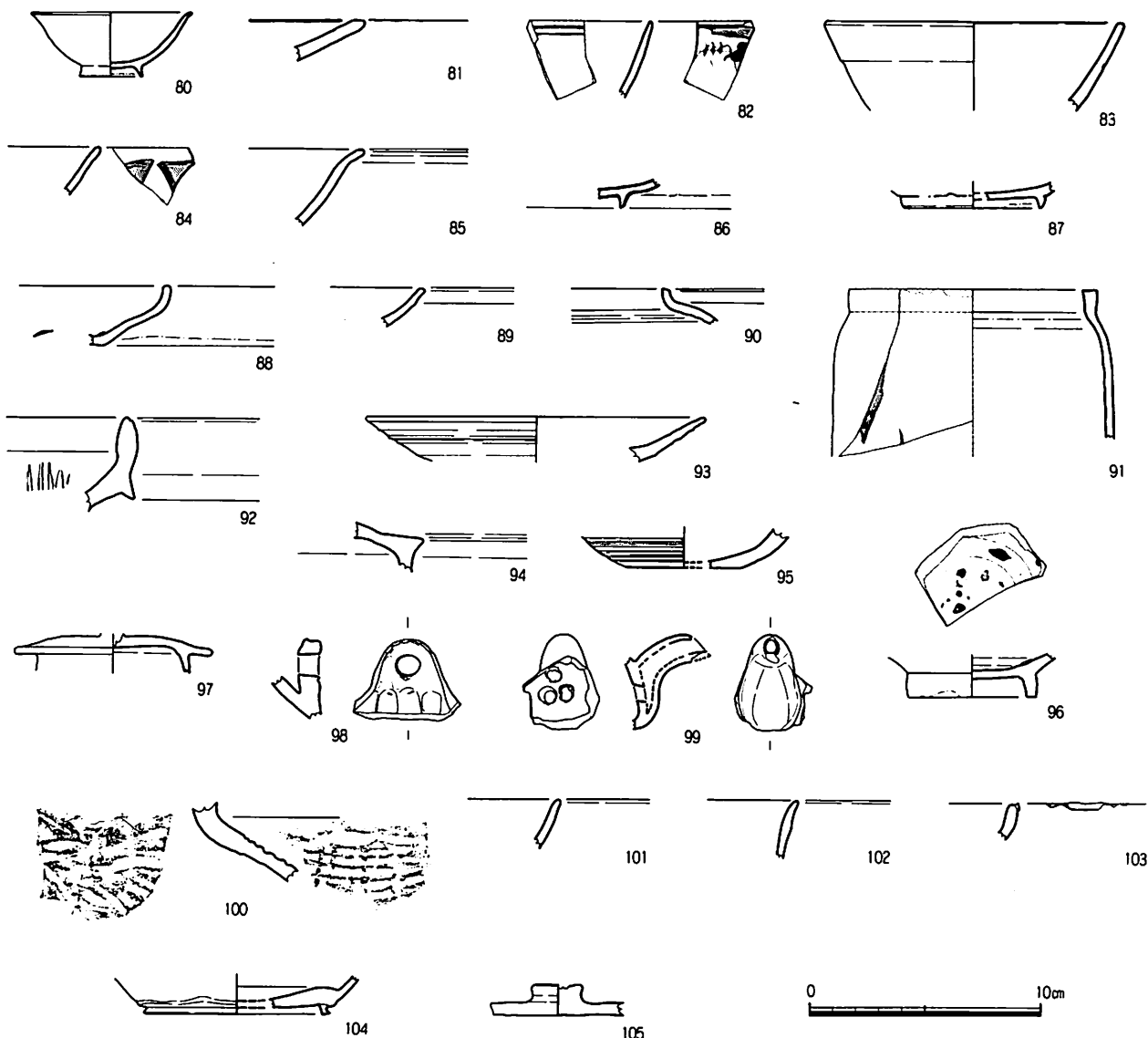


Fig. 18 6a層出土の遺物 (1) S = 1/3

79は脚付の杯である。脚は現在1個しか残っていないが、取り付けの痕跡などから、もともとは3カ所付いていたことがわかる。脚を取り付けた部分には接合しやすくするために、刻み目が施されている。

6. 6a層出土の遺物 (Fig.18・19)

素焼き土器が圧倒的に多くなる。他に、磁器、陶器、須恵器、土師器なども少量ではあるが含まれる。総数で約400点が出土している。

80は白磁の杯である。口縁端部付近でわずかに外方に屈曲する。高台下端部のみ無釉である。81は磁器であるが器種は不明である。飴釉が施され、口唇部は浅く刺突されている。82は染付の碗の口縁部である。83は青磁碗の口縁部である。内外面ともに貫入が見られる。84も青磁の碗で蓮弁が見られる。85は青磁の碗の口縁部であるが、釉の色は非常に薄い。86は白磁の皿である。高台の下端と内側は無釉である。87は磁器の皿と思われる。高台の下端は無釉である。

88は陶器の皿と考えられる。体部中央で外方に屈曲し口縁部付近で上方に立ち上がる。透明釉が施され、内外面には貫入が見られ、底部は無釉である。89は陶器の皿と考えられ黒釉が施される。90は陶器の茶家と考えられ、褐釉が施されている。口縁上端部は無釉である。91は壺と考えられる。呉須で模様が描かれ透明釉が施される。内外面に貫入があり、口縁端部の一部は無釉である。92は陶器の摺鉢の口縁部である。器表は風化しているが、黒釉が施されている。内面は無釉である。93は陶器の皿で、透明釉が施されている。94は陶器の蓋で、外面の釉は風化している。95は陶器の杯である。外面にはカキメが施され、底部外

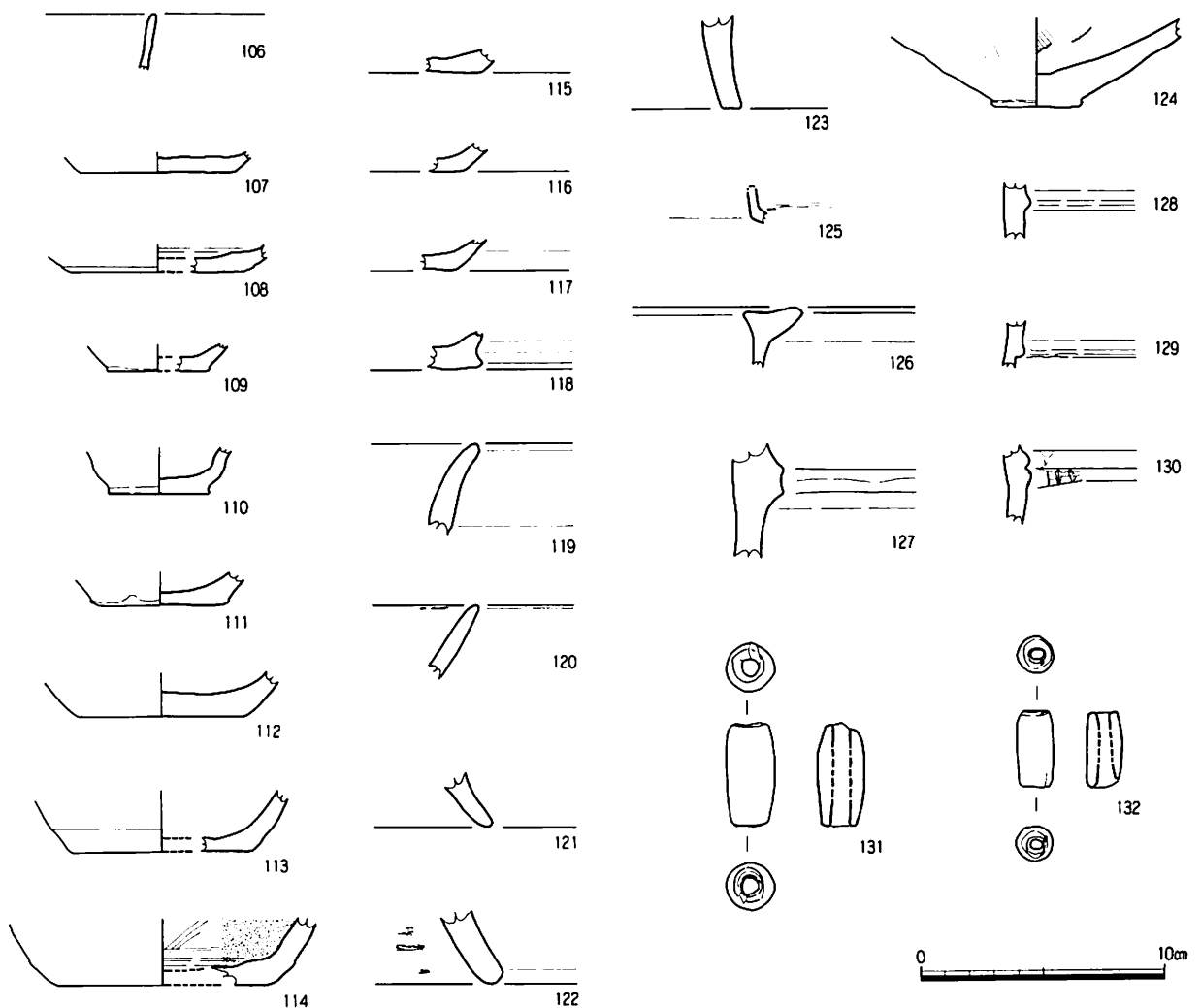


Fig. 19 6a層出土の遺物 (2) S = 1/3

面には部分的に炭が付着している。器表は風化しているが、おそらく黒釉が施されている。96は陶器の碗の底部である。見込みの内部には釉や胎土が付着している。透明釉が施され、高台の下端は無釉である。97は陶器（薩摩焼）の茶家の蓋である。天井部にのみ褐釉が施されている。98は陶器（薩摩焼）の茶家の釣り手掛である。下方には茶家本体と接合する際に付いたと思われるユビオサエの痕跡が残る。内面は無釉であるが、他はすべて黒釉が施されていると思われるが器表は風化している。99は陶器（薩摩焼）の茶家の注ぎ口である。おそらく褐釉が施され、内面は無釉である。

100は須恵器の甕の頸部から胴部である。酸化焰焼成になっている。101は須恵器の口縁部である、器種は不明であるが、壺の口縁かもしれない。102・103は須恵器であるが器種は不明である。104は須恵器の杯である。中村浩氏による編年⁽⁴⁾のⅣ型式に相当すると考えられる。105は須恵器の蓋のつまみ部である。中村編年のⅣ型式に相当すると考えられる。

106は土師器の碗の口縁部である。107は土師器の皿であると考えられ、糸切り底である。108は土師器の杯であると考えられる。109は土師器の小型皿で、糸切り底である。110は土師器であるが器種は不明である。111は土師器の杯か皿である。112・113は土師器の皿と考えられる。114は内黒土師器の碗である。内面はヘラミガキ、底部外面の一部にススが付着している。115・116は土師器の杯または皿の底部である。117は土師器の杯と考えられる。118は土師器の碗の底部である。

119は壺の口縁部である。120は甕の口縁部である。121・122は甕の脚部である。123は「成川式」土器の甕の脚部である。124は「成川式」土器の壺の底部である。底部はわずかに段を形成しており、底部の形態はほぼ平底である。内外面ともにハケメがわずかに残っている。125は「成川式」土器の埴または壺の頸部であると考えられる。126は弥生土器（黒髪式）の甕の口縁部である。127は弥生土器の大型甕の突帯部である。突帯はM字状を呈し、ヨコナデで調整している。128は甕または壺の突帯部である。129は甕の突帯部である。突帯の下方では、器壁がかなり薄くなっている。130は甕の突帯である。少なくとも2条以上あったことがわかる。

131・132は土錘である。いずれも紐ずれと考えられる痕跡が残っている。

7. 6b層出土の遺物 (Fig.20・21・22)

素焼き土器が圧倒的に多い。その他に、磁器、須恵器、「成川式」土器、土製品なども見られる。総数で約800点が出土している。

133は白磁であるが器種は不明である。134は白磁の皿で、外面に整形時の稜が残っている。135は白磁の碗であると考えられる。口縁は波状を呈し、内外面に貫入が認められる。136は磁器であるが器種は不明である。口縁端部付近のみ施釉されている。137は青磁の皿と考えられる。内外面に貫入が見られる。138は磁器の碗である。高台畳付部～高台内部は無釉である。139は青磁の碗と考えられる。内面見込みに蛇の目状に釉を掻き取った部分がある。高台畳付部～高台内部は無釉である。底部はかなり厚く、高台の見かけの高さは1.5cmほどもある。内外面に貫入が見られる。140は青磁の碗であり、底部内面で屈曲している。外面には縦方向に連弁の錆が見られる。高台内部は無釉である。

141は陶器の甕である。胴部にはカキメが施され、口縁部上端面の釉は拭き取られている。器表は風化のため白濁している。

142は須恵器であるが器種は不明である。

143は陶器の鉢の底部である。144は陶器の碗である。削り出しの高台を有し、高台畳付の付近は無釉である。底部はかなり薄い。

145は須恵器の杯の口縁部である。口縁端部付近の外面は少しくぼんでいる。146は須恵器の甕の口縁部

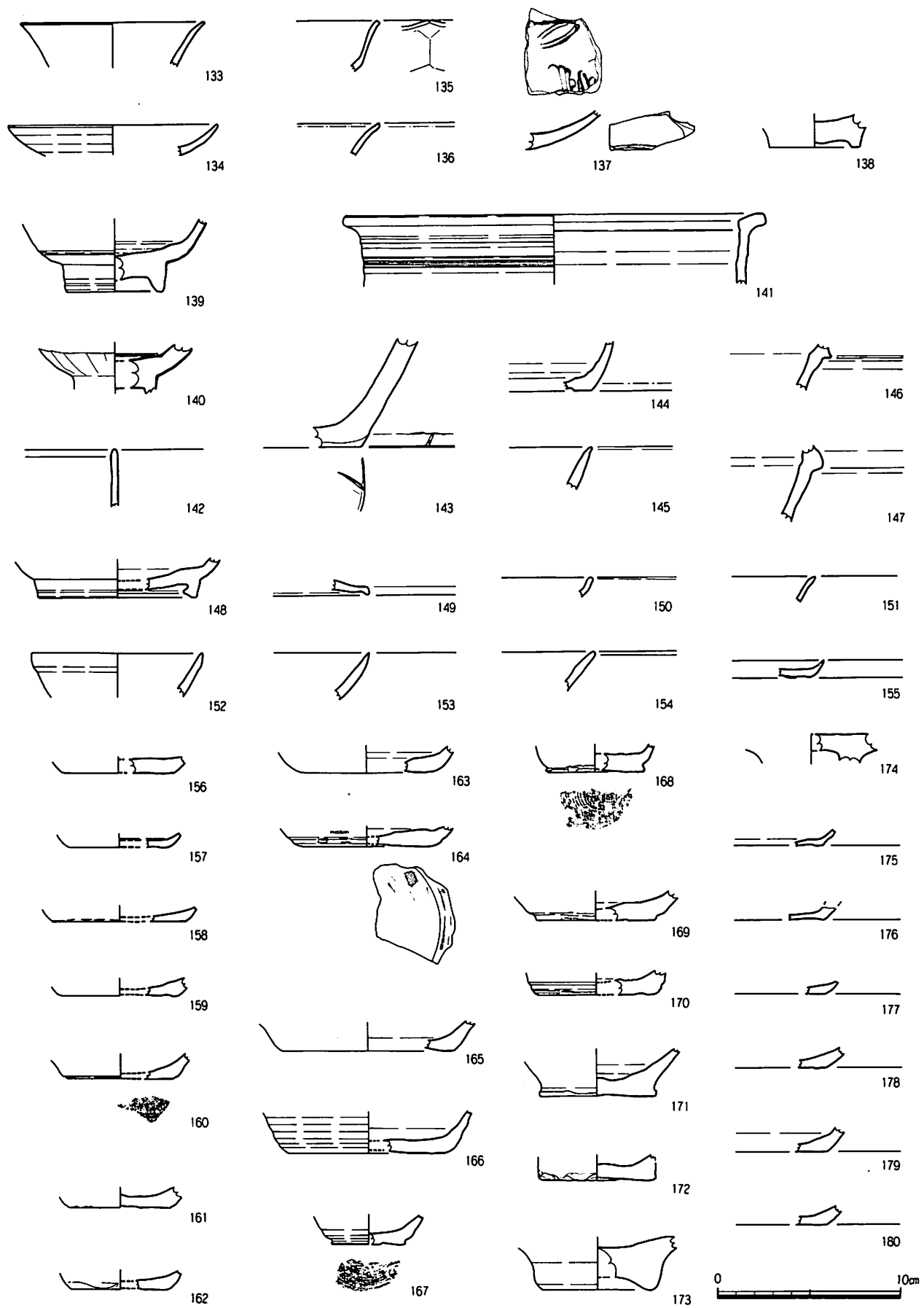


Fig. 20 6b層出土の遺物 (1) S = 1/3

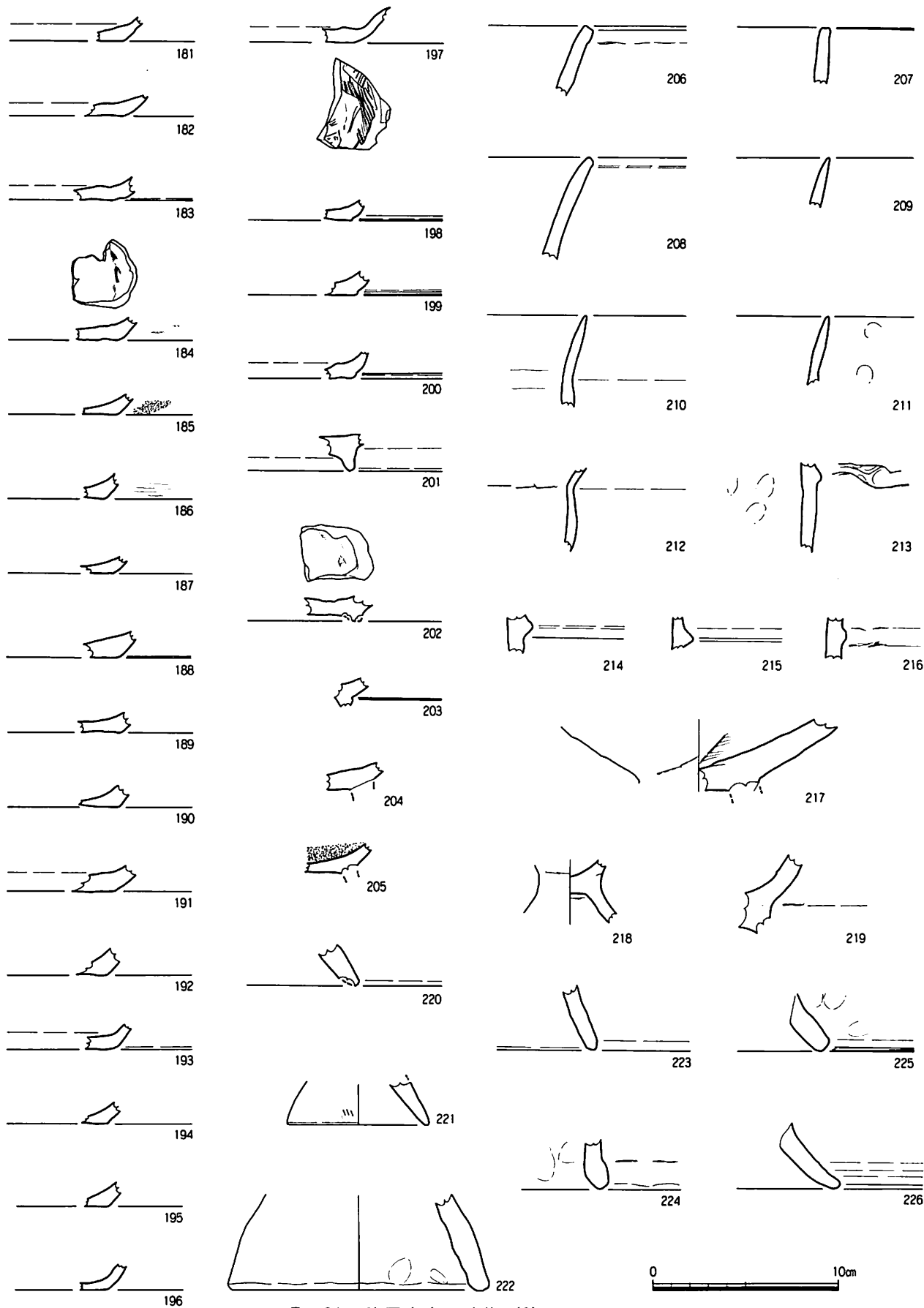


Fig. 21 6b層出土の遺物 (2) S = 1/3

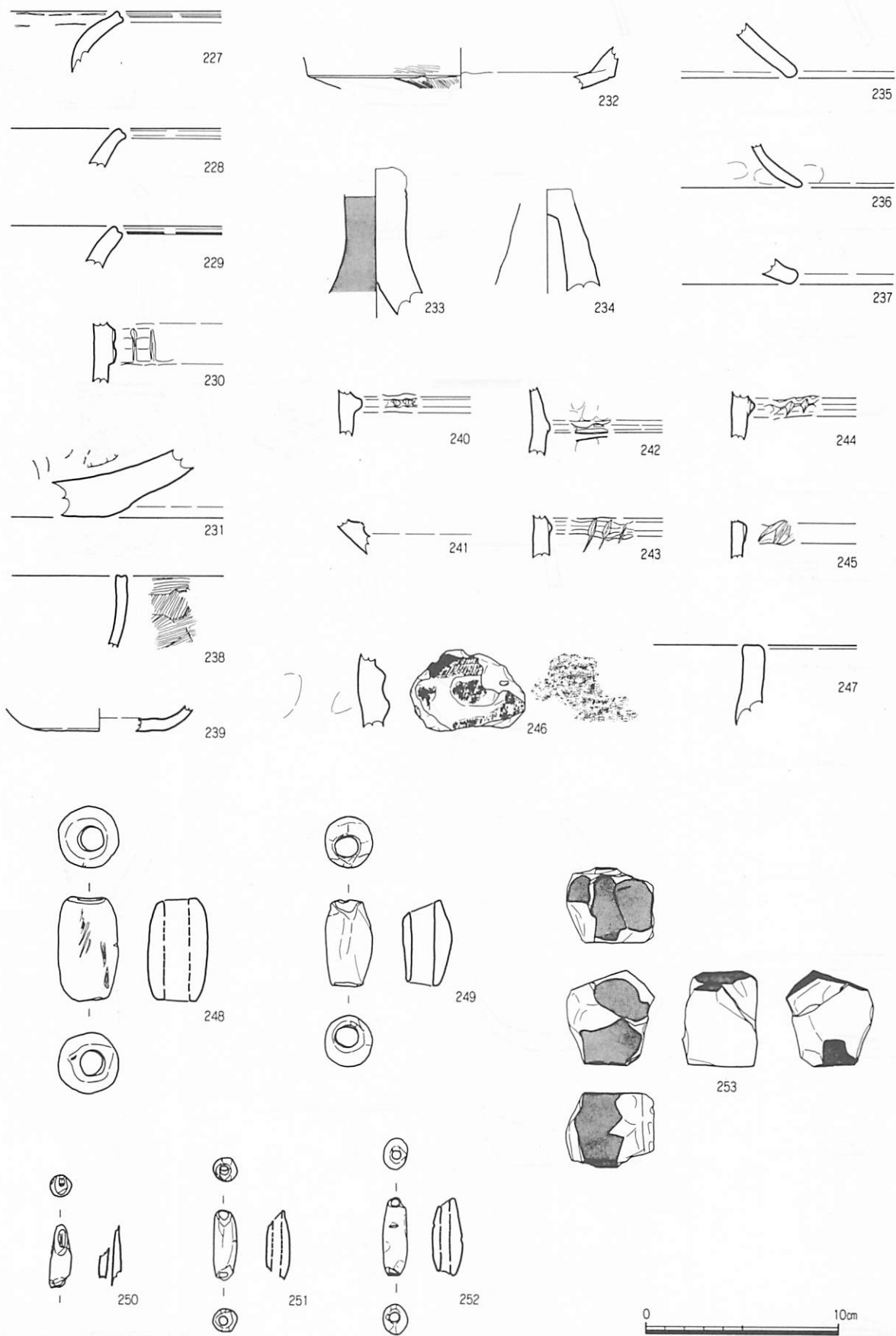


Fig. 22 6b層出土の遺物 (3) S = 1/3

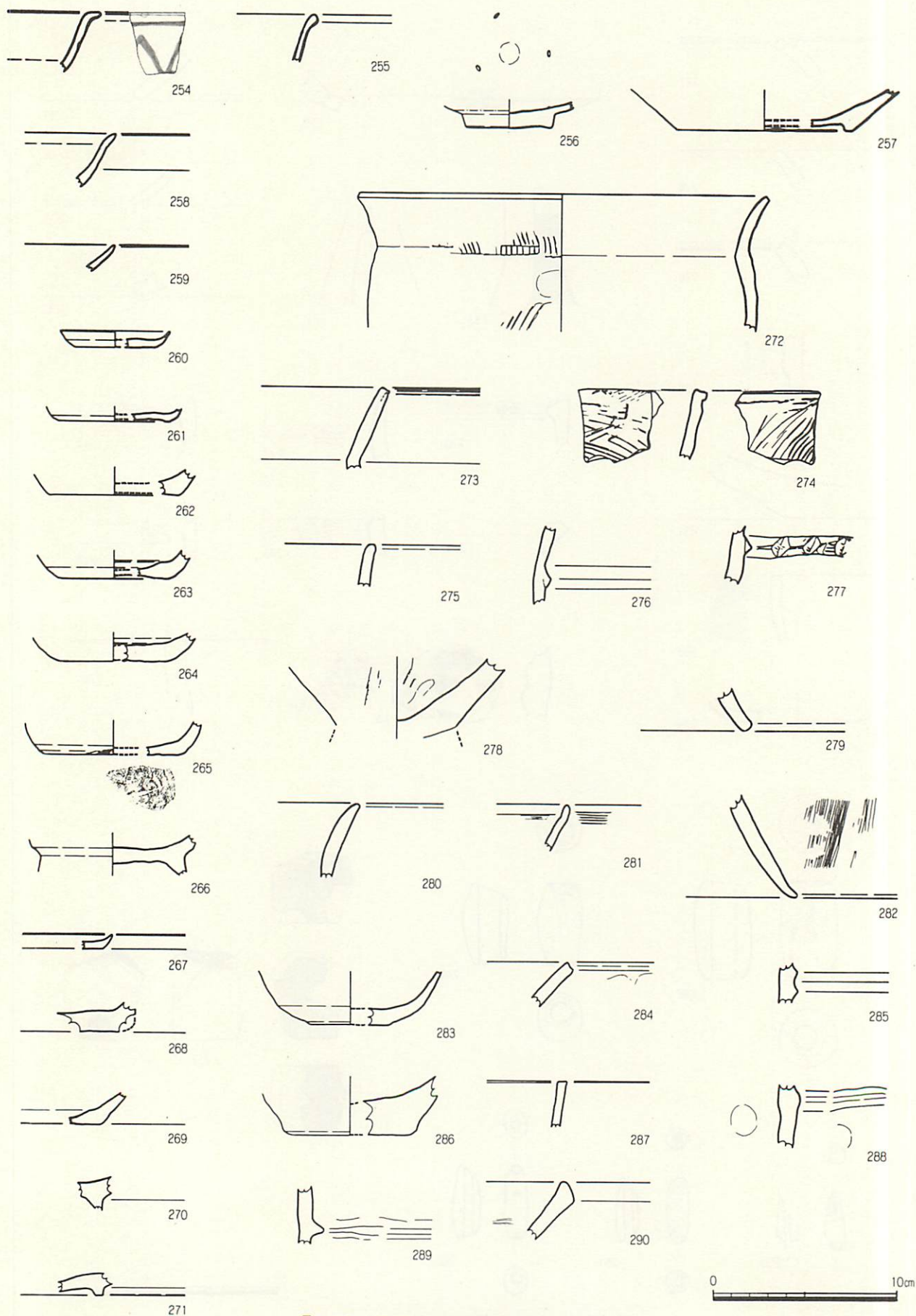


Fig. 23 7層出土の遺物 S = 1/3

であるが、口縁端部は欠損している。内外面ともに自然釉がかかっている。147は須恵器の甕の口縁部であるが、口縁端部は欠損している。口縁端部付近に自然釉が付着している。148は須恵器の杯の底部である。高台が内側に曲がっている。149は須恵器の蓋である。

150・151は土師器の皿あるいは杯であると考えられるが、小破片のため断定することはできない。152は土師器の碗である。口縁部の外面は上方に屈曲している。153は土師器の杯である。154は土師器の杯であると考えられる。155は土師器の皿で、糸切り底である。156は土師器の皿あるいは杯と考えられる。157は土師器の皿で、内外面に赤色顔料が見られる。158は土師器の皿で、糸切り底である。159は土師器の皿あるいは杯と考えられる。160は土師器の皿の底部で、糸切り底である。161は土師器の皿または杯と考えられ、底部はヘラ切りである。162は土師器の皿または杯である。163は土師器の杯と考えられる。164は土師器の杯と考えられる。底部外面と体部外面の一部に赤色顔料が見られる。165は土師器の皿または杯である。166は土師器の皿または杯である。他の土師器に比べやや赤みがかっていて、堅い感じを受ける。ヘラ切り底のようである。167は土師器の碗と考えられる。底部に段を有し、見かけ上の充実高台を形成している。糸切り底である。168は土師器の碗と考えられる。底部には高さ0.4cmほどの段を有しており、見かけ上、充実高台となっている。糸切り底である。169は土師器の杯または碗である。底部は高さ0.3cmほどの段を有しており、見かけ上の充実高台となっている。糸切り底である。170は土師器の杯または碗である。底部には高さ0.5cmほどの段があり、見かけ上の充実高台となっている。外面の一部に赤色顔料が見られる。糸切り底である。171は土師器の碗である。底部はすべて遺存している。底部には高さ0.4cmの段があり、見かけ上の充実高台となっている。172は土師器の杯または碗である。173は土師器の碗である。底部内面に黒斑が見られる。174は土師器の碗の底部である。175は土師器の皿である。176は土師器の皿で、糸切り底である。177は土師器の皿である。178は土師器の杯と考えられ、糸切り底である。179は土師器の皿または杯である。180～183は土師器の杯と考えられ、180と182は糸切り底である。184は土師器の杯と考えられる。底部付近の内面と体部の外面に赤色顔料が見られる。185は皿または杯である。外面の一部はやや黒みがかっていて、糸切り底である。186・187は土師器の皿または杯である。188は土師器の杯と考えられる。189・190は土師器の皿または杯である。191は土師器の杯である。192～195は土師器の皿または杯で、194は糸切り底である。196は土師器の皿で、糸切り底である。197は土師器の杯で、ヘラ切り底である。198は土師器の皿または杯で、底部にわずかな段を有する。199は土師器の皿または杯で、糸切り底である。200は土師器の皿と考えられる。201～204は土師器の碗の高台部分である。202は内面に赤色顔料がわずかに見られ、203は高台との接合部分にわずかに赤色顔料が見られる。204は高台が剥がれ落ちている。205は内黒土師器の碗である。ミガキの状態は不明である。高台は欠損している。

206は「成川式」土器の甕である。口縁端部が外方にごくわずかに肥厚している。207は甕の口縁部である。208は「成川式」土器の甕である。209は口縁部であるが器種は不明である。210は「成川式」土器の甕である。211は甕の口縁部と考えられる。212は「成川式」土器の甕の頸部である。213は「成川式」土器の甕の突帯部である。214～216も突帯部であるが器種は不明である。217は「成川式」土器の甕である。脚部は剝離している。218は甕の底部～脚部である。器壁は薄く小型である。219は「成川式」土器の甕である。脚部は剝離している。220・221は甕の脚端部である。222は「成川式」土器の甕の脚端部で、かなり大型である。223～226は甕(226は「成川式」)の脚端部である。225・226は接合面が露出している。227～229は壺の口縁部である。口縁端部がわずかにくぼんでいる。230は「成川式」土器の壺の突帯部である。突帯中央部をくぼませ、ヘラ状工具で突帯と直行に刺突している。いわゆる「幅広突帯」の範疇にはいるものである。231は「成川式」土器の壺の底部である。内面にはハケメの痕跡がわずかに残っている。232は弥生土器の高杯の杯部である。内外面に接合痕が残るがそれらの接合の状態は不明である。233は「成川式」土器の高杯である。胴部上方に横位の沈線が見られるが、杯部接合の目印として施された可能性があ

る。外面には赤色顔料が塗布されている。234は「成川式」土器の高杯である。上方には杯部との接合面が露出している。235～237は「成川式」土器の高杯の脚端部で、236は薄手である。238は「成川式」土器の埴の口縁部である。口縁端部はわずかにくぼんでいる。239は「成川式」土器の埴の底部と考えられる。内外面に赤色顔料が残っている。240は弥生土器の突帯部である。突帯の先端には刻みが施されている。241は弥生土器の壺の突帯である。242～244は突帯部である。243と244には突帯の上からヘラ状工具による刺突が施されている。とくに243の刺突の痕跡は器壁上にも残っている。245は突帯部である。突帯の上をハケ原体で斜め方向に刺突している。246は布目圧痕が残る土器片と考えられる。突帯部分の可能性もあるが断定はできない。247は口縁部の破片であるが器種は不明である。

248～252は土錘で、248は大型、249は中型、他は小型である。248は外面の一部に黒斑が見られる。249・251・252は端部の一部が抉れたりすり減ったりしており、紐ずれの痕跡の可能性はある。

253は表面が滑らかなことから、砥石として用いられていたと判断した。なお、遺存している面は網掛けで示した。

8. 7層出土の遺物 (Fig.23)

素焼き土器がやはり多い。その他に、須恵器、土師器、「成川式」土器、弥生土器なども見られる。総数は約300点である。

254は青磁の碗である。口縁端部で外方に屈曲し、外面には片彫りによる連弁文様が施されている。内外面とも貫入が見られる。255は青磁の碗である。口縁端部付近でやや外方に屈曲する。内外面に貫入が見られる。256は陶器の碗で透明釉が施されている。内面見込みには目跡が3カ所見られる。充実高台の置付部は無釉である。257は磁器の碗と考えられるが、径が大きいと他の器種の可能性もある。釉は風化している。体部の器壁に比べ底部の器壁が厚いため、見かけ上の高台が形成されている。

258は土師器の碗である。口縁端部が外方にやや屈曲する。外面にススあるいは黒斑が付いている。259は土師器の杯と考えられる。260は土師器の皿で、糸切り底であると考えられる。261は土師器の皿で、糸切り底である。262・263・264は土師器の皿である。265は土師器の皿で、ヘラ切り底である。266は土師器の碗である。267は土師器の皿である。268は土師器であるが器種は不明である。269は土師器の杯で、糸切り底である。270・271は土師器の碗である。

272は「成川式」土器の甕である。口縁部で外方に屈曲し、口縁端部は平坦面を有する。東原式⁽⁶⁾に属すると考えられる。273は甕である。口縁部は外方に屈曲し、口縁端部の先端はわずかにくぼんでいる。中津野式あるいは東原式に属すると考えられる。274は甕である。口縁端部付近の外面には接合痕が見られ、口縁上端部はわずかにくぼんでいる。275は甕の口縁部である。276は「成川式」土器の甕の突帯部である。突帯の上方から器壁は外反している。277は甕の突帯部分である。突帯の上部から斜め方向にハケ工具を押しつけることによって、刻み目突帯としている。278は「成川式」土器の甕である。脚部は剝離しており残っていない。279は「成川式」土器の甕の脚部である。280は「成川式」土器の高杯の口縁部である。281は器種は不明だが口縁部であると思われる。口縁端部付近でわずかに上方に屈曲し、口縁端部は丸みをおびている。282は「成川式」土器の高杯の脚部である。283は「成川式」土器の埴の底部と考えられる。284は壺の口縁部で、口縁上端部はわずかにくぼんでいる。285は弥生土器の突帯部である。286は弥生土器の壺である。底部にはハケ工具を刺突したような直線的なくぼみがあるが、底部にハケを施したのかどうかは不明である。287は甕の口縁部である。288は突帯部分である。突帯はそれほど高くない。289は「成川式」土器の甕の突帯であると思われる。突帯の形状は略三角形を呈する。290は素焼きの土器であるが器種は不明である。

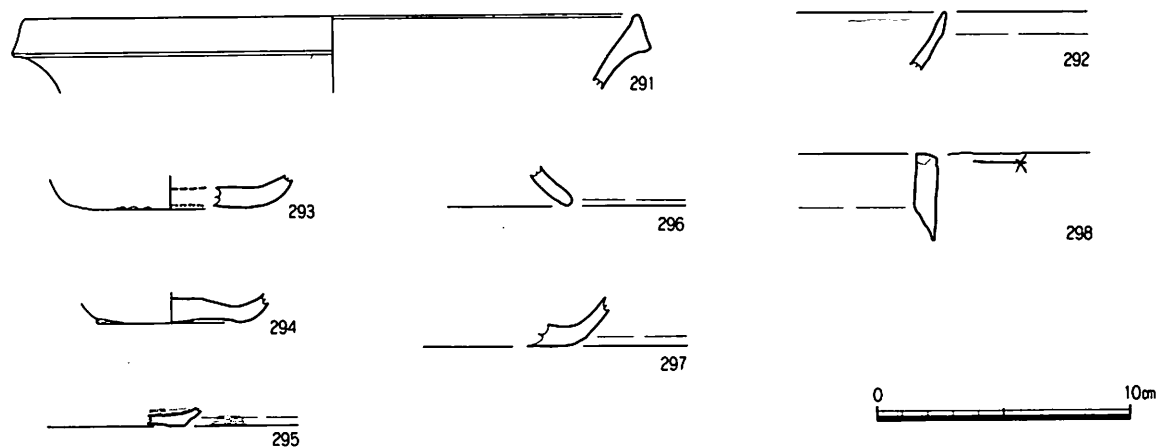


Fig. 24 8層出土の遺物 S = 1/3

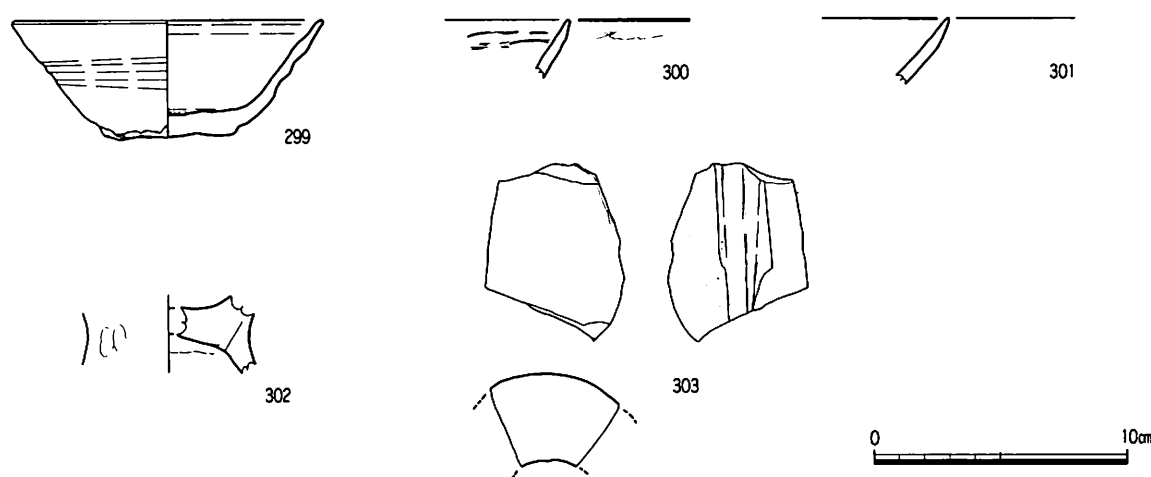


Fig. 25 9層出土の遺物 S = 1/3

9. 8層出土の遺物 (Fig.24)

素焼き土器の他、陶器、土師器、「成川式」土器など、総数で約10点が出土している。

291は陶器の甕または挿鉢であると考えられる。しかし、残存部では無釉であり、また、内面に溝は見られない。

292は土師器の皿または杯である。293・294は土師器の皿あるいは杯で、糸切り底である。295は土師器の皿である。内外面に赤色顔料が塗布されており、糸切り底である。

296は「成川式」土器の高杯の脚部である。脚端部は丸みを帯びている。297は土師器の杯あるいは「成川式」土器の罎であると考えられる。

298は素焼き土器であるが器種は不明である。下端部は割れているが、その部分の厚さはわずか1mmほどしかない。

10. 9層出土の遺物 (Fig.25)

素焼き土器の他、土師器、「成川式」土器、弥生土器などが出土している。総数で約25点が出土している。

299は土師器の碗で、復元の結果完全な形を知ることができた。比較的狭い場所からまとまって出土し、割れ口も磨滅していないことから、9層の形成時期を表す資料と考えられる。なお、10層から出土した破

片1点がこの碗に接合した。ロクロ整形の痕跡をよく残している。底部は高さ3～4mmの段を有し、見かけ上の充実高台となっており、底部はへら切りである。平安時代のもと考えられる。300は土師器の碗の口縁部である。口縁端部はわずかに平坦面を有する。口縁端部外面に弱い屈曲が見られる。301は土師器の碗の口縁部である。

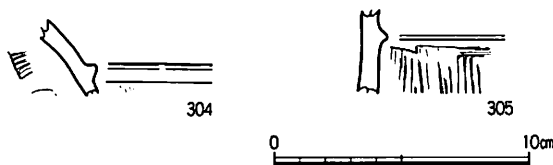
302は甕の底部である。

303は復元すると管状になることと、外面にススが付着している部分があることから、フィゴの羽口の破片であると考えた。

11. 10層出土の遺物 (Fig.26)

素焼き土器の他、土師器、弥生土器も見られる。総数は約25点ほどである。

304は壺の突帯部である。突帯は略三角形を呈する。 Fig. 26 10・12層出土の遺物 S = 1/3 304: 10層 305: 12層



12. 11層出土の遺物

素焼き土器が2点出土しているが、いずれも小破片のため図化できなかった。

13. 12層出土の遺物 (Fig.26)

素焼き土器が2点出土している。

305は甕の突帯部である。突帯取り付け後タテハケが施されている。

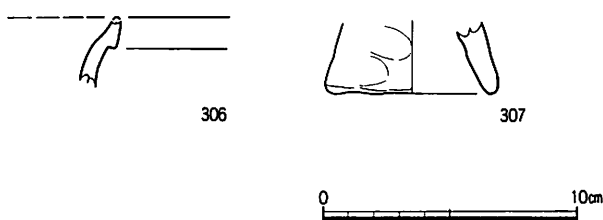


Fig. 27 その他の遺物 S = 1/3

14. その他の遺物 (Fig.27)

306は6層から出土した須恵器の甕の口縁部であると考えられるが、口縁端部は欠損している。

307は廃土中より採集した「成川式」土器の甕の脚部である。

註

(1) 磁器、陶器の説明には、以下の文献等を参考にした。

向田民夫「日本の陶磁9 薩摩」保育社、1978

本田道輝・下山覚編「大龍遺跡－大龍小学校校舎改築及び給食室建設に伴う第5次・第6次緊急発掘調査報告書－」鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(7)、鹿児島市教育委員会、1986

出口浩編「大龍遺跡－大龍小学校体育館建設工事に伴う第7次緊急発掘調査報告書－第1集 歴史時代編 大龍寺跡」鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(15)、鹿児島市教育委員会、1992

弥栄久志編「鹿児島城二之丸跡(遺物編)－鹿児島県立図書館・鹿児島県立視聴覚センター建設に伴う発掘調査報告書－」鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書(60)、鹿児島県教育委員会、1992

矢部良明・水尾比呂志・岡村吉右衛門「日本のやきもの④ 薩摩・民窯」講談社、1992

上田耕編「南別府城跡－城山遺跡－」鹿児島県知覧町埋蔵文化財発掘調査報告書第4集、鹿児島県知覧町教育委員会、1993

(2) 鈴木道之助「図録石器入門辞典 縄文」柏書房、1991

(3) 斎宮歴史博物館・三重県埋蔵文化財センター「三重県の祭祀遺跡－まつりのかたちさまざま－」斎宮歴史博物館・三重県埋蔵文化財センター、1994

(4) 中村浩「和泉陶邑窯の研究－須恵器生産の基礎的考察－」柏書房、1981

Tab. 3 遺物観察表

| 図番号 | 器種 | 部位 | 出土層 | 色 調・釉 調 | 胎土・磁胎 | 調整・施文 | 遺物番号 | 備 考 |
|-----|-----|--------|-----|---|---------------------------|---|------|--|
| 1 | 皿 | 完形 | 1 | 外面・内面：透明釉，器肉：HueN8/0灰白色 | | 施釉 | 2 | 白磁，口径9.90cm，高台径5.58cm（反転復元残存約1/8），器高1.83cm |
| 2 | 杯 | 体部～高台部 | 1 | 外面・内面・高台外内面：透明釉，高台畳付部・器肉：HueN8/0灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉，高台畳付部：釉掻き取り；調整不明 | 2 | 白磁，高台径2.58cm（反転復元残存約1/6） |
| 3 | 杯 | 体部～高台部 | 1 | 外面・内面・高台外内面：透明釉，高台畳付部・器肉：HueN7/0灰白色 | | 施釉，高台畳付部：釉掻き取り；調整不明 | 41 | 白磁，高台径2.10cm（残存約3/4） |
| 4 | 碗 | 口縁部 | 1 | 外面・内面：透明釉，文様：Hue10BG 6/1 青白色，器肉：Hue5YR3/4暗赤褐色 | | 施釉：文様 | 40 | 染付 |
| 5 | 徳利？ | 口縁部 | 1 | 外面：Hue7.5YR4/2灰褐色，内面：Hue5YR4/4にぶい赤褐色に類似，口唇部：Hue5YR5/4にぶい赤褐色，器肉：Hue5YR3/4暗赤褐色 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉，口唇部：釉掻き取り；ヨコナデ | 39 | 陶器（薩摩焼） |
| 6 | 鉢 | 底部 | 1 | 外面・内面一部：Hue 7.5Y6/3 オリーブ黄色，外面一部・内面：Hue 10BG2/1 青黒色，器肉外側：HueN3/0暗灰色，内側：HueN5/0灰色，褐釉？ | 白透明砂粒・白色細砂粒・黒色微細粒をわずかに含む。 | 施釉，内面：無釉；回転ナデ，一部釉付着 | 46 | 陶器 |
| 7 | 杯 | 底部 | 1 | 外面・内面・底面：Hue7.5YR8/3 浅黄橙色，器肉：Hue7.5YR8/2灰白色 | 白色微細粒をわずかに含む。 | 外面：ナデ，内面：回転ナデ，底面：糸切り痕 | 44 | 土師器，焼成前に半分に切断されている。 |
| 8 | 杯 | 完形 | 2 | 外面・内面・高台外内面：透明釉，文様：Hue5PB3/1暗青灰色に類似・Hue5YR5/6明赤褐色，高台畳付部・器肉：Hue10Y8/1灰白色 | 黒色微細粒をわずかに含む。 | 施釉：外面文様，高台畳付部：釉掻き取り；調整不明 | 31 | 磁器 |
| 9 | 碗 | 口縁部 | 2 | 外面・内面：透明釉，器肉：HueN8/0灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉 | 51 | 白磁 |
| 10 | 碗 | 口縁部 | 2 | 外面・内面：透明釉，文様：Hue5PB5/1に類似 | 黒色微細粒をわずかに含む。 | 施釉：外面蝶文 | 53 | 染付 |
| 11 | 碗 | 口縁部 | 2 | 外面・内面：Hue 5Y7/1灰白色，文様：Hue 5B3/1暗青灰色，器肉：HueN7/0灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉：外面文様 | 81 | 染付 |
| 12 | 皿 | 口縁部 | 2 | 外面・内面：Hue 5G7/1明緑灰色，文様・口唇部：Hue5PB3/1暗青灰色に類似，器肉：HueN7/0灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉：外面貫入 | 49 | 染付，口径6.65cm（反転復元残存約1/6） |
| 13 | 碗 | 口縁部 | 2 | 外面・内面：Hue 5G7/1明緑灰色，文様：Hue5PB2/1青黒色・Hue5PB3/1暗青灰色に類似，器肉：HueN8/0灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉：外面・内面貫入 | 73 | 染付 |
| 14 | 碗 | 口縁部 | 2 | 外面・内面：Hue2.5GY8/1灰白色，文様：Hue 10BG7/1明青灰色，器肉：HueN8/0灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉：外面・内面貫入 | 99 | 染付 |
| 15 | 瓶 | 口縁部 | 2 | 外面・内面：HueN8/0灰白色，器肉：HueN9/0白色 | | 施釉 | 33 | 白磁，口径3.06cm（反転復元残存約1/3） |
| 16 | 碗 | 体部～高台部 | 2 | 外面・内面：透明釉，文様：Hue5PB3/1暗青灰色に類似，内面一部・器肉：Hue 2.5Y8/2灰白色 | 黒色微細粒を若干含む。 | 施釉，内面見込部一部：釉掻き取り？回転ナデ？，高台畳付部：釉掻き取り？調整不明 | 32 | 磁器，高台径4.18cm（反転復元残存約1/3） |
| 17 | 碗 | 体部～高台部 | 2 | 外面・内面・高台内面・器肉：HueN8/0灰白色，文様：Hue5PB4/1暗青灰色に類似・Hue 10GY5/1緑灰色に類似・Hue 7.5Y7/2灰白色，高台畳付部：Hue5YR7/6橙色 | | 施釉，高台畳付部：釉掻き取り；調整不明 | 77 | 磁器，高台径8.18（反転復元元疑問残存約1/8） |
| 18 | 蓋 | 口縁部 | 2 | 外面・内面：透明釉，文様：Hue 10BG3/1暗青灰色に類似，受部外面・器肉：HueN8/0灰白色 | | 施釉，口縁部（受部）外面：釉掻き取り；回転ナデ | 95 | 染付 |
| 19 | 不明 | 脚部 | 2 | 穿孔部以上・下端部：透明釉，文様：Hue7.5YR2/2黒褐色，外面無釉部・器肉：HueN8/0灰白色 | | 施釉，無釉部：調整不明，穿孔直径5mm | 73 | 磁器 |
| 20 | 碗 | 口縁部 | 2 | 外面・内面：透明釉，文様：Hue 7.5Y4/2灰オリーブ色，器肉：Hue2.5Y8/1灰白色 | 黒色細砂粒をわずかに含む。微細粒を若干含む。 | 施釉：外面・内面貫入，口縁端部：釉掻き取り？無釉？ | 30 | 陶器，口径9.12cm（反転復元元疑問残存約1/8） |
| 21 | 甕？ | 口縁部 | 2 | 外面・内面：Hue7.5YR2/2黒褐色，口唇部：Hue5YR6/3にぶい橙色，器肉：Hue5YR7/6橙色，鉄釉 | 白透明砂粒・細砂粒を含む。 | 外面・内面：顔料塗付，回転ナデ，口唇部：無顔料 | 22 | 陶器 |
| 22 | 鉢 | 口縁部 | 2 | 外面・内面：Hue 10YR3/4暗褐色，器肉：Hue5YR3/4暗赤褐色，鉄釉 | 黒色・白色細砂粒を若干含む。 | 施釉：整形に伴う凹凸が明瞭，口縁部：外へつまみ出し | 2017 | No 5 トレンチ（西側），薩摩焼 |

| 図番号 | 器種 | 部位 | 出土層 | 色調・釉調 | 胎土・磁胎 | 調整・施文 | 遺物番号 | 備考 |
|-----|-----|--------|-----|--|--------------------------------|---|------|--------------------------------------|
| 23 | 甕 | 口縁部 | 2 | 外面・内面：Hue 5Y6/3オリーブ黄色，器肉：Hue 5YR5/4にぶい赤褐色，鉄釉 | 灰色砂粒を若干含む。細砂粒を含む。 | 自然釉がかかって調整不明 | 4 | 陶器 |
| 24 | 鉢 | 底部 | 2 | 外面：Hue 10YR5/3にぶい黄褐色，内面：Hue 2.5Y3/3暗オリーブ褐色，底面：Hue 7.5YR3/3暗褐色，器肉：Hue 7.5YR5/2灰褐色 | 砂粒を若干含む。細砂粒を含む。 | 施釉，外面：無釉；回転ヘラケズリ（反時計まわり），底面：無釉；調整不明 | 112 | 陶器 |
| 25 | 杯？ | 体部～底部 | 2 | 外面：Hue 10YR3/4暗褐色，外面一部・底面：Hue 10YR8/2灰白色，内面：Hue 7.5YR2/3極暗褐色，器肉：Hue 10YR8/1灰白色，褐釉 | 黒色・白色微細粒を若干含む。 | 施釉，外面底部附近：無釉；調整不明，底面：無釉；糸切り痕 | 6 | 磁器，底径4.39cm（反転復元残存約 1/2弱） |
| 26 | 不明 | 口縁部？ | 2 | 外面・口唇部：Hue 10YR5/2灰黄褐色，内面・器肉：Hue 7.5YR6/4にぶい橙色 | 白色粗砂粒・赤色・白色砂粒を若干含む。微細粒をわずかに含む。 | 外面・内面：工具によるナデ，外面内面上部・口唇部：ヨコナデ | 2017 | No 5 トレンチ（西側） |
| 27 | 擂鉢 | 不明 | 2 | 外面：Hue 10YR2/1 黒色・Hue 7.5YR6/3にぶい褐色，内面：Hue 5YR6/4にぶい橙色，器肉：Hue 5YR6/6橙色 | 白色砂粒を若干含む。白色・黒色細砂粒を若干含む。 | 外面：円形刺突文（直径3mm深さ1mm），内面：沈線（幅2mm深さ1mm）7本？交差している。 | 2017 | 陶器，No 5 トレンチ（西側） |
| 28 | 杯 | 底部 | 2 | 外面・内面・器肉：Hue 7.5YR7/4にぶい橙色 | 白色その他微細粒を若干含む。 | 外面：ナデ，内面：回転ナデ，凹凸（整形時），底面：糸切り痕 | 47 | 土師器，底径6.40cm（反転復元残存約 1/5） |
| 29 | 皿 | 底部？ | 2 | 外面・器肉・切断面：Hue 7.5YR8/4 浅黄褐色，内面：Hue 7.5YR8/2灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 外面・内面：回転ナデ，底面：糸切り痕 | 61 | 土師器，焼成前に半分に切断されている。 |
| 30 | 高杯 | 脚部 | 2 | 外面：Hue 5YR7/4にぶい橙色，内面：Hue 5YR6/6褐色，赤色顔料部：Hue 7.5YR5/8明褐色 | 黒色・白色・赤色細砂粒を含む。微細粒を若干含む。 | 外面：ハケメ赤色顔料塗付，脚端部：ヨコナデ | 58 | 「成川式」，脚径 12.22cm（反転復元残存約 1/8） |
| 31 | 不明 | 不明 | 2 | 外面：Hue 7.5YR8/4 浅黄褐色，器肉：Hue 5YR7/6褐色，赤色礫：Hue 2.5YR5/8明赤褐色 | 赤色礫・透明・白透明・黒色砂粒を若干含む。細砂粒を含む。 | 上面：回転ナデ，溝（幅2.5mm深さ0.5mm），内面・底面：接合面？ | 20 | |
| 32 | 土鈴？ | | 2 | 外面・内面・器肉：Hue 5YR7/3にぶい橙色 | 微細 | 外面：ナデ，径6mmの穿孔 | 24 | |
| 33 | 不明 | 体部～高台部 | 3 | 外面・内面・高台内面：透明釉，器肉：Hue N8/0灰白色 | 黒色細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 施釉，高台畳付部：釉掻き取り；調整不明 | 139 | 白磁，高台径3.36cm（反転復元残存約 1/5） |
| 34 | 碗？ | 口縁部 | 3 | 外面・内面：透明釉，文様：Hue 5PB3/1暗青灰色に類似，器肉：Hue N7/0灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉 | 109 | 染付 |
| 35 | 不明 | 口縁部 | 3 | 外面・内面：Hue 2.5GY6/1オリーブ灰色，文様：Hue 10BG5/1青灰色，口唇部：Hue 7.5YR4/4褐色・2/3極暗褐色，器肉：Hue 5P4/1暗紫灰色 | 黒色・白色微細粒を若干含む。 | 施釉 | 123 | 染付 |
| 36 | 浅鉢？ | 口縁部 | 3 | 外面・内面：Hue 10YR2/3 黒褐色・Hue 2.5Y6/4にぶい黄色，器肉：Hue 5YR3/4暗赤褐色，褐釉 | 白色微細粒をわずかに含む。 | 施釉 | 136 | 陶器 |
| 37 | 小鉢 | 口縁部 | 3 | 外面・内面：Hue 2.5Y8/2灰白色，器肉：Hue 10YR2/2 黒褐色・Hue 10YR8/1灰白色 | 透明微細粒をわずかに含む。 | 施釉 | 83 | 陶器（白薩摩） |
| 38 | 茶家 | 口縁部 | 3 | 外面：Hue 10YR2/2 黒褐色，内面：透明釉・Hue 2.5Y4/3オリーブ褐色，内面一部・口唇部・器肉：Hue 2.5YR4/4にぶい赤褐色，黒釉 | 透明・黒色細砂粒を若干含む。 | 施釉，口縁～上部部：釉掻き取り；調整不明，口縁部内面一部：釉掻き取り；回転ナデ | 72 | 陶器（黒薩摩），口径 5.80cm（反転復元残存約 1/6） |
| 39 | 茶家 | 口縁部 | 3 | 外面・口唇部：Hue 10YR3/1 黒褐色，内面：Hue 10YR2/2 黒褐色，内面一部：Hue 2.5YR3/2 暗赤褐色，器肉：Hue 7.5YR4/6褐色，黒釉 | 黒色細砂粒をわずかに含む。微細粒を若干含む。 | 施釉，内面一部：釉掻き取り；回転ナデ | 93 | 陶器（黒薩摩），口径 6.10cm（反転復元残存約 1/6） |
| 40 | 不明 | 口縁部？ | 3 | 外面：Hue 10YR5/4にぶい黄褐色，内面：Hue 10YR6/3にぶい黄褐色，口唇部：Hue 5YR2/2 黒褐色，器肉：Hue 2.5YR5/4にぶい赤褐色，鉄釉？ | 黒色・白色細砂粒をわずかに含む。白色微細粒を若干含む。 | 施釉，口縁上部部；無釉 | 120 | 陶器 |
| 41 | 碗？ | 口縁部 | 3 | 外面・内面：Hue 2.5Y4/1 黄灰色，器肉：Hue 5B5/1 青灰色，黒釉 | 白色細砂粒をわずかに含む。 | 施釉 | 138 | 陶器 |
| 42 | 皿？ | 口縁部 | 3 | 外面・器肉：Hue 5YR4/3にぶい赤褐色内面：Hue 10YR3/4 暗褐色，褐釉？ | 黒色・白色・透明微細粒をわずかに含む。 | 施釉，外面：釉掻き取り；回転ナデ | 91 | 陶器 |
| 43 | 擂鉢？ | 口縁部付近 | 3 | 外面・内面・器肉：Hue 2.5YR5/6 明赤褐色，外面下半部：Hue 5YR3/2 暗赤褐色 | 白色細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 回転ナデ，外面下半部：施釉？ | 17 | 釉かなり風化 |
| 44 | 皿 | 底部 | 3 | 外面・底面・器肉：Hue 10BG3/1 暗青灰色，内面：Hue 5Y3/2オリーブ黒色 | 白色微細粒を若干含む。 | 外面：回転ナデ，内面：施釉，砂目，底面：糸切り痕 | 114 | 陶器，底径3.42cm（反転復元残存約 1/3），砂目は1mm大の砂粒。 |

| 図番号 | 器種 | 部位 | 出土層 | 色調・釉調 | 胎土・磁胎 | 調整・施文 | 遺物番号 | 備考 |
|-----|--------|---------|-----|---|--|---|------|---|
| 45 | 鉢? | 底部? | 3 | 外面・器内外側：Hue 2.5Y3/1黒褐色，内面：Hue 5Y3/1オリーブ黒色，器肉内側：Hue 2.5YR3/6暗赤褐色 | 白色細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 施釉，底面：粘土付着 | 98 | 陶器 内面に砂目 |
| 46 | 碗 | 体部～高台部 | 3 | 外面：Hue 2.5YR2/2極暗赤褐色，外面一部：Hue 5YR3/4暗赤褐色，内面：Hue 5YR3/6暗赤褐色，内面一部：Hue 10YR8/3浅黄褐色，高台内面・畳付部・器肉：Hue 5YR6/6橙色，飴釉 | 白色・黒色細砂粒をわずかに含む。微細粒を含む。 | 施釉，外内面一部：釉掻き取り；回転ナデ，高台内面：無釉；回転ナデ，高台畳付部：無釉；調整不明 | 131 | 陶器，高台径4.58(反転復元残存約 1/2弱) |
| 47 | 燈器(小燈) | | 3 | 外面・内面：Hue 10YR4/3におい黄褐色，外面下部・脚内面・器肉：Hue 5YR7/6橙色，半円錐形粘土部外内面：Hue 10YR2/1黒色，半円錐形粘土部器肉：Hue 2.5YR6/1赤灰色，褐釉 | 細砂粒をわずかに微細粒を若干含む。半円錐形粘土部：白色細砂粒をわずかに微細粒を若干含む。 | 施釉，外面下部・脚内面：無釉；回転ナデ，半円錐形粘土部：施釉 | 70 | 陶器(薩摩)，脚径4.42cm(完全) |
| 48 | 小型の釜? | 口縁部～胴部 | 3 | 外面：Hue 5Y6/2灰オリーブ色，受上部・たちあがり部・内面・器肉：Hue 10YR8/2灰白色，透明釉 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉：外面受部直下まで回転ヘラケズリ，受上部・たちあがり部・内面：無釉；回転ナデ | 84 | 陶器，口径 13.95cm(反転復元残存約 1/8) |
| 49 | 蓋 | 天井部～口縁部 | 3 | 外面：Hue 10Y8/1灰白色・Hue 5PB5/1青灰色に類似・Hue 5Y4/4暗オリーブ色，内面：Hue N8/0灰白色，器肉：Hue 2.5Y8/3淡黄色 | 黒色微細粒をわずかに含む。 | 施釉，文様：沈線で円と星を施文，円と星の外側は青，星の内側は茶で施釉，内面：無釉；回転ナデ | 76 | 陶器(琉球系瑠璃紺茶家)，天井部最大径6.49cm(反転復元残存約 1/3) |
| 50 | 擂鉢 | 底部 | 3 | 外面：Hue 2.5YR2/4極暗赤褐色・Hue 7.5Y5/2灰オリーブ色，内面：Hue 2.5YR3/3暗赤褐色，器肉：Hue 10R4/4赤褐色，褐釉 | 白色・透明砂粒・細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 外面：カキメ，一部自然釉，内面：溝 | 59 | 陶器 |
| 51 | 擂鉢 | 胴部～底部 | 3 | 外面：Hue 7.5YR3/4暗褐色・Hue 5Y6/2灰オリーブ色，内面：Hue 5YR3/2暗赤褐色，器肉外側：Hue 5YR4/3におい赤褐色，内側：Hue 2.5YR5/6明赤褐色，褐釉 | 茶褐色砂粒をわずかに含む。黒色・白色細砂粒を若干含む。 | 施釉，外面：カキメ?，内面：溝(1mm幅) | 59 | 陶器 |
| 52 | 杯 | 底部 | 3 | Hue 10YR8/2灰白色 | 黒色微細粒をわずかに含む。 | 摩滅，調整不明 | 117 | 土師器 |
| 53 | 杯 | 底部 | 3 | Hue 10YR8/2灰白色 | | 回転ナデ，底面：糸切り痕 | 50 | 土師器，焼成前に半分に切断されている。 |
| 54 | 葉莖 | 完全 | 3 | | | | 122 | 長さ 5.15cm，最大径 1.2cm，重さ 9.10g |
| 55 | 石鏃 | | 3 | 表面：Hue N5/0灰色，器肉：Hue 5B1.7/1青黒色 | | | 37 | 頁岩製，長さ 2.80cm，最大幅 2.25cm，厚さ 0.55cm，重さ 1.92g，先端部欠損 |
| 56 | 碗 | 口縁部 | 4 | 外面・内面：Hue 5B7/1明青灰色，文様：Hue 5B4/1暗青灰色に類似，器肉：Hue N8/0灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉：外内面文様 | 127 | 染付 |
| 57 | 碗 | 口縁部 | 4 | 外面：Hue 10GY6/1緑灰色に類似，Hue 10GY8/1 Hue 2.5Y6/4 Hue N8/0灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉：内面わずかな貫入 | 143 | 磁器 |
| 58 | 碗 | 口縁部 | 4 | 外面・内面：Hue 10Y6/2オリーブ灰色，器肉：Hue N7/0灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉：内面，文様：片彫り | 198 | 青磁 |
| 59 | 碗 | 体部～高台部 | 4 | 外面・内面・高台内面：Hue 10BG7/1明青灰色に類似，器肉：Hue N8/0灰白色 | | 施釉，高台畳付部：釉掻き取り；調整不明 | 203 | 白磁，高台径 3.58cm(反転復元残存約 1/6) |
| 60 | 杯(高台付) | 完形 | 4 | 外面：Hue 10YR4/3におい黄褐色・Hue 2.5Y6/2灰黄色，外内面一部・高台内面・高台畳付部：Hue 7.5YR5/2灰褐色，内面：Hue 5Y7/2灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉，高台部外内面・畳付部：無釉；回転ナデ，内面一部：釉掻き取り；回転ナデ | 104 | 龍門司系二彩灰濁釉，口径 5.95cm 高台径 3.12cm(ほぼ完全) |
| 61 | 仏飯碗? | 口縁部～高台部 | 4 | 外面・内面：Hue 2.5Y6/4におい黄色，外面最下部・器肉：Hue 10YR7/3におい黄褐色 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉，外面最下部：無釉；調整不明 | 204 | 陶器，口径 5.53cm(反転復元残存約 1/6) |
| 62 | 碗・杯? | 口縁部 | 4 | 外面・内面上部部：Hue 5Y6/2灰オリーブ色，外面最下部・内面下部部：Hue 10YR4/3におい黄褐色，器肉：Hue 10YR2/2黒褐色 | 微細粒を若干含む。 | 施釉 | 135 | 龍門司系二彩灰濁釉 |
| 63 | 不明 | 口縁部 | 4 | 外面・内面・口唇部：Hue 7.5Y7/2灰白色に類似，外内面一部・器肉：Hue 2.5YR6/8橙色，器肉中央部：Hue 2.5YR2/3極暗赤褐色 | 黒色・白色微細粒を若干含む。 | 施釉，外内面一部：無釉；回転ナデ，口縁部直下穿孔(直径 4mm)外→内，周辺：粘土突出・釉剥落 | 199 | 陶器 釉：風化 |
| 64 | 甕 | 口縁部～頸部 | 4 | 外面・内面・口唇部：Hue 2.5GY3/1暗オリーブ灰色，外内面口唇一部：Hue 5YR3/3暗赤褐色，器肉：Hue 10BG4/1暗青灰色 | 白色砂粒・細砂粒を若干含む。 | 施釉：外面かなり剥落，内面一部自然釉，内面下部部：ユビオサエ，外内面上部部・口唇部：無釉；ヨコナデ，口縁端部：胎土付着 | 113 | 陶器 釉：風化 |

| 図番号 | 器種 | 部位 | 出土層 | 色調・釉調 | 胎土・磁胎 | 調整・施文 | 遺物番号 | 備考 |
|-----|---------|-------------|-----|---|------------------------------|--|----------|---|
| 65 | 壺(茶家?) | 口縁部~胴部 | 4 | 外面: Hue 10YR2/3黒褐色, 外面頸部以下・内面: Hue 2.5GY3/1暗オリーブ灰色に類似, 器肉: Hue 2.5YR5/6明赤褐色, 黒釉? | 黒色・赤色細砂粒を若干含む。 | 施釉, 口唇部: 釉掻き取り; 調整不明 | 239 | 陶器 釉: 風化 |
| 66 | 碗 | 体部~高台部 | 4 | 外面・高台内面: Hue 10R1.7/1赤黒色, 内面・高台外面・畳付部・器肉: Hue 5Y7/1灰白色, 黒釉 | | 施釉, 高台外面・畳付部: 釉掻き取り; 調整不明, 内面: 無釉; 回転ナデ | 191 | 陶器 |
| 67 | 不明 | 脚部? | 4 | 外面: Hue 10R3/4暗赤色, 内面: Hue 7.5R3/4暗赤色, 外面一部: Hue 5YR5/2灰褐色, 器肉: Hue N5/0灰色, 褐釉? | 細砂粒を若干含む。 | 施釉, 外面一部: 無釉; 調整不明 | 183 | 陶器, 半球形状の突起 |
| 68 | 皿 | 完形 | 4 | 外面・内面: Hue 10YR3/4暗褐色, 外面一部: Hue 10YR3/2黒褐色, 器肉: Hue 7.5YR5/2灰褐色, 緑釉? | 白色砂粒・白色細砂粒をわずかに含む。 | 施釉, 外面一部: 無釉; 回転ナデ, 底部: 糸切り痕 | 212 | 陶器 |
| 69 | 皿 | 底部 | 4 | 外面・底面: Hue 2.5YR4/4にぶい赤褐色, 内面: Hue 7.5YR7/1明褐灰色, 内面一部・器肉: Hue 10YR5/6赤色 | | 施釉, 外面: 無釉; 回転ナデ, 内面一部: 無釉; 調整不明, 底面: 無釉; 糸切り痕 | 204 | 陶器, 底径4.92cm (回転復元残存約 1/3) |
| 70 | (小型) 甕 | 底部 | 4 | 外面・内面一部・底面一部: Hue 2.5GY6/1オリーブ灰色, 内面: Hue 5B4/1暗青灰色, 底面: Hue 5R2/1赤黒色, 器肉: Hue 10R4/3赤褐色 | 白色・黒色・透明の砂粒を若干含む。細砂粒を含む。 | 施釉: 外面(内面・底面の一部も), 内面上半部: 回転ナデ, 下半部: カキメ状, 内面・底面の一部に釉や粘土が付着, 外面凹部に施釉 | 204 | 陶器, 底径 15.62cm (回転復元残存約 1/6) 外面: 釉風化 |
| 71 | 蓋(茶家) | 天井部~口縁部(受部) | 4 | 外面: Hue 2.5Y7/2灰黄色・2.5Y3/1黒褐色, 受部外面: Hue 2.5Y6/1灰黄色, 内面・器肉: Hue 10R5/6赤色, 黒釉? | 細砂粒を若干含む。 | 施釉, 口縁部(受部)外面: 無釉; 回転ナデ, 内面: 無釉; 回転ナデ | 183 | 陶器, 最大径 12.15cm (回転復元残存約 1/5) |
| 72 | 蓋 | 天井部~口縁部(受部) | 4 | 外面: Hue 2.5YR3/4暗赤褐色, 受部外面・器肉: Hue 2.5YR6/6褐色, 内面: Hue 2.5YR4/3にぶい赤褐色, 褐釉 | 微細粒を若干含む。 | 施釉, 口縁部(受部)外面・内面: 回転ナデ | 2019 | 陶器, No 5 トレンチ (西側) |
| 73 | 茶家 | 釣手掛け | 4 | 外面: Hue 5Y3/1オリーブ黒色, 内面: Hue 2.5YR3/4暗赤褐色, 器肉: Hue 2.5YR6/4にぶい橙色, 黒釉? | 白色・黒色・赤色細砂粒を若干含む。微細粒をわずかに含む。 | 施釉: 穿孔部も施釉, 内面: 釉掻き取り; 調整不明 | 19 | 陶器 |
| 74 | 甕? | 口縁部? | 4 | Hue N6/0灰色 | 黒色細砂粒を若干含む。微細粒をわずかに含む。 | 回転ナデ | 133 | 須恵器 |
| 75 | 蓋杯の蓋 | 口縁部 | 4 | Hue 5B5/1青灰色 | 微細粒をわずかに含む。 | 回転ナデ | 2003 | 須恵器, No 3 トレンチ |
| 76 | 甕 | 口縁部 | 4 | Hue 2.5Y8/2灰白色 | 白色細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 回転ナデ | 2019 | 素焼, No 5 トレンチ (西側) |
| 77 | 甕 | 脚部 | 4 | 外面: Hue 5YR6/6褐色, 内面: Hue 10BG1.7/1青黒色, 底面・器肉: Hue 7.5YR7/3にぶい橙色 | 白色・黒色微細粒を含む。 | 外内面・底面: ナデ, 外面下半部: ヨコ方向のナデ, 内面: 黒色(炭化物付着) | 18 | 弥生土器, 脚径6.02cm (回転復元残存約 1/3) |
| 78 | 土製品(犬型) | | 4 | Hue 2.5Y7/1灰白色・Hue 2.5Y5/1黄灰色 | 白色・黒色細砂粒を若干含む。 | ナデ, 一条沈線(目に相当?), 足接合部に刻み目を入れている。 | 237 | 手づくね, 高さ3.70cm (足2本欠損) |
| 79 | 杯(脚付) | 完形 | 5 | 外面・内面・底面: Hue 5YR3/4暗赤褐色, 外面・内面・底面の一部・器肉: Hue 10R5/6赤色 | 微細粒をわずかに含む。 | 回転ナデ, 底面: ナデ, 脚接合部に接合を助けるため溝を切っている | 222, 223 | 口径 11.60cm (回転復元残存約 1/3), 脚3本 |
| 80 | 杯 | 完形 | 6 a | 外面・内面: Hue 2.5GY8/1灰白色に類似, 高台畳付部・器肉: Hue N8/0灰白色 | | 施釉, 高台畳付部: 釉掻き取り; 調整不明 | 490 | 白磁, 口径7.02cm・高台径2.70cm (ほぼ完全) |
| 81 | 皿? | 口縁部 | 6 a | 外面・内面: Hue 7.5GY8/1明緑灰色, 外内面口縁端部: Hue 5GY7/1明オリーブ灰色, 口唇部: Hue 5YR4/3にぶい赤褐色, 器肉: Hue N8/0灰白色, 鉛釉 | 微細粒をわずかに含む。器肉に直径1mmの穴 | 施釉, 口唇部: ユビオサエ状の刻み目 | 708 | 磁器 |
| 82 | 碗 | 口縁部 | 6 a | 外面・内面: Hue 10GY8/1明緑灰色に類似, 文様: Hue 5PB4/1暗青灰色に類似, 器肉: Hue N8/0灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉 | 185 | 染付 |
| 83 | 碗 | 口縁部 | 6 a | 外面・内面: Hue 2.5GY5/1オリーブ灰色, 器肉: Hue 10YR7/1灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉: 外内面貫入 | 473 | 青磁, 口径 12.80cm (回転復元残存約 1/7) |
| 84 | 碗? | 口縁部 | 6 a | 外面・内面: Hue 2.5Y5/3黄褐色, 器肉: Hue 7.5YR6/2灰褐色 | | 施釉, 文様: 整形時に形を作り, その部分に厚く釉を施す, 鑄状の蓮弁文 | 418 | 青磁 |

| 図番号 | 器種 | 部位 | 出土層 | 色調・釉調 | 胎土・磁胎 | 調整・施文 | 遺物番号 | 備考 |
|-----|-------|----------|-----|--|--------------------------|--|----------|----------------------------------|
| 85 | 碗? | 口縁部 | 6 a | 外面・内面: Hue 5G6/1 緑灰色, 器肉: HueN7/0 灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉 | 599, 613 | 青磁 |
| 86 | 皿 | 体部~高台部 | 6 a | 外面・内面・高台内面: 白透明釉 Hue5GY8/1 灰白色に類似, 器肉: HueN8/0 灰白色 | 微細粒を含む。 | 施釉, 高台外面: 磁胎付着 | 477 | 白磁 |
| 87 | 皿? | 体部~高台部 | 6 a | 外面・内面・高台内面: 透明釉, 器肉: HueN8/0 灰白色 | 微細粒を若干含む。 | 施釉, 高台付部: 釉掻き取り; 調整不明 | 491 | 磁器, 高台径6.02cm (反転復元残存約 1/6) |
| 88 | 皿? | 完形 | 6 a | 外面・内面: 透明釉, 文様: Hue 7.5Y4/2 灰オリブ色・Hue10R3/6 暗赤色・Hue10G6/1 緑灰色, 外面最下部・底面: Hue 2.5Y8/2 灰白色, 器肉: HueN8/0 灰白色, 透明釉 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉: 外内面貫入, 外面最下部・底面: 無釉; 調整不明 | 709 | 陶器 |
| 89 | 皿? | 口縁部 | 6 a | 外面・内面: Hue5YR2/3 極暗赤褐色, 器肉: Hue5YR5/6 明赤褐色, 黒釉 | | 施釉 | 485 | 陶器 |
| 90 | 茶家? | 口縁部 | 6 a | 外面・内面上半部: Hue 7.5Y2/2 オリブ黒色, 内面下半部・口唇部: Hue7.5YR3/3 暗褐色, 器肉: Hue 10BG4/1 暗青灰色, 褐釉? | 細砂粒を若干含む。 | 施釉, 内面下半部・口唇部: 無釉; 回転ナデ | 331 | 陶器 |
| 91 | 壺? | 口縁部~胴部 | 6 a | 外面・内面: 透明釉, 文様: Hue 5B4/1 暗青灰色, 内面一部・口唇一部・器肉: Hue 2.5Y8/1 灰白色, 外面口縁端部一部: Hue5YR6/8 橙色, 透明釉 | 黒色微細粒をわずかに含む。 | 施釉: 外内面貫入, 外面口縁端部一部・内面一部・口唇一部: 釉掻き取り; 回転ナデ | 709 | 陶器, 口径 10.83 (反転復元残存約 1/8) |
| 92 | 播鉢 | 口縁部 | 6 a | 外面上半部: Hue5YR3/1 黒褐色, 下半部: Hue2.5YR3/3 暗赤褐色, 内面: Hue10R4/2 灰赤色, 器肉: HueN4/0 灰白色, 黒釉 | 白色砂粒・黒色細砂粒を若干含む。 | 回転ナデ, 外面施釉, 内面下半部: 幅1mmの溝(タテ方向)4本? | 260 | 陶器 |
| 93 | 皿 | 口縁部 | 6 a | 外面・内面口縁端部: Hue 5Y6/2 灰オリブ色, 内面: Hue 5Y6/3 オリブ黄色, 器肉: Hue 2.5Y8/1 灰白色, 透明釉 | 黒色砂粒を若干含む。微細粒をわずかに含む。 | 施釉, 外面: 回転ナデ? 内面: わずかな黒斑 | 464 | 陶器, 口径 14.70cm (反転復元径疑問残存約 1/8) |
| 94 | 蓋? | 天井部~口縁部 | 6 a | 外面天井部: Hue 10YR4/3 におい黄褐色, 内面・口縁部外面: Hue 2.5Y5/3 黄褐色, 器肉: Hue7.5YR8/1 灰白色・HueN5/0 灰白色 | | 外面上半部: 調整不明, 荒れている, 外面下半部・内面: 回転ナデ | 637 | 陶器 外面: 釉風化 |
| 95 | 杯 | 底部 | 6 a | 外面: Hue10R4/3 赤褐色・Hue 10YR2/2 黒褐色, 内面: Hue 2.5Y7/2 灰黄色に類似, 器肉: Hue2.5YR6/4 におい橙色, 黒釉? | 微細粒を若干含む。 | 外面: カキメ, 炭付着, 内面: 施釉 | 481 | 陶器, 底径4.95cm (反転復元残存約 1/6) |
| 96 | 碗 | 体部~高台部 | 6 a | 外面・高台内面: Hue 2.5Y8/1 灰白色・Hue7.5YR6/4 におい橙色, 内面: Hue 2.5Y8/1 灰白色, 内面附着物: Hue 5Y2/1 黒色, 器肉: Hue 2.5Y8/2 灰白色, 透明釉 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉, 外面一部: 釉剝落, 高台付部: 釉掻き取り; 回転ナデ, 内面: 釉・胎土が付着, 貫入 | 196 | 陶器, 高台径5.50cm (反転復元残存約 1/3) |
| 97 | 蓋(茶家) | 天井部~口縁部 | 6 a | 外面: Hue5YR4/4 におい赤褐色, 口縁部外面・内面・器肉: Hue2.5YR6/4 におい橙色, 褐釉 | 白色・黒色細砂粒を若干含む。 | 外面天井部: 施釉, 口縁部外面・内面: 無釉; 回転ナデ | 238 | 陶器(薩摩), 最大径 8.55cm (反転復元残存約 1/4) |
| 98 | 茶家 | 釣手掛 | 6 a | 外面: Hue 5Y4/1 灰白色, 内面: Hue 10YR4/2 灰黄褐色・Hue 2.5Y4/1 黄灰色, 器肉: Hue7.5YR5/3 におい褐色, 黒釉? | 白色細砂粒を若干含む。白透明砂粒をわずかに含む。 | 施釉, 内面中央部: 無釉; ヨコナデ, 釣手下部: ユビオサエ(本体に接合する際に付いたものか?) | 208 | 陶器(薩摩) |
| 99 | 茶家 | 注口 | 6 a | 外面: Hue 10YR3/3 暗褐色, 内面: Hue5YR4/3 におい赤褐色, 器肉: Hue2.5YR7/3 淡赤橙色・Hue 7.5Y2/1 黒色, 褐釉 | 青黒色砂粒をわずかに含む。細砂粒を若干含む。 | 施釉, 内面: 無釉; 回転ナデ | 373 | 陶器(薩摩) |
| 100 | 甕 | 頸部~胴部 | 6 a | 外面・内面・器肉: Hue 10YR8/2 灰白色, 器肉一部: Hue2.5YR5/4 におい赤褐色 | 細砂粒をわずかに含む。 | 外面: タタキ・ヨコナデ? 内面: ヨコナデ? | 1790 | 須恵器, 酸化焰焼成 |
| 101 | 壺? | 口縁部? | 6 a | 外面: HueN6/0 灰白色, 内面・器肉: HueN5/0 灰白色 | 白色細砂粒をわずかに含む。 | 回転ナデ | 339 | 須恵器 |
| 102 | 不明 | 口縁部? | 6 a | 外面: Hue 5B2/1 青黒色, 内面・器肉: HueN4/0 灰白色 | 白色砂粒を若干含む。白色微細粒を含む。 | 回転ナデ | 323 | 須恵器 |
| 103 | 不明 | 口縁部? | 6 a | 外面・内面: HueN4/0 灰白色, 器肉: HueN7/0 灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 回転ナデ, 口縁端部: 胎土付着 | 450 | 須恵器 |
| 104 | 杯 | 体部~高台部 | 6 a | 外面・内面・高台内面: Hue 5B4/1 暗青灰色に類似, 器肉: Hue 10BG5/1 青灰色に類似 | 白色・白透明・砂粒を若干含む。 | 回転ナデ | 403 | 須恵器, 高台径7.95cm (反転復元残存約 1/5) |
| 105 | 蓋 | ツマミ部~天井部 | 6 a | Hue10Y8/1 灰白色 | 黒色微細粒を若干含む。 | 外面: 回転ナデ, 内面: ナデ | 371 | 須恵器, ツマミ部径 2.2cm (反転復元残存約 1/3) |
| 106 | 碗 | 口縁部 | 6 a | 外面・内面・器肉: Hue7.5YR7/4 におい橙色, 口縁端部・口唇部: Hue5YR7/4 におい橙色 | 微細粒をわずかに含む。 | 回転ナデ | 369 | 土師器 |

| 図番号 | 器種 | 部位 | 出土層 | 色調・釉調 | 胎土・磁胎 | 調整・施文 | 遺物番号 | 備考 |
|-----|------|-------|-----|--|--|-------------------------------------|----------|-----------------------------|
| 107 | 皿? | 底部 | 6 a | Hue 10YR8/3浅黄橙色 | 細砂粒を若干含む。 | 回転ナデ、底面：糸切り痕 | 469 | 土師器、底径6.40cm(反転復元残存約 1/4) |
| 108 | 杯? | 底部 | 6 a | 外面・底面：Hue10R6/6赤橙色、外面一部・器肉：Hue5YR8/4淡褐色、内面：Hue 10YR7/3にぶい黄褐色・Hue5YR7/4にぶい橙色 | 黒色・白色・赤色微細粒を若干含む。 | 内面：回転ナデ、底面：糸切り痕? | 658 | 土師器、底径7.00cm(反転復元残存約 1/2) |
| 109 | 皿 | 底部 | 6 a | 外面・内面・器肉：Hue 10YR8/3浅黄橙色、底面：Hue7.5YR7/4にぶい橙色 | 微細粒をわずかに含む。 | 回転ナデ?摩滅、底面：糸切り痕 | 287 | 土師器、底径4.20cm(反転復元残存約 1/4) |
| 110 | 不明 | 底部 | 6 a | 外面・内面・底面：Hue2.5YR6/6橙色・Hue 10YR5/3にぶい黄褐色、器肉：Hue 10YR6/2灰黄褐色 | 白色・黒色・赤色細砂粒を若干含む。 | 回転ナデ?底面：糸切り痕 | 188 | 土師器、底径4.12cm(ほぼ完全) |
| 111 | 杯・皿? | 底部 | 6 a | 外面：Hue7.5YR8/4浅黄褐色、内面・底面・器肉：Hue7.5YR8/2灰白色 | 黒色・赤色・褐色細砂粒を若干含む。 | 摩滅、調整不明 | 308 | 土師器、底径5.60cm(反転復元残存約 1/4) |
| 112 | 皿? | 底部 | 6 a | 外面：Hue5YR6/4にぶい橙色・Hue10R7/2にぶい黄褐色・Hue5PB6/1青灰色、内面：Hue2.5Y6/2灰黄色、器肉：Hue7.5YR8/4浅黄褐色 | 微細粒をわずかに含む。 | 摩滅、調整不明 | 648 | 土師器、底径6.75cm(反転復元残存約 1/4) |
| 113 | 皿? | 底部 | 6 a | 外面・底面：Hue 10YR7/4にぶい黄褐色・Hue7.5YR7/2明褐色、内面・器肉：Hue7.5YR8/3浅黄褐色 | 微細粒を含む。 | 回転ナデ、底面：糸切り痕? | 430 | 土師器、底径7.30cm(反転復元残存約 1/4) |
| 114 | 碗 | 底部 | 6 a | 外面・底面・器肉一部：Hue 10YR8/2灰白色、外面底面黒色部分・内面：Hue 2.5Y3/1黒褐色、器肉：Hue 2.5Y5/1黄灰色 | 黒色微細粒をわずかに含む。 | 底面ほとんど・内面：黒色、外面・底面：摩滅、調整不明、内面：ヘラミガキ | 501, 273 | 内黒土師器、底径8.50cm(反転復元残存約 1/4) |
| 115 | 杯・皿? | 底部 | 6 a | Hue5YR8/4淡褐色 | 微細粒をわずかに含む。 | 外面：調整不明、内面：回転ナデ、底面：糸切り痕? | 340 | 土師器 |
| 116 | 杯・皿? | 底部 | 6 a | Hue5YR7/4にぶい橙色 | | 摩滅、調整不明 | 621 | 土師器 |
| 117 | 杯? | 底部 | 6 a | 外面・内面：Hue5YR8/4淡褐色、底面・器肉：Hue5YR7/2明褐色 | 黒色砂粒をわずかに含む。微細粒を若干含む。 | 外面一部・内面：回転ナデ、底面：ナデ | 454 | 土師器 |
| 118 | 碗 | 底部 | 6 a | 外面・内面：Hue7.5YR7/6褐色、底面・器肉：Hue7.5YR8/3浅黄褐色 | 赤色細砂粒をわずかに含む。微細粒を若干含む。 | 外面：回転ナデ?摩滅 | 635 | 土師器 |
| 119 | 壺 | 口縁部 | 6 a | 外面：Hue7.5YR7/6褐色、外面口縁端部・内面：Hue7.5YR8/4浅黄褐色、内面一部：HueN4/0灰色、器肉：10G2/1緑黒色 | 白透明・白色小礫・微細粒を含む。白色・黒色・褐色砂粒・赤色細砂粒を若干含む。 | ヨコナデ | 380 | |
| 120 | 甕? | 口縁部 | 6 a | 外面：Hue5YR8/4淡褐色・Hue7.5YR8/2灰白色・Hue7.5YR6/2灰褐色、内面：Hue 10YR8/1灰白色・Hue7.5YR6/3にぶい褐色、器肉：Hue 10YR3/1黒褐色 | 黒色砂粒をわずかに含む。黒色・透明細砂粒・白色・黒色微細粒を含む。 | 摩滅、調整不明 | 393 | |
| 121 | 甕 | 脚部 | 6 a | 外面：Hue2.5YR7/6褐色、内面：Hue5YR8/4淡褐色、器肉：Hue2.5YR7/4淡赤褐色 | 黒色・灰色砂粒・微細粒を若干含む。黒色・灰色・赤色・透明細砂粒を含む。 | ナデ? | 409 | |
| 122 | 甕 | 脚部 | 6 a | 外面・内面：Hue2.5YR7/6褐色、器肉：Hue5YR7/3にぶい褐色 | 黄色礫・白色砂粒をわずかに含む。黒色・褐色・透明細砂粒・微細粒を若干含む。 | ヨコ方向のナデ | 292 | |
| 123 | 甕 | 脚部 | 6 a | 外面・脚端部・器肉一部：Hue 10YR8/3浅黄褐色、内面・器肉：Hue10R6/8赤褐色 | 白色・白透明・褐色砂粒を若干含む。細砂粒を多く含む。 | 摩滅、調整不明 | 392 | 「成川式」 |
| 124 | 壺 | 胴部～底部 | 6 a | 外面：Hue5YR8/4淡褐色、内面：Hue5YR7/6褐色、器肉：Hue 10BG1.7/1青黒色 | 黒色礫をわずかに含む。白色・灰色・褐色砂粒・細砂粒を含む。 | 外面・内面：ハケメ(5本/cm) | 461 | 「成川式」、底径3.65cm(残存約 1/2) |
| 125 | 埴・壺? | 頸部 | 6 a | 外面・内面：Hue7.5YR8/3浅黄褐色、器肉：Hue7.5YR8/1灰白色 | 細砂粒・微細粒を若干含む。 | 外面頸部屈曲部：ヨコ方向のナデ?摩滅 | 402 | 「成川式」 |

| 図番号 | 器種 | 部位 | 出土層 | 色調・釉調 | 胎土・磁胎 | 調整・施文 | 遺物番号 | 備考 |
|-----|------|--------|-----|--|---------------------------------|--|------|----------------------------------|
| 126 | 甕 | 口縁部 | 6 a | 外面：Hue7.5YR8/4浅黄橙色，内面：Hue 10YR5/1褐灰色，口唇部・器肉：Hue7.5YR7/2明褐灰色 | 灰色粗砂粒をわずかに含む。白色・黒色砂粒・細砂粒を若干含む。 | ヨコナデ，内面：スス付着？黒変，摩滅 | 488 | 弥生(黒髪式) |
| 127 | 大甕 | 突帯部 | 6 a | 外面：Hue7.5YR8/3浅黄橙色，内面：Hue 10YR6/2灰黄褐色，器肉：HueN3/0暗灰色 | 灰色礫(大)を含む。赤色・灰色・褐色粗砂粒・微細粒を若干含む。 | 突帯部外面：ヨコ方向のナデ？ヨコナデ？外面下部：ナデ，内面：ナデ | 396 | 弥生 |
| 128 | 甕・壺？ | 突帯部 | 6 a | 外面：Hue7.5YR4/2灰褐色，内面：Hue 5Y2/1黒色，器肉：Hue 10YR8/6黄橙色 | 白色・褐色・黒色細砂粒・微細粒を若干含む。 | 突帯部外面：ヨコナデ？他調整不明 | 623 | |
| 129 | 甕 | 突帯部 | 6 a | 外面：Hue7.5YR3/3暗褐色，内面：Hue7.5YR6/3にぶい褐色，器肉：Hue 5Y3/1オリーブ黒色 | 黒褐色粗砂粒をわずかに含む。細砂粒・微細粒を含む。 | 突帯部外面：ヨコナデ？他調整不明 | 363 | |
| 130 | 甕 | 突帯部 | 6 a | 外面上部：Hue5YR7/6橙色，外面下部・内面・器肉：Hue7.5YR8/2灰白色 | 赤色・黒色微細粒を若干含む。 | 摩滅，調整不明 | 318 | 多状突帯？ |
| 131 | 土錘 | | 6 a | 外面：Hue5YR4/4にぶい赤褐色・Hue7.5YR5/2灰褐色・Hue7.5YR7/3にぶい橙色，口附近(ヒモズレ部周辺)：Hue7.5YR4/2灰褐色 | 青黒色細砂粒・微細粒を若干含む。 | 口附近：ヒモズレ？他調整不明 | 629 | 長さ4.20cm，最大径2.00cm |
| 132 | 土錘 | | 6 a | 外面：Hue 10YR7/2にぶい黄褐色・Hue 4/0灰色，口附近(器肉)：Hue 2.5Y8/2灰白色 | 白色・黒色細砂粒を若干含む。 | 口附近：糸擦り痕，他調整不明 | 379 | 長さ3.10cm，最大径1.50cm |
| 133 | 不明 | 口縁部 | 6 b | 外面・内面：半透明釉 Hue 7.5Y8/1灰白色に類似，器肉：Hue 2.5Y8/1灰白色 | | 施釉 | 1399 | 白磁，口径10.1cm(反転復元径疑問残存約 1/8) |
| 134 | 皿 | 口縁部 | 6 b | 外面・内面：Hue10Y8/1灰白色，器肉：HueN9/0白色 | | 施釉，外面：整形時の稜が残る。 | 863 | 白磁，口径11.4cm(反転復元残存約 1/8) |
| 135 | 碗 | 口縁部 | 6 b | 外面・内面：透明釉，器肉：Hue 2.5Y8/1灰白色 | | 施釉：外面・内面；貫入，外面；飛鉤手法 | 909 | 白磁 |
| 136 | 不明 | 口縁部 | 6 b | 外面・内面：Hue2.5GY7/1明オリーブ灰色，口縁部：Hue 2.5Y6/1黄灰色，器肉：HueN8/0灰白色 | | 施釉，口縁部：袖掻き取り | 814 | 磁器 |
| 137 | 皿？ | 体部 | 6 b | 外面・内面：Hue7.5GY6/1緑灰色に類似，器肉：HueN8/0灰白色 | | 施釉：外面・内面貫入，外内面：文様；片彫り？ | 571 | 青磁 |
| 138 | 碗 | 高台部 | 6 b | 高台外内面・畳付部・底面見込部・器肉一部：Hue 2.5Y8/1灰白色，内面：Hue10Y7/1灰白色，器肉：HueN8/0灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 内面見込部：施釉，高台外内面・畳付・底面見込部：無釉；ケズリ？ | 1620 | 磁器，高台径4.92cm(反転復元残存約 1/8) |
| 139 | 碗 | 体部～高台部 | 6 b | 外面・内面：Hue10Y5/2オリーブ灰色に類似，内面一部・高台内面・器肉一部：Hue 10YR8/3浅黄褐色，器肉：HueN8/0灰白色・Hue10R6/3にぶい赤褐色 | 白色細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 施釉：外内面貫入，高台畳付部・高台内面・底面見込部：無釉；回転ナデ，内面見込部：蛇の目状袖掻き取り | 887 | 青磁，高台径5.40cm(反転復元残存約 1/8) |
| 140 | 碗 | 体部～高台部 | 6 b | 外面・内面：Hue 10GY6/1緑灰色に類似，高台内面：Hue 7.5Y5/1灰色，器肉：Hue 5Y7/1 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉：外面蓮弁状のシノギ(整形時)・内面片彫り，高台内面：無釉；回転ナデ | 1187 | 青磁，高台取付部径4.75cm(反転復元残存約 1/8) |
| 141 | 甕 | 口縁部 | 6 b | 外面：Hue 5Y8/2灰白色，内面：Hue 5Y8/1灰白色，口縁上端部：Hue 7.5Y4/6褐色，器肉外側：Hue7.5YR3/1黒褐色，器肉内側：Hue5YR3/6暗赤褐色 | 微細粒をわずかに含む。 | 施釉，口縁上端部：袖掻き取り；回転ナデ，外面下部：カキメ，口縁部内面：接合痕(整形時の折曲げによる) | 891 | 陶器，口径23.0cm(反転復元径疑問残存約 1/8) 釉：風化 |
| 142 | 不明 | 口縁部？ | 6 b | 外面：Hue7.5YR5/2灰褐色・Hue 2.5Y6/1黄灰色，内面：Hue 10YR5/3にぶい黄褐色，器肉：HueN6/0灰色 | | 外面・内面：回転ナデ | 1048 | 須恵器，傾き不明 |
| 143 | 鉢？ | 胴部～底部 | 6 b | 外面：Hue7.5YR6/1褐灰色，内面：Hue 10YR6/2灰黄褐色，底面・外面下端：Hue 10YR3/2黒褐色，器肉：Hue 5R5/1赤灰色 | 白色砂粒を若干含む。微細粒を含む。 | 外面・内面：回転ナデ，底面：ヘラケズリ？ | 772 | 陶器 |
| 144 | 碗 | 体部～高台部 | 6 b | 外面：Hue2.5YR3/3暗赤褐色，外面下部・高台外内面・畳付・底面見込部：Hue 2.5Y6/2灰黄色，内面・器肉：Hue 5Y6/2灰黄色，内面・器肉：Hue 5Y6/2灰オリーブ色 | | 外面：施釉，外面下部・高台外内面・畳付・内面：無釉回転ナデ，内面：凹凸(整形時？) | 890 | 陶器 |
| 145 | 杯 | 口縁部 | 6 b | HueN7/0灰白色 | | 回転ナデ | 1127 | 須恵器 |

| 図番号 | 器種 | 部位 | 出土層 | 色調・釉調 | 胎土・磁胎 | 調整・施文 | 遺物番号 | 備考 |
|-----|------|----------|-----|---|-----------------------------|----------------------------------|------|-----------------------------|
| 146 | 甕 | 口縁部 | 6 b | 外面：HueN5/0 灰色・Hue 10YR3/2 黒褐色，内面：Hue 5Y7/2 灰白色・Hue 5Y4/1 灰色，器肉：Hue 7.5R4/2 灰赤色 | 白色細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 自然釉，回転ナデ | 759 | 須恵器 |
| 147 | 甕 | 口縁部 | 6 b | 外面・内面・器肉：HueN6/0 灰色，口縁上端部：HueN3/0 暗灰色 | 微細粒をわずかに含む。 | 回転ナデ，口縁上端部：自然釉，回転ナデ | 716 | 須恵器？ |
| 148 | 杯 | 体部～高台部 | 6 b | 外面・高台外内面・底面見込部・器肉外側：HueN7/0 灰白色，内面・器肉内側：Hue 7.5Y8/1 灰白色 | 細砂粒をわずかに含む。 | 回転ナデ | 1229 | 須恵器，高台径8.70cm (反転復元残存約 1/8) |
| 149 | 蓋 | 天井部～口縁端部 | 6 b | HueN5/0 灰色 | 白色微細粒をわずかに含む。 | 回転ナデ | 1041 | 須恵器 |
| 150 | 皿・杯？ | 口縁部 | 6 b | Hue5YR6/8 橙色 | 微細粒をわずかに含む。 | 回転ナデ | 1095 | 土師器 |
| 151 | 皿・杯？ | 口縁部 | 6 b | Hue7.5YR8/3 浅黄橙色 | 微細粒をわずかに含む。 | 摩滅，調整不明 | 1098 | 土師器 |
| 152 | 碗 | 口縁部 | 6 b | 外面・内面：Hue 10YR8/2 灰白色，器肉：Hue2.5YR7/1 灰白色 | 細砂粒をわずかに含む。 | 回転ナデ | 819 | 土師器，口径9.30 (反転復元残存約 1/8) |
| 153 | 杯 | 口縁部 | 6 b | Hue 10YR8/3 浅黄橙色 | 細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 回転ナデ | 792 | 土師器 |
| 154 | 杯 | 口縁部 | 6 b | Hue7.5YR8/6 浅黄橙色 | 赤色細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 外面：回転ナデ，内面：ハケ？のちナデ | 568 | 土師器 |
| 155 | 皿 | 完形？ | 6 b | Hue 10YR8/3 浅黄橙色 | 赤色・灰色微細粒を若干含む。 | 回転ナデ，底面：胎土付着，糸切り痕？ | ？ | 土師器 |
| 156 | 皿 | 底部 | 6 b | 外面・底面：Hue 10YR7/4 にぶい黄橙色，内面：Hue7.5YR7/6 橙色，器肉：Hue7.5YR8/2 灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 摩滅，調整不明 | 1024 | 土師器，底径6.20 (反転復元残存約 1/6) |
| 157 | 皿 | 底部 | 6 b | 外面・内面：Hue5YR6/6 橙色，器肉：Hue 10YR8/2 灰白色 | 赤色・褐色細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 内面：回転ナデ，他調整不明 | 1101 | 土師器，底径5.40 (反転復元残存約 1/6) |
| 158 | 皿 | 底部 | 6 b | Hue 10YR8/2 灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 内面：回転ナデ？底面：糸切り痕，摩滅 | 1118 | 土師器，底径7.30 (反転復元残存約 1/6) |
| 159 | 皿・杯？ | 底部 | 6 b | Hue7.5YR8/3 浅黄橙色 | 赤色・黒色微細粒をわずかに含む。 | 摩滅，調整不明 | 1058 | 土師器，底径6.10 (反転復元疑間残存約 1/8) |
| 160 | 皿 | 底部 | 6 b | 外面・内面：Hue5YR6/4 にぶい橙色，器肉：Hue5YR7/2 明褐灰色 | 微細粒をわずかに含む。 | 底面：糸切り痕？，摩滅，調整不明 | 1003 | 土師器，底径5.80 (反転復元残存約 1/6) |
| 161 | 皿・杯？ | 底部 | 6 b | 外面・内面：Hue7.5YR8/4 浅黄橙色，器肉：Hue5YR7/6 橙色 | 赤色粗砂粒・赤色細砂粒をわずかに含む。 | 回転ナデ？底面：ヘラ切り痕？ | 1172 | 土師器，底径5.40 (反転復元残存約 1/6) |
| 162 | 皿・杯？ | 底部 | 6 b | 外面・底面：Hue7.5YR8/6 浅黄橙色，内面・器肉：Hue7.5YR8/4 浅黄橙色 | 赤色砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 外面：回転ナデ？内面：ヘラナデ痕？底面：糸切り痕？摩滅 | 795 | 土師器，底径5.10 (反転復元疑間残存約 1/8) |
| 163 | 杯？ | 底部 | 6 b | Hue 10YR8/3 浅黄橙色 | 赤色・黒色細砂粒をわずかに含む。 | 内面：回転ナデ，摩滅，調整不明 | 1018 | 土師器，底径6.70 (反転復元疑間残存約 1/8) |
| 164 | 杯？ | 底部 | 6 b | 外面・底面：Hue7.5YR8/4 浅黄橙色，朱塗付部分：Hue5YR6/8 褐色，内面・器肉：Hue7.5YR8/3 浅黄橙色 | 赤色砂粒・細砂粒・微細粒を若干含む。 | 外面・底面：朱が塗付，内面：回転ナデ | 351 | 土師器，底径6.80 (反転復元残存約 1/6) |
| 165 | 皿・杯？ | 底部 | 6 b | 外面・内面：Hue7.5YR8/4 浅黄橙色，器肉：Hue7.5YR8/2 灰白色 | 赤色・褐色細砂粒・微細粒を若干含む。 | 摩滅，調整不明 | 904 | 土師器，底径9.40 (反転復元疑間残存約 1/8) |
| 166 | 皿・杯？ | 底部 | 6 b | 外面：Hue2.5YR7/4 淡赤橙色，内面：Hue5YR7/6 橙色，底面・器肉：Hue2.5YR6/6 橙色 | 黒色・白色砂粒・白色細砂粒をわずかに含む。 | 外面：回転ナデ，内面：ヨコ方向のナデ・ナデ，底面：ヘラ切り痕？ | 898 | 土師器，底径8.50 (反転復元残存約 1/6) |
| 167 | 碗 | 底部 | 6 b | 外面・内面・底面：Hue7.5YR7/3 にぶい橙色・Hue7.5YR6/1 褐灰色，底面一部：HueN2/0 黒色，器肉：Hue5YR7/6 橙色 | 細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 内面：回転ナデ，底面：糸切り痕 | 1479 | 土師器，底径4.10 (反転復元残存約 1/3) |
| 168 | 碗？ | 底部 | 6 b | 外面：Hue5YR6/4 にぶい橙色，内面・器肉：Hue5YR8/4 淡褐色，底面：Hue5YR5/2 灰褐色・Hue7.5YR4/1 褐灰色 | 黒色砂粒・黒色・白色・透明・赤色細砂粒をわずかに含む。 | 外面：ヨコ方向のナデ？内面：回転ナデ，底面：糸切り痕 | 1418 | 土師器，底径5.40 (反転復元残存約 1/6) |
| 169 | 杯・碗？ | 底部 | 6 b | 外面・底面：Hue7.5YR4/3 褐色・Hue7.5YR2/1 黒色，内面・器肉内側：Hue2.5YR4/2 灰赤色，器肉外側：Hue2.5YR7/6 橙色 | 微細粒をわずかに含む。 | 外面・内面：回転ナデ，底面：糸切り痕 | 1231 | 土師器，底径6.45 (反転復元残存約 1/6) |
| 170 | 杯・碗？ | 底部 | 6 b | 外面・底面 赤色顔料：Hue2.5YR6/4 にぶい橙色，内面・器肉：Hue 10YR8/2 灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 外面・内面：回転ナデ，外面・底面：赤色顔料塗付，底面：糸切り痕？ | 1271 | 土師器，底径6.20 (反転復元残存約 1/6) |

| 図番号 | 器種 | 部位 | 出土層 | 色調・釉調 | 胎土・磁胎 | 調整・施文 | 遺物番号 | 備考 |
|-----|----------|-----------|-----|---|----------------------------------|---|------|----------------------------------|
| 171 | 碗 | 体部- 底部 | 6 b | 外面・底面：Hue7.5YR8/4浅黄橙色・Hue 10YR7/2に おい黄橙色， 内面・器肉：Hue 10YR8/2灰白色 | 赤色・白色・黒色 細砂粒・微細粒を わずかに含む。 | 摩滅，調整不明 | 1469 | 土師器，高台径6.30cm(完全) |
| 172 | 碗・ 杯? | 底部 | 6 b | 内面：Hue 10YR8/3浅黄橙色， 外面・底面・器肉：Hue 10YR8/2灰白色 | 透明・黒色砂粒を わずかに含む。 微細粒を若干含む。 | 摩滅，調整不明 | 556 | 土師器，底径6.40cm(反転復元残存約 1/2弱) |
| 173 | 碗 | 高台部 | 6 b | 外面：Hue7.5YR8/4浅黄橙色， 内面：Hue7.5YR7/4に おい橙色・HueN3/0暗灰色， 高台内面・器肉：Hue2.5YR6/8 橙色，器肉内側：Hue 10YR8/2灰白色 | 赤色細砂粒・微細粒を わずかに含む。 | 内面：黒斑，摩滅，調整不明 | 1235 | 土師器，高台径6.80cm(反転復元残存約 1/3) |
| 174 | 碗 | 高台取 付部 | 6 b | HueN8/0灰白色 | 白色細砂粒・微細粒を わずかに含む。 | 外面・高台内面：回 転ナデ，摩滅，他調整不明 | 1288 | 土師器，高台取付部径5.70cm(反転復元径疑問残存約 1/4) |
| 175 | 皿 | 底部 | 6 b | Hue 10YR8/2灰白色 | 微細粒をわずかに 含む。 | 摩滅，調整不明 | 910 | 土師器 |
| 176 | 皿 | 底部 | 6 b | Hue 10YR8/2灰白色 | 微細粒をわずかに 含む。 | 底面：糸切り痕? 摩滅， 他調整不明 | 1472 | 土師器 |
| 177 | 皿 | 底部 | 6 b | Hue 10YR8/3浅黄橙色 | 赤色細砂粒をわずかに 含む。 | 底面：糸切り痕? 摩滅， 他調整不明 | 859 | 土師器 |
| 178 | 杯? | 底部 | 6 b | Hue 10YR8/2灰白色 | 微細粒をわずかに 含む。 | 底面：糸切り痕，摩滅， 他調整不明 | 836 | 土師器 |
| 179 | 杯・ 皿? | 底部 | 6 b | 外面・内面・器肉：Hue7.5YR8/4 浅黄橙色，底面一部：Hue5YR7/6 橙色 | 赤色砂粒を若干含む。 微細粒をわずかに含む。 | 摩滅，調整不明 | 790 | 土師器 |
| 180 | 杯? | 底部 | 6 b | Hue 10YR8/3浅黄橙色 | 赤色細砂粒・微細粒を 若干含む。 | 底面：糸切り痕? 摩滅， 他調整不明 | 858 | 土師器 |
| 181 | 杯 | 底部 | 6 b | Hue7.5YR8/4浅黄橙色 | 赤色細砂粒・微細粒を わずかに含む。 | 内面：回転ナデ，摩滅， 他調整不明 | 849 | 土師器 |
| 182 | 杯? | 底部 | 6 b | Hue7.5YR8/4浅黄橙色 | 赤色砂粒・細砂粒・ 微細粒をわずかに含む。 | 外面・内面：回 転ナデ? 底面：糸切り痕? ヘラ切り痕? 摩滅，他 調整不明 | 883 | 土師器 |
| 183 | 杯? | 底部 | 6 b | 外面・器肉：Hue 10YR8/3浅黄 橙色，内面：Hue 10YR7/2に おい黄橙色 | 褐色細砂粒・微細粒を わずかに含む。 | 摩滅，調整不明 | 948 | 土師器 |
| 184 | 杯? | 底部 | 6 b | 外面・内面・器肉：Hue7.5YR8/4 浅黄橙色，赤色顔料部：Hue2.5YR4/3 に おい赤褐色 | 赤色微細粒をわずかに 含む。 | 摩滅，調整不明，内面 一部・外面：赤色顔料 | 360 | 土師器 |
| 185 | 皿・ 杯? | 底部 | 6 b | 外面：Hue 10YR4/1褐色， 内面：Hue 10YR7/1灰白色， 底面：Hue7.5YR7/3に おい橙色，器肉：Hue7.5YR8/2 灰白色 | 赤色等微細粒を若干 含む。 | 外面：黒色，内面一部： ナデ? 底面：糸切り痕， 摩滅 | 1028 | 土師器(黒色土師器?) |
| 186 | 皿・ 杯? | 底部 | 6 b | Hue 10YR8/3浅黄橙色 | 微細粒をわずかに 含む。 | 外面・内面：回 転ナデ，底面：粘土付着， 調整不明 | 1279 | 土師器 |
| 187 | 皿・ 杯? | 底部 | 6 b | Hue 10YR8/3浅黄橙色 | 赤色細砂粒・微細粒を わずかに含む。 | 外面：回転ナデ? 底面： 糸切り痕? 摩滅 | 1082 | 土師器 |
| 188 | 杯? | 底部 | 6 b | 外面・器肉外側：Hue 10YR8/3浅 黄橙色，内面・器肉内側：Hue 10YR8/2灰白色，底面・器肉外側 一部：Hue5YR7/6橙色，器肉中央： HueN5/0灰色 | 微細粒をわずかに 含む。 | 摩滅，調整不明 | 1355 | 土師器 |
| 189 | 杯・ 皿? | 底部 | 6 b | Hue 10YR8/3浅黄橙色 | 赤色その他微細粒を わずかに含む。 | 内面：回転ナデ? 底面： 糸切り痕? 摩滅 | 1342 | 土師器 |
| 190 | 杯・ 皿? | 底部 | 6 b | Hue7.5YR8/4浅黄橙色 | 赤色その他微細粒を わずかに含む。 | 摩滅，調整不明 | 1304 | 土師器 |
| 191 | 杯 | 底部 | 6 b | 外面・底面・器肉：Hue7.5YR8/3 浅黄橙色，内面：Hue 10YR8/1灰 白色 | 赤色その他微細粒を わずかに含む。 | 外面一部：ナデ? 内面： 回転ナデ | 1388 | 土師器 |
| 192 | 杯・ 皿? | 底部 | 6 b | Hue7.5YR8/4浅黄橙色 | 赤色細砂粒を若干 含む。微細粒をわずかに 含む。 | 底面：糸切り痕? 粘土 付着，摩滅 | 1042 | 土師器 |
| 193 | 杯・ 皿? | 底部 | 6 b | Hue7.5YR8/4浅黄橙色 | 微細粒をわずかに 含む。 | 底面：糸切り痕? 胎土 付着，摩滅 | 1001 | 土師器 |
| 194 | 杯・ 皿? | 底部 | 6 b | Hue 10YR8/3浅黄橙色 | 赤色その他微細粒を わずかに含む。 | 外面・内面：回 転ナデ，底面：糸切り痕 | 961 | 土師器 |

| 図番号 | 器種 | 部位 | 出土層 | 色調・釉調 | 胎土・磁胎 | 調整・施文 | 遺物番号 | 備考 |
|-----|------|-----|-----|---|---------------------------------|---|------|------------|
| 195 | 杯・皿? | 底部 | 6 b | Hue 2.5Y8/2灰白色 | 赤色その他微細粒をわずかに含む。 | 外面・内面：回転ナデ、摩滅 | 892 | 土師器 |
| 196 | 皿 | 底部 | 6 b | Hue7.5YR8/4浅黄橙色 | 赤色その他微細粒をわずかに含む。 | 外面・内面：回転ナデ?底面：糸切り痕、摩滅 | 980 | 土師器 |
| 197 | 杯 | 底部 | 6 b | 外面・内面・器肉：Hue7.5YR7/4に おい橙色、内面一部：Hue7.5YR5/2灰褐色 | 黒色・赤色砂粒をわずかに含む。 | 外面・内面：回転ナデ 内面一部：ナデ、底面～ 外面下端：ヘラ切り痕 | 368 | 土師器 |
| 198 | 杯・皿? | 底部 | 6 b | 外面：Hue7.5YR8/6浅黄橙色、内 面：Hue7.5YR7/6橙色、底面・器 肉：Hue 10YR7/4に おい黄橙色 | | 摩滅、調整不明 | 1356 | 土師器 |
| 199 | 杯・皿? | 底部 | 6 b | Hue 10YR8/2灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 内面：回転ナデ、底面～ 外面下部：ヘラ切り痕?摩滅 | 1313 | 土師器 |
| 200 | 皿 | 底部 | 6 b | Hue 10YR8/2灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 摩滅、調整不明 | 1286 | 土師器 |
| 201 | 碗 | 高台部 | 6 b | 外面・高台外内面・器肉下部：Hue2.5YR7/6 橙色、内面・器肉上部：Hue5YR8/4 淡橙色、器肉中央：Hue7.5YR7/1 明褐色 | 白色砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 外面：回転ナデ?摩滅 | 1039 | 土師器 |
| 202 | 碗 | 高台部 | 6 b | 外面・内面・器肉：Hue7.5YR8/4 浅黄橙色、赤色顔料：Hue2.5YR6/6 橙色 | 赤色砂粒・赤色細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 底面見込部：回転ナデ?内面：赤色顔料、 ハケ?摩滅 | 1390 | 土師器 |
| 203 | 碗 | 高台部 | 6 b | 外面：Hue7.5YR6/3に おい褐色、Hue2.5YR7/6 橙色、内面：Hue2.5YR7/8 橙色、器肉：Hue 10YR7/3 に おい黄橙色、赤色顔料：Hue5YR5/6 明赤褐色 | 微細粒をわずかに含む。 | 外面：回転ナデ?高台 取付部：赤色顔料塗付、 摩滅 | 951 | 土師器 |
| 204 | 碗 | 底部 | 6 b | 外面・底面見込部：Hue5YR8/4 淡橙色、内面・器肉・接合面：Hue5YR7/6 橙色 | 赤色粗砂粒をわずかに含む。赤色 その他微細粒を若干含む。 | 摩滅、調整不明、高台 が接合面より取れている。 | 1199 | 土師器 |
| 205 | 碗 | 底部 | 6 b | 外面：Hue2.5YR6/8 橙色、内面：HueN3/0 暗灰色、底面見込部：Hue7.5YR6/3 に おい褐色、器肉：Hue7.5YR8/2 灰白色 | 微細粒を若干含む。 | 底面見込部：回転ナデ、 内面：黒色、摩滅 | 1380 | 内黒土師器、高台欠損 |
| 206 | 甕 | 口縁部 | 6 b | 外面：Hue7.5YR7/4に おい橙色、内面：Hue7.5YR8/4 浅黄橙色、器肉：Hue 10YR7/6 明黄橙色 | 赤色・灰色・黒色・透明細砂粒・ 微細粒を含む。 | ナデ?調整不明 | 1463 | 「成川式」 |
| 207 | 甕 | 口縁部 | 6 b | 外面：Hue 10YR3/2 黒褐色、口唇部：Hue 10YR5/1 褐色、内面：Hue7.5YR6/2 灰褐色、器肉：Hue7.5YR7/2 明褐色 | 白色・透明細砂粒をわずかに含む。 微細粒を若干含む。 | 外面：スス附着・細かな ヒビ、口唇部：ヨコナデ?内面： ヨコナデ?ヨコ方向のナデ? 附着物 | 1126 | |
| 208 | 甕 | 口縁部 | 6 b | 外面：Hue 10YR5/3に おい黄橙色、内面：Hue 10YR6/2 灰黄褐色、器肉外側：Hue2.5YR6/6 橙色、器肉内側：Hue2.5YR5/3に おい赤褐色、器肉中央：Hue2.5YR5/1 赤灰色 | 赤色・黒色・白色・透明細砂粒を 含む。微細粒を若干含む。 | 外面・内面：ヨコ方向の ナデ?内面：線刻 | 1512 | 「成川式」 |
| 209 | 不明 | 口縁部 | 6 b | 外面：Hue 10YR7/4に おい黄橙色、内面：Hue 10YR7/2 に おい黄褐色、器肉：HueN5/0 灰色 | 白色・黒色細砂粒を含む。 | 内面：ヨコ方向のナデ? | 1093 | |
| 210 | 甕 | 口縁部 | 6 b | 外面：Hue 10YR7/2に おい黄橙色、7/4に おい黄褐色、内面：Hue 10YR7/6 明黄褐色、器肉：Hue 10YR7/1 灰白色 | 赤色砂粒をわずかに含む。微細 粒を若干含む。 | 外面・内面：ヨコ方向の ナデ?口縁端部：ヨコナデ? | 1451 | 「成川式」 |
| 211 | 甕 | 口縁部 | 6 b | 外面：Hue 10YR7/2に おい黄褐色、内面：Hue7.5YR7/4 に おい橙色、器肉：HueN4/0 | 白色粗砂粒・白色砂粒・細砂粒を 若干含む。 | 外面：ナデ、口唇部～ 口縁端部：ヨコナデ、口縁上端・ 下端部：ユビオサエ、内面：ナデ | 1166 | |
| 212 | 甕 | 頸部 | 6 b | 外面：Hue7.5YR7/6 橙色・Hue7.5YR5/3に おい褐色、内面：Hue 10YR7/4に おい黄褐色、器肉：Hue 10YR7/1 灰白色・HueN3/0 暗灰色 | 赤色その他細砂粒を若干含む。 微細粒を含む。 | 外面：ヨコ方向のナデ、 外面頸部屈曲部附近：ユビオサエ、 内面屈曲上部：工具等による ナデ? | 1385 | 「成川式」 |
| 213 | 甕 | 突帯部 | 6 b | 外面：Hue7.5YR7/3に おい橙色・Hue5YR4/2 灰褐色、内面：Hue7.5YR8/4 浅黄褐色、器肉：Hue7.5YR8/1 灰白色 | 黒色その他細砂粒を含む。 | 外面：ヨコ方向のナデ?内面： ユビオサエ(突帯整形時?) | 525 | 「成川式」 |
| 214 | 不明 | 突帯部 | 6 b | 外面：Hue7.5YR6/4に おい橙色・Hue 2.5Y6/3に おい黄色、内面：Hue7.5YR6/6 橙色、器肉：Hue7.5YR8/3 浅黄褐色 | 黒色・透明砂粒をわずかに含む。 細砂粒・微細粒を含む。 | 外面：ヨコナデ | 981 | |

| 図番号 | 器種 | 部位 | 出土層 | 色調・釉調 | 胎土・磁胎 | 調整・施文 | 遺物番号 | 備考 |
|-----|----|-------|-----|---|--|--|------|-----------------------------|
| 215 | 不明 | 突帯部 | 6 b | 外面：Hue2.5YR6/6 橙色・Hue2.5YR5/3にぶい赤褐色，内面：Hue 10YR5/2灰黄褐色，器肉：Hue 10YR7/1灰白色 | 赤色砂粒をわずかに含む。細砂粒・微細粒を若干含む。 | 突帯下部：ナメ方向ナデ？，外面下部：ヨコ方向のナデ，内面：工具等によるナデ？ | 832 | |
| 216 | 不明 | 突帯部 | 6 b | 外面：Hue2.5YR5/4にぶい赤褐色・Hue5YR3/2暗赤褐色，内面・器肉：Hue 10YR8/2灰白色 | 細砂粒・微細粒を含む。 | 摩滅，調整不明 | 1197 | |
| 217 | 甕 | 脚部 | 6 b | 外面・器肉：Hue2.5YR6/6 橙色，内面・器肉一部：Hue7.5YR6/6 橙色 | 砂粒を含む。細砂粒・微細粒を若干含む。 | 外面：ヨコ方向のナデ，内面：ハケのちナデ，脚台欠損 | 1382 | 「成川式」脚台取付部径6.50(反転復元残存約1/6) |
| 218 | 甕 | 底部～脚部 | 6 b | 外面：Hue 10YR8/3 浅黄褐色，内面：Hue 2.5Y7/1 灰白色，脚内面：Hue 10YR8/2 灰白色，器肉：HueN2/0 黒色 | 赤色・黒色・灰色・透明砂粒をわずかに含む。細砂粒・微細粒を若干含む。 | 外面頸部上半：ハケのちナデ，外面頸部下半：ヨコ方向のナデ，脚内面：ナデ | 1011 | |
| 219 | 甕 | 脚部 | 6 b | 外面：Hue2.5YR5/8 明赤褐色，内面：Hue5YR3/1 黒褐色，器肉：Hue5YR6/8 橙色・Hue2.5YR5/4にぶい赤褐色 | 黒色・灰色・透明砂粒・細砂粒・微細粒を若干含む。 | 外面：ヨコ方向のナデ，内面：ユビオサエ？脚内面：ヨコ方向のナデ？ | 1563 | 「成川式」 |
| 220 | 甕 | 脚端部 | 6 b | 外面・内面：Hue5YR6/6 橙色，器肉：Hue7.5YR7/4にぶい橙色 | 細砂粒・微細粒を若干含む。 | 外面：ヨコ方向のナデ？ | 765 | |
| 221 | 甕 | 脚端部 | 6 b | 外面・内面：Hue 10YR8/3 浅黄褐色，器肉：Hue7.5YR7/8 黄褐色・Hue2.5YR6/8 橙色 | 砂粒をわずかに含む。細砂粒・微細粒を含む。 | 外面：ハケのちナデ，内面：ナデ？ | 1220 | 脚径7.70cm(反転復元残存約1/4) |
| 222 | 甕 | 脚端部 | 6 b | 外面・内面：Hue5YR6/4にぶい橙色，器肉：Hue 10YR8/2 灰白色 | 白色礫・灰色・白色・透明砂粒をわずかに含む。赤色その他細砂粒・微細粒を若干含む。 | 外面：ユビオサエ・ナデ？，内面：ユビオサエ？，ヨコ方向のナデ？凹凸激しい | 1461 | 「成川式」，脚径14.20cm(反転復元残存約1/7) |
| 223 | 甕 | 脚端部 | 6 b | 外面：Hue2.5YR6/6 橙色，内面：Hue 10YR6/3にぶい黄褐色，器肉：Hue5YR7/8 橙色 | 砂粒を含む。細砂粒・微細粒を若干含む。 | ヨコ方向のナデ？ | 1285 | |
| 224 | 甕 | 脚端部 | 6 b | 外面：Hue 10BG3/1 暗青灰色・Hue2.5YR6/3にぶい橙色，内面：Hue 10YR7/2にぶい黄褐色，器肉：Hue2.5YR7/6 橙色 | 赤色その他細砂粒・微細粒を若干含む。 | 内面：ナデ | 1398 | |
| 225 | 甕 | 脚端部 | 6 b | 外面：Hue2.5YR5/8 明赤褐色，内面・器肉一部・接合面：Hue5YR4/1 褐灰色，器肉：Hue5YR7/6 橙色 | 砂粒・細砂粒・微細粒を若干含む。 | 外面：ユビオサエのちヨコナデ？外面一部：ヨコ方向のナデ？内面：ナデ | 1221 | |
| 226 | 甕 | 脚部 | 6 b | 外面：Hue7.5YR7/4にぶい橙色，内面：Hue7.5YR6/8 橙色，器肉・接合面：Hue5YR6/4にぶい橙色 | 細砂粒を含む。微細粒を若干含む。 | 外面頸部・内面：ナデ，脚端部：ヨコ方向のナデ？ | 1239 | 「成川式」 |
| 227 | 壺 | 口縁部 | 6 b | 外面：Hue 10YR6/8 明黄褐色，内面：Hue7.5YR8/3 浅黄褐色，器肉：Hue 10YR8/4 浅黄褐色 | 透明礫・赤色・白色・黒色砂粒をわずかに含む。細砂粒・微細粒を若干含む。 | 外面・内面：ヨコ方向のナデ，口縁端部・口唇部：ヨコナデ | 902 | |
| 228 | 壺 | 口縁部 | 6 b | Hue5YR7/6 橙色・Hue7.5YR8/4 浅黄褐色 | 赤色その他細砂粒を含む。微細粒をわずかに含む。 | 外面・内面：回転ナデ？口唇部：ヨコナデ？ | 1107 | |
| 229 | 壺 | 口縁部 | 6 b | 外面：Hue7.5YR5/3にぶい褐色，内面・器肉：Hue7.5YR7/3にぶい橙色 | 白色・黒色・赤色・透明砂粒を若干含む。細砂粒・微細粒を含む。 | 外面屈曲部：ヨコナデ？口縁端部くほみ：ヨコナデ？ | 325 | |
| 230 | 壺 | 突帯部 | 6 b | 外面：Hue5YR5/3にぶい赤褐色，内面・器肉：Hue 10YR8/3 浅黄褐色 | 白色・透明砂粒・微細粒を若干含む。赤色その他細砂粒を含む。 | 内面：ナデ？外面：刻み目；ヘラ状工具で刺突，摩滅 | 983 | 「成川式」 |
| 231 | 壺 | 底部 | 6 b | 外面：Hue7.5YR8/3 浅黄褐色，内面・器肉一部：HueN3/0 暗灰色，器肉：Hue2.5YR6/6 橙色 | 微細粒を若干含む。赤色その他細砂粒を含む。 | 内面：ハケのちナデ？下部：ユビオサエ？摩滅 | 941 | 「成川式」 |
| 232 | 高杯 | 杯部 | 6 b | 外面・器肉外側：Hue7.5YR7/6 橙色，内面・器肉内側：HueN3/0 暗灰色 | 赤色・白色・黒色細砂粒を若干含む。微細粒をわずかに含む。 | 外面：ハケ，外面屈曲部：帯状粘土貼付 | 1084 | 弥生，屈曲部径16.20cm(反転復元残存約1/6) |
| 233 | 高杯 | 脚部 | 6 b | 外面：Hue 10YR8/3 浅黄褐色，赤色顔料：Hue2.5YR5/6 明赤褐色，内面・脚内面：Hue 10YR6/1 褐灰色，器肉：Hue 10YR8/1 灰白色 | 赤色・透明砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 外面：赤色顔料塗付・上部沈線(接合目印?)，摩滅 | 1492 | 「成川式」，脚取付部径3.25cm(完全) |

| 図番号 | 器種 | 部位 | 出土層 | 色調・釉調 | 胎土・磁胎 | 調整・施文 | 遺物番号 | 備考 |
|-----|----|------|-----|--|------------------------------------|--|------|-----------------------------|
| 234 | 高杯 | 脚部 | 6 b | 外面・脚内面：Hue7.5YR8/4浅黄橙色，内面：Hue 10YR8/4浅黄橙色，器肉：Hue 10YR8/2灰白色 | 赤色その他細砂粒を若干含む。 | 摩滅，調整不明 | 1745 | 「成川式」，脚取付部径2.90cm(残存約 2/3) |
| 235 | 高杯 | 脚部 | 6 b | 外面：Hue5YR7/8橙色，内面・器肉：Hue7.5YR8/2灰白色 | 赤色粗砂粒・赤色その他細砂粒・微細粒を若干含む。 | 外面上部：ナデ，脚端部外面・内面：ヨコ方向ナデ | 1256 | 「成川式」 |
| 236 | 高杯 | 脚端部 | 6 b | 外面・器肉：Hue2.5YR5/6明赤褐色・Hue 10YR8/3浅黄橙色，内面：Hue5YR5/6明赤褐色 | 微細粒を若干含む。 | 外面・内面：ユビオサエのちヨコ方向のナデ | 1115 | 「成川式」 |
| 237 | 高杯 | 脚端部 | 6 b | 外面：Hue 10YR5/3にぶい黄褐色，脚端部：Hue5YR6/8橙色，内面：Hue7.5YR7/6橙色，器肉：Hue7.5YR8/3浅黄橙色 | 細砂粒を含む，微細粒を若干含む。 | 調整不明 | 252 | 「成川式」 |
| 238 | 埴 | 口縁部 | 6 b | 外面：Hue7.5YR8/3浅黄橙色，内面：Hue5YR8/3淡橙色，口唇部：Hue 10YR8/4浅黄橙色，器肉：HueN5/0灰色 | 砂粒を多く含む，赤色その他細砂粒・微細粒を若干含む。 | 外面：ハケ，内面：タテ方向のナデ，口唇部：ヨコナデ | 1379 | 「成川式」 |
| 239 | 埴? | 底部 | 6 b | 外面：Hue 10YR7/1灰白色，外内面一部(赤色顔料)：Hue2.5YR7/8橙色，器肉：Hue7.5YR8/4浅黄橙色 | 赤色その他細砂粒・微細粒を若干含む。 | 底面：ハケ?のちナデ，摩滅 | 999 | 「成川式」，底径6.80cm(反転復元残存約 1/8) |
| 240 | 不明 | 突帯部 | 6 b | 外面：Hue7.5YR6/6橙色，内面：Hue 10YR8/2灰白色，器肉：Hue7.5YR8/2灰白色 | 赤色その他細砂粒・微細粒を若干含む。 | 外面：ヨコナデ，外面下部・内面：ヨコ方向のナデ，突帯部：先端刺突刻み目状 | 1046 | 弥生 |
| 241 | 壺 | 胴部 | 6 b | 外面：Hue2.5YR6/8橙色，内面：Hue7.5YR4/6褐色，器肉：Hue7.5YR2/3極暗褐色 | 透明砂粒・細砂粒・微細粒を若干含む。 | 外面：ヨコナデ? | 966 | 弥生 |
| 242 | 不明 | 突帯部 | 6 b | 外面上部・内面：Hue5YR8/4淡橙色，外面下部・器肉：HueN4/0灰色 | 赤色・白色・黒色・透明砂粒を若干含む，細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 外面：ヨコナデ，突帯上部外面：ナデ，突帯下部外面：ハケ?内面：ナデ? | 296 | |
| 243 | 不明 | 突帯部 | 6 b | 外面：Hue7.5YR6/8橙色，内面・器肉：Hue7.5YR8/4浅黄橙色，内面黒斑：Hue 2.5Y4/2黄灰色 | 白色砂粒・赤色その他細砂粒・微細粒を若干含む。 | 外面：ヨコナデ，突帯上から斜に外面全体に刻み目を入れている。 | 1085 | |
| 244 | 不明 | 突帯部 | 6 b | 外面：Hue7.5YR8/3浅黄橙色，内面：Hue7.5YR7/4にぶい橙色，器肉：HueN4/0灰色 | 白色粗砂粒・微細粒を含む。 | 外面：ヨコナデ，内面：ユビオサエ?突帯：斜に刺突 | 717 | |
| 245 | 不明 | 突帯部 | 6 b | 外面：Hue 10YR7/6明黄褐色，内面・器肉：Hue 10YR8/3浅黄橙色 | 細砂粒をわずかに含む，微細粒を若干含む。 | 外面：ヨコナデ?突帯をハケ原体で斜に刺突 | 355 | |
| 246 | 不明 | 突帯部? | 6 b | 外面：Hue2.5YR6/6橙色，内面：Hue5YR6/6褐色，器肉：Hue5YR7/3にぶい橙色 | 赤色・白色・黒色・粗砂粒を多く含む。 | 外面：布目状圧痕，内面：ユビオサエのちナデ? | 821 | |
| 247 | 不明 | 口縁部 | 6 b | 外面・内面：Hue 10YR8/2灰白色，器肉：HueN6/0灰色 | 赤色・白色その他細砂粒・微細粒を若干含む。 | 内面：ハケメ? | 797 | |
| 248 | 土錘 | 完形 | 6 b | 外面：Hue5YR7/4にぶい橙色・HueN4/0灰色 | 砂粒・赤色その他細砂粒を含む，微細粒を若干含む。 | 外面一部：黒斑，ナデ? | 808 | 長さ5.30cm，最大径3.10cm |
| 249 | 土錘 | 完形 | 6 b | 外面：Hue5YR7/6橙色・Hue2.5YR7/4淡赤橙色・Hue7.5YR4/2灰褐色・Hue 10YR8/2灰白色 | 赤色粗砂粒・赤色その他細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 外面：ヒモズレ痕・黒斑上から赤色顔料 | 1298 | 長さ4.50cm，最大径2.60cm |
| 250 | 土錘 | 中央部 | 6 b | 外面：Hue2.5YR7/6橙色，内面・器肉：HueN4/0灰色 | | 摩滅，調整不明 | 735 | |
| 251 | 土錘 | ほぼ完形 | 6 b | 外面：Hue5YR8/4淡橙色，外面口附近：Hue5YR6/1褐色，器肉：HueN6/0灰色 | 細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | ヒモズレ?抉れ? | 524 | 最大径1.20cm(ほぼ完全) |
| 252 | 土錘 | ほぼ完形 | 6 b | Hue 10YR3/2黒褐色・Hue 10YR7/6明黄褐色 | 細砂粒・微細粒を若干含む。 | ヒモズレ?斜に抉れ? | 361 | |
| 253 | 砥石 | | 6 b | 表面：Hue 10YR8/3浅黄橙色，割れ口：Hue5YR6/6褐色 | 微細粒をわずかに含む。 | | 978 | 重さ106.0g |
| 254 | 碗 | 口縁部 | 7 | 外面・内面：Hue 10GY6/1緑灰色に類似，器肉：N6/0灰色 | | 施釉：外内面貫入，文様：蓮弁，片彫り | 1272 | 青磁 |
| 255 | 碗 | 口縁部 | 7 | 外面・内面：Hue10Y6/2オリーブ灰色，器肉：HueN7/0灰白色 | 白色・黒色微細粒を若干含む。 | 施釉：外内面貫入 | 1061 | 青磁 |
| 256 | 碗 | 高台部 | 7 | 外面・器肉：HueN9/0白色，外面一部・内面：Hue 2.5Y8/1灰白色，高台外面一部・底面：Hue5YR7/6褐色，透明釉 | | 外面・内面：施釉，内面：貫入，高台取付部外面～底面：無軸回転ナデ?内面：目跡(上面釉剝落)3箇所 | 1138 | 陶器，底径4.80cm(ほぼ完全) |

| 図番号 | 器種 | 部位 | 出土層 | 色調・釉調 | 胎土・磁胎 | 調整・施文 | 遺物番号 | 備考 |
|-----|-------|--------|-----|--|---------------------------------|--|------|----------------------------------|
| 257 | 碗(大型) | 高台部 | 7 | 外面・高台内面・疊付部：Hue7.5YR8/1灰白色・Hue7.5YR4/2灰褐色，内面：2.5Y8/4淡黄色に類似，器肉：Hue2.5YR6/8橙色・HueN7/0灰白色 | 白色・黒色細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 回転ナデ | 1599 | 磁器，高台径9.50cm(反転復元残存約1/8) 釉：風化 |
| 258 | 碗 | 口縁部 | 7 | 外面・内面・器肉：Hue2.5YR8/2灰白色，外面一部：HueN5/0灰色 | 白色・黒色微細粒を若干含む。 | 回転ナデ，外面：黒斑・スス附着 | 1410 | 土師器 |
| 259 | 杯? | 口縁部 | 7 | Hue7.5YR8/2灰白色 | 褐色砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 回転ナデ | 1712 | 土師器 |
| 260 | 皿 | 完形 | 7 | Hue10YR8/2灰白色 | 褐色細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 外面・内面：回転ナデ，底面：糸切り痕? | 1614 | 土師器，底径4.40cm(反転復元残存約1/8) |
| 261 | 皿 | 体部～底部 | 7 | Hue10YR8/3浅黄橙色 | 褐色細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 内面：回転ナデ，底面：糸切り痕 | 1542 | 土師器，底径6.00cm(反転復元残存約1/4) |
| 262 | 皿 | 底部 | 7 | Hue2.5Y8/2灰白色 | 灰色砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 外面：回転ナデ，内面・底面：摩滅，調整不明 | 1693 | 土師器，底径7.05cm(反転復元径疑問残存約1/8) |
| 263 | 皿 | 底部 | 7 | Hue5YR7/6橙色 | 微細粒をわずかに含む。 | 外面・内面：回転ナデ，底面：調整不明 | 896 | 土師器，底径6.20cm(反転復元残存約1/4) |
| 264 | 皿 | 底部 | 7 | 外面・底面：Hue10YR6/2浅黄褐色，内面・器肉：Hue7.5YR8/6浅黄橙色，器肉中赤色礫：Hue10R4/8赤色 | 赤色礫をわずかに含む。細砂粒・微細粒を若干含む。 | 回転ナデ | 1362 | 土師器，底径4.90cm(反転復元残存約1/3) |
| 265 | 皿 | 底部 | 7 | 外面・内面・底面：Hue5YR7/6橙色，器肉：Hue7.5YR8/4浅黄褐色 | 黒色細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 外面・内面：回転ナデ，底面：ヘラ切り痕 | 1069 | 土師器，底径7.49cm(反転復元残存約1/6) |
| 266 | 碗 | 高台部 | 7 | 外面・内面・高台外内面・底面見込部：Hue10YR8/2灰白色，器肉一部：HueN5/0灰色・Hue2.5YR7/4淡赤褐色 | 赤色・黒色細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 外面：回転ナデ，高台内面～底面見込部：回転ナデ，内面：摩滅，調整不明 | 1351 | 土師器，高台取付部径7.88cm(反転復元残存約1/6) |
| 267 | 皿 | 完形? | 7 | 外面・内面・器肉：Hue10YR8/2灰白色，外面・底面・器肉一部：Hue5YR7/6橙色 | | 外面：回転ナデ，摩滅，他調整不明 | 1570 | 土師器 |
| 268 | 不明 | 底部 | 7 | 外面・内面・器肉：Hue7.5YR8/2灰白色，赤色顔料部：Hue2.5YR4/4にぶい赤褐色，器肉一部：Hue2.5YR4/3にぶい赤褐色 | 黒色細砂粒をわずかに含む。 | 外面上部：赤色顔料塗付，内面：回転ナデ | 1609 | 土師器 |
| 269 | 杯 | 底部 | 7 | Hue7.5YR8/3浅黄褐色 | 褐色・灰色細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 外面：回転ナデ，底面：糸切り痕?摩滅，他調整不明 | 1711 | 土師器 |
| 270 | 碗 | 高台部 | 7 | Hue10YR8/2灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 回転ナデ | 1597 | 土師器 |
| 271 | 碗 | 高台部 | 7 | Hue10YR8/2灰白色 | 細砂粒・微細粒を若干含む。 | 高台外面：回転ナデ，摩滅，他調整不明 | 1712 | 土師器 |
| 272 | 甕 | 口縁部～胴部 | 7 | 外面・内面：Hue7.5YR8/6浅黄褐色・Hue5YR6/6橙色，器肉：Hue10YR6/4にぶい黄褐色 | 灰色砂粒をわずかに含む。細砂粒・微細粒を若干含む。 | 口縁端部外面：ヨコナデ，頸部外面：タテハケのちヨコナデ，胴部外面：ナナメハケのちナデ，内面：ナデ | 1214 | 「成川式」(東原?)口径22.70cm(反転復元残存約1/8) |
| 273 | 甕 | 口縁部～頸部 | 7 | 外面：Hue10YR3/2黒褐色・Hue7.5YR7/8黄褐色・Hue10YR3/4暗褐色，内面：Hue7.5YR6/3にぶい褐色，器肉：Hue7.5YR8/6浅黄褐色 | 黒色・透明・灰色細砂粒を含む。微細粒を若干含む。 | 外面：調整不明，口縁端部：ヨコナデ，内面：ナデのちヨコ方向のナデ | 1546 | 「成川式?」 |
| 274 | 甕 | 口縁部 | 7 | 外面・内面：Hue5YR6/4にぶい橙色，内面一部：Hue5YR6/3にぶい橙色，内面黒斑：HueN3/0暗灰色，器肉：Hue7.5Y4/1灰色 | 黒色・白色細砂粒を若干含む。微細粒をわずかに含む。 | 外面：ナナメハケ，内面：ハケ，黒斑，口唇部・口縁端部：ヨコナデ? | 1462 | |
| 275 | 甕 | 口縁部 | 7 | 外面：Hue7.5YR5/4にぶい褐色，内面・器肉：Hue7.5YR7/8黄褐色 | 透明・黒色・白色細砂粒を含む。微細粒を含む。 | 摩滅，調整不明 | 1068 | |
| 276 | 甕 | 頸部突帯部 | 7 | 外面：Hue5YR7/6橙色，外面一部・器肉一部：Hue7.5YR5/3にぶい褐色，内面：Hue7.5YR4/1褐色，内面一部・器肉：Hue7.5YR8/6浅黄褐色 | 黒褐色砂粒をわずかに含む。黒色・透明細砂粒・微細粒を若干含む。 | ナデ? | 1702 | 「成川式」 |
| 277 | 甕 | 突帯部 | 7 | 外面：Hue7.5YR7/6橙色，内面：Hue7.5YR7/4にぶい橙色，器肉：Hue7.5YR8/2灰白色 | 赤色・黒色・透明砂粒を若干含む。細砂粒・微細粒を含む。 | 外面：ヨコナデハケ工具による刻み目，内面：調整不明 | 1698 | |

| 図番号 | 器種 | 部位 | 出土層 | 色調・釉調 | 胎土・磁胎 | 調整・施文 | 遺物番号 | 備考 |
|-----|-------|-------|-----|--|--|--|------|--------------------------------|
| 278 | 甕 | 脚取付部 | 7 | 外面：Hue5YR8/4 淡橙色・Hue7.5YR4/3 褐色，内面・器肉内側：Hue5YR7/4 におい橙色，器肉中央部：Hue5YR3/1 黒褐色，器肉外側接合面：Hue2.5YR7/8 橙色 | 白色・赤色・灰色礫をわずかに含む。黒色・透明砂粒・細砂粒・微細粒を若干含む。 | 外内面上半部：ハケのちナデ，外面下半部：ナデ，内面下半部：ユピナデ | 1498 | 「成川式」，脚取付部径6.60cm (反転復元残存約1/6) |
| 279 | 甕 | 脚部 | 7 | 外面・内面：Hue7.5YR8/4 浅黄橙色，器肉：Hue2.5YR7/6 橙色 | 黒色・灰色・白色透明細砂粒を若干含む。微細粒をわずかに含む。 | 外面：ヨコ方向のナデ，脚端部：ヨコナデ？内面：付着物，調整不明 | 1431 | 「成川式」 |
| 280 | 高杯？ | 口縁部 | 7 | 外面：Hue7.5YR7/3 におい橙色・Hue7.5YR8/8 黄褐色，内面：Hue5YR6/4 におい橙色，器肉：Hue5YR7/6 橙色 | 黒色・白色・透明細砂粒を若干含む。微細粒をわずかに含む。 | 外面：ヨコ方向のナデ，口縁端部内面：ヨコナデ？ | 1181 | 「成川式」 |
| 281 | 不明 | 口縁部 | 7 | 外面：Hue7.5YR6/6 橙色，内面：Hue7.5YR8/2 灰白色，器肉：Hue7.5YR7/8 黄褐色 | 赤色・褐色粗砂粒をわずかに含む。細砂粒・微細粒を含む。 | 外面：ハケのちナデ，口縁端部内面：ナデ，口縁端部内面屈曲部：ヨコナデ？ | 1716 | |
| 282 | 高杯 | 脚部 | 7 | 外面：Hue7.5YR5/3 におい褐色，内面・器肉：Hue7.5YR7/3 におい橙色 | 白色・灰色粗砂粒を含む。細砂粒・微細粒を若干含む。 | 外面：タテ(ナメ)ハケのちナデ，脚端部外面：ヨコナデ，内面：調整不明 | 1405 | 「成川式」 |
| 283 | 埴？ | 胴部～底部 | 7 | 外面：Hue7.5YR5/6 明褐色・Hue7.5YR6/3 におい褐色，内面：Hue7.5YR3/2 黒褐色，器肉：Hue7.5YR8/3 浅黄褐色 | 微細粒をわずかに含む。 | 外面・内面とも付着物調整不明 | 1706 | 「成川式」，底径4.30cm (反転復元残存約1/4) |
| 284 | 壺 | 口縁部 | 7 | 外面・内面：Hue7.5YR8/3 浅黄褐色，器肉：HueN4/0 灰色 | 灰白色礫をわずかに含む。赤色・白色・黒色砂粒・微細粒を若干含む。 | 口縁端部外面：ユピオサエ，口唇部：ヨコナデ？ | 1784 | |
| 285 | 不明 | 突帯部 | 7 | 外面：Hue5YR5/6 明赤褐色，内面・器肉：Hue5YR7/6 橙色 | 透明・黒色細砂粒・微細粒を含む。 | 調整不明 | 1550 | 弥生 |
| 286 | 壺 | 底部 | 7 | 外面：Hue5YR7/3 におい橙色，内面：Hue5YR5/1 褐灰色，底面：Hue5YR7/4 におい橙色，器肉：Hue5YR7/1 明褐灰色 | 赤色・灰色粗砂粒・透明・灰色砂粒・微細粒を若干含む。 | 外面：ハケ？のちナデ，内面：ナデ，底面：ハケ？のちナデ，ハケ工具を押し当てたようなクボミあり | 1615 | 弥生，底径6.10cm (反転復元残存約1/4) |
| 287 | 甕 | 口縁部？ | 7 | 外面・口唇部：Hue7.5YR7/4 におい橙色，内面：Hue10YR8/8 黄褐色，器肉：Hue10YR4/1 褐灰色 | 微細粒をわずかに含む。 | 口唇部：ヨコナデ，口縁端部外内面：ヨコナデ？ | 1625 | |
| 288 | 不明 | 突帯部 | 7 | 外面：Hue5YR6/6 橙色，内面：Hue7.5YR7/6 橙色，器肉：Hue7.5YR8/4 浅黄褐色 | 透明・黒色細砂粒を含む。微細粒を若干含む。 | 外面下部・内面中央部：ユピオサエ，摩滅，他調整不明 | 1783 | |
| 289 | 甕？ | 突帯部 | 7 | 外面：Hue5YR6/6 橙色，内面・器肉：Hue10YR8/2 灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 突帯部外面：ヨコナデ，摩滅，他調整不明 | 1264 | 「成川式」 |
| 290 | 不明 | 口縁部？ | 7 | 外面：Hue2.5Y7/1 灰白色，内面：Hue10YR8/2 灰白色，器肉：Hue10YR7/2 におい黄褐色 | 細砂粒・微細粒を若干含む。 | 口縁端部内面：ヨコナデ？他調整不明 | 1520 | |
| 291 | 甕・播鉢？ | 口縁部 | 8 | 外面上半部：Hue5Y6/1 灰色，外面下半部・内側：Hue2.5Y7/1 灰白色，器肉：Hue2.5Y8/1 灰白色 | 細砂粒・微細粒を若干含む。 | 回転ナデ | 1764 | 陶器，口径25.45cm (反転復元残存約1/8) |
| 292 | 皿・杯？ | 口縁部 | 8 | Hue10YR8/2 灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 外面：回転ナデ？摩滅，内面：摩滅，調整不明 | 1707 | 土師器 |
| 293 | 皿・杯？ | 底部 | 8 | 外面・器肉：Hue7.5YR8/3 浅黄褐色，内面：Hue7.5YR8/4 浅黄褐色 | 赤色・黒色・白色細砂粒～微細粒を若干含む。 | 内面：回転ヨコナデ？摩滅 | 1624 | 土師器 |
| 294 | 皿・杯？ | 底部 | 8 | Hue7.5YR8/2 灰白色 | 微細粒をわずかに含む。 | 内面：回転ヨコナデ？摩滅，底面：糸切り痕？摩滅 | 1617 | 土師器，底径6.98cm (ほぼ完全) |
| 295 | 皿 | 底部 | 8 | 外面・内面・器肉：Hue10YR8/3 浅黄褐色，赤色顔料：Hue2.5YR6/8 橙色 | 赤色・黒色・白色微細粒を若干含む。細砂粒をわずかに含む。 | 外面・内面・底面：赤色顔料塗付，断面：赤色顔料？ | 2014 | 土師器，No4 トレンチ |
| 296 | 高杯 | 脚部 | 8 | 外面・内面：Hue7.5YR7/3 におい橙色，器肉：Hue2.5YR6/6 橙色 | 黒色・白色・透明・白透明砂粒を若干含む。細砂粒・微細粒をわずかに含む。 | 外面：タテ方向のナデ，内面・脚端部：調整不明 | 1701 | 「成川式」 |
| 297 | 杯？ | 底部 | 8 | 外面：Hue10YR8/6 黄褐色，内面：Hue10YR5/8 黄褐色，器肉：Hue10YR7/4 におい黄褐色 | 赤色・黒色・白色細砂粒を含む。微細粒をわずかに含む。 | 不純物付着のため調整不明 | 2006 | 土師器，No3 トレンチ，埴(成川)の可能性が有る。 |

| 図番号 | 器種 | 部位 | 出土層 | 色調・釉調 | 胎土・磁胎 | 調整・施文 | 遺物番号 | 備考 |
|-----|-----|------|----------|--|---|--|-----------|--|
| 298 | 不明 | 不明 | 8 | 外面・内面：Hue7.5YR6/4にぶい 橙色，器肉：Hue5YR6/6橙色 | 白色砂粒・微細 粒をわずかに含 む。 | 回転ナデ？ | 1632 | |
| 299 | 碗 | 完形 | 9・ 10 | Hue 10YR8/3浅黄橙色 | 微細粒をわずか に含む。 | 外面・内面：回転ナ デ，底面：ヘラ切り痕， 体部中央外面：2条ク ボミ（整形時），底部： 充実高台状わずかな 段，粘土溜まりになっ ている。 | 1644 他 | 土師器，口径12.35cm・ 底径4.95cm（底部ほぼ完 全，口縁部残存約2/3） |
| 300 | 碗 | 口縁部 | 9 | 外面・器肉：Hue 10YR8/2灰白色， 内面：Hue 10YR8/3浅黄橙色 | 細砂粒・微細粒 をわずかに含 む。 | 回転ナデ | 2015 | 土師器，No4トレンチ |
| 301 | 碗 | 口縁部 | 9 | 外面・内面：Hue 10YR8/3浅黄橙 色，器肉：Hue7.5YR8/4浅黄橙色 | 茶色砂粒をわず かに含む，細砂 粒を若干含む。 | 回転ナデ | 2015 | 土師器，No4トレンチ |
| 302 | 甕 | 脚部 | 9 | 外面・内面一部・脚内面：Hue 10YR8/2灰白色，内面：Hue 10YR5/1褐灰色，器肉：Hue 10YR7/2にぶい黄橙色 | 白色・黒色・赤 色・透明細砂 粒・微細粒を含 む。 | 外面：ユビナデ，内 面・脚内面：ナデ | 1651 | |
| 303 | フイゴ | 羽口 | 9 | 外面・器肉中央：Hue7.5YR8/3浅 黄橙色，外面一部：HueN4/0灰色， 内面：Hue 10YR8/3浅黄橙色，器 肉上部：Hue2.5YR6/6橙色，器肉 下部：Hue 2.5Y7/1灰白色 | 灰色・白色・茶 色・黒色礫～粗 砂粒を若干含 む，細砂粒・微 細粒を含む。 | 外面：ナデ・黒斑，外 面一部：ヨコ方向のナ デ，内面：調整不明 | 1727 | 管状を呈する |
| 304 | 壺 | 胴部 | 10 | 外面・器肉外側：Hue 10YR7/4に ぶい黄橙色，内面：Hue 10YR7/2 にぶい黄橙色，器肉内側：Hue 2.5Y3/1黒褐色 | 礫を若干含む， 白色砂粒・黒色 細砂粒を含む。 | 外面：ナデ，突帯部外 面：ヨコナデ，内面： ナデ | 1780 | |
| 305 | 甕 | 胴部 | 12 | 外面：Hue7.5YR5/4にぶい褐色， 内面：Hue7.5YR6/3にぶい褐色， 器肉：Hue7.5YR8/4浅黄橙色 | 礫を若干含む， 黒色・白色・赤 色砂粒・微細粒 を含む。 | 外面上半部：ヨコナ デ，外面下半部：ナデ， 内面：ヨコナデ？ | 1787 | |
| 306 | 甕？ | 口縁部？ | 6 | 外面・内面：Hue 5B4/1暗青灰色， 器肉：Hue 10BG5/1青灰色 | 白色細砂粒をわ ずかに含む，微 細粒を若干含 む。 | 回転ナデ | 2020 | 須恵器，No5トレンチ |
| 307 | 甕 | 脚部 | 表採 | 外面・内面：Hue5YR6/4にぶい橙 色，器肉：Hue7.5YR8/3浅黄橙色 | 粗砂粒を若干含 む，細砂粒を含 む，微細粒をわ ずかに含む。 | 外面：ユビオサエ，内 面：ヨコナデ | 2057 | 「成川式」，脚径6.72cm（反 転復元残存約1/6） |

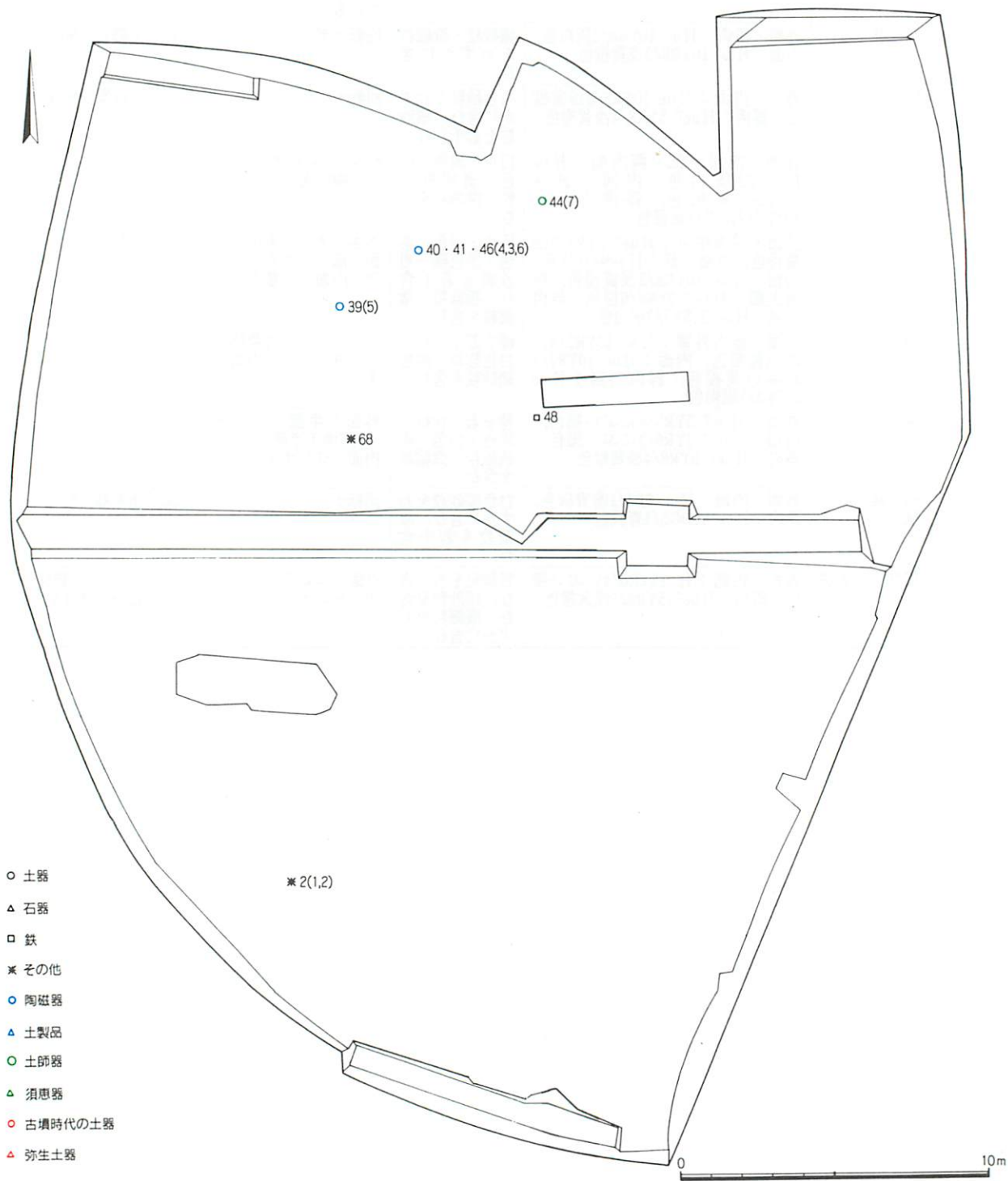


Fig. 28 1層出土遺物平面分布図 S = 1/200

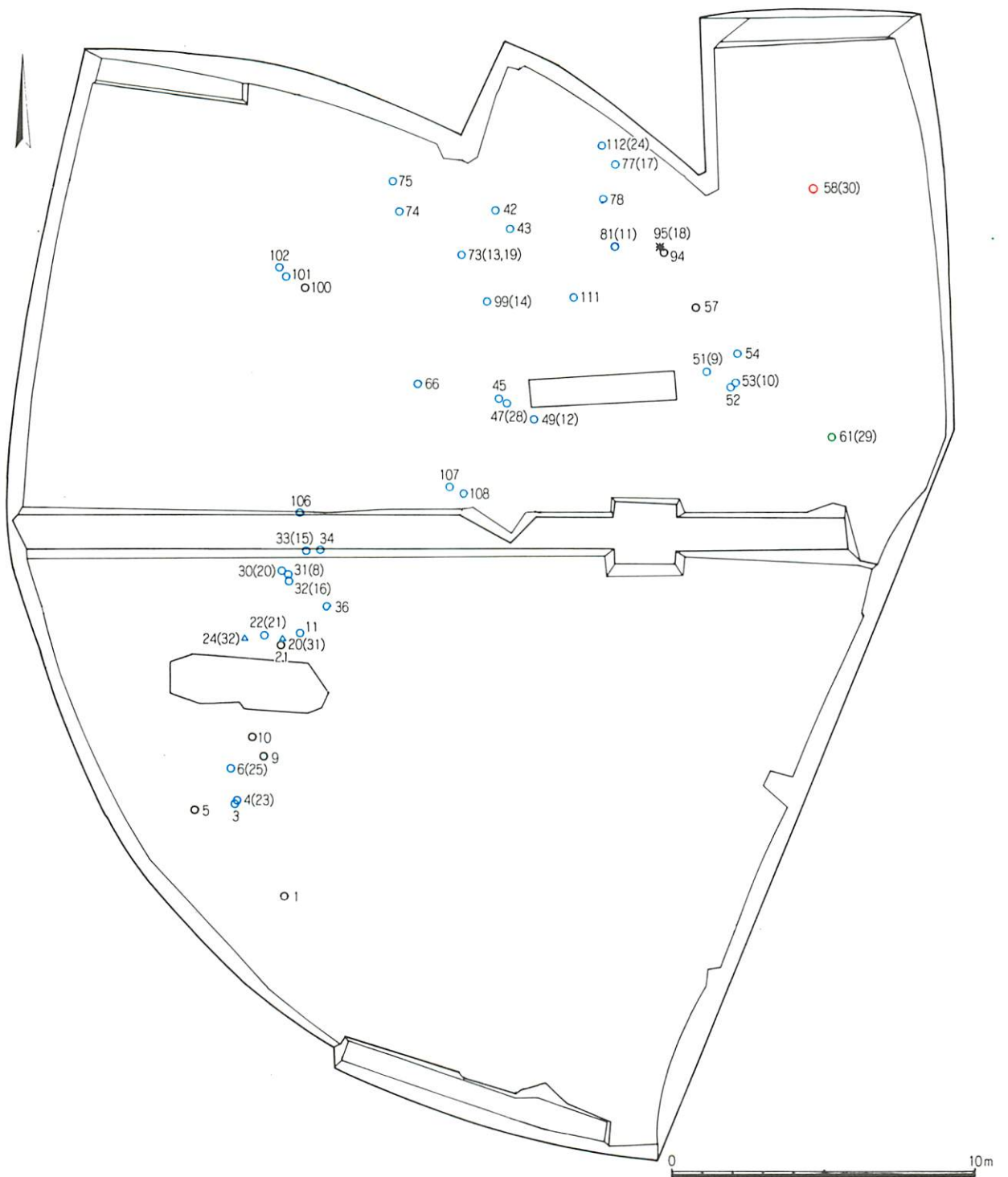


Fig. 29 2層出土遺物平面分布図 S = 1/200

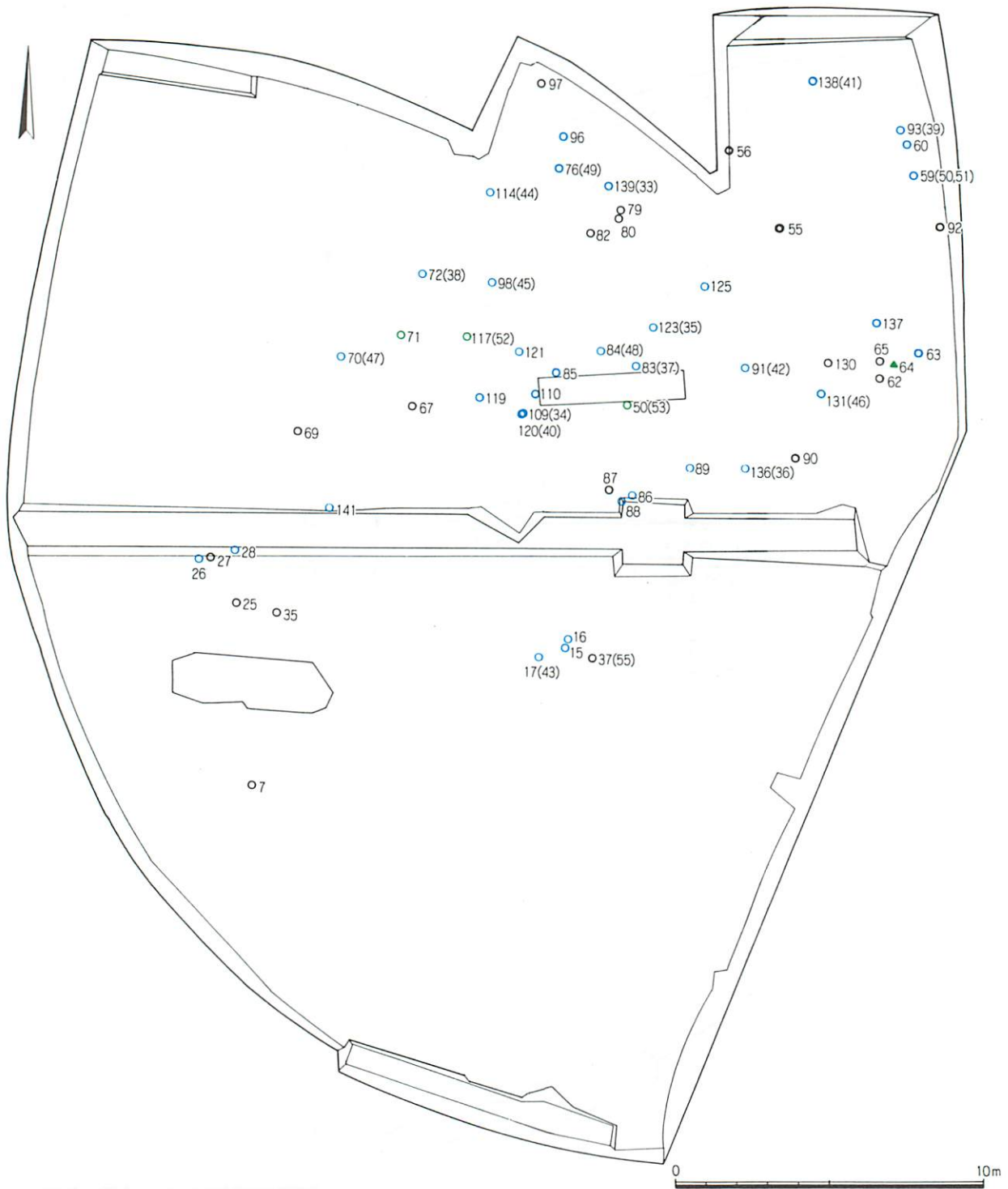


Fig. 30 3層出土遺物平面分布図 S = 1/200

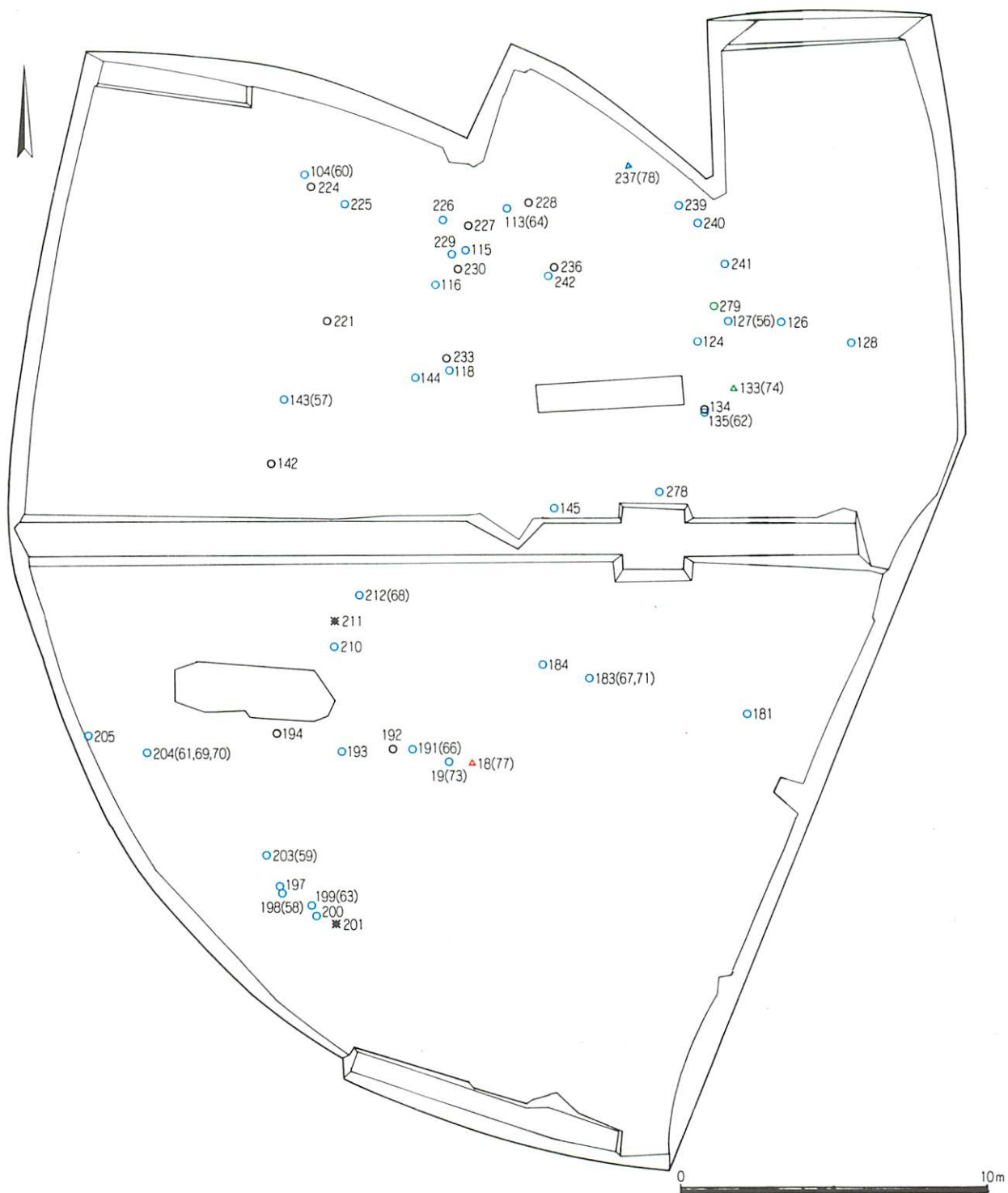


Fig. 31 4層出土遺物平面分布図 S = 1/200

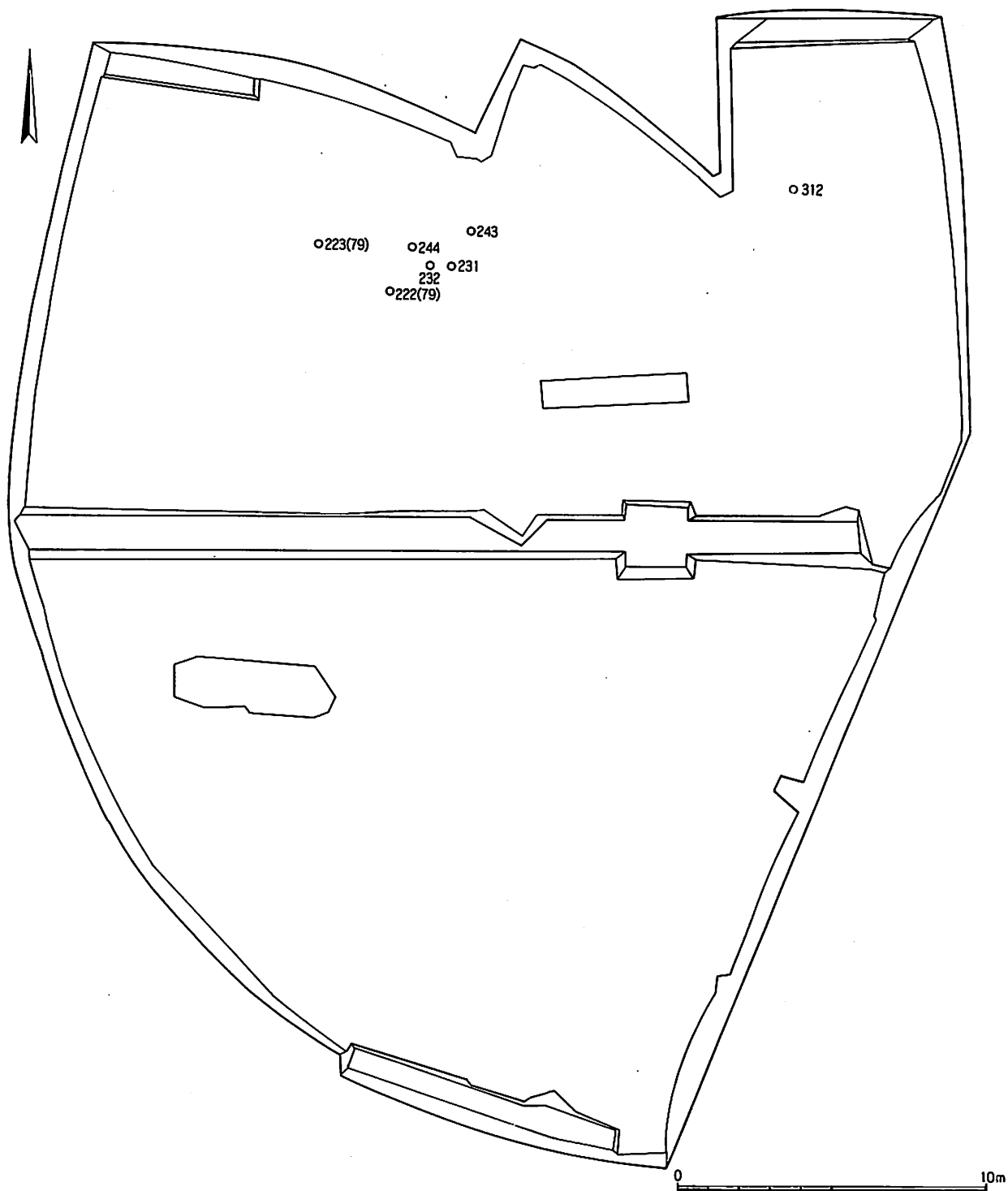


Fig. 32 5層出土遺物平面分布図 S = 1/200

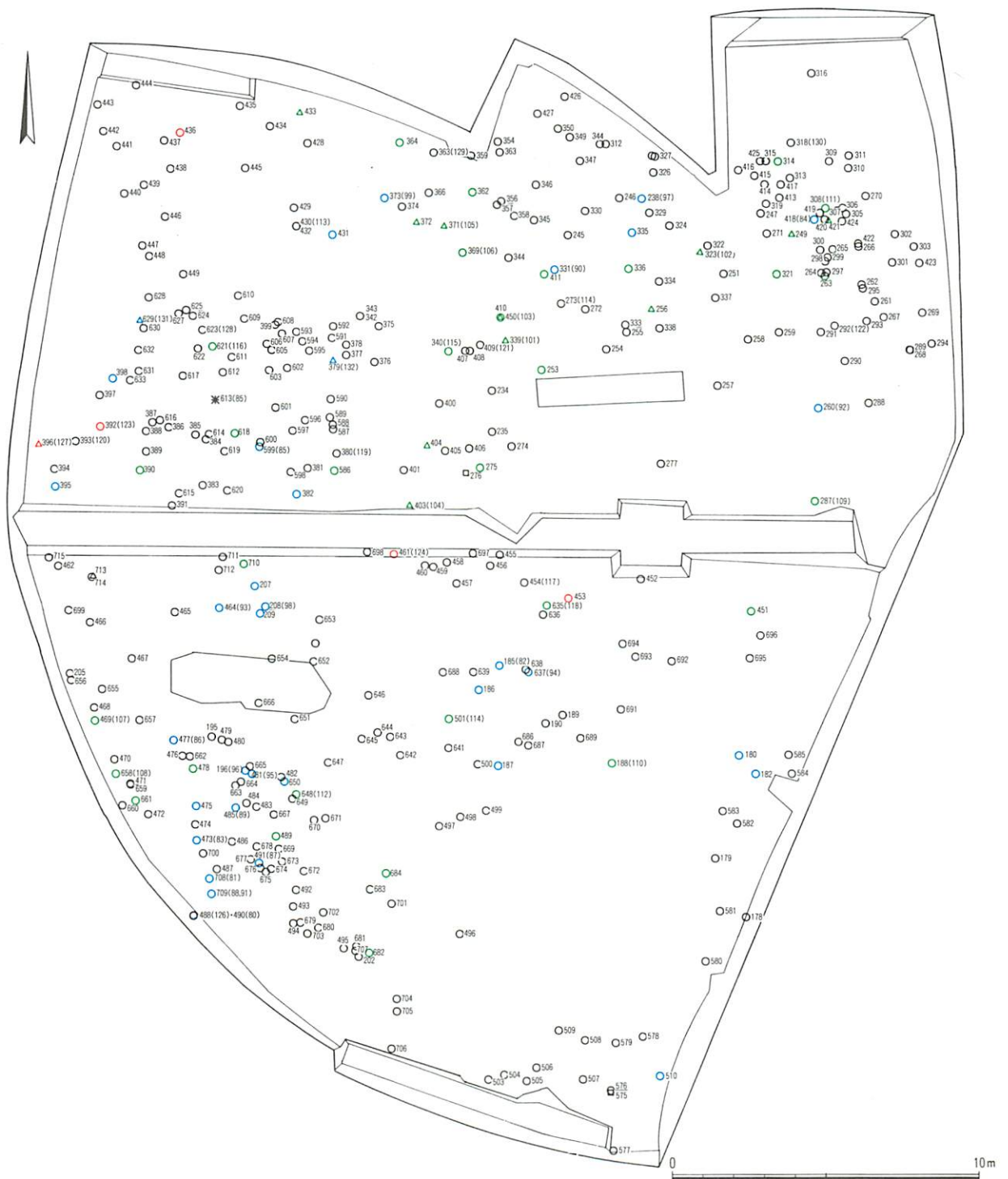


Fig. 33 6a層出土遺物平面分布図 S = 1/200

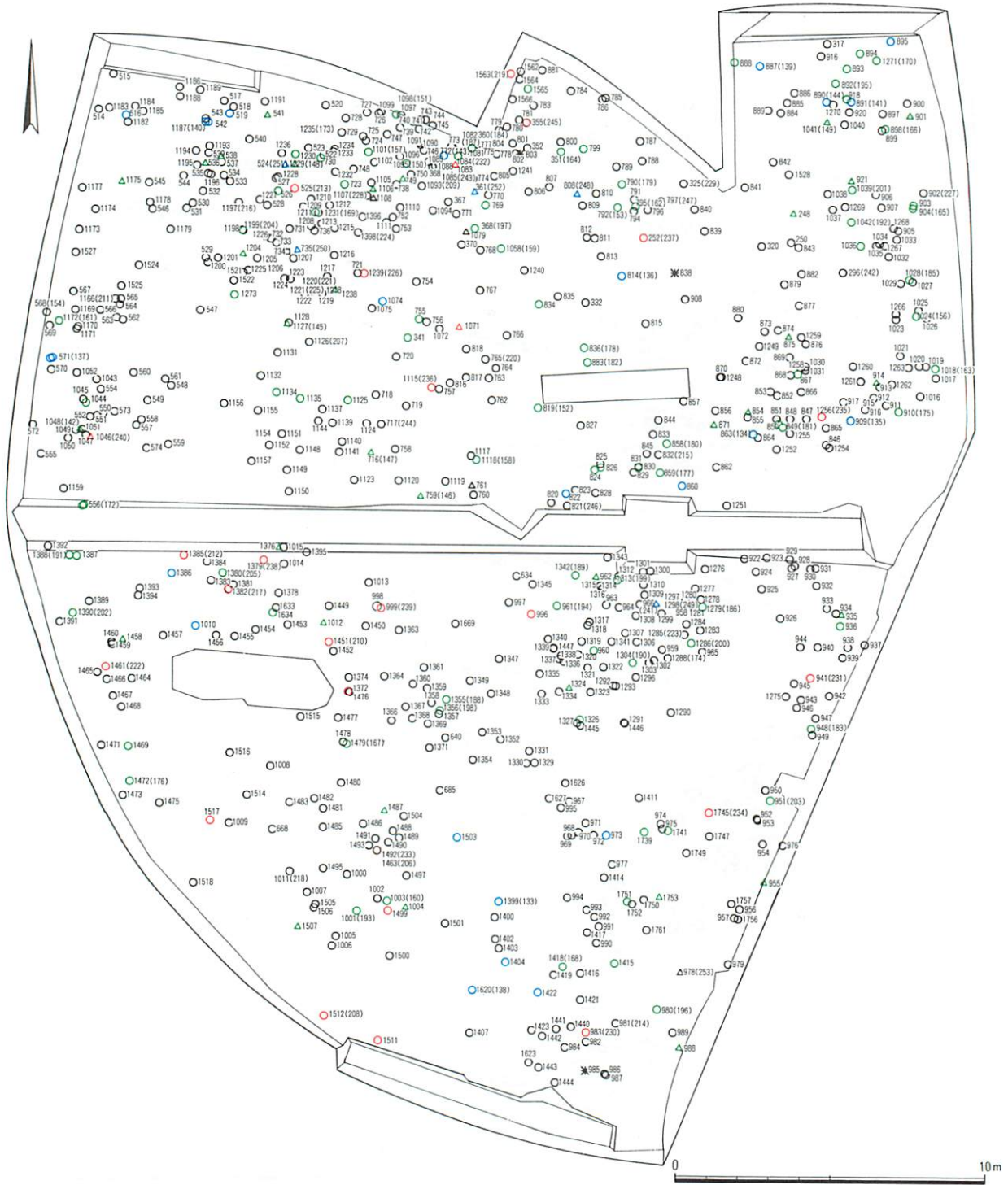


Fig. 34 6b層出土遺物平面分布圖 S = 1/200

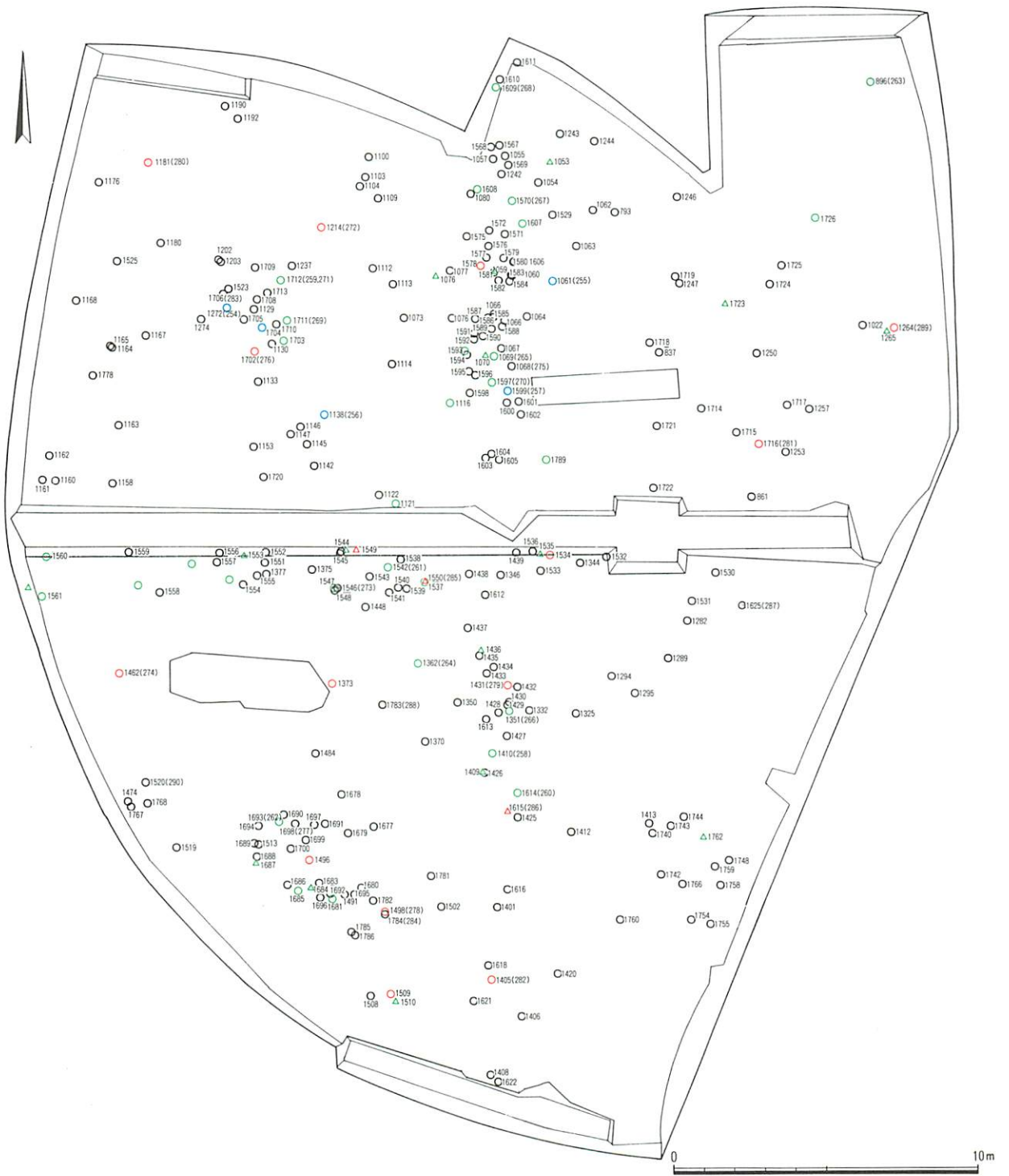


Fig. 35 7層出土遺物平面分布図 S = 1/200

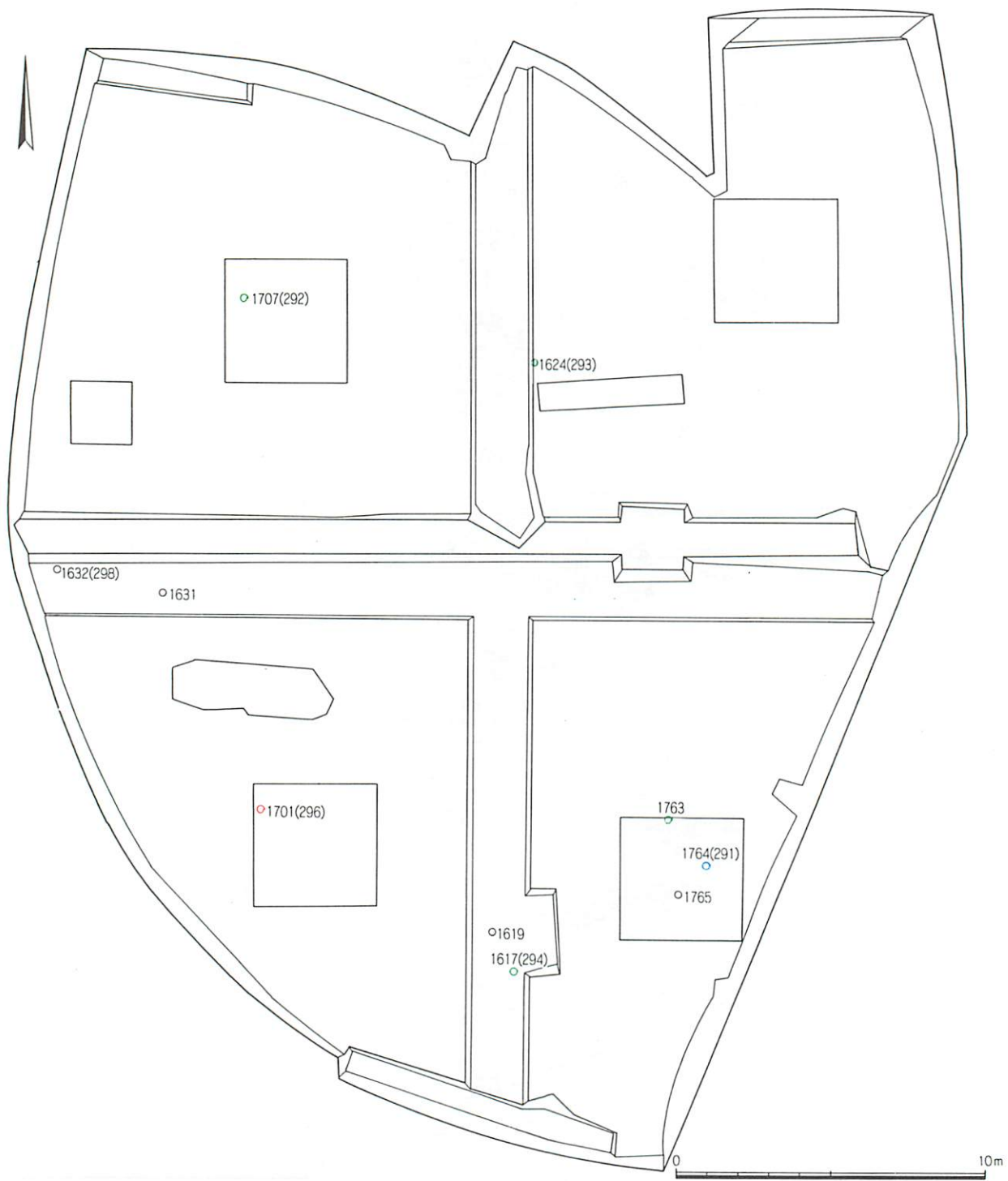


Fig. 36 8層出土遺物平面分布図 S = 1/200

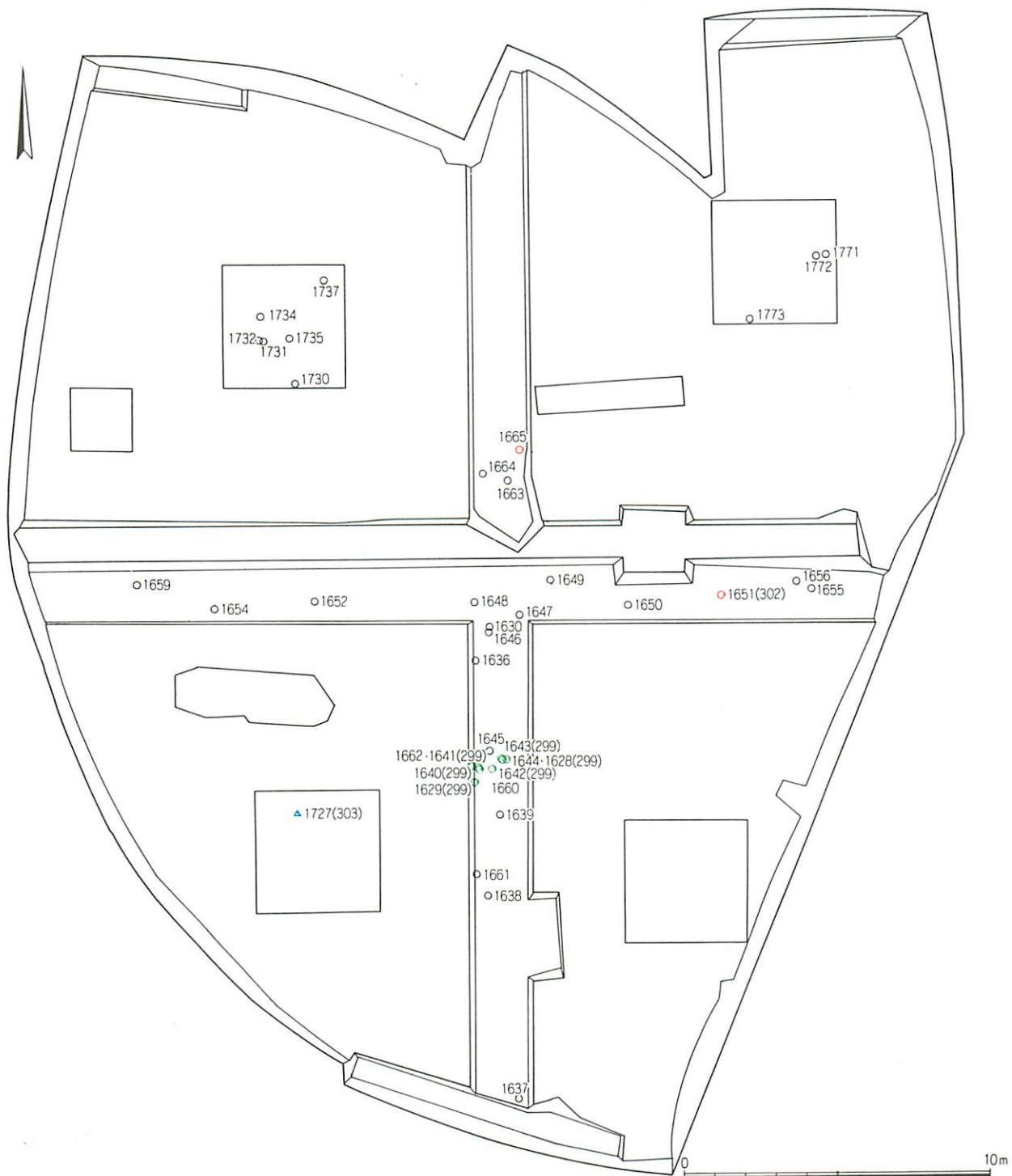


Fig. 37 9層出土遺物平面分布図 S = 1/200

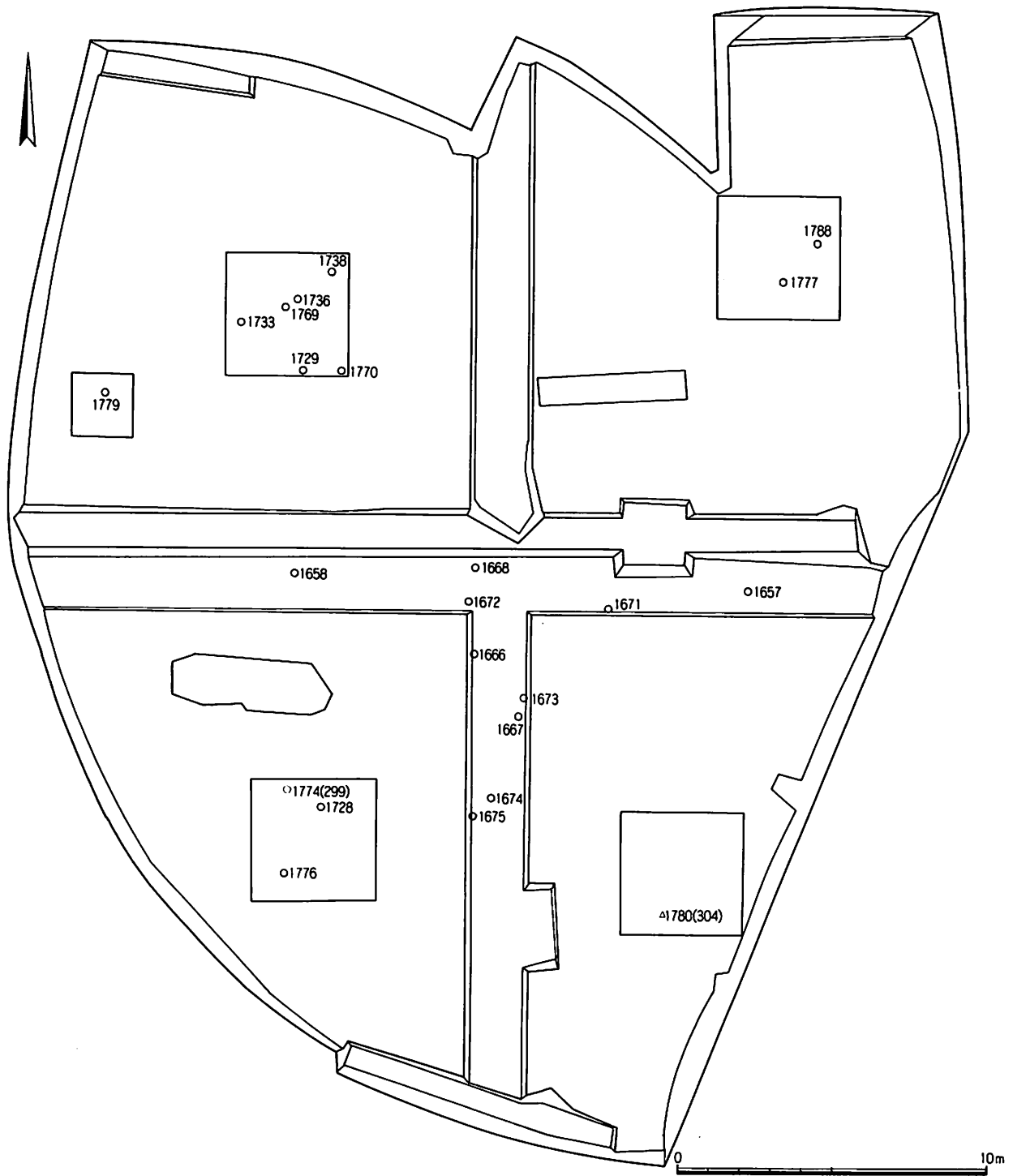


Fig. 38 10層出土遺物平面分布圖 S = 1/200

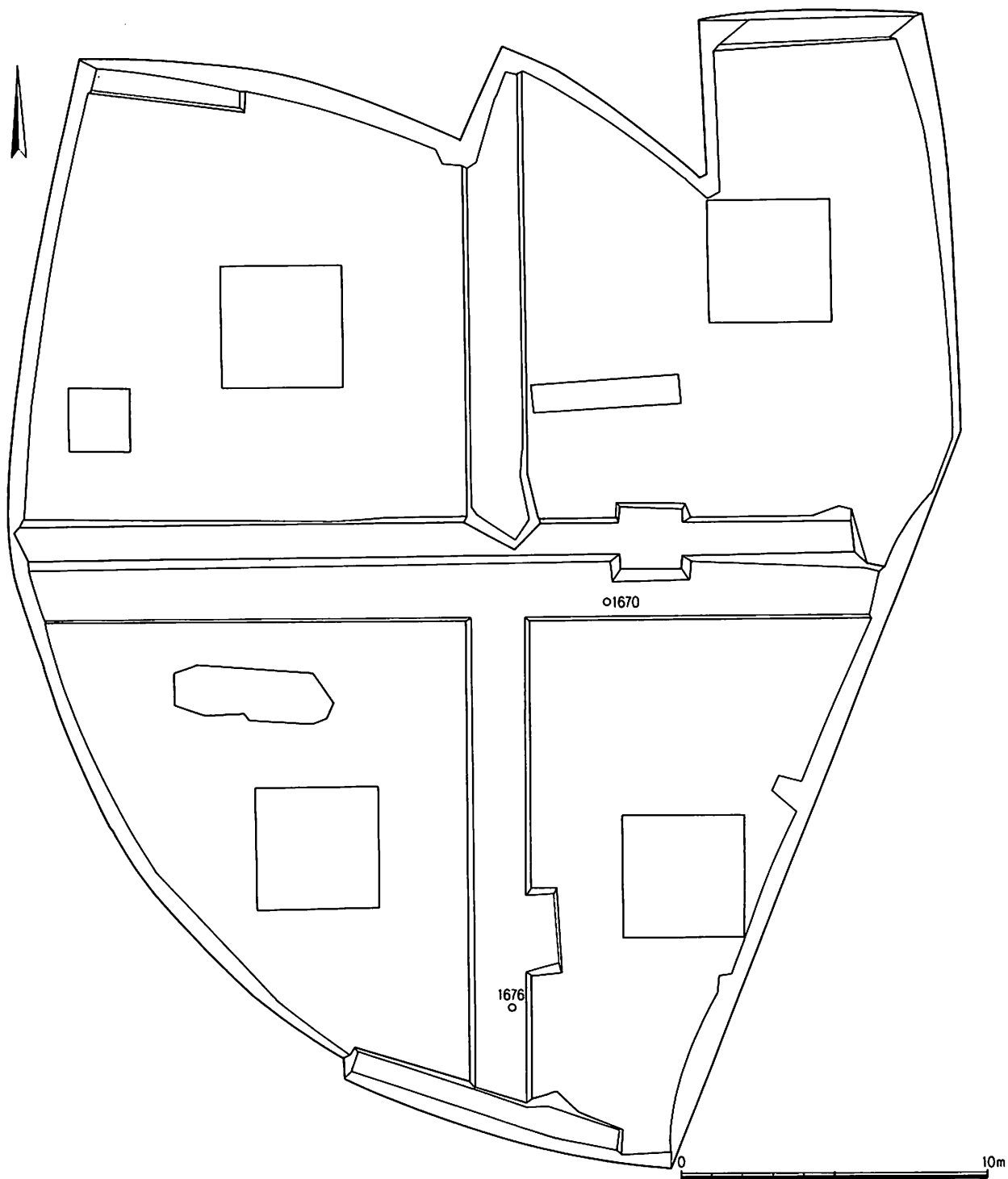


Fig. 39 11層出土遺物平面分布図 S = 1/200

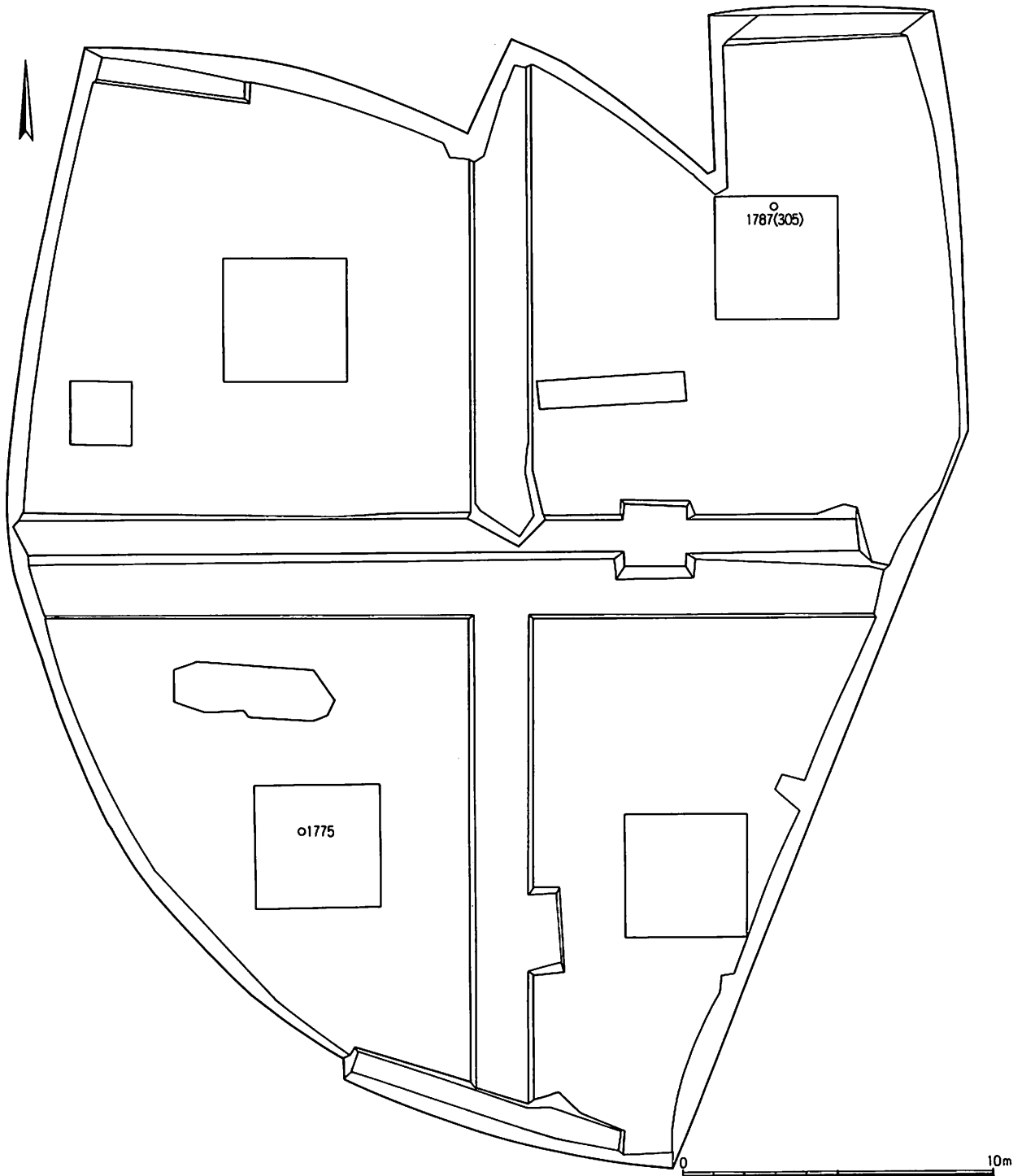


Fig. 40 12層出土遺物平面分布図 S = 1/200

Tab. 4 遺物一覧表

| No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. | No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. | No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. |
|-----|-----|----|----|--------|-----|-----|----|----|--------|-----|-----|----|----|--------|
| 1 | 002 | K | | | 66 | 002 | T | | | 128 | 004 | T | | |
| 2 | 001 | A | | 1, 2 | 67 | 003 | K | | | 130 | 003 | K | | |
| 3 | 002 | T | | | 68 | 001 | A | | | 131 | 003 | T | | 46 |
| 4 | 002 | T | | 23 | 69 | 003 | K | | | 133 | 004 | C | | 74 |
| 5 | 002 | K | | | 70 | 003 | T | | 47 | 134 | 004 | K | | |
| 6 | 002 | Z | | 25 | 71 | 003 | H | | | 135 | 004 | T | | 62 |
| 7 | 003 | K | | | 72 | 003 | T | | 38 | 136 | 003 | T | | 36 |
| 9 | 002 | K | | | 73 | 002 | Z | | 13, 19 | 137 | 003 | T | | |
| 10 | 002 | K | | | 74 | 002 | T | | | 138 | 003 | T | | 41 |
| 11 | 002 | T | | | 75 | 002 | Z | | | 139 | 003 | Z | | 33 |
| 15 | 003 | T | | | 76 | 003 | T | | 49 | 141 | 003 | T | | |
| 16 | 003 | T | | | 77 | 002 | Z | | 17 | 142 | 004 | K | | |
| 17 | 003 | T | | 43 | 78 | 002 | T | | | 143 | 004 | Z | | 57 |
| 18 | 004 | Y | K | 77 | 79 | 003 | K | | | 144 | 004 | T | | |
| 19 | 004 | T | | 73 | 80 | 003 | K | | | 145 | 004 | Z | | |
| 20 | 002 | B | | 31 | 81 | 002 | Z | | 11 | 146 | SK1 | 0 | I | |
| 21 | 002 | K | | | 82 | 003 | K | | | 147 | SK1 | 0 | I | |
| 22 | 002 | T | | 21 | 83 | 003 | T | | 37 | 148 | SK1 | 0 | I | |
| 24 | 002 | B | | 32 | 84 | 003 | T | | 48 | 149 | SK1 | 0 | I | |
| 25 | 003 | K | | | 85 | 003 | Z | | | 150 | SK1 | 0 | I | |
| 26 | 003 | T | | | 86 | 003 | T | | | 151 | SK1 | 0 | I | |
| 27 | 003 | K | | | 87 | 003 | K | | | 152 | SK1 | 0 | I | |
| 28 | 003 | Z | | | 88 | 003 | Z | | | 153 | SK1 | 0 | I | |
| 29 | 003 | 0 | | | 89 | 003 | T | | | 154 | SK1 | 0 | I | |
| 30 | 002 | T | | 20 | 90 | 003 | K | | | 155 | SK1 | 0 | I | |
| 31 | 002 | Z | | 8 | 91 | 003 | T | | 42 | 156 | SK1 | 0 | | |
| 32 | 002 | Z | | 16 | 92 | 003 | K | | | 157 | SK1 | 0 | I | |
| 33 | 002 | Z | | 15 | 93 | 003 | T | | 39 | 158 | SK1 | 0 | I | |
| 34 | 002 | Z | | | 94 | 002 | K | | | 159 | SK1 | C | | |
| 35 | 003 | K | | | 95 | 002 | A | | 18 | 160 | SK1 | 0 | | |
| 36 | 002 | Z | | | 96 | 003 | T | | | 161 | SK1 | 0 | I | |
| 37 | 003 | S | | 55 | 97 | 003 | K | | | 162 | SK1 | 0 | I | |
| 38 | 002 | 0 | | | 98 | 003 | T | | 45 | 163 | SK1 | 0 | I | |
| 39 | 001 | T | | 5 | 99 | 002 | Z | | 14 | 164 | SK1 | 0 | I | |
| 40 | 001 | Z | | 4 | 100 | 002 | K | | | 165 | SK1 | 0 | I | |
| 41 | 001 | Z | | 3 | 101 | 002 | T | | | 166 | SK1 | 0 | I | |
| 42 | 002 | Z | | | 102 | 002 | T | | | 167 | SK1 | 0 | I | |
| 43 | 002 | Z | | | 104 | 004 | T | | 60 | 168 | SK1 | 0 | I | |
| 44 | 001 | H | | 7 | 106 | 002 | T | | | 169 | SK1 | K | | |
| 45 | 002 | T | | | 107 | 002 | T | | | 170 | SK1 | 0 | I | |
| 46 | 001 | T | | 6 | 108 | 002 | Z | | | 171 | SK1 | 0 | I | |
| 47 | 002 | H | | 28 | 109 | 003 | Z | | 34 | 172 | SK1 | 0 | I | |
| 48 | 001 | I | | | 110 | 003 | Z | | | 173 | SK1 | 0 | I | |
| 49 | 002 | Z | | 12 | 111 | 002 | T | | | 174 | SK1 | 0 | I | |
| 50 | 003 | H | | 53 | 112 | 002 | T | | 24 | 175 | SK1 | 0 | I | |
| 51 | 002 | Z | | 9 | 113 | 004 | T | | 64 | 176 | SK1 | 0 | I | |
| 52 | 002 | T | | | 114 | 003 | T | | 44 | 177 | SK1 | 0 | I | |
| 53 | 002 | Z | | 10 | 115 | 004 | T | | | 178 | 06a | K | | |
| 54 | 002 | T | | | 116 | 004 | T | | | 179 | 06a | K | | |
| 55 | 003 | K | | | 117 | 003 | H | | 52 | 180 | 06a | T | | |
| 56 | 003 | K | | | 118 | 004 | T | | | 181 | 004 | Z | | |
| 57 | 002 | K | | | 119 | 002 | T | | | 182 | 06a | T | | |
| 58 | 002 | N | T | 30 | 120 | 003 | T | | 40 | 183 | 004 | T | | 67, 71 |
| 59 | 003 | T | | 50, 51 | 121 | 003 | T | | | 184 | 004 | T | | |
| 60 | 003 | T | | | 122 | 003 | 0 | | 54 | 185 | 06a | Z | | 82 |
| 61 | 002 | H | | 29 | 123 | 003 | Z | | 35 | 186 | 06a | T | | |
| 62 | 003 | K | | | 124 | 004 | T | | | 187 | 06a | T | | |
| 63 | 003 | T | | | 125 | 003 | T | | | 188 | 06a | H | | 110 |
| 64 | 003 | C | | | 126 | 004 | T | | | 189 | 06a | K | | |
| 65 | 003 | K | | | 127 | 004 | Z | | 56 | 190 | 06a | K | | |

| No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. | No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. | No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. |
|-----|-----|----|----|------------|-----|-----|----|----|-------|-----|-----|----|----|-------|
| 191 | 004 | T | | 66 | 251 | 06a | K | | | 319 | 06a | K | | |
| 192 | 004 | K | | | 252 | 06b | N | T | 237 | 320 | 06b | K | | |
| 193 | 004 | T | | | 253 | 06a | H | | | 321 | 06a | H | | |
| 194 | 004 | K | | | 254 | 06a | K | | | 322 | 06a | K | | |
| 195 | 06a | K | | | 255 | 06a | K | | | 323 | 06a | C | | 102 |
| 196 | 06a | T | | 96 | 256 | 06a | C | | | 324 | 06a | K | | |
| 197 | 004 | T | | | 257 | 06a | K | | | 325 | 06b | K | P | 229 |
| 198 | 004 | Z | | 58 | 258 | 06a | K | | | 326 | 06a | K | | |
| 199 | 004 | T | | 63 | 259 | 06a | K | | | 327 | 06a | K | | |
| 200 | 004 | T | | | 260 | 06a | T | | 92 | 328 | 06a | K | | |
| 201 | 004 | A | | | 261 | 06a | K | | | 329 | 06a | K | | |
| 202 | 06a | K | | | 262 | 06a | K | | | 330 | 06a | K | | |
| 203 | 004 | Z | | 59 | 263 | 06a | H | | | 331 | 06a | T | | 90 |
| 204 | 004 | T | | 61, 69, 70 | 264 | 06a | K | | | 332 | 06b | K | | |
| 205 | 004 | T | | | 265 | 06a | K | | | 333 | 06a | K | | |
| 206 | 06a | K | | | 266 | 06a | K | | | 334 | 06a | K | | |
| 207 | 06a | T | | | 267 | 06a | K | | | 335 | 06a | T | | |
| 208 | 06a | T | | 98 | 268 | 06a | K | | | 336 | 06a | H | | |
| 209 | 06a | T | | | 269 | 06a | K | | | 337 | 06a | K | | |
| 210 | 004 | T | | | 270 | 06a | K | | | 338 | 06a | K | | |
| 211 | 004 | A | | | 271 | 06a | K | | | 339 | 06a | C | | 101 |
| 212 | 004 | T | | 68 | 272 | 06a | K | | | 340 | 06a | H | | 115 |
| 213 | | C | | | 273 | 06a | K | | 114 | 341 | 06b | H | | |
| 214 | SK1 | O | I | | 274 | 06a | K | | | 342 | 06a | O | | |
| 215 | SK1 | O | | | 275 | 06a | H | | | 343 | 06a | K | | |
| 216 | SK1 | O | I | | 276 | 06a | I | | | 344 | 06a | K | | |
| 217 | SK1 | O | I | | 277 | 06a | K | | | 345 | 06a | K | | |
| 218 | SK1 | O | I | | 278 | 004 | Z | | | 346 | 06a | K | | |
| 219 | SK1 | O | I | | 279 | 004 | H | | | 347 | 06a | K | | |
| 220 | 004 | Z | | | 287 | 06a | H | | 109 | 348 | 06a | K | | |
| 221 | 004 | K | | | 288 | 06a | K | | | 349 | 06a | K | | |
| 222 | 005 | K | | 79 | 289 | 06a | K | | | 350 | 06a | K | | |
| 223 | 005 | K | | | 290 | 06a | K | | | 351 | 06b | H | | 164 |
| 224 | 004 | K | | | 291 | 06a | K | | | 352 | 06b | K | | |
| 225 | 004 | T | | | 292 | 06a | K | | 122 | 353 | 06a | K | | |
| 226 | 004 | T | | | 293 | 06a | K | | | 354 | 06a | K | | |
| 227 | 004 | K | | | 294 | 06a | K | | | 355 | 06b | N | | 245 |
| 228 | 004 | K | | | 295 | 06a | K | | | 356 | 06a | K | | |
| 229 | 004 | T | | | 296 | 06b | K | | 242 | 357 | 06a | K | | |
| 230 | 004 | K | | | 297 | 06a | K | | | 358 | 06a | K | | |
| 231 | 005 | K | | | 298 | 06a | K | | | 359 | 06a | K | | |
| 232 | 005 | K | | | 299 | 06a | K | | | 360 | 06b | H | | 184 |
| 233 | 004 | K | | | 300 | 06a | K | | | 361 | 06b | B | | 252 |
| 234 | 06a | K | | | 301 | 06a | K | | | 362 | 06a | H | | |
| 235 | 06a | K | | | 302 | 06a | K | | | 363 | 06a | K | | 129 |
| 236 | 004 | K | | | 303 | 06a | K | | | 364 | 06a | H | | |
| 237 | 004 | B | | 78 | 305 | 06a | K | | | 365 | 06b | K | | |
| 238 | 06a | T | | 97 | 306 | 06a | K | | | 366 | 06a | K | | |
| 239 | 004 | T | | 65 | 307 | 06a | K | | | 367 | 06b | K | | |
| 240 | 004 | T | | | 308 | 06a | H | | 111 | 368 | 06b | H | | 197 |
| 241 | 004 | Z | | | 309 | 06a | K | | | 369 | 06a | H | | 106 |
| 242 | 004 | Z | | | 310 | 06a | K | | | 370 | 06b | K | | |
| 243 | 005 | K | | | 311 | 06a | K | | | 371 | 06a | C | | 105 |
| 244 | 005 | K | | | 312 | 005 | T | | | 372 | 06a | C | | |
| 245 | 06a | K | | | 313 | 06a | K | | | 373 | 06a | T | | 99 |
| 246 | 06a | K | | | 314 | 06a | H | | | 374 | 06a | K | | |
| 247 | 06a | K | | | 315 | 06a | K | | | 375 | 06a | K | | |
| 248 | 06b | C | | | 316 | 06a | K | | | 376 | 06a | K | | |
| 249 | 06a | C | | | 317 | 06b | K | | | 377 | 06a | K | | |
| 250 | 06b | K | | | 318 | 06a | K | | 130 | 378 | 06a | K | | |

| No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. | No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. | No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. |
|-----|-----|----|----|-------|-----|-----|----|----|-------|-----|-----|----|----|-------|
| 379 | 06a | B | | 132 | 439 | 06a | K | | | 499 | 06a | K | | |
| 380 | 06a | K | | 119 | 440 | 06a | K | | | 500 | 06a | K | | |
| 381 | 06a | K | | | 441 | 06a | K | | | 501 | 06a | H | | 114 |
| 382 | 06a | T | | | 442 | 06a | K | | | 503 | 06a | K | | |
| 383 | 06a | K | | | 443 | 06a | K | | | 504 | 06a | K | | |
| 384 | 06a | K | | | 444 | 06a | K | | | 505 | 06a | K | | |
| 385 | 06a | K | | | 445 | 06a | K | | | 506 | 06a | K | | |
| 386 | 06a | K | | | 446 | 06a | K | | | 507 | 06a | K | | |
| 387 | 06a | K | | | 447 | 06a | K | | | 508 | 06a | K | | |
| 388 | 06a | K | | | 448 | 06a | K | | | 509 | 06a | K | | |
| 389 | 06a | K | | | 449 | 06a | K | | | 510 | 06a | T | | |
| 390 | 06a | H | | | 450 | 06a | C | | 103 | 514 | 06b | K | | |
| 391 | 06a | K | | | 451 | 06a | H | | | 515 | 06b | K | | |
| 392 | 06a | N | K | 123 | 452 | 06a | K | | | 516 | 06b | T | | |
| 393 | 06a | K | | 120 | 453 | 06a | N | | | 517 | 06b | K | | |
| 394 | 06a | K | | | 454 | 06a | H | | 117 | 518 | 06b | K | | |
| 395 | 06a | T | | | 455 | 06a | K | | | 519 | 06b | Z | | |
| 396 | 06a | Y | K | 127 | 456 | 06a | K | | | 520 | 06b | K | | |
| 397 | 06a | K | | | 457 | 06a | K | | | 522 | 06b | K | | |
| 398 | 06a | T | | | 458 | 06a | K | | | 523 | 06b | K | | |
| 399 | 06a | K | | | 459 | 06a | K | | | 524 | 06b | B | | 251 |
| 400 | 06a | K | | | 460 | 06a | K | | | 525 | 06b | N | K | 213 |
| 401 | 06a | K | | | 461 | 06a | N | P | 124 | 526 | 06b | H | | |
| 402 | 06a | N | C | 125 | 462 | 06a | K | | | 527 | 06b | K | | |
| 403 | 06a | C | | 104 | 463 | 06a | K | | | 528 | 06b | K | | |
| 404 | 06a | C | | | 464 | 06a | T | | 93 | 529 | 06b | K | | |
| 405 | 06a | K | | | 465 | 06a | K | | | 530 | 06b | K | | |
| 406 | 06a | K | | | 466 | 06a | K | | | 531 | 06b | K | | |
| 407 | 06a | K | | | 467 | 06a | K | | | 532 | 06b | K | | |
| 408 | 06a | K | | | 468 | 06a | K | | | 533 | 06b | K | | |
| 409 | 06a | K | K | 121 | 469 | 06a | H | | 107 | 534 | 06b | K | | |
| 410 | 06a | H | | | 470 | 06a | K | | | 535 | 06b | K | | |
| 411 | 06a | H | | | 471 | 06a | K | | | 536 | 06b | C | | |
| 412 | 06a | K | | | 472 | 06a | K | | | 537 | 06b | K | | |
| 413 | 06a | K | | | 473 | 06a | Z | | 83 | 538 | 06b | C | | |
| 414 | 06a | K | | | 474 | 06a | K | | | 539 | 06b | K | | |
| 415 | 06a | K | | | 475 | 06a | T | | | 540 | 06b | K | | |
| 416 | 06a | K | | | 476 | 06a | K | | | 541 | 06b | C | | |
| 417 | 06a | K | | | 477 | 06a | Z | | 86 | 542 | 06b | T | | |
| 418 | 06a | Z | | 84 | 478 | 06a | H | | | 543 | 06b | K | | |
| 419 | 06a | K | | | 479 | 06a | K | | | 544 | 06b | K | | |
| 420 | 06a | K | | | 480 | 06a | K | | | 545 | 06b | K | | |
| 421 | 06a | C | | | 481 | 06a | T | | 95 | 546 | 06b | K | | |
| 422 | 06a | K | | | 482 | 06a | K | | | 547 | 06b | K | | |
| 423 | 06a | K | | | 483 | 06a | K | | | 548 | 06b | K | | |
| 424 | 06a | K | | | 484 | 06a | K | | | 549 | 06b | K | | |
| 425 | 06a | K | | | 485 | 06a | T | | 89 | 550 | 06b | K | | |
| 426 | 06a | K | | | 486 | 06a | K | | | 551 | 06b | K | | |
| 427 | 06a | K | | | 487 | 06a | K | | | 552 | 06b | K | | |
| 428 | 06a | K | | | 488 | 06a | Y | K | 126 | 554 | 06b | K | | |
| 429 | 06a | K | | | 489 | 06a | H | | | 555 | 06b | K | | |
| 430 | 06a | H | | 113 | 490 | 06a | Z | | 80 | 556 | 06b | H | | 172 |
| 431 | 06a | T | | | 491 | 06a | Z | | 87 | 557 | 06b | K | | |
| 432 | 06a | K | | | 492 | 06a | K | | | 558 | 06b | K | | |
| 433 | 06a | C | | | 493 | 06a | K | | | 559 | 06b | K | | |
| 434 | 06a | K | | | 494 | 06a | K | | | 560 | 06b | K | | |
| 435 | 06a | K | | | 495 | 06a | K | | | 561 | 06b | K | | |
| 436 | 06a | N | | | 496 | 06a | K | | | 562 | 06b | K | | |
| 437 | 06a | K | | | 497 | 06a | K | | | 563 | 06b | K | | |
| 438 | 06a | K | | | 498 | 06a | K | | | 564 | 06b | K | | |

| No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. | No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. | No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. |
|-----|-----|----|----|-------|-----|-----|----|----|-------|-----|-----|----|----|--------|
| 565 | 06b | K | | | 625 | 06a | K | | | 686 | 06a | K | | |
| 566 | 06b | K | | | 627 | 06a | K | | | 687 | 06a | K | | |
| 567 | 06b | K | | | 628 | 06a | K | | | 688 | 06a | K | | |
| 568 | 06b | K | | 154 | 629 | 06a | B | | 131 | 689 | 06a | K | | |
| 569 | 06b | K | | | 630 | 06a | K | | | 691 | 06a | K | | |
| 570 | 06b | K | | | 631 | 06a | K | | | 692 | 06a | K | | |
| 571 | 06b | Z | | 137 | 632 | 06a | K | | | 693 | 06a | K | | |
| 572 | 06b | K | | | 633 | 06a | K | | | 694 | 06a | K | | |
| 573 | 06b | K | | | 634 | 06b | K | | | 695 | 06a | K | | |
| 574 | 06b | K | | | 635 | 06a | H | | 118 | 696 | 06a | K | | |
| 575 | 06a | K | | | 636 | 06a | K | | | 697 | 06a | K | | |
| 576 | 06a | I | | | 637 | 06a | T | | 94 | 698 | 06a | K | | |
| 577 | 06a | K | | | 638 | 06a | K | | | 699 | 06a | K | | |
| 578 | 06a | K | | | 639 | 06a | K | | | 700 | 06a | K | | |
| 579 | 06a | K | | | 640 | 06b | K | | | 701 | 06a | K | | |
| 580 | 06a | K | | | 641 | 06a | K | | | 702 | 06a | K | | |
| 581 | 06a | K | | | 642 | 06a | K | | | 703 | 06a | K | | |
| 582 | 06a | K | | | 643 | 06a | K | | | 704 | 06a | K | | |
| 583 | 06a | K | | | 644 | 06a | K | | | 705 | 06a | K | | |
| 584 | 06a | K | | | 645 | 06a | K | | | 706 | 06a | K | | |
| 585 | 06a | K | | | 646 | 06a | K | | | 707 | 06a | K | | |
| 586 | 06a | H | | | 647 | 06a | K | | | 708 | 06a | Z | | 81 |
| 587 | 06a | K | | | 648 | 06a | H | | 112 | 709 | 06a | Z | | 88, 91 |
| 588 | 06a | K | | | 649 | 06a | K | | | 710 | 06a | H | | |
| 589 | 06a | K | | | 650 | 06a | Z | | | 711 | 06a | K | | |
| 590 | 06a | K | | | 651 | 06a | K | | | 712 | 06a | K | | |
| 591 | 06a | K | | | 652 | 06a | K | | | 713 | 06a | S | | |
| 592 | 06a | K | | | 653 | 06a | K | | | 714 | 06a | K | | |
| 593 | 06a | K | | | 654 | 06a | K | | | 715 | 06a | K | | |
| 594 | 06a | K | | | 655 | 06a | K | | | 716 | 06b | C | | 147 |
| 595 | 06a | K | | | 656 | 06a | K | | | 717 | 06b | K | | 244 |
| 596 | 06a | K | | | 657 | 06a | K | | | 718 | 06b | K | | |
| 597 | 06a | K | | | 658 | 06a | H | | 108 | 719 | 06b | K | | |
| 598 | 06a | K | | | 659 | 06a | K | | | 720 | 06b | K | | |
| 599 | 06a | Z | | 85 | 660 | 06a | K | | | 721 | 06b | K | | |
| 600 | 06a | K | | | 661 | 06a | H | | | 722 | 06b | D | | |
| 601 | 06a | K | | | 662 | 06a | K | | | 723 | 06b | H | | |
| 602 | 06a | K | | | 663 | 06a | K | | | 724 | 06b | K | | |
| 603 | 06a | K | | | 664 | 06a | K | | | 725 | 06b | K | | |
| 604 | 06a | K | | | 665 | 06a | K | | | 726 | 06b | K | | |
| 605 | 06a | K | | | 666 | 06a | K | | | 727 | 06b | K | | |
| 606 | 06a | K | | | 667 | 06a | K | | | 728 | 06b | K | | |
| 607 | 06a | K | | | 668 | 06b | K | | | 729 | 06b | K | | |
| 608 | 06a | K | | | 669 | 06a | K | | | 730 | 06b | H | | |
| 609 | 06a | K | | | 670 | 06a | K | | | 731 | 06b | K | | |
| 610 | 06a | K | | | 671 | 06a | K | | | 732 | 06b | K | | |
| 611 | 06a | K | | | 672 | 06a | K | | | 733 | 06b | K | | |
| 612 | 06a | K | | | 673 | 06a | K | | | 734 | 06b | I | | |
| 613 | 06a | A | | 85 | 674 | 06a | K | | | 735 | 06b | B | | 250 |
| 614 | 06a | K | | | 675 | 06a | K | | | 736 | 06b | K | | |
| 615 | 06a | K | | | 676 | 06a | K | | | 738 | 06b | K | | |
| 616 | 06a | K | | | 677 | 06a | K | | | 739 | 06b | K | | |
| 617 | 06a | K | | | 678 | 06a | K | | | 740 | 06b | K | | |
| 618 | 06a | H | | | 679 | 06a | K | | | 741 | 06b | K | | |
| 619 | 06a | K | | | 680 | 06a | K | | | 742 | 06b | K | | |
| 620 | 06a | K | | | 681 | 06a | K | | | 743 | 06b | K | | |
| 621 | 06a | H | | 116 | 682 | 06a | H | | | 744 | 06b | K | | |
| 622 | 06a | K | | | 683 | 06a | K | | | 745 | 06b | K | | |
| 623 | 06a | K | | 128 | 684 | 06a | H | | | 746 | 06b | K | | |
| 624 | 06a | K | | | 685 | 06b | K | | | 747 | 06b | K | | |

| No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. |
|-----|-----|----|----|-------|
| 748 | 06b | K | | |
| 749 | 06b | C | | |
| 750 | 06b | K | | |
| 752 | 06b | K | | |
| 753 | 06b | K | | |
| 754 | 06b | K | | |
| 755 | 06b | H | U | |
| 756 | 06b | K | | |
| 757 | 06b | K | | |
| 758 | 06b | K | | |
| 759 | 06b | C | | 146 |
| 760 | 06b | K | | |
| 761 | 06b | S | | |
| 762 | 06b | K | | |
| 763 | 06b | K | | |
| 764 | 06b | K | | |
| 765 | 06b | K | K | 220 |
| 766 | 06b | K | | |
| 767 | 06b | K | | |
| 768 | 06b | K | | |
| 769 | 06b | H | | |
| 770 | 06b | K | | |
| 771 | 06b | K | | |
| 772 | 06b | T | | 143 |
| 773 | 06b | K | | |
| 774 | 06b | K | | |
| 775 | 06b | K | | |
| 776 | 06b | K | | |
| 777 | 06b | K | | |
| 778 | 06b | K | | |
| 779 | 06b | K | | |
| 780 | 06b | K | | |
| 781 | 06b | K | | |
| 783 | 06b | K | | |
| 784 | 06b | K | | |
| 785 | 06b | K | | |
| 786 | 06b | K | | |
| 787 | 06b | K | | |
| 788 | 06b | K | | |
| 789 | 06b | K | | |
| 790 | 06b | H | | 179 |
| 791 | 06b | K | | |
| 792 | 06b | H | | 153 |
| 793 | 007 | K | | |
| 794 | 06b | K | | |
| 795 | 06b | H | | 162 |
| 796 | 06b | K | | |
| 797 | 06b | K | | 247 |
| 799 | 06b | H | | |
| 800 | 06b | K | | |
| 801 | 06b | K | | |
| 802 | 06b | K | | |
| 803 | 06b | A | | |
| 804 | 06b | K | | |
| 805 | 06b | K | | |
| 806 | 06b | K | | |
| 807 | 06b | K | | |
| 808 | 06b | B | | 248 |
| 809 | 06b | K | | |
| 810 | 06b | K | | |

| No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. |
|-----|-----|----|----|-------|
| 811 | 06b | K | | |
| 812 | 06b | K | | |
| 813 | 06b | K | | |
| 814 | 06b | Z | | 136 |
| 815 | 06b | K | | |
| 816 | 06b | K | | |
| 817 | 06b | K | | |
| 818 | 06b | K | | |
| 819 | 06b | H | | 152 |
| 820 | 06b | K | | |
| 821 | 06b | K | | 246 |
| 822 | 06b | Z | | |
| 823 | 06b | K | | |
| 824 | 06b | H | | |
| 825 | 06b | K | | |
| 826 | 06b | H | | |
| 827 | 06b | K | | |
| 828 | 06b | K | | |
| 829 | 06b | K | | |
| 830 | 06b | H | | |
| 831 | 06b | K | | |
| 832 | 06b | K | | 215 |
| 833 | 06b | K | | |
| 834 | 06b | H | | |
| 835 | 06b | K | | |
| 836 | 06b | H | | 178 |
| 837 | 007 | K | | |
| 838 | 06b | A | | |
| 839 | 06b | K | | |
| 840 | 06b | K | | |
| 841 | 06b | K | | |
| 842 | 06b | K | | |
| 843 | 06b | K | | |
| 844 | 06b | K | | |
| 845 | 06b | K | | |
| 846 | 06b | K | | |
| 847 | 06b | K | | |
| 848 | 06b | K | | |
| 849 | 06b | H | | 181 |
| 850 | 06b | H | | |
| 851 | 06b | K | | |
| 852 | 06b | K | | |
| 853 | 06b | K | | |
| 854 | 06b | C | | |
| 885 | 06b | K | | |
| 856 | 06b | K | | |
| 857 | 06b | K | | |
| 858 | 06b | H | | 180 |
| 859 | 06b | H | | 177 |
| 860 | 06b | T | | |
| 861 | 007 | K | | |
| 862 | 06b | K | | |
| 863 | 06b | Z | | 134 |
| 864 | 06b | K | | |
| 865 | 06b | K | | |
| 866 | 06b | K | | |
| 867 | 06b | H | | |
| 868 | 06b | K | | |
| 869 | 06b | K | | |
| 870 | 06b | K | | |

| No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. |
|-----|-----|----|----|-------|
| 871 | 06b | C | | |
| 872 | 06b | K | | |
| 873 | 06b | K | | |
| 874 | 06b | K | | |
| 875 | 06b | C | | |
| 876 | 06b | K | | |
| 877 | 06b | K | | |
| 879 | 06b | K | | |
| 880 | 06b | K | | |
| 881 | 06b | K | | |
| 882 | 06b | K | | |
| 883 | 06b | H | | 182 |
| 884 | 06b | K | | |
| 885 | 06b | K | | |
| 886 | 06b | K | | |
| 887 | 06b | Z | | 139 |
| 888 | 06b | H | | |
| 889 | 06b | K | | |
| 889 | 06b | K | | |
| 890 | 06b | T | | 144 |
| 891 | 06b | T | | 141 |
| 892 | 06b | H | | 195 |
| 893 | 06b | H | | |
| 894 | 06b | H | | |
| 895 | 06b | Z | | |
| 896 | 007 | H | | 263 |
| 897 | 06b | K | | |
| 898 | 06b | H | | 166 |
| 899 | 06b | K | | |
| 900 | 06b | K | | |
| 901 | 06b | C | | |
| 902 | 06b | K | P | 227 |
| 903 | 06b | H | | |
| 904 | 06b | H | | 165 |
| 905 | 06b | K | | |
| 906 | 06b | K | | |
| 907 | 06b | K | | |
| 908 | 06b | K | | |
| 909 | 06b | Z | | 135 |
| 910 | 06b | H | | 175 |
| 911 | 06b | K | | |
| 912 | 06b | K | | |
| 913 | 06b | K | | |
| 914 | 06b | C | | |
| 915 | 06b | W | | |
| 916 | 06b | K | | |
| 917 | 06b | K | | |
| 918 | 06b | K | | |
| 919 | 06b | H | | |
| 920 | 06b | K | | |
| 921 | 06b | C | | |
| 922 | 06b | K | | |
| 923 | 06b | K | | |
| 924 | 06b | K | | |
| 925 | 06b | K | | |
| 926 | 06b | K | | |
| 927 | 06b | K | | |
| 928 | 06b | K | | |
| 929 | 06b | K | | |
| 930 | 06b | K | | |

| No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. | No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. | No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. |
|-----|-----|----|----|-------|------|-----|----|----|-------|------|-----|----|----|-------|
| 931 | 06b | K | | | 991 | 06b | K | | | 1051 | 06b | K | | |
| 932 | 06b | K | | | 992 | 06b | K | | | 1052 | 06b | K | | |
| 933 | 06b | K | | | 993 | 06b | K | | | 1053 | 007 | C | | |
| 934 | 06b | K | | | 994 | 06b | K | | | 1054 | 007 | K | | |
| 935 | 06b | C | | | 995 | 06b | K | | | 1055 | 007 | K | | |
| 936 | 06b | H | | | 996 | 06b | N | T | | 1057 | 007 | K | | |
| 937 | 06b | K | | | 997 | 06b | K | | | 1058 | 06b | H | | 159 |
| 938 | 06b | K | | | 998 | 06b | K | | | 1059 | 007 | C | | |
| 939 | 06b | K | | | 999 | 06b | N | C | 239 | 1060 | 007 | K | | |
| 940 | 06b | K | | | 1000 | 06b | K | | | 1061 | 007 | Z | | 255 |
| 941 | 06b | N | P | 231 | 1001 | 06b | H | | 193 | 1062 | 007 | K | | |
| 942 | 06b | K | | | 1002 | 06b | K | | | 1063 | 007 | K | | |
| 943 | 06b | K | | | 1003 | 06b | H | | 160 | 1064 | 007 | K | | |
| 944 | 06b | K | | | 1004 | 06b | C | | | 1065 | 007 | K | | |
| 945 | 06b | K | | | 1005 | 06b | K | | | 1066 | 007 | K | | |
| 946 | 06b | K | | | 1006 | 06b | K | | | 1067 | 007 | K | | |
| 947 | 06b | K | | | 1007 | 06b | K | | | 1068 | 007 | K | K | 275 |
| 948 | 06b | H | | 183 | 1008 | 06b | K | | | 1069 | 007 | H | | 265 |
| 949 | 06b | K | | | 1009 | 06b | K | | | 1070 | 007 | C | | |
| 950 | 06b | K | | | 1010 | 06b | Z | | | 1071 | 06b | Y | | |
| 951 | 06b | H | | 203 | 1011 | 06b | K | K | 218 | 1072 | 06b | K | | |
| 952 | 06b | K | | | 1012 | 06b | C | | | 1073 | 007 | K | | |
| 953 | 06b | K | | | 1013 | 06b | K | | | 1074 | 06b | Z | | |
| 954 | 06b | K | | | 1014 | 06b | K | | | 1075 | 06b | K | | |
| 955 | 06b | C | | | 1015 | 06b | K | | | 1076 | 007 | C | | |
| 956 | 06b | K | | | 1016 | 06b | K | | | 1077 | 007 | K | | |
| 957 | 06b | K | | | 1017 | 06b | K | | | 1078 | 007 | K | | |
| 958 | 06b | K | | | 1018 | 06b | H | | 163 | 1079 | 06b | S | | |
| 959 | 06b | K | | | 1019 | 06b | K | | | 1080 | 007 | K | | |
| 960 | 06b | H | | | 1020 | 06b | K | | | 1081 | 06b | K | | |
| 961 | 06b | H | | 194 | 1021 | 06b | K | | | 1082 | 06b | H | | 187 |
| 962 | 06b | C | | | 1022 | 007 | K | | | 1083 | 06b | K | | |
| 963 | 06b | K | | | 1023 | 06b | K | | | 1084 | 06b | Y | T | 232 |
| 964 | 06b | K | | | 1024 | 06b | H | | 156 | 1085 | 06b | K | | 243 |
| 965 | 06b | K | | | 1025 | 06b | K | | | 1088 | 06b | K | | |
| 966 | 06b | K | P | 241 | 1026 | 06b | K | | | 1089 | 06b | K | | |
| 967 | 06b | K | | | 1027 | 06b | K | | | 1090 | 06b | K | | |
| 968 | 06b | K | | | 1028 | 06b | H | | 185 | 1091 | 06b | K | | |
| 969 | 06b | K | | | 1029 | 06b | K | | | 1093 | 06b | K | | 209 |
| 970 | 06b | K | | | 1030 | 06b | K | | | 1094 | 06b | K | | |
| 971 | 06b | K | | | 1031 | 06b | K | | | 1095 | 06b | H | | 150 |
| 972 | 06b | K | | | 1032 | 06b | K | | | 1096 | 06b | K | | |
| 973 | 06b | T | | | 1033 | 06b | K | | | 1097 | 06b | K | | |
| 974 | 06b | K | | | 1034 | 06b | K | | | 1098 | 06b | H | | 151 |
| 975 | 06b | K | | | 1035 | 06b | K | | | 1099 | 06b | K | | |
| 976 | 06b | K | | | 1036 | 06b | H | | | 1100 | 007 | K | | |
| 977 | 06b | K | | | 1037 | 06b | K | | | 1101 | 06b | H | | 157 |
| 978 | 06b | S | | 253 | 1038 | 06b | K | | | 1102 | 06b | K | | |
| 979 | 06b | K | | | 1039 | 06b | H | | 201 | 1103 | 007 | K | | |
| 980 | 06b | H | | 196 | 1040 | 06b | K | | | 1104 | 007 | K | | |
| 981 | 06b | K | | 214 | 1041 | 06b | C | | 149 | 1105 | 06b | K | | |
| 982 | 06b | K | | | 1042 | 06b | H | | 192 | 1106 | 06b | C | | |
| 983 | 06b | N | P | 230 | 1043 | 06b | K | | | 1107 | 06b | K | | 228 |
| 984 | 06b | K | | | 1044 | 06b | H | | | 1108 | 06b | S | | |
| 985 | 06b | A | | | 1045 | 06b | K | | | 1109 | 007 | K | | |
| 986 | 06b | K | | | 1046 | 06b | Y | | 240 | 1110 | 06b | K | | |
| 987 | 06b | K | | | 1047 | 06b | K | | | 1111 | 06b | K | | |
| 988 | 06b | C | | | 1048 | 06b | C | | 142 | 1112 | 007 | K | | |
| 989 | 06b | K | | | 1049 | 06b | K | | | 1113 | 007 | K | | |
| 990 | 06b | K | | | 1050 | 06b | K | | | 1114 | 007 | K | | |

| No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. | No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. | No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. |
|------|-----|----|----|-------|------|-----|----|----|-------|------|-----|----|----|-------|
| 1115 | 06b | N | T | 236 | 1177 | 06b | K | | | 1237 | 007 | K | | |
| 1116 | 007 | H | | | 1178 | 06b | K | | | 1238 | 06b | C | | |
| 1117 | 06b | K | | | 1179 | 06b | K | | | 1239 | 06b | N | K | 226 |
| 1118 | 06b | H | | 158 | 1180 | 007 | K | | | 1240 | 06b | K | | |
| 1119 | 06b | K | | | 1181 | 007 | N | K | 280 | 1241 | 06b | K | | |
| 1120 | 06b | K | | | 1182 | 06b | K | | | 1242 | 007 | K | | |
| 1121 | 007 | H | | | 1183 | 06b | K | | | 1243 | 007 | K | | |
| 1122 | 007 | K | | | 1184 | 06b | K | | | 1244 | 007 | K | | |
| 1123 | 06b | K | | | 1185 | 06b | K | | | 1246 | 007 | K | K | |
| 1124 | 06b | K | | | 1186 | 06b | K | | | 1247 | 007 | K | | |
| 1125 | 06b | H | | | 1187 | 06b | Z | | 140 | 1248 | 06b | K | | |
| 1126 | 06b | K | K | 207 | 1188 | 06b | K | | | 1249 | 06b | K | | |
| 1127 | 06b | C | | 145 | 1189 | 06b | K | | | 1250 | 007 | K | | |
| 1128 | 06b | K | | | 1190 | 007 | K | | | 1251 | 06b | K | | |
| 1129 | 007 | K | | | 1191 | 06b | K | | | 1252 | 06b | K | | |
| 1130 | 007 | K | | | 1192 | 007 | K | | | 1253 | 007 | K | | |
| 1131 | 06b | K | | | 1193 | 06b | K | | | 1254 | 06b | K | | |
| 1132 | 06b | K | | | 1194 | 06b | K | | | 1255 | 06b | K | | |
| 1133 | 007 | K | | | 1195 | 06b | K | | | 1256 | 06b | N | T | 235 |
| 1134 | 06b | H | | | 1196 | 06b | K | | | 1257 | 007 | K | | |
| 1135 | 06b | H | | | 1197 | 06b | K | | 216 | 1258 | 06b | K | | |
| 1137 | 06b | K | | | 1198 | 06b | K | | | 1259 | 06b | K | | |
| 1138 | 007 | Z | | 256 | 1199 | 06b | H | | 204 | 1260 | 06b | K | | |
| 1139 | 06b | K | | | 1200 | 06b | K | | | 1261 | 06b | K | | |
| 1140 | 06b | K | | | 1201 | 06b | K | | | 1262 | 06b | K | | |
| 1141 | 06b | K | | | 1202 | 007 | K | | | 1263 | 06b | K | | |
| 1142 | 007 | K | | | 1203 | 007 | K | | | 1264 | 007 | N | K | 289 |
| 1144 | 06b | K | | | 1204 | 06b | C | | | 1265 | 007 | C | | |
| 1145 | 007 | K | | | 1205 | 06b | K | | | 1266 | 06b | K | | |
| 1146 | 007 | K | | | 1206 | 06b | D | | | 1267 | 06b | K | | |
| 1147 | 007 | K | | | 1207 | 06b | K | | | 1268 | 06b | K | | |
| 1148 | 06b | K | | | 1208 | 06b | K | | | 1269 | 06b | K | | |
| 1149 | 06b | K | | | 1209 | 06b | K | | | 1270 | 06b | K | | |
| 1150 | 06b | K | | | 1210 | 06b | K | | | 1271 | 06b | H | | 170 |
| 1151 | 06b | K | | | 1211 | 06b | K | | | 1272 | 007 | Z | | 254 |
| 1152 | 06b | K | | | 1212 | 06b | K | | | 1273 | 06b | H | U | |
| 1153 | 007 | K | | | 1213 | 06b | K | | | 1274 | 007 | K | | |
| 1154 | 06b | T | | | 1214 | 007 | N | K | 272 | 1275 | 06b | K | | |
| 1155 | 06b | K | | | 1215 | 06b | K | | | 1276 | 06b | K | | |
| 1156 | 06b | K | | | 1216 | 06b | K | | | 1277 | 06b | K | | |
| 1157 | 06b | K | | | 1217 | 06b | K | | | 1278 | 06b | K | | |
| 1158 | 007 | K | | | 1218 | 06b | K | | | 1279 | 06b | H | | 186 |
| 1159 | 06b | K | | | 1219 | 06b | K | | | 1280 | 06b | K | | |
| 1160 | 007 | K | | | 1220 | 06b | K | K | 221 | 1281 | 06b | K | | |
| 1161 | 007 | K | | | 1221 | 06b | K | K | 225 | 1282 | 007 | K | | |
| 1162 | 007 | K | | | 1222 | 06b | K | | | 1283 | 06b | K | | |
| 1163 | 007 | K | | | 1223 | 06b | K | | | 1284 | 06b | K | | |
| 1164 | 007 | K | | | 1224 | 06b | K | | | 1285 | 06b | K | K | 223 |
| 1165 | 007 | K | | | 1225 | 06b | K | | | 1286 | 06b | H | | 200 |
| 1166 | 06b | K | K | 211 | 1226 | 06b | K | | | 1287 | 007 | K | | |
| 1167 | 007 | K | | | 1227 | 06b | K | | | 1288 | 06b | K | | 174 |
| 1168 | 007 | K | | | 1228 | 06b | K | | | 1289 | 007 | K | | |
| 1169 | 06b | K | | | 1229 | 06b | C | | 148 | 1290 | 06b | K | | |
| 1170 | 06b | K | | | 1230 | 06b | H | | | 1291 | 06b | K | | |
| 1171 | 06b | K | | | 1231 | 06b | H | | 169 | 1292 | 06b | K | | |
| 1172 | 06b | H | | 161 | 1232 | 06b | K | | | 1293 | 06b | K | | |
| 1173 | 06b | K | | | 1233 | 06b | K | | | 1294 | 007 | K | | |
| 1174 | 06b | K | | | 1234 | 06b | K | | | 1295 | 007 | K | | |
| 1175 | 06b | C | | | 1235 | 06b | H | | 173 | 1296 | 06b | K | | |
| 1176 | 007 | K | | | 1236 | 06b | K | | | 1297 | 06b | K | | |

| No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. | No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. | No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. |
|------|-----|----|----|-------|------|-----|----|----|-------|------|-----|----|----|-------|
| 1298 | 06b | B | | 249 | 1361 | 06b | K | | | 1423 | 06b | K | | |
| 1299 | 06b | K | | | 1362 | 007 | H | | 264 | 1425 | 007 | K | | |
| 1300 | 06b | K | | | 1363 | 06b | K | | | 1426 | 007 | K | | |
| 1301 | 06b | K | | | 1364 | 06b | K | | | 1427 | 007 | K | | |
| 1302 | 06b | K | | | 1366 | 06b | K | | | 1428 | 007 | K | | |
| 1303 | 06b | K | | | 1367 | 06b | K | | | 1429 | 007 | K | | |
| 1304 | 06b | H | | 190 | 1368 | 06b | K | | | 1430 | 007 | K | | |
| 1306 | 06b | K | | | 1369 | 06b | K | | | 1431 | 007 | N | K | 279 |
| 1307 | 06b | K | | | 1370 | 007 | K | | | 1432 | 007 | K | | |
| 1308 | 06b | K | | | 1371 | 06b | K | | | 1433 | 007 | K | | |
| 1309 | 06b | K | | | 1372 | 06b | N | K | | 1434 | 007 | K | | |
| 1310 | 06b | K | | | 1373 | 007 | N | K | | 1435 | 007 | K | | |
| 1312 | 06b | K | | | 1374 | 06b | K | | | 1436 | 007 | C | | |
| 1313 | 06b | H | | 199 | 1375 | 007 | K | | | 1437 | 007 | K | | |
| 1314 | 06b | K | | | 1376 | 06b | C | | | 1438 | 007 | K | | |
| 1315 | 06b | K | | | 1377 | 007 | K | | | 1439 | 007 | K | | |
| 1316 | 06b | K | | | 1378 | 06b | K | | | 1440 | 06b | K | | |
| 1317 | 06b | K | | | 1379 | 06b | N | C | 238 | 1441 | 06b | K | | |
| 1318 | 06b | K | | | 1380 | 06b | H | | 205 | 1442 | 06b | K | | |
| 1319 | 06b | K | | | 1381 | 06b | K | | | 1443 | 06b | K | | |
| 1320 | 06b | K | | | 1382 | 06b | N | K | 217 | 1444 | 06b | K | | |
| 1321 | 06b | K | | | 1383 | 06b | K | | | 1445 | 06b | K | | |
| 1322 | 06b | K | | | 1384 | 06b | K | | | 1446 | 06b | K | | |
| 1323 | 06b | K | | | 1385 | 06b | N | K | 212 | 1447 | 06b | K | | |
| 1324 | 06b | C | | | 1386 | 06b | T | | | 1448 | 007 | K | | |
| 1325 | 007 | K | | | 1387 | 06b | H | | | 1449 | 06b | K | | |
| 1326 | 06b | H | | | 1388 | 06b | H | | 191 | 1450 | 06b | K | | |
| 1327 | 06b | K | | | 1389 | 06b | K | | | 1451 | 06b | N | K | 210 |
| 1329 | 06b | K | | | 1390 | 06b | H | | 202 | 1452 | 06b | K | | |
| 1330 | 06b | K | | | 1391 | 06b | K | | | 1453 | 06b | K | | |
| 1331 | 06b | K | | | 1392 | 06b | K | | | 1454 | 06b | K | | |
| 1332 | 007 | K | | | 1393 | 06b | K | | | 1455 | 06b | K | | |
| 1333 | 06b | K | | | 1394 | 06b | K | | | 1456 | 06b | K | | |
| 1334 | 06b | K | | | 1395 | 06b | K | | | 1457 | 06b | K | | |
| 1335 | 06b | K | | | 1396 | 06b | K | | | 1458 | 06b | C | | |
| 1336 | 06b | K | | | 1398 | 06b | K | | 224 | 1459 | 06b | K | | |
| 1337 | 06b | K | | | 1399 | 06b | Z | | 133 | 1460 | 06b | K | | |
| 1338 | 06b | K | | | 1400 | 06b | K | | | 1461 | 06b | N | K | 222 |
| 1339 | 06b | K | | | 1401 | 007 | K | | | 1462 | 007 | N | K | 274 |
| 1340 | 06b | K | | | 1402 | 06b | K | | | 1463 | 06b | N | K | 206 |
| 1341 | 06b | K | | | 1403 | 06b | K | | | 1464 | 06b | K | | |
| 1342 | 06b | H | | 189 | 1404 | 06b | Z | | | 1465 | 06b | K | | |
| 1343 | 06b | K | | | 1405 | 007 | N | T | 282 | 1466 | 06b | K | | |
| 1344 | 007 | K | | | 1406 | 007 | K | | | 1467 | 06b | K | | |
| 1345 | 06b | K | | | 1407 | 06b | K | | | 1468 | 06b | K | | |
| 1346 | 007 | K | | | 1408 | 007 | K | | | 1469 | 06b | H | W | 171 |
| 1347 | 06b | K | | | 1409 | 007 | C | | | 1471 | 06b | K | | |
| 1348 | 06b | K | | | 1410 | 007 | H | | 258 | 1472 | 06b | H | | 176 |
| 1349 | 06b | K | | | 1411 | 06b | K | | | 1473 | 06b | K | | |
| 1350 | 007 | K | | | 1412 | 007 | K | | | 1474 | 007 | K | | |
| 1351 | 007 | H | | 266 | 1413 | 007 | K | | | 1475 | 06b | K | | |
| 1352 | 06b | K | | | 1414 | 06b | K | | | 1476 | 06b | K | | |
| 1353 | 06b | K | | | 1415 | 06b | H | | | 1477 | 06b | K | | |
| 1354 | 06b | K | | | 1416 | 06b | K | | | 1478 | 06b | K | | |
| 1355 | 06b | H | | 188 | 1417 | 06b | K | | | 1479 | 06b | H | | 167 |
| 1356 | 06b | H | | 198 | 1418 | 06b | H | | 168 | 1480 | 06b | K | | |
| 1357 | 06b | K | | | 1419 | 06b | K | | | 1481 | 06b | K | | |
| 1358 | 06b | K | | | 1420 | 007 | K | | | 1482 | 06b | K | | |
| 1359 | 06b | K | | | 1421 | 06b | K | | | 1483 | 06b | K | | |
| 1360 | 06b | K | | | 1422 | 06b | T | | | 1484 | 007 | K | | |

| No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. | No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. | No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. |
|------|-----|----|----|-------|------|-----|----|----|-------|------|-----|----|----|-------|
| 1485 | 06b | K | | | 1545 | 007 | K | | | 1607 | 007 | H | | |
| 1486 | 06b | K | | | 1546 | 007 | K | K | 273 | 1608 | 007 | H | | |
| 1487 | 06b | C | | | 1547 | 007 | H | | | 1609 | 007 | H | | 268 |
| 1488 | 06b | K | | | 1548 | 007 | K | | | 1610 | 007 | K | | |
| 1489 | 06b | K | | | 1549 | 007 | Y | P | | 1611 | 007 | K | | |
| 1490 | 06b | K | | | 1550 | 007 | Y | | 285 | 1612 | 007 | K | | |
| 1491 | 06b | K | | | 1551 | 007 | K | | | 1613 | 007 | K | | |
| 1492 | 06b | N | T | 233 | 1552 | 007 | K | W | | 1614 | 007 | H | | 260 |
| 1493 | 06b | K | | | 1553 | 007 | C | | | 1615 | 007 | Y | P | 286 |
| 1494 | 007 | K | | | 1554 | 007 | K | | | 1616 | 007 | K | | |
| 1495 | 06b | K | | | 1555 | 007 | K | | | 1617 | 008 | H | | 294 |
| 1496 | 007 | N | | | 1556 | 007 | K | | | 1618 | 007 | K | | |
| 1497 | 06b | K | | | 1557 | 007 | K | | | 1619 | 008 | K | | |
| 1498 | 007 | N | K | 278 | 1558 | 007 | K | | | 1620 | 06b | Z | | 138 |
| 1499 | 06b | N | K | | 1559 | 007 | K | | | 1621 | 007 | K | | |
| 1500 | 06b | K | | | 1560 | 007 | H | | | 1622 | 007 | K | | |
| 1501 | 06b | K | | | 1561 | 007 | H | | | 1623 | 06b | K | | |
| 1502 | 007 | K | | | 1562 | 06b | K | | | 1624 | 008 | H | | 293 |
| 1503 | 06b | Z | | | 1563 | 06b | N | K | 219 | 1625 | 007 | K | | 287 |
| 1504 | 06b | K | | | 1564 | 06b | K | | | 1626 | 06b | K | | |
| 1505 | 06b | K | | | 1565 | 06b | H | W | | 1627 | 06b | K | | |
| 1506 | 06b | K | | | 1566 | 06b | K | | | 1628 | 009 | H | | 299 |
| 1507 | 06b | C | | | 1567 | 007 | K | | | 1629 | 009 | H | | 299 |
| 1508 | 007 | K | | | 1568 | 007 | K | | | 1630 | 009 | K | | |
| 1509 | 007 | N | K | | 1569 | 007 | K | | | 1631 | 008 | K | | |
| 1510 | 007 | C | | | 1570 | 007 | H | | 267 | 1632 | 008 | K | | 298 |
| 1511 | 06b | N | | | 1571 | 007 | K | | | 1633 | 06b | K | | |
| 1512 | 06b | N | K | 208 | 1572 | 007 | K | | | 1634 | 06b | H | | |
| 1513 | 007 | K | | | 1575 | 007 | K | | | 1636 | 009 | K | | |
| 1514 | 06b | K | | | 1576 | 007 | K | | | 1637 | 009 | K | | |
| 1515 | 06b | K | | | 1577 | 007 | K | | | 1638 | 009 | K | | |
| 1516 | 06b | K | | | 1578 | 007 | N | | | 1639 | 009 | K | | |
| 1517 | 06b | N | K | | 1579 | 007 | K | | | 1640 | 009 | H | | 299 |
| 1518 | 06b | K | | | 1580 | 007 | K | | | 1641 | 009 | H | | 299 |
| 1519 | 007 | K | | | 1581 | 007 | K | | | 1642 | 009 | H | | 299 |
| 1520 | 007 | K | | 290 | 1582 | 007 | K | | | 1643 | 009 | H | | 299 |
| 1521 | 06b | K | K | | 1583 | 007 | K | | | 1644 | 009 | H | | 299 |
| 1522 | 06b | K | | | 1584 | 007 | K | | | 1645 | 009 | K | | |
| 1523 | 007 | K | | | 1585 | 007 | K | | | 1646 | 009 | K | | |
| 1524 | 06b | K | | | 1586 | 007 | K | | | 1647 | 009 | K | | |
| 1525 | 06b | K | | | 1587 | 007 | K | | | 1648 | 009 | K | | |
| 1526 | 007 | K | | | 1588 | 007 | K | | | 1649 | 009 | K | | |
| 1527 | 06b | K | | | 1589 | 007 | K | | | 1650 | 009 | K | | |
| 1528 | 06b | K | | | 1590 | 007 | K | | | 1651 | 009 | N | K | 302 |
| 1529 | 007 | K | | | 1591 | 007 | K | | | 1652 | 009 | K | | |
| 1530 | 007 | K | | | 1592 | 007 | K | | | 1653 | | K | | |
| 1531 | 007 | K | | | 1593 | 007 | H | | | 1654 | 009 | K | | |
| 1532 | 007 | K | | | 1594 | 007 | K | | | 1655 | 009 | K | | |
| 1533 | 007 | K | | | 1595 | 007 | K | | | 1656 | 009 | K | | |
| 1534 | 007 | N | H | | 1596 | 007 | K | | | 1657 | 010 | K | P | |
| 1535 | 007 | C | | | 1597 | 007 | H | | 270 | 1658 | 010 | K | | |
| 1536 | 007 | K | | | 1598 | 007 | K | | | 1659 | 009 | K | | |
| 1537 | 007 | H | | | 1599 | 007 | T | | 257 | 1660 | 009 | K | | |
| 1538 | 007 | K | | | 1600 | 007 | K | | | 1661 | 009 | K | | |
| 1539 | 007 | K | | | 1601 | 007 | K | | | 1662 | 009 | K | | |
| 1540 | 007 | K | | | 1602 | 007 | K | | | 1663 | 009 | K | | |
| 1541 | 007 | K | | | 1603 | 007 | K | | | 1664 | 009 | K | | |
| 1542 | 007 | H | | 261 | 1604 | 007 | K | | | 1665 | 009 | N | T | |
| 1543 | 007 | K | | | 1605 | 007 | K | | | 1666 | 010 | K | | |
| 1544 | 007 | K | | | 1606 | 007 | K | | | 1667 | 010 | K | | |

| No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. | No. | 土層 | 種別 | 器種 | 図面No. |
|------|-----|----|----|----------|------|-----|----|----|-------|
| 1668 | 010 | K | | | 1729 | 010 | K | | |
| 1669 | 06b | K | | | 1730 | 009 | K | | |
| 1670 | 011 | K | | | 1731 | 009 | K | | |
| 1671 | 010 | K | | | 1732 | 009 | K | | |
| 1672 | 010 | K | | | 1733 | 010 | K | | |
| 1673 | 010 | K | | | 1734 | 009 | K | | |
| 1674 | 010 | K | | | 1735 | 009 | K | | |
| 1675 | 010 | K | | | 1736 | 010 | K | P | |
| 1676 | 011 | K | | | 1737 | 009 | K | | |
| 1677 | 007 | K | | | 1738 | 010 | K | | |
| 1678 | 007 | K | | | 1739 | 06b | H | | |
| 1679 | 007 | K | | | 1740 | 007 | K | | |
| 1680 | 007 | K | | | 1741 | 06b | H | | |
| 1681 | 007 | H | | | 1742 | 007 | K | | |
| 1683 | 007 | K | | | 1743 | 007 | K | | |
| 1684 | 007 | C | | | 1744 | 007 | K | | |
| 1685 | 007 | H | | | 1745 | 06b | N | T | 234 |
| 1686 | 007 | K | | | 1747 | 06b | K | | |
| 1687 | 007 | C | | | 1748 | 007 | K | | |
| 1688 | 007 | K | | | 1749 | 06b | K | | |
| 1689 | 007 | K | | | 1750 | 06b | K | | |
| 1690 | 007 | K | | | 1751 | 06b | H | | |
| 1691 | 007 | K | | | 1752 | 06b | K | | |
| 1692 | 007 | K | | | 1753 | 06b | C | | |
| 1693 | 007 | H | | 262 | 1754 | 007 | K | | |
| 1694 | 007 | K | | | 1755 | 007 | K | | |
| 1695 | 007 | K | | | 1756 | 06b | K | | |
| 1696 | 007 | K | | | 1757 | 06b | K | | |
| 1697 | 007 | K | | | 1758 | 007 | K | | |
| 1698 | 007 | K | K | 277 | 1759 | 007 | K | | |
| 1699 | 007 | K | | | 1760 | 007 | K | | |
| 1700 | 007 | K | P | | 1761 | 06b | K | | |
| 1701 | 008 | N | T | 296 | 1762 | 007 | C | | |
| 1702 | 007 | N | K | 276 | 1763 | 008 | H | | |
| 1703 | 007 | H | | | 1764 | 008 | T | | 291 |
| 1704 | 007 | T | | | 1765 | 008 | K | | |
| 1705 | 007 | K | | | 1766 | 007 | K | | |
| 1706 | 007 | K | | 283 | 1767 | 007 | K | | |
| 1707 | 008 | H | | 292 | 1768 | 007 | K | | |
| 1708 | 007 | K | | | 1769 | 010 | K | | |
| 1709 | 007 | K | | | 1770 | 010 | K | | |
| 1710 | 007 | K | | | 1771 | 009 | K | | |
| 1711 | 007 | H | | 269 | 1772 | 009 | K | | |
| 1712 | 007 | H | | 259, 271 | 1773 | 009 | K | | |
| 1713 | 007 | K | | | 1774 | 010 | H | | |
| 1714 | 007 | K | | | 1775 | 012 | K | | |
| 1715 | 007 | K | | | 1776 | 010 | K | | |
| 1716 | 007 | N | T | 281 | 1777 | 010 | K | | |
| 1717 | 007 | K | | | 1778 | 007 | K | | |
| 1718 | 007 | K | | | 1779 | 010 | K | | |
| 1719 | 007 | K | | | 1780 | 010 | Y | P | 304 |
| 1720 | 007 | K | | | 1781 | 007 | K | | |
| 1721 | 007 | K | | | 1782 | 007 | K | | |
| 1722 | 007 | K | | | 1783 | 007 | K | | 288 |
| 1723 | 007 | C | | | 1784 | 007 | K | | 284 |
| 1724 | 007 | K | | | 1785 | 007 | K | | |
| 1725 | 007 | K | | | 1786 | 007 | K | | |
| 1726 | 007 | H | | | 1787 | 012 | K | K | 305 |
| 1727 | 009 | B | | 303 | 1788 | 010 | K | | |
| 1728 | 010 | K | | | 1789 | 007 | H | | |

| 凡 例 | |
|-----|----------------|
| 種別 | B 土製品 |
| | C 須恵器 |
| | H 土師器 |
| | I 鉄製品 |
| | K 素焼き土器 |
| | N 「成川式」土器 |
| | S 石製品 |
| | T 陶器 |
| | Y 弥生土器 |
| | Z 磁器 |
| | A 原位置を保っていない土器 |
| | O その他 |
| 器種 | C 埴 |
| | H 鉢 |
| | K 甕 |
| | P 壺 |
| | T 高杯 |
| | U 杯 |
| | W 碗 |
| | I カクラン土壙出土の釘 |

Ⅶ 自然科学分析

1. 鹿児島大学稲盛会館建設予定地におけるプラント・オパール定量分析結果について

宮崎大学 藤原 宏志

分析結果に関するコメント

1. イネ (*Oryza sativa* L.) は2層から12層まで検出され、ピークは6a層、8層および11層に認められる。これらの土層のイネプラント・オパール密度は高く、これらの土層でイネが栽培されていたものと考えてよからう。ただし、12層はプラント・オパール密度が低く、11層からの落ち込みの可能性も否定できない。

2. 13層から17層では14層にイネが認められるが量的に少なく、これらの土層でイネが生産されたとは考えにくい。

3. 表層から下層までヨシ (*Phragmites*) の検出される土層が多く、湿潤な環境下で堆積が進行した様子が見えてくる。

4. イネの出現に前後し、タケ類が出始める。水田稲作の普及にともない水管理が行われるようになり部分的な乾地化が進んだ結果であろう。

5. 6a層、11層におけるイネプラント・オパール密度は5t/10a.cmを越えており極めて高い値である。この傾向は、これまで調査した鹿児島大学構内遺跡に一貫して認められる現象である。あるいは、この地域のイネ系統が他の地域と異なるものである可能性も考えられるので、プラント・オパール形状解析を試み、この点を確認する予定である。

Tab. 5 鹿児島大学稲盛会館建設予定地におけるプラント・オパール定量分析結果

sampling block [L-11.12]
sampling date (9/23'93)

| 層名 | 植物体乾重 (t / 10 a . c m) | | | | | | |
|-------|--------------------------|------------------|----------------|----------------------|----------------|-----------------|--------------------|
| | イネ (O.sati.) | イネ初 (rice g.) | キビ族 (Pani.) | キビ族種実 (Pani.seed) | ヨシ (Phrag.) | タケ亜科 (Bamb.) | ウシクサ族 (Andoro.) |
| DUMMY | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 |
| 2 | 5.754 | 2.016 | 8.682 | 3.942 | 0.000 | 0.427 | 1.103 |
| 3 | 7.153 | 2.506 | 9.134 | 4.148 | 0.000 | 0.270 | 0.464 |
| 4 | 8.438 | 2.956 | 5.529 | 2.511 | 0.000 | 0.725 | 1.498 |
| 6a | 16.735 | 5.863 | 5.787 | 2.628 | 1.644 | 1.138 | 2.353 |
| 6b | 7.044 | 2.468 | 13.153 | 5.973 | 0.000 | 0.518 | 1.337 |
| 7 | 13.234 | 4.636 | 2.034 | 0.924 | 0.000 | 0.400 | 2.067 |
| 8 | 17.094 | 5.989 | 10.431 | 4.737 | 0.000 | 0.000 | 0.636 |
| 9 | 10.902 | 3.819 | 9.360 | 4.250 | 3.544 | 0.246 | 0.793 |
| 10 | 12.741 | 4.464 | 5.035 | 2.287 | 0.715 | 0.495 | 0.768 |
| 11 | 21.014 | 7.362 | 21.801 | 9.900 | 0.000 | 2.097 | 2.462 |
| H40-1 | 0.901 | 0.316 | 16.826 | 7.640 | 3.186 | 0.221 | 2.850 |
| 12-1 | 2.088 | 0.731 | 1.733 | 0.787 | 0.000 | 0.000 | 0.176 |
| 12-2 | 0.000 | 0.000 | 1.696 | 0.770 | 0.000 | 0.067 | 0.517 |
| 13 | 0.000 | 0.000 | 19.820 | 9.000 | 11.258 | 0.223 | 1.583 |
| 14 | 0.478 | 0.167 | 1.982 | 0.900 | 2.252 | 0.000 | 0.806 |
| 15 | 0.000 | 0.000 | 2.601 | 1.181 | 1.108 | 0.000 | 0.264 |
| 16 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 1.196 | 0.083 | 0.000 |
| 17 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.287 |

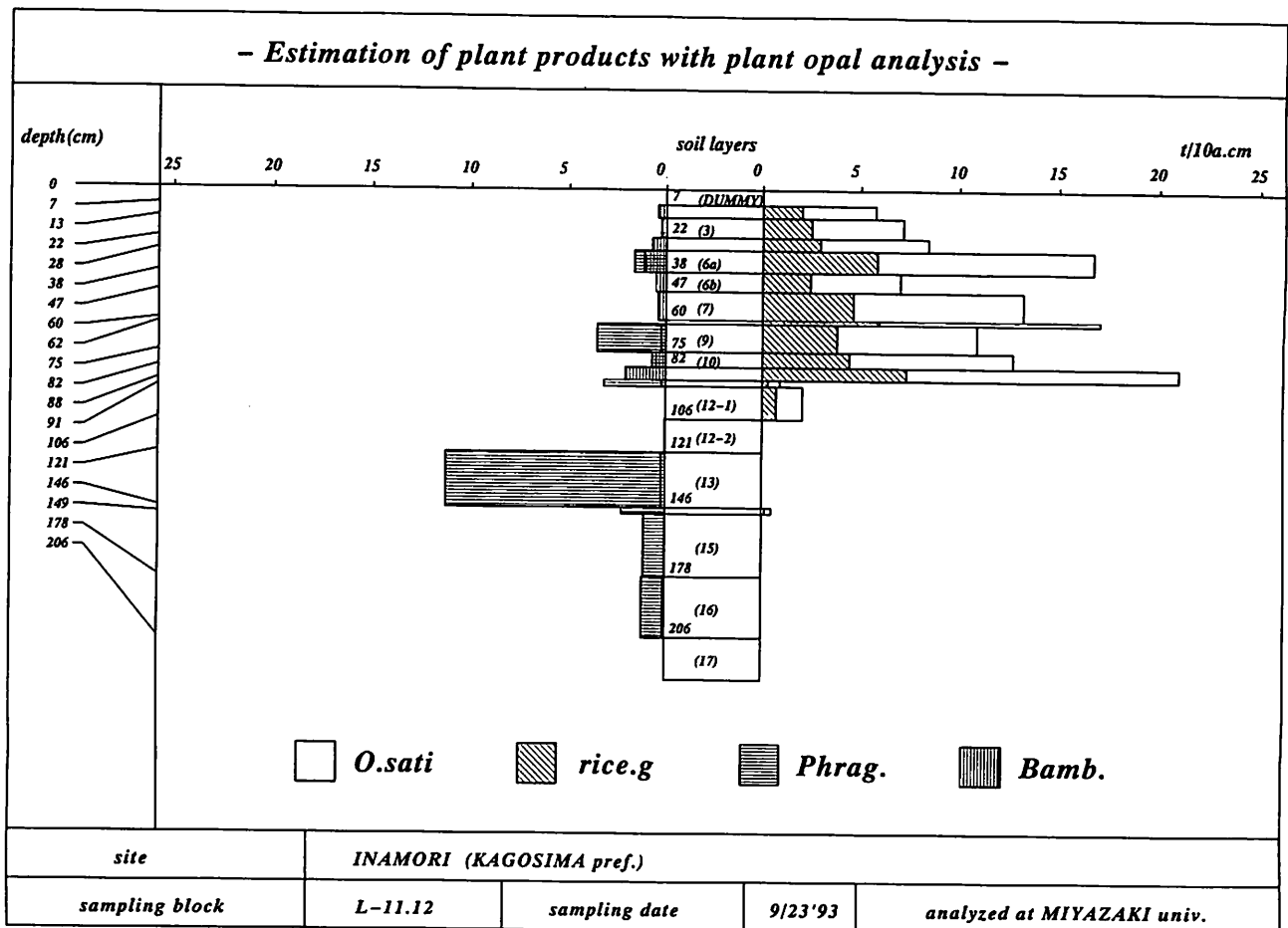


Fig. 41 プラント・オパール定量分析結果

2. 鹿児島大学構内遺跡、郡元団地L-11・12区における自然科学分析

株式会社 古環境研究所

1. 鹿児島大学構内遺跡の植物珪酸体分析

1. はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内にガラスの主成分である珪酸 (SiO_2) が蓄積したものであり、植物が枯れた後も微化石 (プラント・オパール) となって土壤中に半永久的に残っている。この微化石は大きさや形態が植物群により固有であることから、土壤中から検出してその組成や量を明らかにすることで過去の植生 (おもにイネ科) を復元することができる (杉山, 1987)。また、イネの消長を検討することで埋蔵水田跡の探査も可能である (藤原・杉山, 1984)。

ここでは、鹿児島大学構内遺跡 (郡元団地L-11・12区) の試料について植物珪酸体分析を行い、イネをはじめとするイネ科栽培植物の検討および遺跡周辺の高植生・古環境の推定を試みた。

2. 試料

調査地点は、11トレンチ北側東壁と4トレンチ北壁の2地点である。調査区の土層は、1層 (現表土) ~ 17層 (軽石層) に分層された。

このうち、15層は黒褐色泥炭層、13層は黒色泥炭層であり、13層の中・上位では上方に向かって泥炭の分解が進んでいる。放射性炭素年代測定では、15層下部が $4,780 \pm 100\text{y.B.P.}$ 、15層上部が $4,890 \pm 90\text{y.B.P.}$ 、13層上部が $4,410 \pm 90\text{y.B.P.}$ の年代値が得られており (第II章参照)、縄文時代中期前葉から中葉の時期に比定される。12層は河川堆積物と見られる砂層 (軽石混)、11層より上位層はシルトを主体とした堆積層であり、古墳時代以降の堆積と見られている。

試料は、11トレンチ北側東壁の7層~16層、4トレンチ北壁の2層~11層について計33点が採取された。試料採取箇所を分析結果の柱状図に示す。

3. 分析法

植物珪酸体の抽出と定量は、プラント・オパール定量分析法 (藤原, 1976) をもとに、次の手順で行った。

- 1) 試料の絶乾 ($105^\circ\text{C} \cdot 24$ 時間)、仮比重測定
- 2) 試料約1gを秤量、ガラスビーズ添加 (直径約 $40 \mu\text{m}$ 、約 0.02g)
※電子分析天秤により1万分の1gの精度で秤量
- 3) 電気炉灰化法による脱有機物処理
- 4) 超音波による分散 ($300\text{W} \cdot 42\text{kHz} \cdot 10$ 分間)
- 5) 沈底法による微粒子 ($20 \mu\text{m}$ 以下) 除去、乾燥
- 6) 封入剤 (オイキット) 中に分散、プレパラート作成
- 7) 検鏡・計数

同定は、イネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体をおもな対象とし、400倍の偏光顕微鏡下で行った。計数は、ガラスビーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。試料1gあたりのガラスビーズ個数に、計数された植物珪酸体とガラスビーズ個数の比率をかけて、試

料 1 g 中の植物珪酸体個数を求めた。

また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体 1 個あたりの植物体乾重、単位： 10^{-5} g）をかけて、単位面積で層厚 1 cm あたりの植物体生産量を算出した。換算係数は、イネは赤米、キビ族はヒエ、ヨシ属はヨシ、ウシクサ族はススキの値を用いた。その値は 2.94（種実重は 1.03）、8.40、6.31、1.24 である。タケ亜科については数種の平均値を用いた。ネザサ節の値は 0.48、クマザサ属は 0.75 である。

4. 分析結果

分析試料から検出された植物珪酸体の分類群は以下のとおりである。これらの分類群について定量を行い、その結果を Tab. 6 および Fig.42, Fig.43 に示した。写真図版に主要な分類群の顕微鏡写真を示す。

〔イネ科〕

機動細胞由来：イネ、サヤヌカグサ属、キビ族（ヒエ属など）、ヨシ属、ウシクサ族（ススキ属やチガヤ属など）、ジュズダマ属、シバ属、キビ族型、ウシクサ族型、ウシクサ族型（大型）、くさび型、Aタイプ、ネザサ節型（おもにメダケ属ネザサ節）、クマザサ属型（おもにクマザサ属）、メダケ節型（メダケ属メダケ節・リュウキュウチク節、ヤダケ属）、マダケ属型（マダケ属、ホウライチク属）、タケ亜科（未分類等）

穎の表皮細胞由来：オオムギ族

その他：表皮毛起源、棒状珪酸体（おもに結合組織細胞由来）、莖部起源、地下莖部起源、未分類等

〔カヤツリグサ科〕

〔樹木〕

ブナ科（シイ属）、ブナ科（アカガシ亜属？）、マンサク科（イスノキ属）、クスノキ科（バリバリノキ？）、はめ絵パズル状（ブナ科ブナ属など）、その他

5. 考察

(1) 稲作の可能性について

水田跡（稲作跡）の検証や探査を行う場合、一般にイネの植物珪酸体が試料 1g あたりおよそ 5,000 個以上と高い密度で検出された場合に、そこで稲作が行われていた可能性が高いと判断している。また、その層に植物珪酸体密度のピークが認められれば、上層から後代のものが混入した危険性は考えにくくなり、その層で稲作が行われていた可能性はより確実なものとなる。以上の判断基準にもとづいて、各地点ごとに稲作の可能性について検討を行った。

1) 11 トレンチ北側東壁

7 層から 16 層までの各層について分析を行った。その結果、7 層（試料 7-1）から 13 層上部（試料 13-2）までの層準でイネの植物珪酸体が検出された（Fig.42）。

このうち、7 層から 11 層までの各層では密度が 5,000 個/g 以上と高い値であり、とくに 9 層（砂質シルト層）では約 4 万個/g、7 層、8 層、10 層でもおよそ 2 万個/g と非常に高い値である。したがって、これらの各層では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

放射性炭素年代測定で $4,410 \pm 90$ y.B.P. の年代値が得られている 13 層（黒色泥炭層）上部では、密度が 4,500 個/g と比較的高い値である。同層の直上を厚く覆う 12 層（軽石混砂層）でもイネが検出されたが、密度は 1,400 個/g と低い値である。したがって、13 層に上層から後代の植物珪酸体が混入した危険性は考えにくい。これらのことから、13 層上部の時期に調査地点もしくはその近辺で稲作が行われていた可能性が考えられ

る。

2) 4トレンチ北壁

2層から11層までの各層について分析を行った。その結果、これらのすべての層からイネの植物珪酸体が検出された (Fig.43)。密度は、すべての層で5,000個/g以上と高い値であり、とくに9層 (砂質シルト層) と10層では3万個/g以上、4層~8層および11層でも1万個/g以上と非常に高い値である。したがって、これらの各層では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

以上のように、本遺跡では4,410 ± 90y.B.P.の年代測定値が得られている13層 (黒色泥炭層) 上部の時期には、調査地点もしくはその近辺で稲作が開始されていたものと推定される。その後、12層 (軽石混砂層) の堆積によって稲作は中断されたと考えられるが、11層から2層にかけては継続的に稲作が行われていたものと推定される。

(2) イネ科栽培植物の検討

植物珪酸体分析で同定される分類群のうち栽培植物が含まれるものには、イネ以外にもオオムギ族 (ムギ類が含まれる) やキビ族 (ヒエやアワ、キビなどが含まれる)、ジュズダマ属 (ハトムギが含まれる)、オヒシバ属 (シコクビエが含まれる)、モロコシ属、トウモロコシ属などがある。このうち、本遺跡の試料からは、オオムギ族 (ムギ類が含まれる)、キビ族 (ヒエやアワ、キビなどが含まれる)、ジュズダマ属 (ハトムギが含まれる) が検出された。

オオムギ族 (穎の表皮細胞) は、11トレンチ北側東壁の7層上部と4トレンチ北壁の6a層で検出された。密度はいずれも1,000個/g前後と低い値である。オオムギ族については標本の検討が十分とは言えないが、ここで検出されたのはムギ類 (コムギやオオムギなど) と見られる形態のもの (杉山・石井, 1989) である。したがって、これらの層の時期に調査地点もしくはその近辺でムギ類が栽培されていた可能性が考えられる。

キビ族は、11トレンチ北側東壁の13層と15層中位で検出された。キビ族にはヒエやアワ、キビなどの栽培種が含まれるが、現時点ではこれらの栽培種とイヌビエやエノコログサなどの野・雑草とを完全に識別するには至っていない (杉山ほか, 1988)。また、密度も1,000個/g前後と低い値であることから、これらの層準でヒエなどのキビ族植物が栽培されていた可能性は考えられるものの、イヌビエなどの野・雑草に由来するものである可能性も否定できない。

ジュズダマ属は、11トレンチ北側東壁の11層、13層、15層、4トレンチ北壁の8層、9層から検出された。同属には野草のジュズダマの他に栽培種のハトムギが含まれるが、現時点では植物珪酸体の形態からこれらを識別するのは困難である。密度はほとんどの試料で1,000個/g前後と低い値であるが、11トレンチ北側東壁の13層下部では7,300個/gと高い値であり、15層上部でも2,900個/gと比較的高い値である。これらのことから、13層下部や15層上部でハトムギが栽培されていた可能性は考えられるものの、野草のジュズダマに由来するものである可能性も否定できない。ハトムギは東南アジア大陸部の山村ではオカボ (陸稲) 栽培の盛んな地域に栽培され、オカボが不作なときや飢饉のときの救荒作物として用いられている (坂本, 1988)。

イネ科栽培植物の中には未検討のものもあるため、未分類等としたものの中にも栽培種に由来するものが含まれている可能性が考えられる。これらの分類群の給源植物の究明については今後の課題としたい。

(3) 植生および環境の推定

最下位の16層では、ヨシ属や棒状珪酸体、茎部起源などが検出されたが、いずれも少量である。

4,780 ± 100y.B.P.の年代測定値が得られている15層（黒褐色泥炭層）下部では、ヨシ属が比較的多量に検出され、ウシクサ族（ススキ属など）やウシクサ族型、ジュズダマ属なども検出された。15層中位ではヨシ属は一旦減少しているが、その後は急激に増加しており、密度は最大4万個/g以上にも達している。

4,890 ± 90y.B.P.の年代測定値が得られている15層上部（試料15-1）では、茎部起源が多量に検出され、ヨシ属は大幅に減少している。14層でもこれと同様の結果であるが、イネ科以外にもブナ科（シイ属）やブナ科（アカガシ亜属？）、マンサク科（イスノキ属）、クスノキ科（バリバリノキ？）などの樹木（照葉樹）に由来する植物珪酸体が検出された。

13層（黒色泥炭層）下部では、ヨシ属や棒状珪酸体が多量に検出され、ヨシ属の密度は最大4万個/g以上にも達している。また、前述のようにジュズダマ属やキビ族が見られ、カヤツリグサ科も検出された。4,410 ± 100y.B.P.の年代測定値が得られている13層（黒色泥炭層）上部では、前述のようにイネが出現しているが、これに伴ってヨシ属が急激に減少している。12層（砂層）では、ほとんどの分類群が大幅に減少している。

11層より上層では、前述のように継続してイネが多量に検出され、ウシクサ族型や棒状珪酸体も比較的多く検出された。また、部分的にメダケ節型やネザサ節型なども検出され、6a層より上位ではマダケ属型も検出された。なお、ブナ科（シイ属）やマンサク科（イスノキ属）、クスノキ科（バリバリノキ？）なども継続的に検出された。

おもな植物の推定生産量によると、13層下部より下位ではおおむねヨシ属が圧倒的に卓越しているが、11層より上位ではイネが継続して卓越していることが分かる。

以上の結果から、本遺跡における堆積当時の植生と環境について推定すると次のようである。

16層～13層下部の泥炭層の堆積当時（約4,400～4,900年前頃）は、おおむねヨシ属などが繁茂する湿地的な環境であったものと考えられ、とくに15層中位や13層下部ではヨシ属の生育が旺盛であったものと推定される。なお、14層の時期には遺跡周辺などでカシ類やシイ類、クスノキ科、イスノキ属などの照葉樹も見られたものと推定される。その後、13層上部の時期（約4,400年前頃）には、ヨシ属やカヤツリグサ科などの生育する湿地を拓いて稲作が開始されたものと推定される。

12層（砂層）の堆積によって稲作は中断されたと考えられるが、11層から2層にかけては継続的に稲作が行われていたものと推定される。11層より上位ではイネが圧倒的に卓越しており、その他の分類群があまり見られないことから、当時の稲作は雑草の管理などが行き届いた集約的なものであったものと考えられる。

なお、当時の遺跡周辺にはカシ類やシイ類、クスノキ科、イスノキ属などの照葉樹林が分布していたものと推定される。

タケ亜科植物のうち、マダケ属にはマダケやモウソウチクなど有用なものが多く、建築材や生活用具、食用などとしての利用価値が高いが、これらの植物が現れるのは6a層の時期以降と考えられる。

6. まとめ

本遺跡では、放射性炭素年代測定で4,410 ± 90y.B.P.の年代値が得られている13層（黒色泥炭層）上部の時期には、ヨシ属やカヤツリグサ科などの生育する湿地を拓いて稲作が開始されていたものと推定される。また、13層下部などではジュズダマ属（ハトムギ）やキビ族（ヒエなど）が栽培されていた可能性も認められた。その後、12層（砂層）の堆積によって稲作は中断されたと考えられるが、11層から2層にかけては集約的な稲作が継続的に行われていたものと推定される。

参考文献

- 杉山真二 (1987) 遺跡調査におけるプラント・オパール分析の現状と問題点. 植生史研究, 第2号 : p.27-37.
- 杉山真二 (1987) タケ亜科植物の機動細胞珪酸体. 富士竹類植物園報告, 第31号 : p.70-83.
- 杉山真二・松田隆二・藤原宏志 (1988) 機動細胞珪酸体の形態によるキビ族植物の同定とその応用 - 古代農耕追究のための基礎資料として -. 考古学と自然科学, 20 : p.81-92.
- 杉山真二・石井克己 (1989) 群馬県子持村, F P直下から検出された灰化物の植物珪酸体 (プラント・オパール) 分析. 日本第四紀学会要旨集, 19 : p.94-95.
- 群馬県立歴史博物館 (1990) 火の山はるな - 火山噴火と黒井峯むらの暮らし. 群馬県立歴史博物館第36回企画展, P.23.
- 藤原宏志 (1976) プラント・オパール分析法の基礎的研究(1) - 数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法 -. 考古学と自然科学, 9 : p.15-29.
- 藤原宏志 (1979) プラント・オパール分析法の基礎的研究(3) - 福岡・板付遺跡 (夜臼式) 水田および群馬・日高遺跡 (弥生時代) 水田におけるイネ (*O. sativa* L.) 生産総量の推定 -. 考古学と自然科学, 12 : p.29-41.
- 藤原宏志・杉山真二 (1984) プラント・オパール分析法の基礎的研究(5) - プラント・オパール分析による水田址の探査 -. 考古学と自然科学, 17 : p.73-85.
- 近藤鍊三・ピアスン友子 (1981) 樹木葉のケイ酸体に関する研究(第2報) - 双子葉被子植物樹木葉の植物ケイ酸体について -. 帯広畜産大学研究報, 12 : p.217-229.

Tab. 6 鹿兒島大学構内遺跡, 郡元団地の植物珪酸体分析結果

| 分類群 \ 試料 | 11トレンチ北側東壁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|------------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| | 7-1 | 7-2 | 8 | 9 | 10 | 11 | ① | 12 | 13-1 | 13-2 | 13-3 | 13-4 | 14 | 15-1 | 15-2 | 15-3 | 15-4 | 15-5 | 15-6 | 15-7 | 16 |
| イネ科 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| イネ | 168 | 172 | 191 | 395 | 198 | 63 | 29 | 14 | 45 | 8 | | | | | | | | | | | |
| オオムギ族(穎の表皮細胞) | 15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| サヤヌカグサ属 | | | | | | | | | | | | 7 | | | | | | | | | |
| キビ族(ヒエ属など) | | | | | | | | | | 8 | 15 | 7 | 7 | | | | 7 | | | | |
| ヨシ属 | 8 | 7 | | 7 | 7 | 14 | 52 | 28 | 15 | 68 | 429 | 204 | 22 | 22 | 323 | 405 | 161 | 71 | 167 | 243 | 118 |
| ウシクサ族(ススキ属など) | 23 | 15 | 43 | 15 | 37 | 21 | 29 | 14 | 15 | | 7 | 7 | | | | 7 | | | 7 | 8 | |
| ジュズダマ属 | | | | | | 7 | | | | 8 | 8 | 22 | 73 | | 29 | | | 13 | 7 | 8 | |
| シバ属 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| キビ族型 | | | 7 | 7 | | | | | | 8 | 7 | | | | | | | | | | |
| ウシクサ族型 | 107 | 75 | 156 | 127 | 220 | 77 | 169 | 69 | 129 | 61 | 29 | 102 | 50 | 51 | 14 | 37 | 66 | 13 | 33 | 38 | 7 |
| ウシクサ族型(大型) | | | | | | 7 | | | 15 | | 7 | 7 | | | | | | | | | 22 |
| くさび型 | | | | | | | 7 | | | | | 7 | | | | | | | | | |
| Aタイプ | | | | | | | | | 8 | 23 | 22 | | | | | | | | | | |
| タケ亜科 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ネザサ節型 | | | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| クマザサ属型 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 |
| メダケ節型 | | 15 | 7 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| マダケ属型 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 未分類等 | 38 | 7 | 21 | 7 | 15 | | 7 | | | | | | | | | | | | | | |
| その他のイネ科 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 表皮毛起源 | 38 | 45 | 7 | 60 | 37 | 7 | 29 | 7 | 8 | 15 | 65 | 66 | 29 | 43 | 14 | | 22 | | 13 | | |
| 棒状珪酸体 | 389 | 255 | 461 | 433 | 499 | 475 | 434 | 200 | 1423 | 1059 | 626 | 773 | 158 | 216 | 238 | 250 | 278 | 121 | 167 | 152 | 52 |
| 茎部起源 | 31 | | 57 | 37 | 37 | 56 | 37 | 103 | 68 | 30 | 182 | 124 | 395 | 664 | 28 | 81 | 242 | 4 | 93 | 30 | 74 |
| 地下茎部起源 | | | | | | 7 | 7 | 22 | 14 | 15 | 8 | 36 | 29 | 43 | 21 | 353 | 66 | 4 | | 46 | |
| 未分類等 | 580 | 719 | 610 | 641 | 676 | 545 | 552 | 468 | 598 | 469 | 611 | 751 | 488 | 498 | 547 | 464 | 556 | 348 | 446 | 495 | 125 |
| カヤツリグサ科 | | 7 | 7 | | 7 | | | | 45 | 38 | 36 | 15 | | 7 | | | | | | | |
| 樹木起源 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ブナ科(シイ属) | 15 | 37 | 7 | 37 | 7 | 7 | 15 | 41 | | | | | 50 | 7 | 14 | | | | 4 | | |
| ブナ科(アカガシ亜属?) | 8 | 7 | | 15 | | | 7 | 7 | | | | | 14 | | | | | | | | |
| マンサク科(イスノキ属) | 23 | 15 | 28 | 37 | | 7 | | 7 | | | | | 14 | | | | | | | | |
| クスノキ科(バリバリノキ?) | | 22 | 14 | 7 | | | 7 | | | | | | 14 | | | | | | | | |
| はめ絵パズル状(ブナ属など) | | | | | | | | | | | | | 14 | | | | | | | | |
| その他 | 8 | 7 | 14 | | 7 | | | 21 | | | | | 43 | 14 | 21 | | 22 | | | 4 | |
| (海綿骨針) | 46 | 7 | 43 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 植物珪酸体総数 | 1451 | 1407 | 1638 | 1835 | 1755 | 1293 | 1399 | 991 | 2400 | 1808 | 2089 | 2173 | 1277 | 1595 | 1227 | 1597 | 1427 | 585 | 933 | 1020 | 405 |

おもな分類群の推定生産量 (単位: kg/m²・cm)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|
| イネ | 4.94 | 5.06 | 5.63 | 11.62 | 5.83 | 1.85 | 0.87 | 0.40 | 1.34 | 0.22 | | | | | | | | | | | |
| (イネ粉) | 1.73 | 1.77 | 1.97 | 4.07 | 2.04 | 0.65 | 0.30 | 0.14 | 0.47 | 0.08 | | | | | | | | | | | |
| キビ族(ヒエ属など) | | | | | | | | | 0.64 | 1.27 | 0.61 | 0.61 | | | | 0.61 | | | | | |
| ヨシ属 | 0.48 | 0.47 | | 0.47 | 0.46 | 0.88 | 3.25 | 1.74 | 0.96 | 4.30 | 27.09 | 12.89 | 1.36 | 1.37 | 20.35 | 25.53 | 10.16 | 4.51 | 10.51 | 15.36 | 7.44 |
| ウシクサ族(ススキ属など) | 0.28 | 0.19 | 0.53 | 0.18 | 0.46 | 0.26 | 0.37 | 0.17 | 0.19 | | 0.09 | 0.09 | | | 0.09 | | | 0.08 | 0.09 | | |
| ネザサ節型 | | | 0.03 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| クマザサ属型 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.06 |

検出密度 (単位: ×100個/g)

| 分類群 \ 試料 | 4トレンチ北壁 | | | | | | | | | | | |
|----------------|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 2 | 3 | 4 | 5 | 6a | 6b-1 | 6B-2 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| イネ科 | | | | | | | | | | | | |
| イネ | 97 | 74 | 117 | 139 | 152 | 150 | 134 | 156 | 155 | 306 | 385 | 126 |
| オオムギ族(穎の表皮細胞) | | | | | 7 | | | | | | | |
| サヤヌカグサ属 | | | | | | | | | | | | |
| キビ族(ヒエ属など) | | | | | | | | | | | | |
| ヨシ属 | | | | | 7 | | 7 | 7 | 7 | 15 | | 30 |
| ウシクサ族(ススキ属など) | 35 | 15 | 66 | 88 | 28 | 45 | 54 | 37 | 22 | 22 | 22 | 7 |
| ジュズダマ属 | | | | | | | | | 7 | 7 | | |
| シバ属 | 7 | | | | | | | | | | | |
| キビ族型 | | | | 7 | 7 | | 13 | | 7 | | | 15 |
| ウシクサ族型 | 125 | 82 | 110 | 168 | 117 | 158 | 121 | 141 | 125 | 134 | 156 | 126 |
| ウシクサ族型(大型) | | | | | | 8 | 7 | | 7 | | | |
| くさび型 | 7 | | | | | | | | | | | |
| Aタイプ | | | | | | | | | | | | |
| タケ亜科 | | | | | | | | | | | | |
| ネザサ節型 | | 7 | | 7 | 7 | | 7 | | | | | |
| クマザサ属型 | 7 | 7 | | | 7 | | | 7 | | | | |
| メダケ節型 | 7 | 22 | 15 | 7 | 21 | 23 | 13 | | 7 | 7 | 15 | |
| マダケ属型 | | 7 | | | 14 | | | | | | | |
| 未分類等 | 21 | 7 | 22 | 22 | 48 | 38 | 7 | 7 | 7 | 15 | 37 | 7 |
| その他のイネ科 | | | | | | | | | | | | |
| 表皮毛起源 | 28 | 37 | 44 | 73 | 41 | 30 | 27 | 44 | 29 | 45 | 59 | 15 |
| 棒状珪酸体 | 299 | 274 | 307 | 381 | 359 | 519 | 215 | 356 | 405 | 447 | 422 | 407 |
| 茎部起源 | 7 | 15 | 7 | 7 | 21 | 8 | 20 | | 37 | 60 | 15 | 59 |
| 地下茎部起源 | | | | | 7 | | | 7 | 7 | 7 | 15 | |
| 未分類等 | 522 | 526 | 548 | 622 | 601 | 655 | 645 | 697 | 722 | 656 | 763 | 689 |
| カヤツリグサ科 | | | | | 7 | | | | | | | |
| 樹木起源 | | | | | | | | | | | | |
| ブナ科(シイ属) | 42 | 30 | 29 | 22 | 14 | 60 | 27 | 30 | 29 | 7 | 22 | 30 |
| ブナ科(アカガシ亜属?) | | 7 | | | | | 7 | | 7 | | | |
| マンサク科(イスノキ属) | 7 | 44 | 7 | 7 | 35 | 8 | 27 | 15 | 44 | 7 | | 7 |
| クスノキ科(バリバリノキ?) | 14 | 15 | | 22 | | 15 | 34 | 22 | | | 15 | |
| はめ絵パズル状(ブナ属など) | | | | | | | | | | | 7 | |
| その他 | | | | | | 8 | | 22 | 7 | 7 | 15 | 15 |
| (海綿骨針) | 14 | 52 | 44 | 15 | 7 | | 34 | 22 | 52 | | 15 | |
| 植物珪酸体総数 | 1224 | 1171 | 1270 | 1574 | 1499 | 1723 | 1363 | 1549 | 1635 | 1753 | 1948 | 1533 |

おもな分類群の推定生産量 (単位: kg/m²・cm)

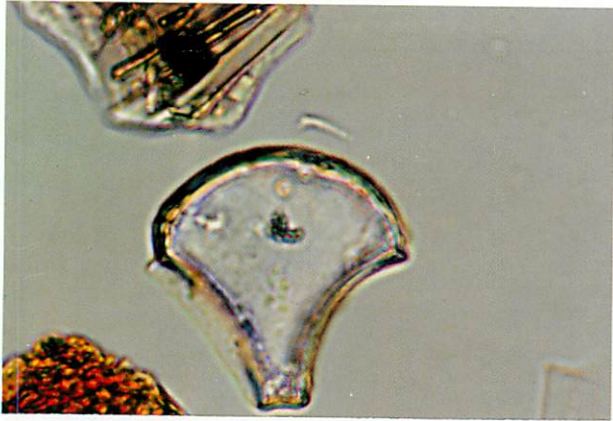
| | | | | | | | | | | | | |
|---------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|
| イネ | 2.86 | 2.18 | 3.43 | 4.09 | 4.47 | 4.42 | 3.95 | 4.58 | 4.55 | 8.99 | 11.32 | 3.70 |
| (イネ初) | 1.00 | 0.76 | 1.20 | 1.43 | 1.56 | 1.55 | 1.38 | 1.60 | 1.59 | 3.15 | 3.97 | 1.30 |
| キビ族(ヒエ属など) | | | | | | | | | | | | |
| ヨシ属 | | | | | 0.44 | | 0.42 | 0.47 | 0.46 | 0.94 | | 1.87 |
| ウシクサ族(ススキ属など) | 0.43 | 0.18 | 0.81 | 1.09 | 0.34 | 0.56 | 0.67 | 0.46 | 0.27 | 0.28 | 0.28 | 0.09 |
| ネザサ節型 | | 0.04 | | 0.04 | 0.03 | | 0.03 | | | | | |
| クマザサ属型 | 0.05 | 0.06 | | | 0.05 | | | 0.06 | | | | |

植物珪酸体の顕微鏡写真

(倍率はすべて 400 倍)

| No. | 分類群 | 地点 | 試料名 |
|-----|-----------------|----------|------|
| 1 | イネ | 4 トレンチ | 8 |
| 2 | イネ | 11 トレンチ北 | 9 |
| 3 | イネ | 11 トレンチ北 | 13-1 |
| 4 | イネ (側面) | 4 トレンチ | 6a-2 |
| 5 | サヤヌカグサ属 | 11 トレンチ北 | 13-4 |
| 6 | オオムギ族 (穎の表皮細胞) | 11 トレンチ北 | 7-1 |
| 7 | オオムギ族 (穎の表皮細胞) | 4 トレンチ | 6a |
| 8 | キビ族 (ヒエ属など) | 11 トレンチ北 | 13-2 |
| 9 | キビ族 (ヒエ属など) | 11 トレンチ北 | 13-1 |
| 10 | ヨシ属 | 11 トレンチ北 | 15-3 |
| 11 | ヨシ属 | 11 トレンチ北 | 15-7 |
| 12 | ウシクサ族 (ススキ属など) | 4 トレンチ | 2 |
| 13 | ウシクサ族 (ススキ属など) | 11 トレンチ北 | 7-1 |
| 14 | ジュズダマ属 | 4 トレンチ | 8 |
| 15 | ジュズダマ属 | 11 トレンチ北 | 15-1 |
| 16 | シバ属 | 4 トレンチ | 2 |
| 17 | キビ属型 | 11 トレンチ北 | 9 |
| 18 | ウシクサ族型 | 11 トレンチ北 | 15-7 |
| 19 | ウシクサ族型 (大型) | 11 トレンチ北 | 16 |
| 20 | イネ科 A タイプ | 11 トレンチ北 | 13-1 |
| 21 | ネザサ節型 | 4 トレンチ | 5 |
| 22 | クマザサ属型 | 4 トレンチ | 3 |
| 23 | メダケ節型 | 4 トレンチ | 2 |
| 24 | メダケ節型 | 11 トレンチ北 | 7-2 |
| 25 | マダケ属型 | 4 トレンチ | 6a |
| 26 | 表皮毛起源 | 4 トレンチ | 7 |
| 27 | 棒状珪酸体 | 4 トレンチ | 6a |
| 28 | 棒状珪酸体 | 11 トレンチ北 | 13-1 |
| 29 | イネ科の茎部起源 | 11 トレンチ北 | 14 |
| 30 | イネ科の茎部起源 | 11 トレンチ北 | 11 |
| 31 | 不明 | 4 トレンチ | 6b-2 |
| 32 | 不明 | 11 トレンチ北 | 15-3 |
| 33 | 不明 | 4 トレンチ | 6b-2 |
| 34 | カヤツリグサ科 | 11 トレンチ北 | 13-1 |
| 35 | ブナ科 (シイ属) | 11 トレンチ北 | 14 |
| 36 | ブナ科 (シイ属) | 4 トレンチ | 6b-2 |
| 37 | ブナ科 (アカガシ亜属?) | 11 トレンチ北 | 7-1 |
| 38 | マンサク科 (イスノキ属) | 11 トレンチ北 | 7-1 |
| 39 | マンサク科 (イスノキ属) | 4 トレンチ | 3 |
| 40 | クスノキ科 (バリバリノキ?) | 4 トレンチ | 3 |
| 41 | はめ絵パズル状 (ブナ属など) | 11 トレンチ北 | 15-4 |
| 42 | 海綿骨針 | 4 トレンチ | 2 |

PL. 1 植物珪酸体の顕微鏡写真

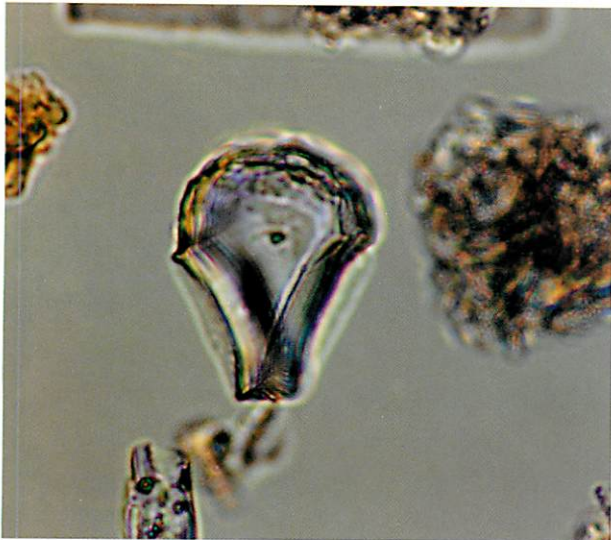


0 50 100 μm

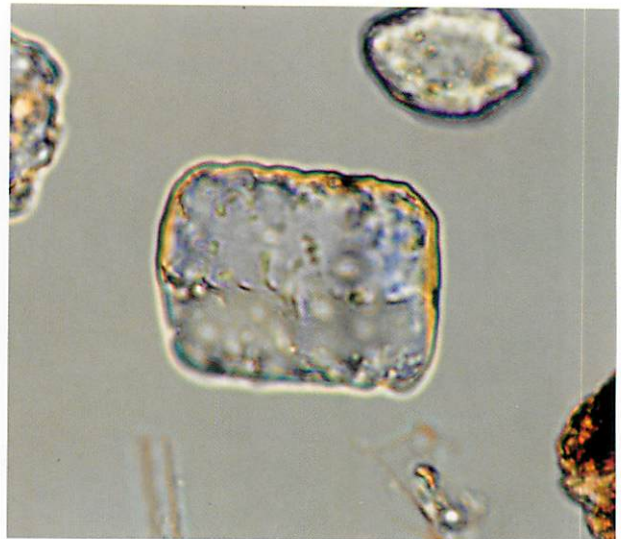
1. イネ



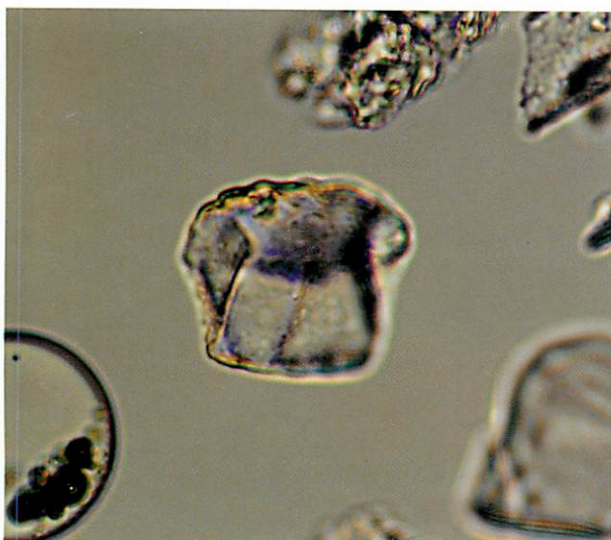
2. イネ



3. イネ



4. イネ (側面)



5. サヤヌカグサ属

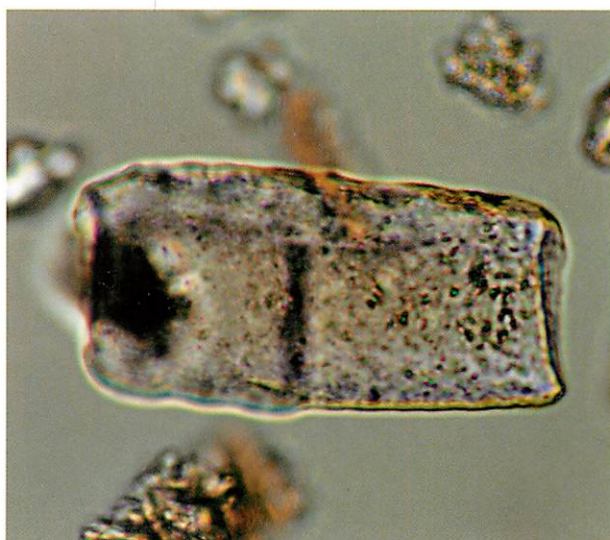


6. オオムギ属 (穎の表皮細胞)

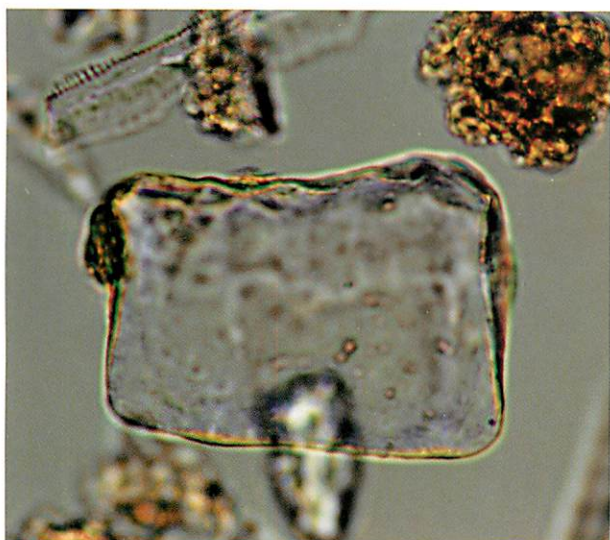
PL. 2 植物珪酸体の顕微鏡写真



7. オオムギ属 (穎の表皮細胞)



8. キビ属 (ヒエ属など)



9. キビ属 (ヒエ属など)



10. ヨシ属



11. ヨシ属



12. ウシクサ属 (ススキ属など)

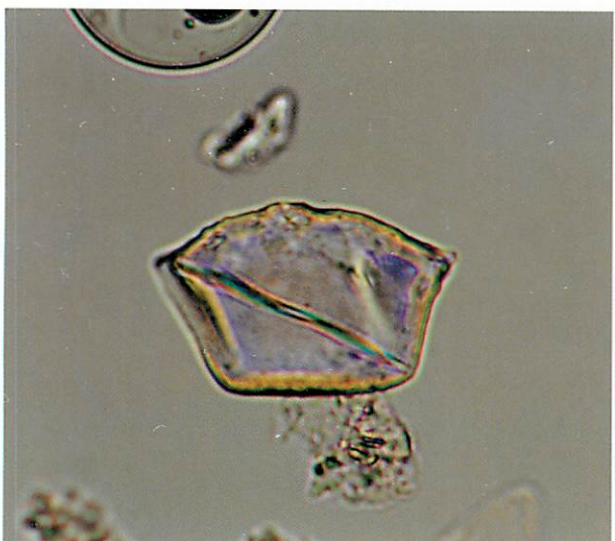
PL. 3 植物珪酸体の顕微鏡写真



13. ウシクサ属 (ススキ属など)



14. ジュズダマ属



15. ジュズダマ属



16. シバ属



17. キビ属型



18. ウシクサ属型

PL. 4 植物珪酸体の顕微鏡写真



19. ウシクサ属型 (大型)



20. イネ科Aタイプ



21. ネザサ節型



22. クマザサ属型



23. メダケ節型

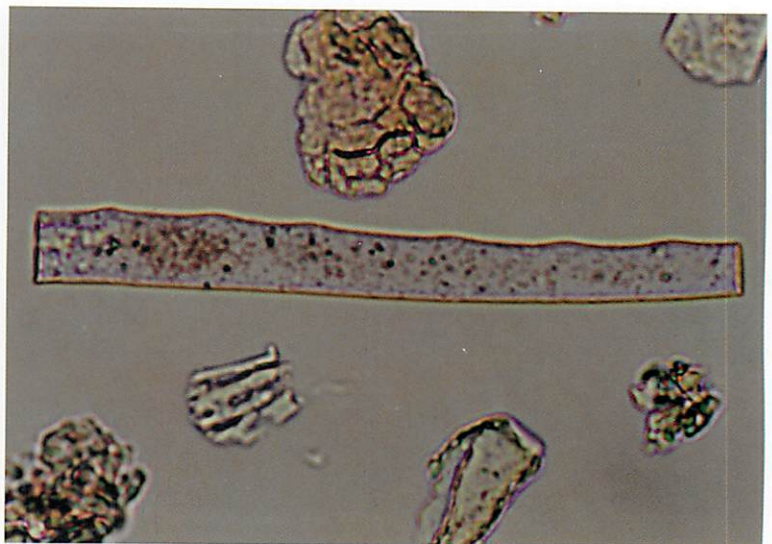


24. メダケ節型

PL. 5 植物珪酸体の顕微鏡写真



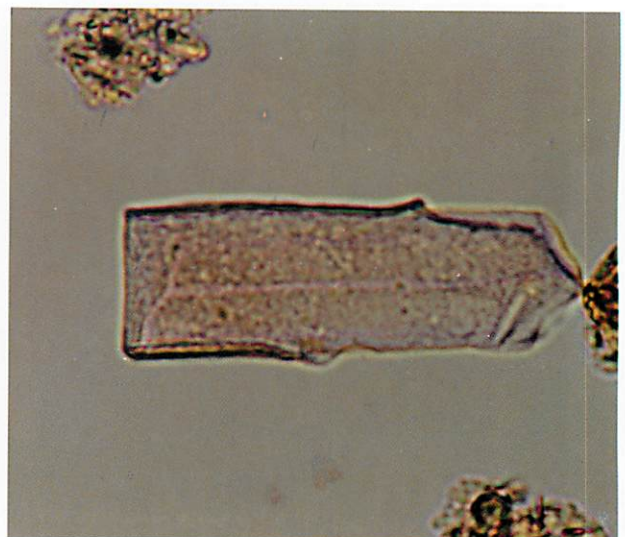
25. マダケ属型



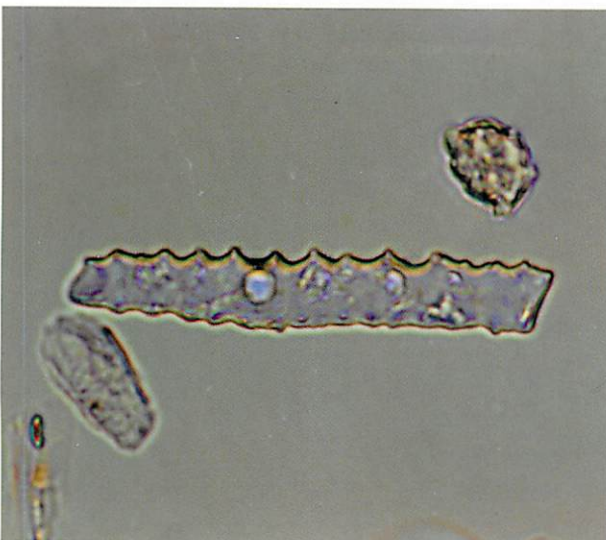
28. 棒状珪酸体



26. 表皮毛起源



29. イネ科の茎部起源

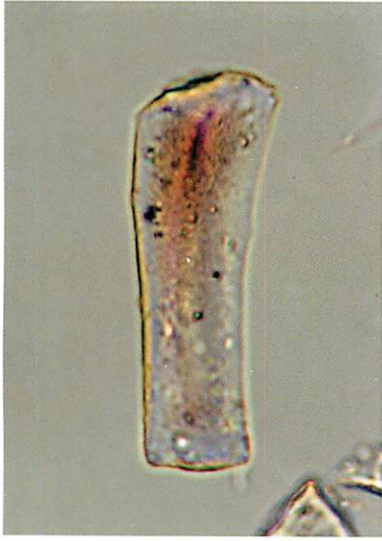


27. 棒状珪酸体



30. イネ科の茎部起源

PL. 6 植物珪酸体の顕微鏡写真



31. 不明



34. カヤツリグサ科



32. 不明



33. 不明



35. ブナ科 (シイ属)



36. ブナ科 (シイ属)

PL. 7 植物珪酸体の顕微鏡写真



37. ブナ科 (アカガシ亜属?)



40. クスノキ科 (バリバリノキ?)



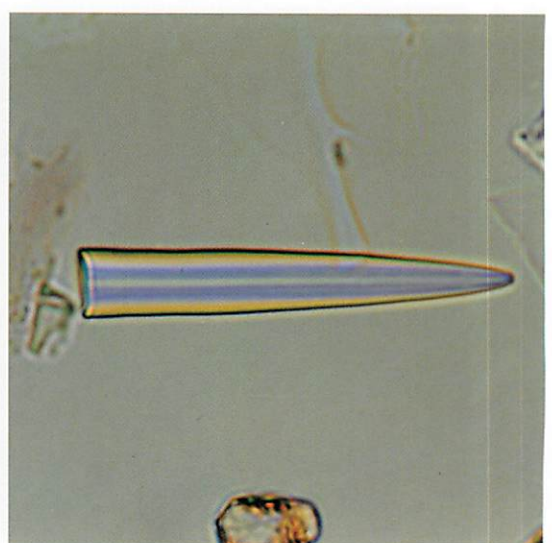
38. マンサク科 (イスノキ属)



41. はめ絵パズル状 (ブナ属など)



39. マンサク科 (イスノキ属)



42. 海綿骨針

II. 放射性炭素年代測定結果

鹿児島大学構内遺跡の試料について年代測定を行った。その結果を次表に示す。なお、年代値は1950年よりの年数 (B.P.) である。

年代値の算出には ^{14}C の半減期としてLIBBYの半減期5570年を使用している。また、付記した誤差は β 線の計数値の標準偏差 σ にもとづいて算出した年数で、標準偏差 (ONE SIGMA) に相当する年代である。また、試料の β 線計数率と自然計数率の差が 2σ 以下のときは、 3σ に相当する年代を下限の年代値 (B.P.) として表示してある。また、試料の β 線計数率と現在の標準炭素 (MODERN STANDARD CARBON) についての計数率との差が 2σ 以下のときは、Modernと表示し、 $\delta^{14}\text{C}\%$ を付記してある。

放射性炭素年代測定結果

| 試料No. | 採取箇所 | 種類 | 年代値 | コードNo. |
|-------|-------|-------|----------------------------|-----------|
| No.1 | 13層上部 | 黒色泥炭 | 4,410 \pm 90 (2460B.C.) | GaK-17543 |
| No.2 | 15層上部 | 黒褐色泥炭 | 4,890 \pm 90 (2940B.C.) | GaK-17544 |
| No.3 | 15層下部 | 黒褐色泥炭 | 4,780 \pm 100 (2830B.C.) | GaK-17545 |

(学習院大学理学部年代測定室)

III. 鹿児島大学構内遺跡の花粉分析

1. はじめに

花粉分析は、湖沼や湿原の堆積物を対象として広域な森林変遷を主とする時間軸の長い植生や環境の変遷を復原する手法として用いられてきた。考古遺跡では、埋没土壌や遺構内堆積物など堆積域や時間軸の限定された堆積物を対象とすることによって、狭い範囲の植生や短い時間における植生や環境の変遷そして農耕を復原することも可能である。

鹿児島大学構内遺跡 (郡元団地 L-11・12区) においては、泥炭層の分析から植生と農耕の復原を行った。

2. 試料

試料は、11トレンチ北側東壁の13層~16層について採取された13点であり、植物珪酸体分析に供されたものと同一試料である。試料採取箇所を分析結果の柱状図に示す。

3. 方法

花粉粒の分離抽出は、基本的には中村 (1973) を参考にし、試料に以下の順で物理化学処理を施して行った。

- 1) 5%水酸化カリウム溶液を加え15分間湯煎する。
- 2) 水洗した後、0.5mmの篩で礫などの大きな粒子を取り除き、沈澱法を用いて砂粒の除去を行う。
- 3) 25%フッ化水素酸溶液を加えて30分放置する。
- 4) 水洗した後、氷酢酸によって脱水し、アセトリシス処理 (無水酢酸9:1濃硫酸のエルドマン氏液を加え1分間湯煎) を施す。
- 5) 再び氷酢酸を加えた後、水洗を行う。

6) 沈渣に石炭酸フクシンを加えて染色を行い、グリセリンゼリーで封入しプレパラートを作製する。

以上の物理・化学の各処理間の水洗は、1500rpmで2分間の遠心分離を行った後に上澄みを捨てるという操作を3回繰り返して行った。

検鏡はプレパラート作製後直ちに、生物顕微鏡によって300~1000倍で行った。花粉の同定は、島倉(1973)および中村(1980)を基本とし、所有の現生標本との対比で行った。結果は同定レベルによって、科、亜科、属、亜属、節および種の階級で分類した。複数の分類群にまたがるものはハイフン(-)で結んで示した。なお、科・亜科や属の階級の分類群で一部が属や節に細分できる場合はそれらを別の分類群とした。イネ属に関しては、中村(1974, 1977)を参考にし、現生標本の表面模様・大きさ・孔・表層断面の特徴と対比して分類したが、個体変化や類似種も存在するため、イネ属型とした。

4. 結果

(1) 分類群

分析の結果、樹木花粉26、樹木花粉と草本花粉を含むもの1、草本花粉16、シダ植物孢子2形態の計45分類群が同定された。結果は、花粉遺体一覧を表にまとめ、花粉総数を基数とする百分率を算定し、花粉組成図に示した。また、主要な分類群は写真に示した。

以下に同定された分類群を示す。

〔樹木花粉〕

マキ属、モミ属、ツガ属、マツ属複維管束亜属、スギ、ヤマモモ属、クルミ属、サワグルミ、ハンノキ属、カバノキ属、ハシバミ属、クリ-シイ属-マテバシイ属、コナラ属コナラ亜属、コナラ属アカガシ亜属、ニレ属-ケヤキ、エノキ属-ムクノキ、サンショウ属、アカメガシワ、ウルシ属、モチノキ属、カエデ属、モクセイ科、グミ属、ツツジ科、ニワトコ属-ガマズミ属

〔樹木花粉と草本花粉を含むもの〕

ウコギ科

〔草本花粉〕

ガマ属-ミクリ属、オモダカ属、ホシクサ属、イネ科、イネ属型、カヤツリグサ科、タテ属サナエタテ節、アカザ科-ヒユ科、セリ科、ノブドウ属、オオバコ属、シソ科、ゴキツル、タンポポ科、キク科、ヨモギ属

〔シダ植物孢子〕

単条溝孢子、三条溝孢子

(2) 層位による変遷

最下位の16層では樹木花粉の占める割合が著しく多く、クリ-シイ属-マテバシイ属とコナラ属アカガシ亜属が優占する。草本花粉ではイネ科とカヤツリグサ科が出現する。15層ではクリ-シイ属-マテバシイ属が下部で減少傾向を示し上部で一時的に増加する。同層の下部ではカヤツリグサ科が増加するが、一時的に減少して再び増加する。14層から13層では、樹木花粉においてクリ-シイ属-マテバシイ属とコナラ属アカガシ亜属が減少し、コナラ属コナラ亜属が増加する。草本花粉ではカヤツリグサ科とイネ科が優占し、13層ではイネ属型が出現する。なお、シダ植物孢子は15層から13層の下部までやや不安定だが多産する。

5. 植生と環境および農耕の復原

縄文時代中期前葉頃(約4,800~4,900年前)と考えられる16層~14層では、クリ-シイ属-マテバシイ属

(ここではシイ属と推定される)とコナラ属アカガシ亜属の花粉が多いため、本遺跡の周辺にはシイ属とコナラ属アカガシ亜属を主とする照葉樹林が分布していたと考えられる。また、堆積地はカヤツリグサ科とイネ科の水湿地草本の繁茂する湿原であったと推定される。

縄文時代中期中葉頃(約4,400年前)と考えられる13層では、周囲のシイ属とコナラ属アカガシ亜属を主とする照葉樹林が減少し、コナラ属コナラ亜属の落葉広葉樹林が増加したと考えられる。コナラ属コナラ亜属は落葉広葉樹林を構成する冷温帯種ではなく、途中層林を形成するコナラか暖温帯に生育するナラガシワであったと推定される。13層からはイネ属型の花粉が検出され、特に最上部ではやや多いことから、この時期にはイネが存在していたとみなされる。樹木花粉のコナラ属コナラ亜属の増加は、イネ属型花粉の出現とほぼ呼応していることから、この時期に森林への人為干渉とイネの栽培が行われていたことが推定される。

参考文献

中村純(1973)花粉分析, 古今書院.

金原正明(1993)花粉分析法による古環境復原. 新版古代の日本第10巻古代資料研究の方法, 角川書店.

日本第四紀学会編(1993)第四紀試料分析法, 東京大学出版会.

島倉巳三郎(1973)日本植物の花粉形態, 大阪市立自然科学博物館収蔵目録第5集.

中村純(1980)日本産花粉の標徴, 大阪自然史博物館収蔵目録第13集.

中村純(1974)イネ科花粉について, とくにイネ(*Oryza sativa*)を中心として. 第四紀研究13.

中村純(1977)稲作とイネ花粉. 考古学と自然科学 第10号.

辻誠一郎・南木睦彦・小池裕子(1983)縄文時代以降の植生と農耕-村田川流域を例として. 第四紀研究第22巻.

金原正明・金原正子・粉川昭平(1992)箸尾遺跡第10・11次調査の花粉分析・稲実同定. 箸尾遺跡第10・11次調査概報, 奈良県遺跡調査概報1991年度, 奈良県立橿原考古学研究所.

Tab. 7 鹿兒島大学構内遺跡 (郡元団地) 11 トレンチ北側東壁における花粉分析結果

| 学名 | 分類群 | 和名 | 13層 | | | | 14層 | 15層 | | | | 16層 | | | |
|--|-----------|---------------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| | | | 13-1 | 13-2 | 13-3 | 13-4 | 層 | 15-1 | 15-2 | 15-3 | 15-4 | 15-5 | 15-6 | 15-7 | 層 |
| Arboreal pollen | 樹木花粉 | | | | | | | | | | | | | | |
| Podocarpus | | マキ属 | | | | 1 | | 2 | | 2 | | | | | |
| Abies | | モミ属 | | 1 | | 2 | | | 1 | 1 | | | 1 | | |
| Tsuga | | ツガ属 | 1 | | | 1 | | | | | | | | | |
| Pinus subgen. <i>Diploxylon</i> | | マツ属 擬雄雌雄並属 | 4 | 6 | 11 | 11 | 12 | 11 | 15 | 19 | 13 | 15 | 25 | 19 | 26 |
| Cryptomeria japonica | | スギ | | 2 | 7 | | 4 | | 1 | 4 | | | | 2 | 2 |
| Myrica | | ヤママモ属 | | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 |
| Juglans | | クルミ属 | | | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | |
| Pterocarya | | サワグルミ属 | | | | | | | | | | | | | |
| Alnus | | ハンノキ属 | 3 | 1 | 1 | | | | 1 | | | | 1 | | |
| Betula | | カバノキ属 | | | | | | | | | | | | | |
| Corylus | | ハシバミ属 | | | | | | | | | | | | | |
| Carpinus-Cstrya | | クマシデ属-アサダ | | 2 | 1 | | 5 | 4 | | 4 | 2 | 7 | | 1 | 2 |
| Castanea-Castanopsis-Pasania | | クリ-シイ属-マテバシイ属 | | | 2 | | | | | 1 | | | | 2 | 2 |
| Quercus subgen. <i>Lepidobalanus</i> | | コナラ属コナラ亜属 | | 1 | 46 | 48 | 72 | 43 | 126 | 100 | 45 | 143 | 158 | 143 | 195 |
| Quercus subgen. <i>Cyclobalanopsis</i> | | コナラ属アカガシ亜属 | 124 | 126 | 74 | 80 | 32 | 25 | 28 | 26 | 16 | 19 | 13 | 7 | 13 |
| Ulmus-Zelkova serrata | | ニレ属-ケヤキ | 5 | 11 | 16 | 39 | 69 | 75 | 92 | 161 | 76 | 120 | 143 | 123 | 131 |
| Celtis-Aphananthe aspera | | エノキ属-ムクノキ | 1 | | | | | | | | | | | | |
| Zanthoxylum | | サンショウ属 | 1 | 1 | 7 | 5 | 2 | 4 | 1 | 13 | 4 | 1 | 5 | 5 | 4 |
| Mallotus | | アカメガシワ | | | | | | | | | | | | | |
| Rhus | | ウルシ属 | | | | 1 | | | | 1 | 1 | | | 2 | 1 |
| Ilex | | モチノキ属 | | | | | | | | 3 | 3 | | | 1 | |
| Acer | | カエデ属 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | |
| Oleaceae | | モクセイ科 | | | | | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 1 | | 2 |
| Elaeagnus | | グミ属 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| Ericaceae | | ツツジ科 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| Sambucus-Viburnum | | ニワトコ属-ガマズミ属 | | | 3 | | | | | 1 | | | | 2 | 1 |
| Arboreal - Nonarboreal pollen | 樹木・草本花粉 | | | | | | | | | | | | | | |
| Araliaceae | ウコギ科 | | 1 | | | | | | | 2 | | | | | |
| Nonarboreal pollen | 草本花粉 | | | | | | | | | | | | | | |
| Typsa-Sparganium | ガマ属-ミクリ属 | | | 2 | 30 | 24 | 8 | 10 | 1 | 1 | 1 | | | | 1 |
| Sagittaria | オモダカ属 | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| Ericacaulon | ホシクサ属 | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| Gramineae | イネ科 | | 60 | 89 | 87 | 96 | 17 | 61 | 15 | 13 | 22 | 20 | 19 | 49 | 30 |
| Oryza type | イネ属型 | | 24 | 14 | 1 | 4 | | | | | | | | | |
| Cyperaceae | カヤツリグサ科 | | 120 | 122 | 160 | 89 | 84 | 66 | 13 | 8 | 83 | 138 | 100 | 19 | 11 |
| Polygonum sect. <i>Persicaria</i> | タデ属サナエタデ節 | | | | 1 | 2 | | 2 | 1 | | | | 1 | | |
| Chenopodiaceae-Amaranthaceae | アカザ科-ヒユ科 | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| Umbelliferae | セリ科 | | | | | 3 | 2 | 5 | 8 | 7 | 5 | 12 | 8 | 5 | 3 |
| Ampelopsis | ノブドウ属 | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | 1 |
| Plantago | オオバコ属 | | | | | | | | | | | | | | |
| Labiatae | シソ科 | | 27 | 10 | | | | | | | 1 | | | | |
| Actinostemma lobatum | ゴキツル | | | | | | 4 | 1 | | | | | | | |
| Lectuoidese | タンポポ属科 | | 10 | 6 | 1 | | | | | | | | | | |
| Asteroidese | キク属科 | | 5 | 13 | 7 | 4 | 6 | 22 | 10 | 1 | 10 | 9 | | 1 | |
| Artemisia | ヨモギ属 | | 21 | 11 | 10 | 3 | 9 | 6 | 7 | 10 | 3 | 1 | | 7 | 2 |
| Fern spore | シダ植物胞子 | | | | | | | | | | | | | | |
| Monolate type spore | 単条溝胞子 | | 22 | 2 | 9 | 1400 | 343 | 795 | 1105 | 214 | 2166 | 175 | 95 | 126 | 7 |
| Trilate type spore | 三条溝胞子 | | 2 | 1 | 1 | 2 | 17 | 27 | 44 | 0 | 7 | 6 | 6 | | 1 |
| Arboreal pollen | 樹木花粉 | | 140 | 153 | 169 | 188 | 198 | 167 | 270 | 340 | 156 | 348 | 353 | 309 | 382 |
| Arboreal - Nonarboreal pollen | 樹木・草本花粉 | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| Nonarboreal pollen | 草本花粉 | | 267 | 269 | 300 | 224 | 133 | 176 | 54 | 40 | 132 | 176 | 125 | 79 | 46 |
| Total pollen | 花粉総数 | | 418 | 422 | 469 | 412 | 331 | 343 | 324 | 382 | 288 | 484 | 478 | 388 | 428 |
| Unknown pollen | 未同定花粉 | | 5 | 3 | 6 | 2 | 3 | 7 | 5 | 6 | 1 | 3 | 2 | 9 | 4 |
| Fern spore | シダ植物胞子 | | 24 | 3 | 10 | 1402 | 360 | 822 | 1149 | 214 | 2173 | 181 | 101 | 126 | 8 |

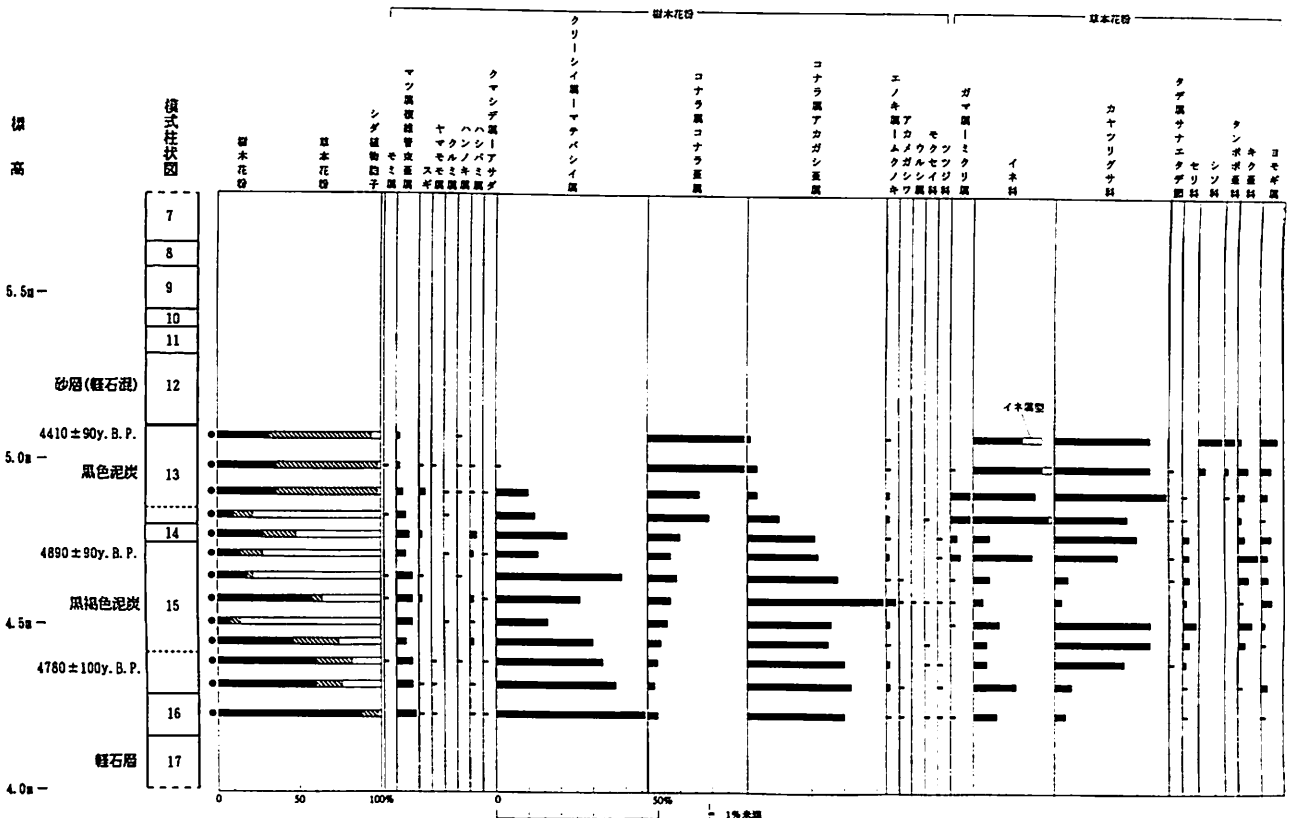
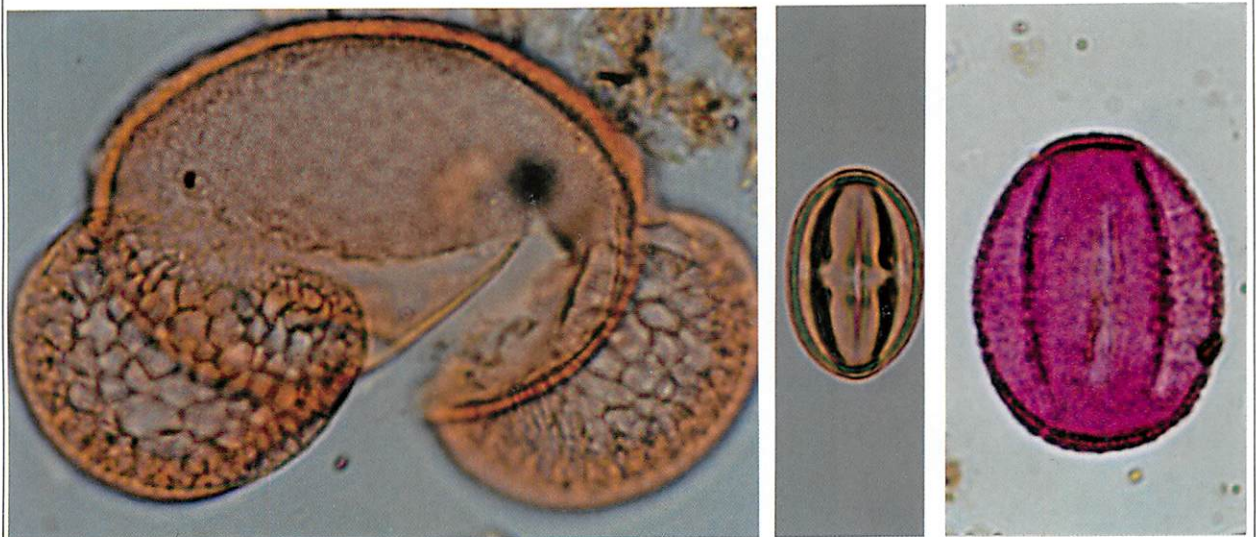


Fig. 44 鹿兒島大学構内遺跡 (郡元団地) 11 トレンチ北側東壁における主要花粉組成図 (花粉総数が基準)



1 マツ属複維管束亜属

2 クリーシイ属—
マテバシイ属

3 コナラ属コナラ亜属



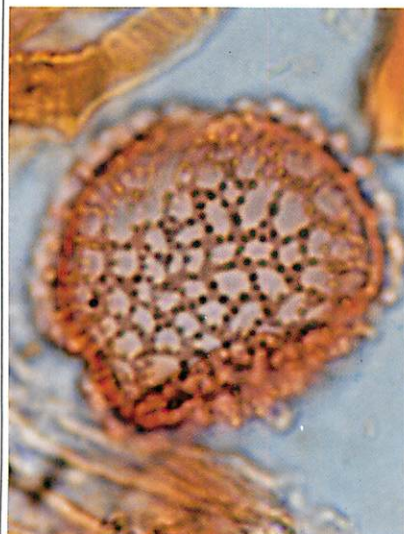
4 コナラ属アカガシ亜属



5 エノキ属—ムクノキ



6 ウルシ属



7 モクセイ科



8 アカメガシワ



9 ツツジ科

30 μm

PL. 9 鹿児島大学構内遺跡の花粉・孢子遺体Ⅱ



1 ガマ属-ミクリ属



2 イネ科



3 イネ属型



4 カヤツリグサ科



5 タンポポ亜科



6 キク亜科



7 ヨモギ属



8 シダ植物単条溝孢子



9 シダ植物三条溝孢子

30 μm

IV. 鹿児島大学構内遺跡の種実同定

1. 試料と方法

試料は鹿児島大学構内遺跡，地域共同研究センター予定地の9層（泥炭）から採取された1点である。同層は，郡元団地L-11・12区の13層に相当すると考えられる。試料500ccを0.25mmの篩いで水洗したのち，実体顕微鏡で観察選別して同定を行った。なお，分類群は同定レベルによって科や属の階級で示した。カヤツリグサ科は形態により3つに分類した。

2. 結果

検出された種実遺体は以下に示す8分類群であった。主要な分類群を写真に示す。

| 分類群 (和名/学名) | 部位 | 産出個数 |
|------------------------|----|------|
| ミクリ属 <i>Sparganium</i> | 果実 | 7 |
| イネ科 Gramineae | 穎 | 5 |
| カヤツリグサ科 A Cyperaceae A | 果実 | 12 |
| カヤツリグサ科 B Cyperaceae B | 果実 | 16 |
| カヤツリグサ科 C Cyperaceae C | 果実 | 24 |
| ホタルイ属 <i>Scirpus</i> | 果実 | 7 |
| タデ属 <i>Polygonum</i> | 果実 | 4 |
| キク科 Compositae | 果実 | 4 |

a. ミクリ属 *Sparganium* 果実 ミクリ科

淡褐色の倒卵形を呈し先端が尖る。表面には5～6本の繊維状の溝が走る。長さ2.8～3.8mm，幅2.1～2.2mm。

b. イネ科 Gramineae 穎 イネ科

茶褐色の楕円形を呈し薄く柔らかい。長さ1.2～1.5mm，幅0.7～0.8mm。

c. カヤツリグサ科 A-C Cyperaceae A-C 果実 カヤツリグサ科

Aは茶褐色でやや扁平倒卵形を呈し，断面が平凸レンズ状である。果皮は薄く柔らかい。長さ1.2～1.5mm，幅0.8～1.0mm。Bは黒色でやや光沢のある倒卵形を呈し，断面は両凸レンズ状である。果皮は硬い。長さ1.2～1.5mm，幅1.0～1.2mm。

Cは黄褐色で広倒卵形を呈し，断面は両凸レンズ状である。果皮は厚く弾力がある。長さ1.5～1.7mm，幅1.2～1.4mm。

d. ホタルイ属 *Scirpus* 果実 カヤツリグサ科

黒色でにぶい光沢のある広倒卵形を呈し，基部に針状の付属物がある。断面は平凸レンズ状で，果皮はやや厚く硬い。表面には微細な隆起が横方向に走る。長さ2.1～2.3mm，幅1.5～1.7mm

e. タデ属 *Polygonum* 果実 タデ科

黒色で光沢のある倒卵形を呈し，先端がとがる。断面は三角形で，果皮はやや厚く硬い。表面には網目

構造がある。長さ 2.6mm, 幅 1.5mm。

f. キク科 Compositae 果実 キク科

茶褐色を呈し針形で、上端には円形状の突出、下端は切形を呈する。断面は六角形で、果皮には6本の縦方向の隆起が走り、その間には微細な網目状構造がある。果皮は薄い。長さ 0.6~0.7mm, 幅 2.2~2.3mm。

4. 所見

同定の結果、8分類群が検出された。いずれも草本の種実であり、木本は含まれていなかった。カヤツリグサ科 A - C が最も多く、ミクリ属、ホタルイ属と続く。他はイネ科・キク科・タデ属が出現するのみであった。カヤツリグサ科は多くの水湿地草本を含み、ミクリ属・ホタルイ属も水湿地に生育する草本である。

主要に出現する分類群がいずれも水湿地植物であるため、堆積地は湿原であったと推定される。木本類が含まれないことから、湿原はやや大きな範囲に分布していたと考えられ、森林は近接して存在していなかったと推定される。

なお、カヤツリグサ科、ミクリ属、ホタルイ属は水湿地草本であるとともに水田雑草でもある。

参考文献

日本第四紀学会編(1993)第四紀試料分析法. 東京大学出版会.

PL. 10 鹿児島大学構内遺跡出土種実



1 ミクリ属 0.5mm



2 ミクリ属 0.5mm



3 イネ科 0.1mm



4 カヤツリグサ科A 0.1mm



5 カヤツリグサ科B 0.1mm



6 カヤツリグサ科C 0.1mm



7 ホタルイ属 0.5mm



8 タデ科 0.5mm



9 キク科 0.5mm

Ⅴ. 鹿児島大学構内遺跡の珪藻分析

1. はじめに

珪藻は、10~500 μm ほどの珪酸質殻を持つ単細胞藻類で、殻の形やこれに刻まれた模様などから多くの珪藻種が調べられている。また、現生の生態から特定環境を指標する珪藻種群も設定されている（小杉, 1988; 安藤, 1990）。一般的に、珪藻の生育域は海水域から淡水域までと広範囲に及び、中には河川や沼地あるいは池などの水成環境以外の陸地においてもわずかな水分が供給される環境、例えばコケの表面や湿った岩石の表面などで生育する珪藻種も知られている。こうした珪藻種あるいは珪藻群集の性質から、過去の堆積物中の珪藻化石の解析から、遺跡を埋積する堆積環境について知ることが可能である。ここでは、こうした珪藻の特性を利用して、鹿児島大学構内遺跡（郡元団地 L-11・12区）の堆積環境について検討する。

2. 試料と処理方法

珪藻分析を行った試料は、11 トレンチ北側東壁の13層~16層から採取された13点であり、植物珪酸体分析や花粉分析に供されたものと同一試料である。これらの試料は、以下に述べる方法で処理し、珪藻用プレパラートを作成した。

- 1) 試料から湿潤重量約1g程度を取り出し、計量した後ピーカーに移し、30%過酸化水素を加え、加熱・反応させ、有機物の分解と粒子の分散を行う。
- 2) 反応終了後水を加え、1時間程してから上澄み液を除去し、細粒のコロイドを捨てる。この作業を上澄み液が透明になるまで繰り返す（7回程度）。
- 3) ピーカーに残った残渣は、遠心管に細粒分のみ回収する。
- 4) マイクロピペットを用い、遠心管から適量を取り、カバーガラスに滴下し乾燥させる。乾燥後は、マウントメディア（封入剤）で封入しプレパラートを作成する。

作成したプレパラートは光学顕微鏡下1000倍で珪藻種を同定し、殻約200個体計数する。

3. 珪藻化石群集と堆積環境

検出された珪藻化石は、125分類群30属106種2亜種である。これら珪藻群集の特徴から6珪藻分帯が設定される。以下に、各珪藻分帯の珪藻化石の特徴およびその堆積環境について述べる。

I帯（16層, 15層最下部）は、珪藻化石の組成は異なるが、海水種および汽水種の占める割合が約39%および約24%と比較的高いことで特徴づけられる。16層において特徴的な種としては小久保（1960）の示す沿岸性種の *Actinocyclus ehrenbergii* や *Actinocyclus sp.* が検出されている。試料15-7においては、汽水種の *Thalassiosira bramaputrae* や *Navicula yarrensensis* がほぼ同率で出現している。淡水種では、両試料とも浮遊生種あるいは底生種の *Fragilaria* 属や池に見られる酸性種の *Melosira pensacolatae* なども検出される。

II帯（15層下部）は、池に見られる酸性種の *Melosira pensacolatae* が特徴的に多く検出され、試料15-6では約78%に達する。これ以外では汽水種の *Thalassiosira bramaputrae* や浮遊生種の *Surirella tenera* が随伴している。

III帯（15層中~上部）は、安藤（前出）の設定した沼沢湿地付着生種群の *Pinnularia viridis* や *Pinnularia gibba* などが検出される。特に、*Pinnularia viridis* は上部に向かって増加する傾向を示している。

IV帯（14層）は、上位V帯あるいは下位III帯とは異なった珪藻化石組成を示し、安藤（前出）が設定した中~下流性河川指標種群の *Achnanthes laceolata* あるいは底生種の *Navicula radiosa* が検出されている。また、汽水種の *Thalassiosira bramaputrae* や *Achnanthes brevipes* などが検出されている。これは、一時的に汽水が影響する環境あるいは流水環境の存在を示すものである。

Tab. 8 鹿児島大学構内遺跡 (郡元団地) 11 トレンチ北側東壁の珪藻化石産出表 (その1)

| 分類群 | 適応性 | | | | 試料番号 | | | | | | | | | | | | | 16 |
|------------------------------------|-------|------|-----|-----|------|------|------|------|----|------|------|------|------|------|------|------|----|----|
| | 塩分 | pH | 流水 | 生活 | 13-1 | 13-2 | 13-3 | 13-4 | 14 | 15-1 | 15-2 | 15-3 | 15-4 | 15-5 | 15-6 | 15-7 | | |
| <i>Actinocyclus ehrenbergii</i> | M | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 3 | 51 |
| <i>A. spp.</i> | M | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - |
| <i>Melosira sulcata</i> | M | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 3 |
| <i>Nacicula longa</i> | M | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 3 |
| <i>Nitzschia granulata</i> | M | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 3 |
| <i>N. marginulata</i> | M | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 |
| <i>Thalassionema nitzschioides</i> | M | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>Diploneis smithii</i> | M-B | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 |
| <i>Nitzschia adducta</i> | M-B | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 |
| <i>Achnanthes brevipes</i> | B | - | - | - | - | - | - | - | 7 | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 1 |
| <i>A. spp.</i> | B | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>Caloneis formosa</i> | B | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 |
| <i>C. rhombica</i> | B | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 4 | - |
| <i>Hydrosera triquetra</i> | B | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>Melosira sp.-1</i> | B | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 10 |
| <i>Navicula yarrensis</i> | B | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 18 | - |
| <i>Thalassiosira bramaputrae</i> | B | - | - | - | - | - | - | - | 3 | - | - | - | - | - | 19 | 7 | 21 | 5 |
| <i>Achnanthes exigua</i> | F-ind | Alka | ind | B | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 4 | 1 |
| <i>A. lanceolata</i> | F-ind | Alka | Rhe | B | - | - | - | - | 57 | - | - | - | - | - | - | - | 26 | 3 |
| <i>A. spp.</i> | F-? | ? | ? | B | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 3 | - |
| <i>Amphora normanii</i> | F-pho | ind | ? | B | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>A. ovalis</i> | F-ind | Alka | Lim | P | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>A. ovalis var. libyca</i> | F-ind | Alka | ind | P | - | - | - | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | - | - | - | - | - |
| <i>Bacillaria paradoxa</i> | F-phi | ind | ind | B | - | - | - | - | 2 | - | - | - | - | 1 | - | 1 | 1 | 1 |
| <i>Caloneis lauta</i> | F-phi | ? | ? | B | - | - | - | - | - | - | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - |
| <i>C. leptosoma</i> | F-? | ? | ? | B | - | - | - | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>C. silicula</i> | F-ind | Alka | ind | B | - | 1 | - | - | - | - | - | - | 1 | 2 | - | - | - | - |
| <i>C. spp.</i> | F-? | ? | ? | B | 1 | - | - | - | - | - | - | - | 6 | - | - | - | - | 1 |
| <i>Cocconeis placentula</i> | F-ind | Alka | ind | B | - | - | - | - | 6 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>Cyclotella comta</i> | F-ind | Alka | Lim | P | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 |
| <i>Cymbella aspera</i> | F-ind | Alka | ind | B | 13 | 4 | 13 | 1 | - | 5 | 1 | 1 | 4 | - | - | - | - | - |
| <i>C. ehrenbergii</i> | F-ind | Alka | Lim | B | 2 | 1 | 3 | - | - | 22 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | - | - | - |
| <i>C. gracilis</i> | F-ind | ind | Lim | B | 5 | 2 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>C. incerta</i> | F-? | ? | ? | B | 3 | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - |
| <i>C. mesiana</i> | F-? | ? | ? | B | - | - | - | 8 | - | - | 5 | 2 | 1 | - | - | - | - | - |
| <i>C. minuta</i> | F-ind | ind | ind | B | 20 | 2 | 3 | 3 | - | - | 1 | 1 | 8 | - | - | - | - | - |
| <i>C. naviculiformis</i> | F-ind | ind | ind | B | 5 | 3 | 2 | - | - | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | - | - | - | - |
| <i>C. silesiaca</i> | F-? | ? | ? | B | - | - | - | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>C. subaequalis</i> | F-ind | ind | ? | B | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>C. tumida</i> | F-ind | Alka | Lim | B | - | - | - | - | 4 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>C. spp.</i> | F-? | ? | ? | B | 4 | - | 2 | 1 | 1 | 4 | 2 | 2 | 2 | - | - | - | - | - |
| <i>Diploneis elliptica</i> | F-ind | ind | Lim | B | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>D. finnica</i> | F-ind | Acid | Lim | B | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>D. ovalis</i> | F-ind | ind | ind | B | 9 | 4 | 10 | - | - | - | - | - | - | 1 | 2 | 8 | 1 | 1 |
| <i>D. subovalis</i> | F-ind | ind | ind | B | 12 | 7 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | 3 | - | - |
| <i>D. yatukaensis</i> | F-ind | ? | Lim | B | 29 | 59 | 68 | 4 | - | 9 | 12 | - | - | - | - | 2 | - | - |
| <i>D. spp.</i> | F-? | ? | ? | B | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 4 |
| <i>Epithemia zebra</i> | F-ind | Alka | ind | B | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | 1 | - | - | - |
| <i>Eunotia arcus</i> | F-pho | Acid | ind | B | 3 | 5 | 3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>E. elegans</i> | F-pho | Acid | ? | B | - | - | - | - | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>E. flexuosa</i> | F-pho | Acid | ind | B | - | 3 | 4 | 1 | - | 1 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | - |
| <i>E. lunaris</i> | F-pho | Acid | Lim | B | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | - | - | 1 | - | - |
| <i>E. monodon</i> | F-pho | Acid | Lim | B | 2 | - | 1 | - | 2 | - | 10 | 1 | - | - | - | - | - | - |
| <i>E. pectinalis</i> | F-pho | Acid | ind | B | 6 | 10 | 7 | 3 | 12 | 1 | 3 | 1 | 6 | - | - | - | - | - |
| <i>E. pectinalis var. minor</i> | F-pho | Acid | ind | B | - | - | - | - | 4 | 1 | - | 3 | 12 | 2 | 2 | - | - | - |
| <i>E. veneris</i> | F-pho | Acid | ind | B | - | - | - | - | 3 | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - |
| <i>E. spp.</i> | F-? | ? | ? | B | 3 | 2 | 1 | - | 1 | - | 2 | - | 1 | - | - | - | - | - |
| <i>Fragilaria brevistriata</i> | F-ind | Alka | ind | P/B | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | 1 | - | 13 | 48 | - |
| <i>F. construens</i> | F-ind | Alka | ind | P/B | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 3 | - | 8 | 5 | - |
| <i>F. pinnata</i> | F-ind | Alka | ind | P/B | - | - | - | - | 1 | - | - | - | 1 | 5 | - | 13 | 25 | - |
| <i>F. spp.</i> | F-? | ? | ? | P/B | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | 2 | 3 | - | - | - |
| <i>Frustulia rhomboides</i> | F-pho | Acid | Lim | B | 5 | 4 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>F. spp.</i> | F-? | ? | ? | B | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>Gomphonema clevei</i> | F-ind | Alka | Rhe | B | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>G. constrictum</i> | F-ind | Alka | Lim | B | - | - | - | - | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>G. gracile</i> | F-ind | ind | Lim | B | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - |
| <i>G. parvulum</i> | F-ind | ind | ind | B | - | - | - | - | 2 | - | - | 2 | - | - | - | 1 | - | - |
| <i>Gyrosigma spp.</i> | F-? | ? | ? | B | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - |
| <i>Hantzschia amphioxys</i> | F-ind | Alka | ind | T | - | - | 2 | 3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>Melosira ambigua</i> | F-ind | Alka | Lim | P | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 3 | - | - |

Tab. 9 鹿児島大学構内遺跡（郡元団地）11トレンチ北側東壁の珪藻化石産出表（その2）

| 分類群 | 適応性 | | | | トレンチ | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|-------|------|-----|-----|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| | 塩分 | pH | 流水 | 生活 | 13-1 | 13-2 | 13-3 | 13-4 | 14 | 15-1 | 15-2 | 15-3 | 15-4 | 15-5 | 15-6 | 15-7 | 16 |
| <i>Melosira distans</i> | F-pho | Acid | ind | P | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | 9 | 1 | 2 | 4 |
| <i>M. granulata</i> | F-ind | Alka | Lim | P | - | - | - | - | - | - | - | 2 | - | - | - | - | - |
| <i>M. italica</i> | F-ind | Alka | ind | P | - | - | - | - | - | - | - | 7 | - | - | - | - | - |
| <i>M. pensacolatae</i> | F-? | Acid | Lim | P | - | - | - | - | - | - | - | 38 | 6 | 104 | 164 | 23 | 2 |
| <i>M. varians</i> | F-ind | Alka | ind | P | - | - | - | - | 16 | - | - | - | - | - | 1 | 2 | 28 |
| <i>M. spp.</i> | F-? | ? | ? | P | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - |
| <i>Meridion circulae</i> | F-ind | Alka | Rhe | B | - | - | - | - | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>Navicula americana</i> | F-ind | ind | Lim | B | - | - | - | - | - | 1 | - | 2 | 1 | - | - | - | - |
| <i>N. bacillum</i> | F-ind | Alka | ind | B | - | 1 | 1 | - | - | - | - | 3 | - | - | - | - | - |
| <i>N. brasiliana</i> | F-? | ? | ? | B | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - |
| <i>N. confervacea</i> | F-ind | ind | ind | B | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | - |
| <i>N. concentrica</i> | F-? | ? | ? | B | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>N. cryptocephala</i> | F-ind | Alka | ind | B | - | - | - | - | 5 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>N. elginensis</i> | F-ind | Alka | Rhe | B | - | - | - | 1 | - | - | - | 1 | 3 | 2 | - | - | - |
| <i>N. exigua</i> | F-ind | Alka | ind | B | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - |
| <i>N. goeppertiana</i> | F-? | ? | ? | B | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>N. mutica</i> | F-ind | ind | ind | T | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | 1 | - |
| <i>N. pupula</i> | F-ind | ind | ind | B | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 4 | 6 | - |
| <i>N. radiosa</i> | F-ind | ind | ind | B | - | - | - | - | 25 | 1 | - | - | - | 4 | 1 | 5 | 1 |
| <i>N. reinhardtii</i> | F-ind | Alka | ind | B | - | - | - | - | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>N. tokyoensis</i> | F-? | ? | ? | B | 2 | 2 | 1 | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - |
| <i>N. spp.</i> | F-? | ? | ? | B | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 1 | - | - | - |
| <i>Neidium affine</i> | F-ind | ind | Lim | B | - | - | - | 1 | - | - | - | - | 1 | 1 | - | - | - |
| <i>N. iridis</i> | F-pho | ind | Lim | B | 1 | 1 | 7 | 6 | - | 3 | 1 | 4 | - | - | - | - | - |
| <i>Nitzschia amphibia</i> | F-ind | Alka | ind | B | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 |
| <i>N. parvula</i> | F-ind | ind | ind | B | - | - | - | 1 | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - |
| <i>N. tryblionella</i> | F-ind | ind | ind | B | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 |
| <i>N. spp.</i> | F-? | ? | ? | P/B | - | - | - | 4 | 2 | - | 1 | 3 | 5 | 2 | 1 | 4 | 1 |
| <i>Opephora martyi</i> | F-ind | Alka | Lim | B | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 |
| <i>Pinnularia acrosphaeria</i> | F-ind | ind | Lim | B | - | - | 2 | 8 | - | 3 | 2 | 3 | 25 | - | - | - | - |
| <i>P. appendiculata</i> | F-pho | ind | ind | B | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>P. cardinaliculus</i> | F-? | ? | ? | B | - | - | 7 | - | - | 1 | 16 | 2 | - | - | - | - | - |
| <i>P. divergens</i> | F-pho | Acid | ? | B | 4 | 4 | - | - | - | 1 | - | 16 | 2 | - | 1 | - | - |
| <i>P. gibba</i> | F-ind | Acid | ind | B | 6 | 2 | 3 | 13 | - | 17 | 8 | 10 | 12 | 1 | 1 | - | - |
| <i>P. hemiptera</i> | F-pho | ind | Lim | B | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>P. microstauron</i> | F-ind | Acid | ind | B | 2 | 2 | 4 | 3 | 1 | 1 | 1 | 2 | 7 | - | - | - | - |
| <i>P. maior</i> | F-ind | Acid | Lim | B | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>P. stomatophora</i> | F-ind | Acid | Lim | B | 1 | 13 | 6 | 9 | - | - | 4 | 11 | 5 | - | - | - | - |
| <i>P. subcapitata</i> | F-ind | ind | ind | B | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>P. subrostrata</i> | F-? | ? | ? | B | - | - | 1 | - | - | - | 3 | - | - | - | - | - | - |
| <i>P. viridis</i> | F-ind | ind | ind | B | 8 | 7 | 33 | 66 | 1 | 55 | 67 | 31 | 19 | 3 | 5 | 3 | - |
| <i>P. spp.</i> | F-? | ? | ? | B | 15 | 16 | 12 | 41 | 2 | 28 | 35 | 37 | 16 | 2 | 1 | 9 | - |
| <i>Rhopalodia gibba</i> | F-ind | Alka | ind | B | - | - | - | - | 8 | - | - | - | 4 | 1 | - | - | - |
| <i>R. gibberula</i> | F-phi | Alka | ind | B | 36 | 43 | 10 | - | 14 | 5 | 5 | 5 | 11 | 20 | 3 | 8 | - |
| <i>R. quismbergiana</i> | F-phi | ? | ? | B | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | - | - | - |
| <i>R. spp.</i> | F-phi | ? | ? | B | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - |
| <i>Stauroneis phoenicenteron</i> | F-ind | ind | ind | B | 9 | 1 | 2 | 14 | 1 | 12 | 1 | 5 | 4 | - | - | - | - |
| <i>S. spp.</i> | F-? | ? | ? | B | - | - | - | - | - | - | 1 | 2 | 1 | - | - | - | - |
| <i>Stenopterobia intermedia</i> | F-? | ? | ? | B | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - |
| <i>Surirella angusta</i> | F-ind | Alka | Rhe | B | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - |
| <i>S. linearis</i> | F-ind | ind | ind | B | - | 2 | 1 | 2 | 2 | 5 | 4 | 2 | 2 | 1 | 1 | - | - |
| <i>S. tenera</i> | F-ind | Alka | Lim | P | - | - | - | 8 | 2 | 7 | 14 | 5 | 18 | 14 | 9 | 3 | - |
| <i>S. spp.</i> | F-? | ? | ? | P/B | - | 4 | 3 | - | - | 12 | 3 | 3 | 4 | 2 | - | - | - |
| <i>Synedra arcus</i> | F-ind | Alka | Lim | P | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <i>S. ulna</i> | F-ind | Alka | ind | P | - | - | - | - | 3 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 海水種 | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 61 |
| 海-汽水種 | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 汽水種 | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19 | 7 | 44 | 18 |
| 淡水種 | | | | | 209 | 207 | 215 | 209 | 197 | 201 | 207 | 217 | 206 | 192 | 204 | 156 | 129 |
| 計数した般数 | | | | | 209 | 207 | 215 | 209 | 210 | 201 | 207 | 217 | 206 | 211 | 211 | 204 | 212 |

凡例（適応性）

| | | | |
|----------------|--------------|-----------|---------------|
| 塩分濃度 | pH | 流水 | 生活型 |
| M : 海水種 | Acid : 酸性種 | Lim : 止水種 | P : 浮遊生種 |
| M-B : 海-汽水種 | ind : 不定種 | ind : 不定種 | B : 底生種 |
| B : 汽水種 | Alka : アルカリ種 | Rhe : 流水種 | P/B : 浮遊生/底生種 |
| F-phi : 淡水-好塩種 | ? : 不明種 | ? : 不明種 | T : 陸生種 |
| F-ind : 淡水-不定種 | | | ? : 不明種 |
| F-pho : 淡水-嫌塩種 | | | |
| F-? : 淡水-不明種 | | | |

V帯 (13層下部) は、下位III帯とほぼ同様の珪藻群集である。このことから、IV帯で推定される影響が環境を一変するようなものでないことを示すと考えられる。

VI帯 (13層中～上部) は、底生種とされる *Diploneis yatukaensis* が特徴的に出現し、また好塩種の *Rhopalodia gibberula* なども随伴している。この他沼沢湿地付着生種群の *Eunotia pectinalis* や *Pinnularia viridis* なども随伴することから、沼沢地的環境であることが推定される。

引用文献

- 安藤一男 (1990) 淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用. 東北地理, p73-88.
 小杉正人 (1986) 陸生珪藻による古環境の解析とその意義. -わが国への導入とその展望-, 植生史研究. p29-44.
 小久保清治 (1960) 浮遊珪藻類. 恒星社恒星閣, 330p.
 小杉正人 (1988) 珪藻の環境指標種群の設定と古環境復元への応用. 第四紀研究. p1-20.

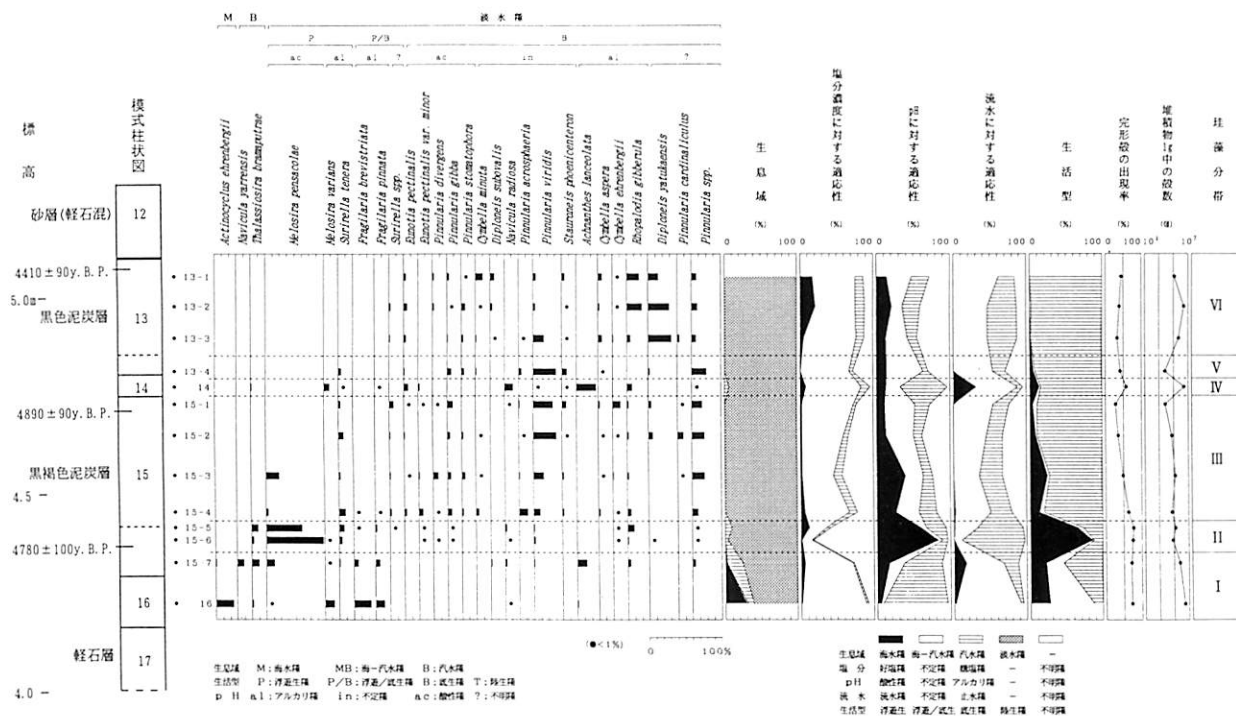
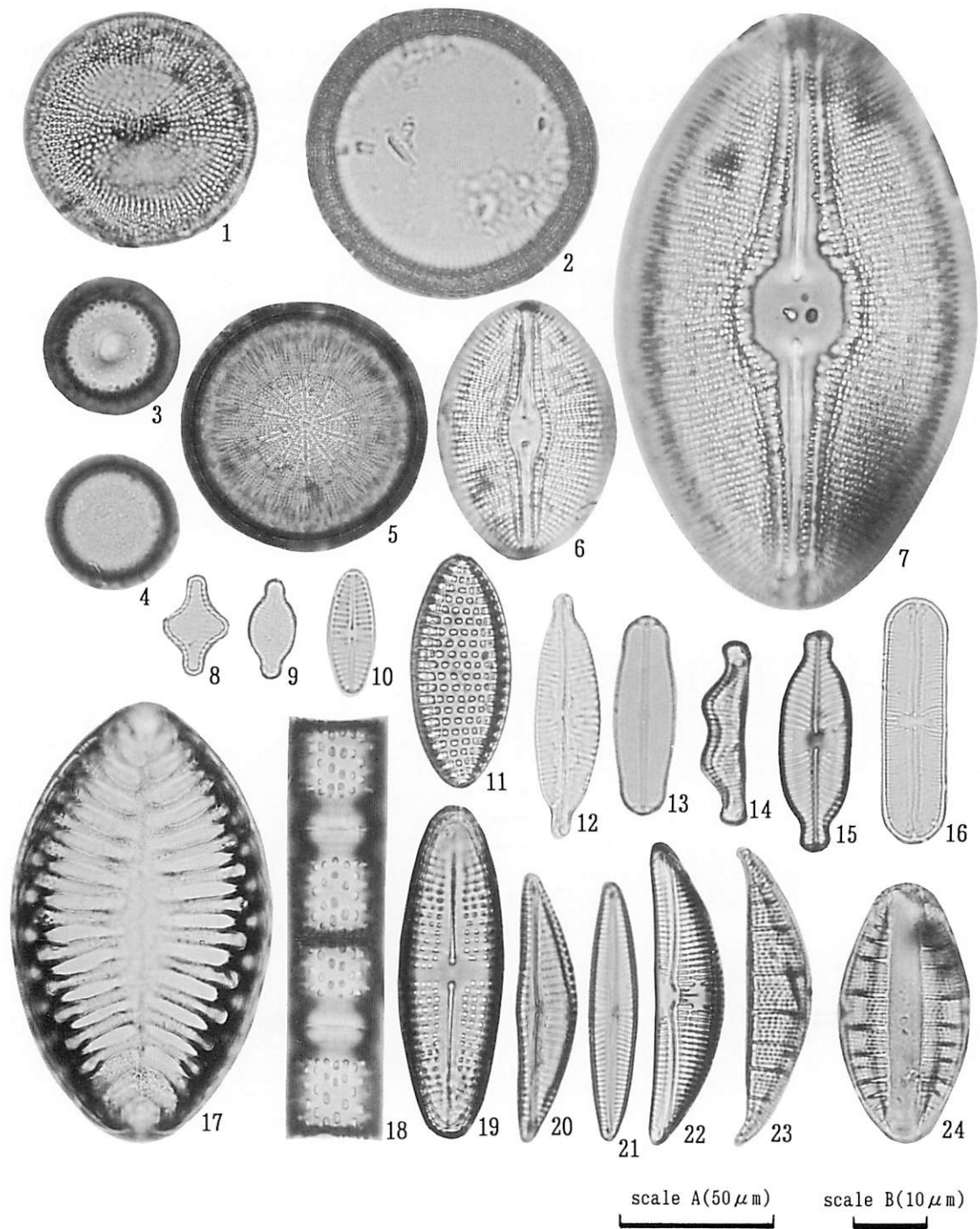
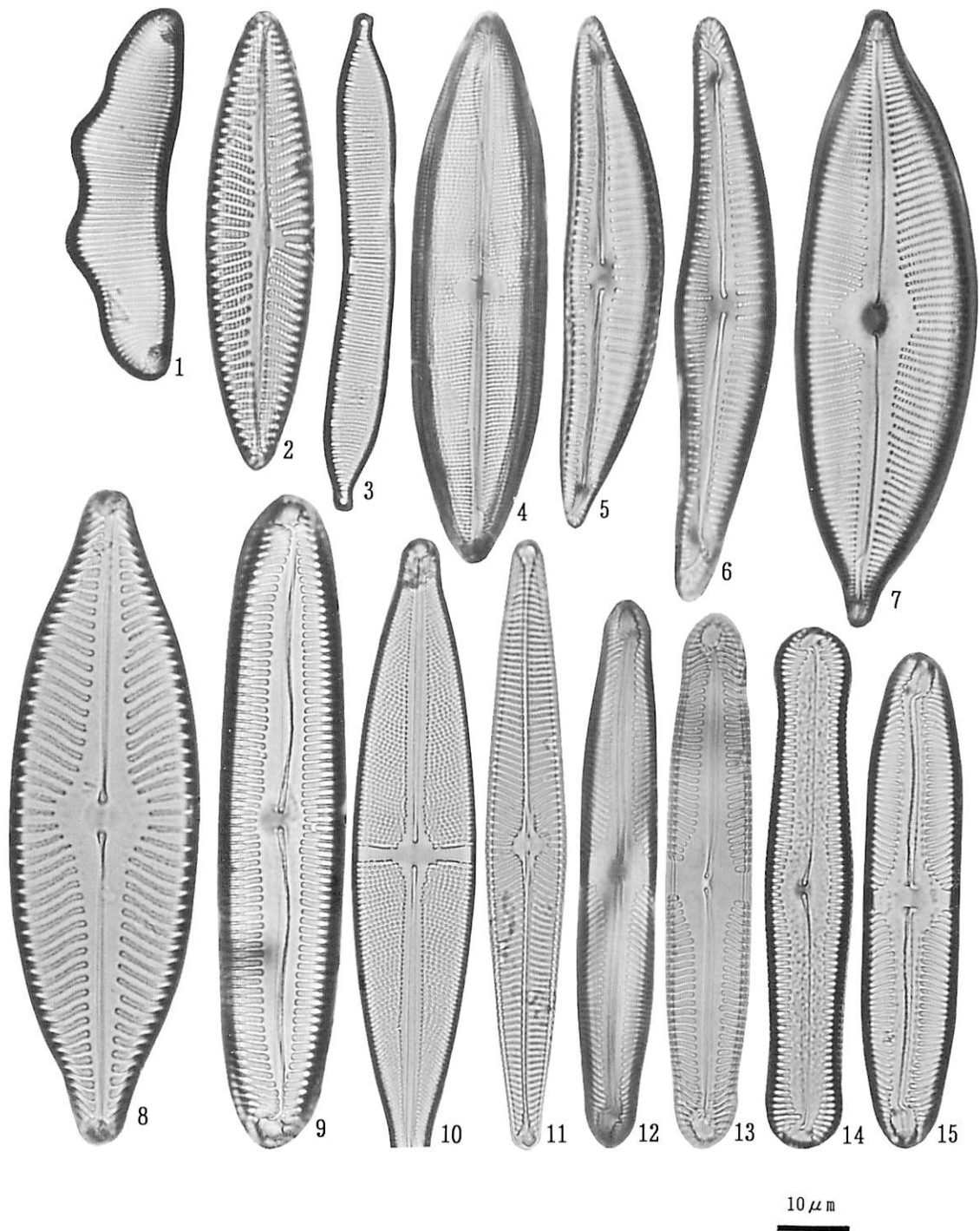


Fig. 45 鹿児島大学構内遺跡 (郡元団地) 11 トレンチ北側東壁の珪藻化石群集 (5%以上の種について表示)



図判 1 鹿児島大学構内遺跡（郡元団地）の珪藻化石顕微鏡写真（No 5 とNo17はスケールA，他はスケールB）

- | | | |
|---|---|---|
| 1. <i>Thalassiosira bramaputrae</i> (14) | 2. <i>Melosira sulcata</i> (16) | 3. <i>Melosira</i> sp.-1 (16) |
| 4. <i>Melosira varians</i> (16) | 5. <i>Actinocyclus ehrenbergii</i> (15-7) | 6. <i>Diploneis ovalis</i> (13-3) |
| 7. <i>Diploneis yatukaensis</i> (13-1) | 8. <i>Fragilaria construens</i> (15-7) | 9. <i>Achnanthes lanceolata</i> (14) |
| 10. <i>Achnanthes lanceolata</i> (15-7) | 11. <i>Nitzschia granulata</i> (16) | 12. <i>Cymbella naviculiformis</i> (13-1) |
| 13. <i>Navicula pupula</i> (15-6) | 14. <i>Eunotia arcus</i> (13-2) | 15. <i>Navicula elginensis</i> (13-4) |
| 16. <i>Navicula bacillum</i> (13-2) | 17. <i>Surirella tenera</i> (15-6) | 18. <i>Melosira pensacolatae</i> (15-6) |
| 19. <i>Achnanthes brevipes</i> (14) | 20. <i>Cymbella minuta</i> (13-1) | 21. <i>Cymbella incerta</i> (13-1) |
| 22. <i>Amphora ovalis</i> var. <i>libyca</i> (13-4) | 23. <i>Rhopalodia gibberula</i> (13-2) | 24. <i>Rhopalodia gibberula</i> (13-2) |



図判 2 鹿兒島大学構内遺跡（郡元団地）の珪藻化石顕微鏡写真

- | | | |
|---|---|---|
| 1. <i>Eunotia monodon</i> (15-2) | 2. <i>Navicula concentrica</i> (14) | 3. <i>Hantzschia amphioxys</i> (13-4) |
| 4. <i>Neidium iridis</i> (13-4) | 5. <i>Cymbella mesiana</i> (13-4) | 6. <i>Cymbella silesiaca</i> (13-4) |
| 7. <i>Cymbella ehrenbergii</i> (15-1) | 8. <i>Navicula yarrensii</i> (15-7) | 9. <i>Pinnularia viridis</i> (13-4) |
| 10. <i>Stauroneis phoenicenteron</i> (13-4) | 11. <i>Navicula radiosa</i> (14) | 12. <i>Pinnularia stomatophora</i> (13-4) |
| 13. <i>Pinnularia gibba</i> (13-3) | 14. <i>Pinnularia acrosphaeria</i> (13-4) | 15. <i>Pinnularia microstauron</i> (13-4) |

VIII まとめ

1. 遺構について

本調査区で検出した遺構は、溝状遺構が3条、畦が3本、土壇が2基であった。畦が検出されたことと、土層の状況、プラント・オパール定量分析の結果などから、本地点において、連続的に水田が営まれていたことが明らかとなった。

溝状遺構は3条検出されたが、SD1とSD2は北西から南東に向かって傾斜し、SD3は東-西向きである。いずれの溝もその性格や用途は断定することはできなかつた。なお、これらの溝と水田との直接的な関係を示す手がかりを得ることはできなかつた。

SD1は2層上面で検出したことから、遺物は少ないもののその時期は比較的新しいといえる。

SD2・3は9層中から検出した。9層によってパックされた状況であることから、SD2・3が機能していた期間はそれほど長くなかつたと考えられる。9層からは遺存状態のよい土師器が出土しており、平安時代のものであると考えられることから、これらの溝状遺構についてもこれに近い時期を想定できる。

畦は3本検出したが、いずれも6a層によって形成されている。1本は北西-南東方向に、2本はそれと直行するように、北東-南西方向に延びている。平均の幅は0.5m、高さは0.04mである。

畦が検出された6a層は出土遺物の検討から、江戸時代という時期を与えることができる。

土壇は2基検出された。1基は5層上面で、もう1基は12層上面での検出である。これらの土壇からの遺物の出土は無く、それらの性格は不明である。

2. 出土遺物について

本地点の大部分は水田層であったため、遺物の出土量はそれほど多くない。出土遺物はほとんどが土器類（陶磁器も含む）であるが、土製品や石器なども見られる。土器類については小片が多く、また、表面が磨滅したものも多いことから二次的な移動を受けていると考えられる。種類としては磁器（青磁・白磁・染付）、陶器、土師器、須恵器、「成川式」土器、弥生土器などがあるが、縄文土器と明らかに判断できるものは確認していない。

各層から出土した遺物の種類ごとの割合はFig.46のようになる。これによると1層から4層までは陶器・磁器の比率が高いという点で共通している。比率の上からは、それ以下の層とかなり異なっているといえる。磁器は染付が多く、陶器の中には薩摩焼も多く含まれるため、これらの層が形成された時期は江戸時代以降と考えられる。

6a層から7層までが比較的類似した比率を示している。6b・7層と下位の層になるにしたがって磁器・陶器の比率が下がり、「成川式」土器・弥生土器の比率が高くなっていることから下位の層ほど遺物の年代が古くなっていく傾向がよく表れている。このような傾向を示しつつ、各時代の遺物が包含されているところに、水田層の遺物包含の性格が表れているともいえる。6a層からは薩摩焼が出土している点、6a・6b層は層の特徴が非常に類似しているということなどから、これらの層にそれほど時間差はないと考えられる。

8～10層も比較的類似した比率を示している。磁器は含まれず、陶器は8層にのみ見られ、「成川式」土器や弥生土器も少量含まれる。9層から遺存状態のよい土師器の杯が出土し、その年代は平安時代と考えられることから、これらの層の年代もこれに近い時期を想定できる。

11層以下は出土遺物の量が非常に少なく、時期がわかるような資料は含まれていないため、時期を推定す

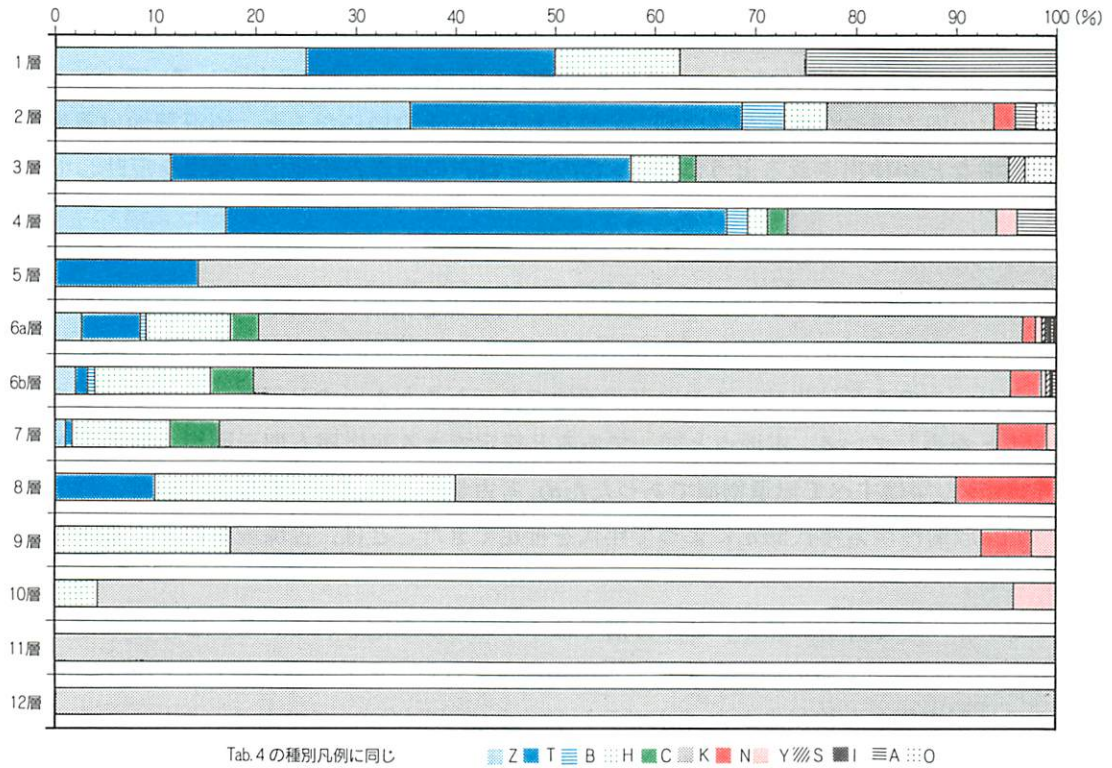


Fig. 46 各層における遺物の種類の比率

することはできない。しかし、11層までは漸次的に変化しているため、9層とそれほどの時間差は無いと考えられる。

3. 自然科学分析について

自然科学分析では泥炭層を含む各層をサンプルとして、植物珪酸体（プラント・オパール定量）分析、放射性炭素年代測定、花粉分析、珪藻分析、種子同定分析などを行った。

藤原宏志氏によるプラント・オパール定量分析では、2～11（12）層ではイネ栽培が行われていたことが想定されている。また、13層以下の泥炭層では、14層にイネが認められるが量的に少ないため、これらの層ではイネが生産されたとは考えにくいとしている。

古環境研究所の分析結果をまとめると以下ようになる。

- ・13～15層の泥炭層をサンプルとした放射性炭素年代測定の結果、13層上部で、 $4,410 \pm 90$ y.B.P.、15層上部で、 $4,890 \pm 90$ y.B.P.の年代が得られた。

- ・プラント・オパール定量分析では、2層から11層までは集約的な稲作が継続的に行われたことを推定し、13層上部の時期（縄文時代中期に相当）には、湿地を切り拓いて稲作が行われていたことを推定している。また、13層下部などではハトムギやヒエなどが栽培されていた可能性を指摘している。

- ・泥炭層をサンプルとした花粉分析では、14～16層の時期、周辺には照葉樹林が分布しており、この地点は湿原であったと推定している。13層では落葉広葉樹林が増加したことが想定され、イネ属型の花粉が検出されている。そして、樹木相の変化と、イネ属型花粉の出現とがほぼ一致していることから、森林への人為干渉とイネの栽培が行われていたことを推定している。

- ・13層に対応すると考えられる泥炭層をサンプルにした種実同定では主に出現する分類群が水湿地植物

であること、木本類が含まれないことから、湿原の範囲はかなり広く、森林は近接しては存在していなかったことを推定している。なお、含まれる草本の中には水田雑草も含まれることが指摘されている。

・泥炭層をサンプルとした珪藻分析から、遺跡を埋積する堆積環境が推定されている。それによると、最下部の泥炭層では、海水種や汽水種が高い割合で見られるが、上の層になると、沼沢湿地付着生種、中～下流性河川指標種などが検出されるようになる。このことはこの地点の陸地化の過程を反映しているといえるのかもしれない。

これらの結果に対して、考古学の側からの意義付けや問題点を指摘しておきたい。

泥炭層をサンプルにした放射性炭素年代測定の結果、泥炭層の形成時期をおおよそ縄文時代中期と推定することができた。このことは当時、この地点が湿地であったことを示すと同時に、すでにこの付近が陸地化していたことを表している。本地点と同一であると想定できる泥炭層も郡元団地の何カ所かで検出されているが、これらの層はすべて無遺物層であったため、考古学的な手法から形成年代の推定はできなかつた。したがって、放射性炭素年代測定によって年代を推定できたことは、古環境を復元する上で重要な成果であるといえる。

プラント・オパール定量分析の結果、2～11層ではイネ栽培が想定されている。この結果は、6a層上面で畦が検出されたことや、土層の観察によって水田が推定されたこととよく符合しているといえる。

問題になるのは泥炭層から検出されたイネプラント・オパールについてである。

古環境研究所の報告では、13層上部の層から比較的高い密度のイネプラント・オパールが検出されたことに加え、その他の分析結果も取り入れて、縄文時代中期にこの地で水田耕作を行っていたと推定している。

しかし、13層以下は無遺物層であり、縄文土器などは出土していないため考古学的にはその年代を推定することはできない。また、13層では畦などの水田遺構は検出されていない。これらのことから、発掘調査の結果からは13層が縄文時代の層であり、水田が営まれていたということの検証はできない状態である。

さらに、12層以上と13層との関係も考慮する必要がある。12層よりも上の層で年代を推定できるのは9層で、平安時代頃と考えられるが、11層までは漸次的に変化しているため9層とそれほど時間差は無いと考えられる。ということは、縄文時代中期に比定できる13層上部と古代の層という非常に時間差のある層が、12層の粗砂層を挟んで接していることになる。11層以上の層では多量のイネプラント・オパールが検出され、水田耕作が行われていたことはほぼ確実である。そのため、11層などからイネプラント・オパールが12層の粗砂層を通り抜けて13層まで落ち込んだ可能性が考えられる。古環境研究所の報告では上層からの落ち込みの危険性は考えにくいとしているが、12層が粗砂であるため、落ち込みの可能性はやはり否定できないのである。

また、今まで行ったプラント・オパール定量分析では、本地点と同一であると考えられる泥炭層から、イネプラント・オパールは検出されていないという問題もある。

つぎに、藤原宏志氏の分析では13層（古環境研究所の報告の13層中部に相当し、微量ではあるがイネプラント・オパールが検出されている）ではイネプラント・オパールは検出されていないが、14層からは少量検出されている。このことについて以下のコメントをいただいた。

まず、13層についてであるが、古環境研究所の分析で13層中部から検出されている量もごくわずかであるため、この程度の差はサンプル採取地点によっても生じ得る。

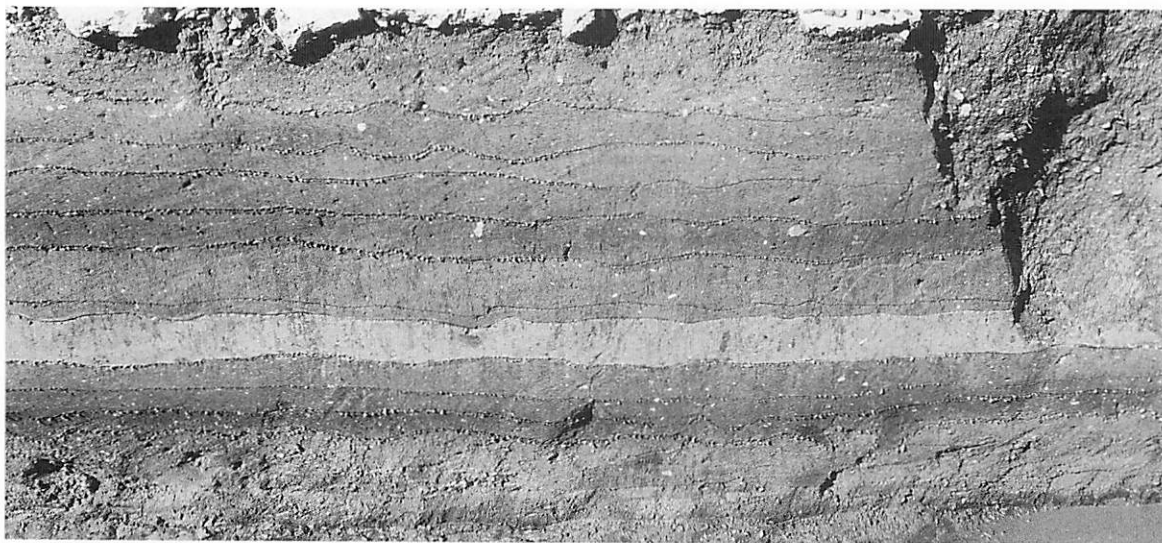
さらに、14層から検出されたイネプラント・オパールの解釈についてであるが、埋蔵文化財調査室が行ったサンプル採取の段階で混ざり込みが無いのか、上部の層からの落ち込みは無いのか、この層が本当に縄文時代中期に比定できるのか、という問題を解決できた場合は、この地点の付近で、該期に水田が営まれ

ていたことが推定できるとのことであった。

このように、問題点は多いものの、イネプラント・オパールが縄文時代中期に比定できる泥炭層から検出されたことを完全には否定できないのである。今後の調査では、考古学的に該期の水田の有無を確認する視点を持つことが必要となる。さらに、郡元団地における発掘調査において、プラント・オパール定量分析をはじめ放射性炭素年代測定、花粉分析などの自然科学分析を総合的に行い、資料の蓄積を行う必要があるといえる。

圖 版





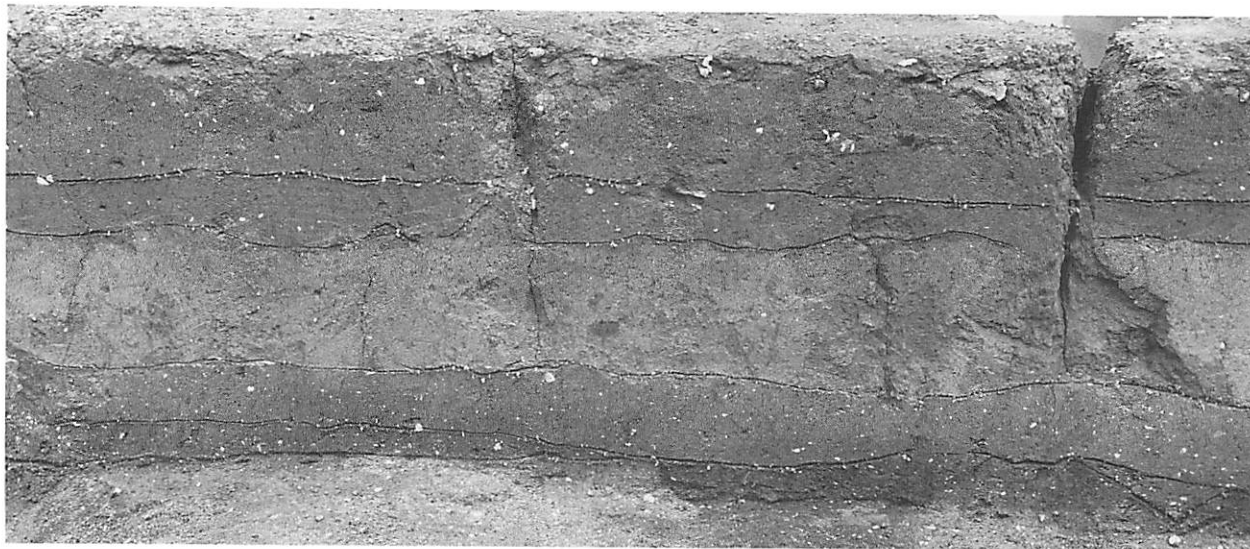
1. 3 トレンチ北壁



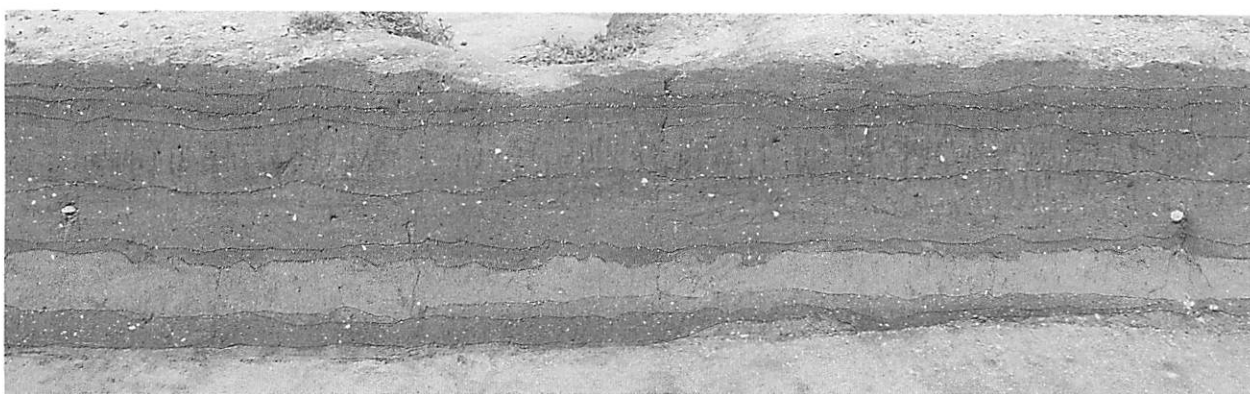
2. 4 トレンチ北壁



3. 5 トレンチ東壁



1. 11トレンチ東壁



2. 12トレンチ北壁



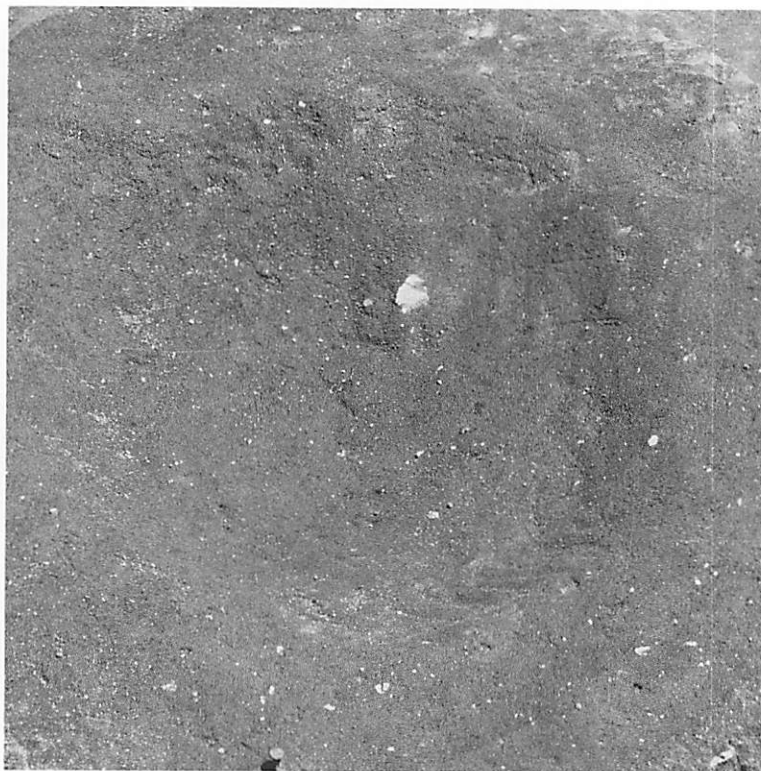
3. S D 1 検出状況



1. S D 1 完掘状況



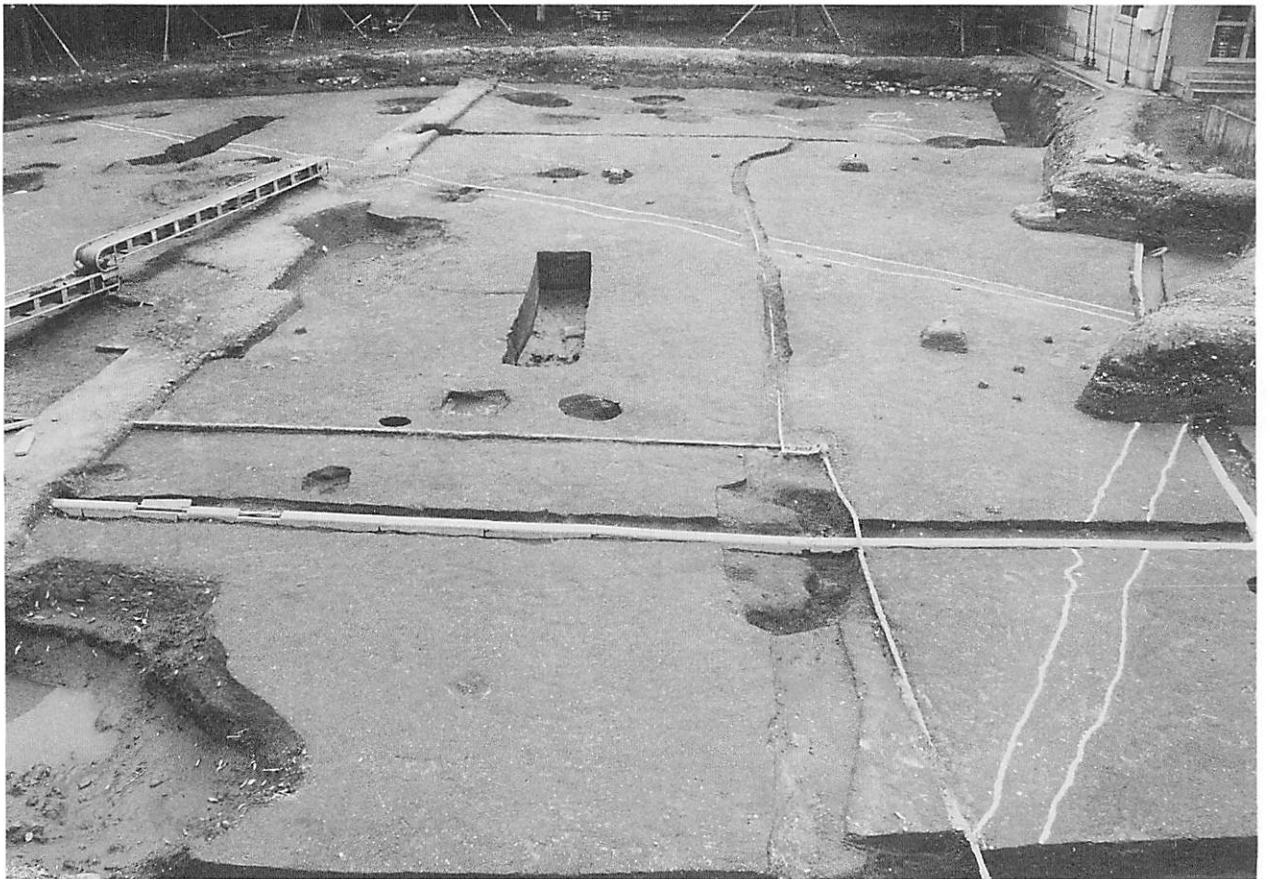
2. S K 2 検出状況



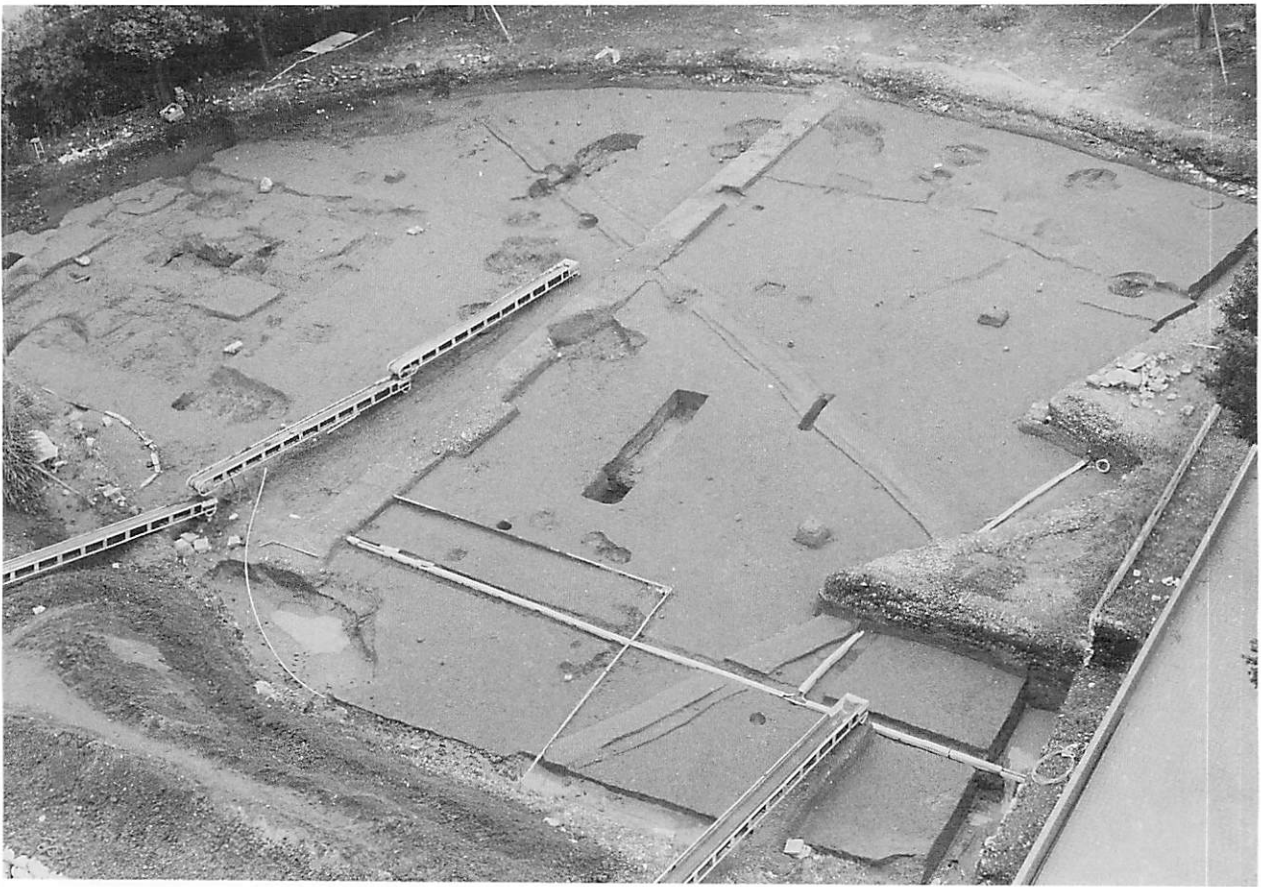
3. S K 2 完掘状況



1. 6 a 層上面畦検出状況



2. 6 a 層上面畦検出状況 (東から)



1. 6 a 層上面畦検出状況



2. A Z 2 断面



1. S D 2 検出状況 (9トレンチ)



2. S D 2 検出状況 (12トレンチ)



3. S D 2 検出状況 (6トレンチ)



1. SD 2完掘状況 (9トレンチ)



2. SD 2完掘状況 (12トレンチ)



3. SD 2完掘状況 (6トレンチ)



1. S D 3 検出状況



2. S D 3 完掘状況

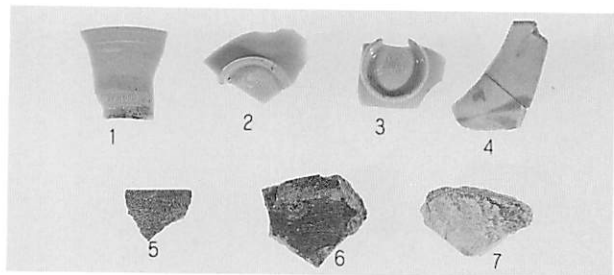


1. SK3完掘状況

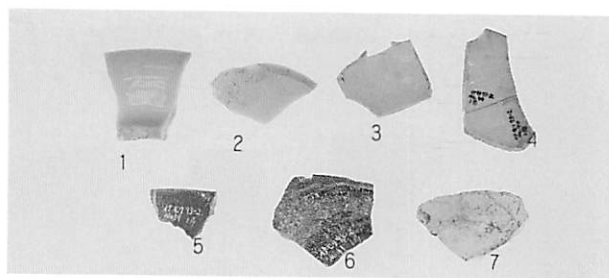


2. 調査区完掘状況 (全景)

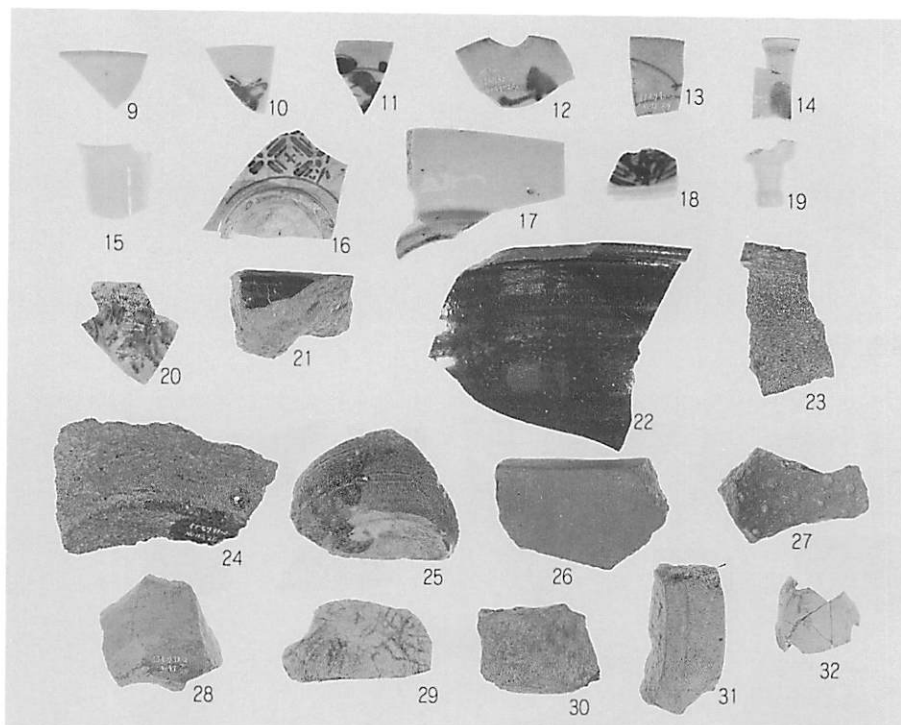
PL. 23 出土遺物



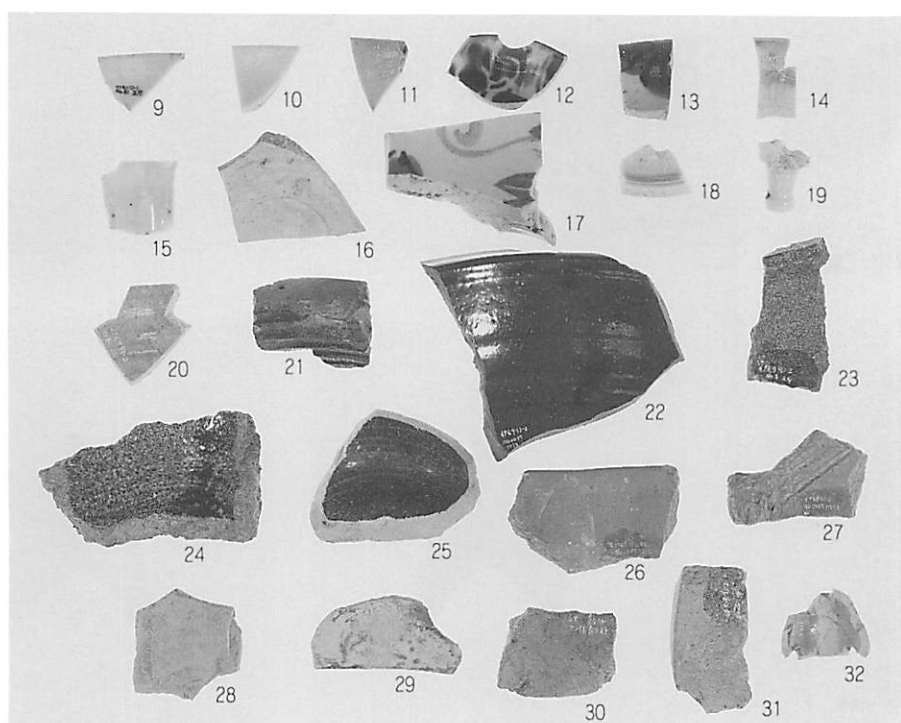
1. 1層出土遺物 (表)



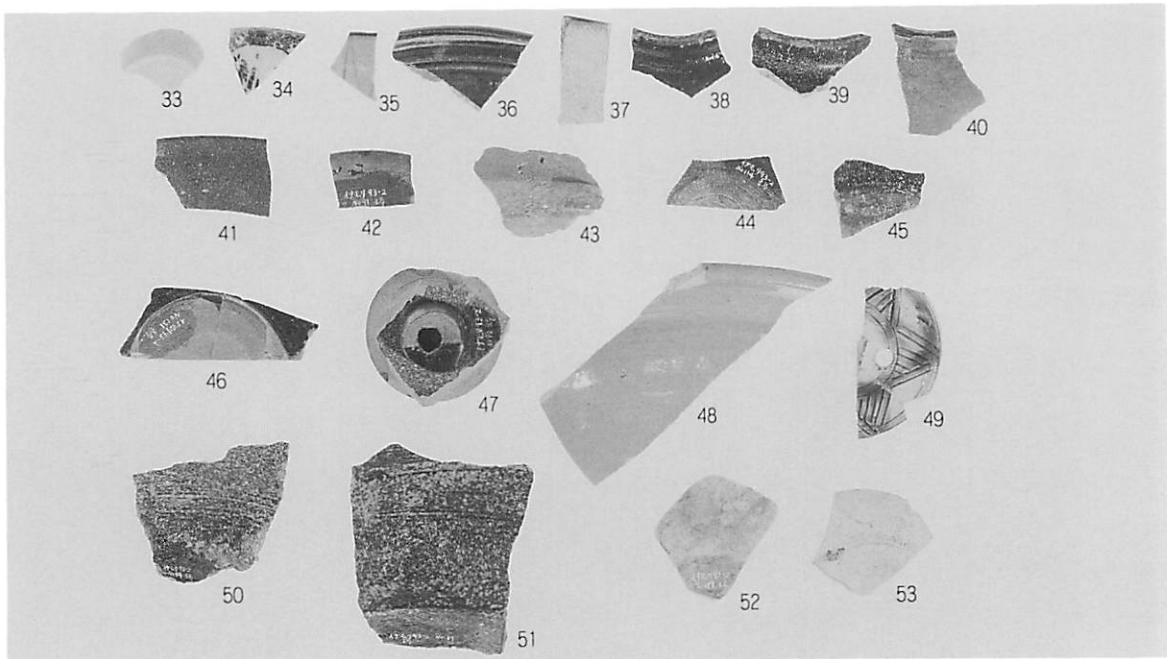
2. 1層出土遺物 (裏)



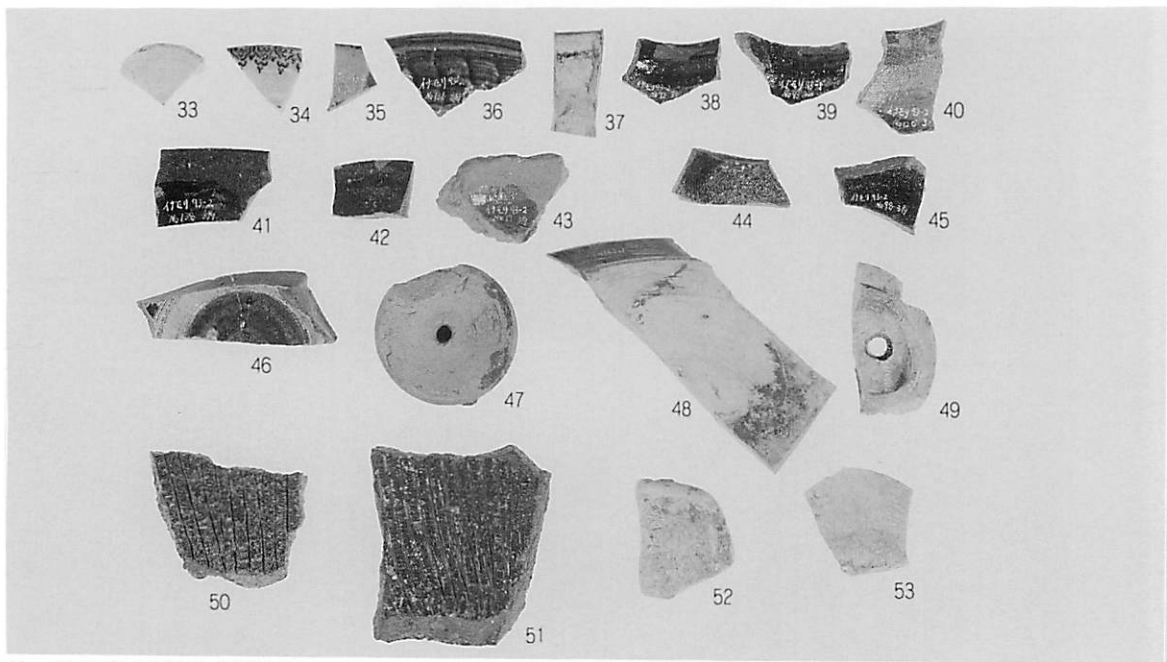
3. 2層出土遺物 (表)



4. 2層出土遺物 (裏)



1. 3層出土遺物 (表)



2. 3層出土遺物 (裏)



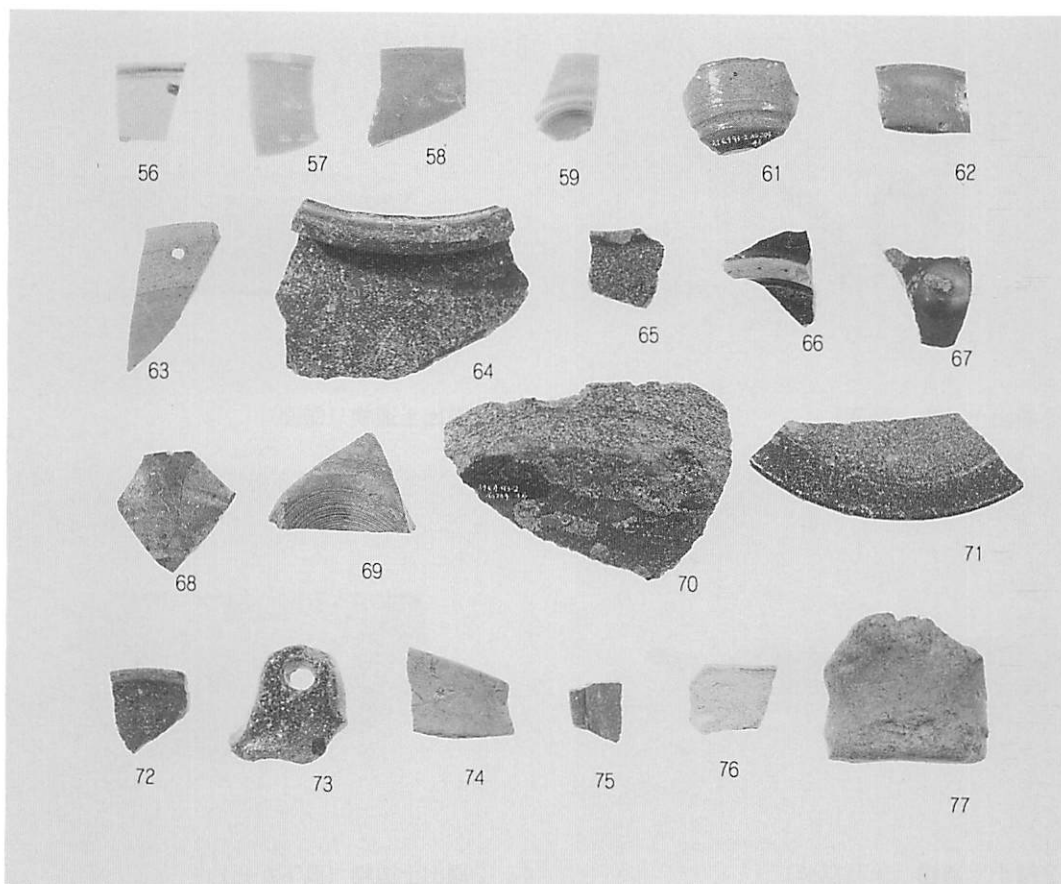
3. 3層出土遺物



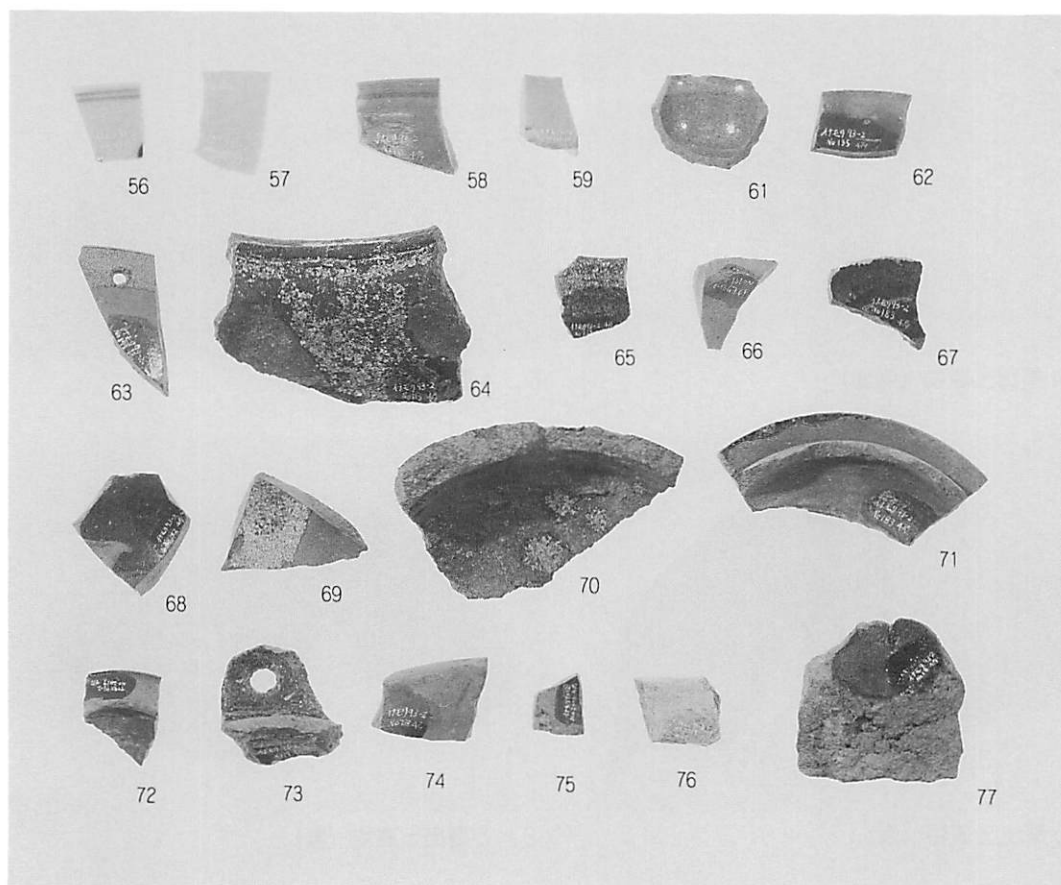
4. 3層出土石鏃 (表)



5. 3層出土石鏃 (裏)

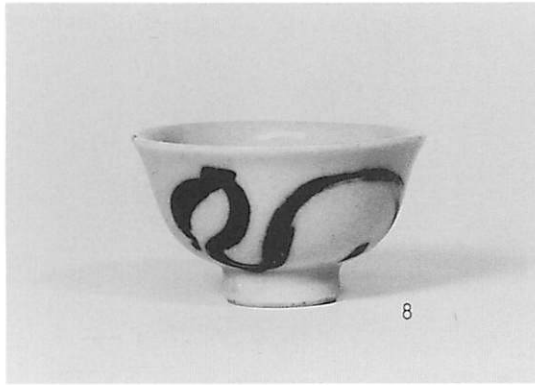


1. 4層出土遺物 (表)



2. 4層出土遺物 (裏)

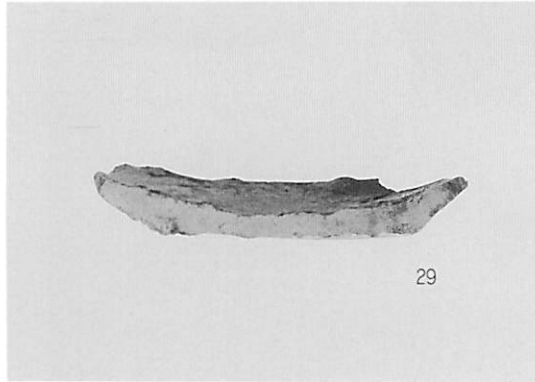
PL. 26 出土遺物



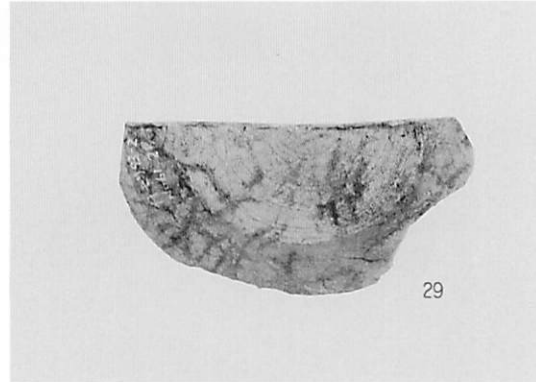
1. 2層出土遺物 (側面)



2. 4層出土遺物 (側面)



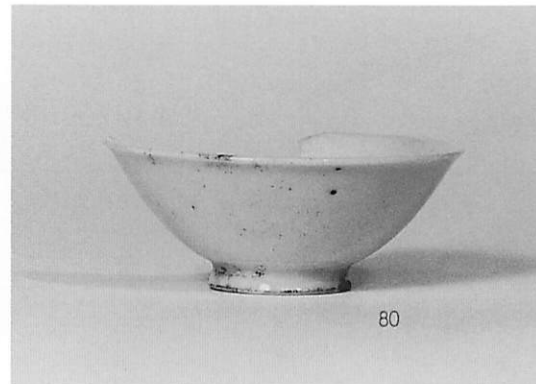
3. 2層出土遺物 (半裁部分)



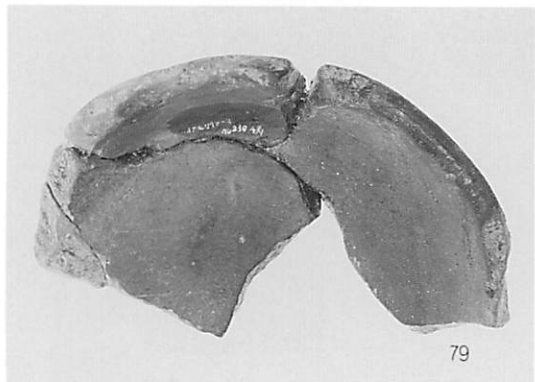
4. 2層出土遺物 (真下から)



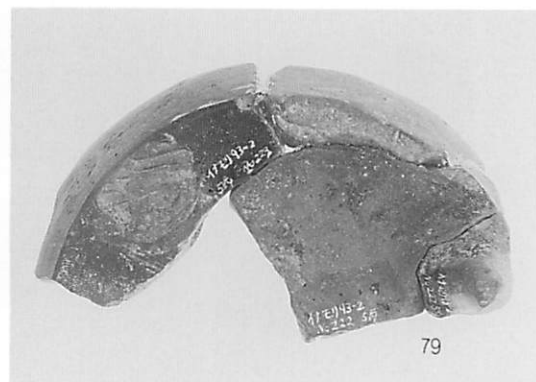
5. 4層出土遺物 (側面)



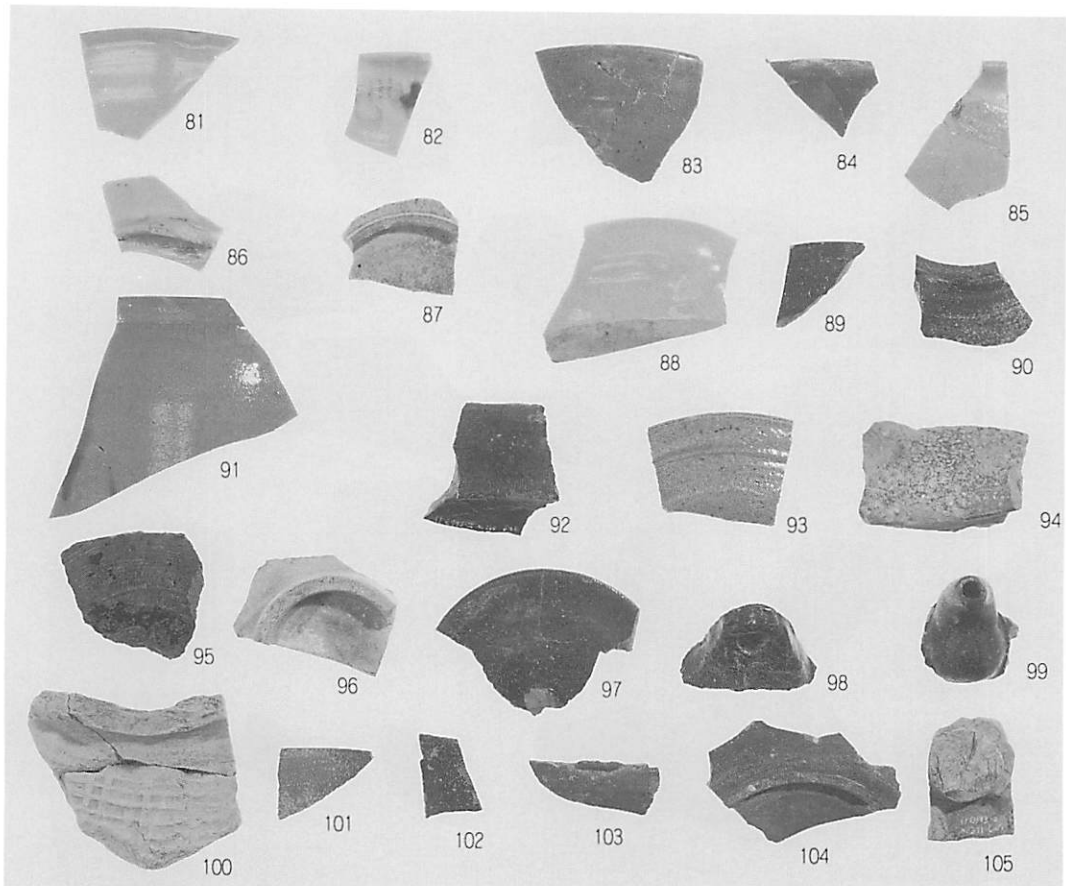
6. 4層出土遺物 (側面)



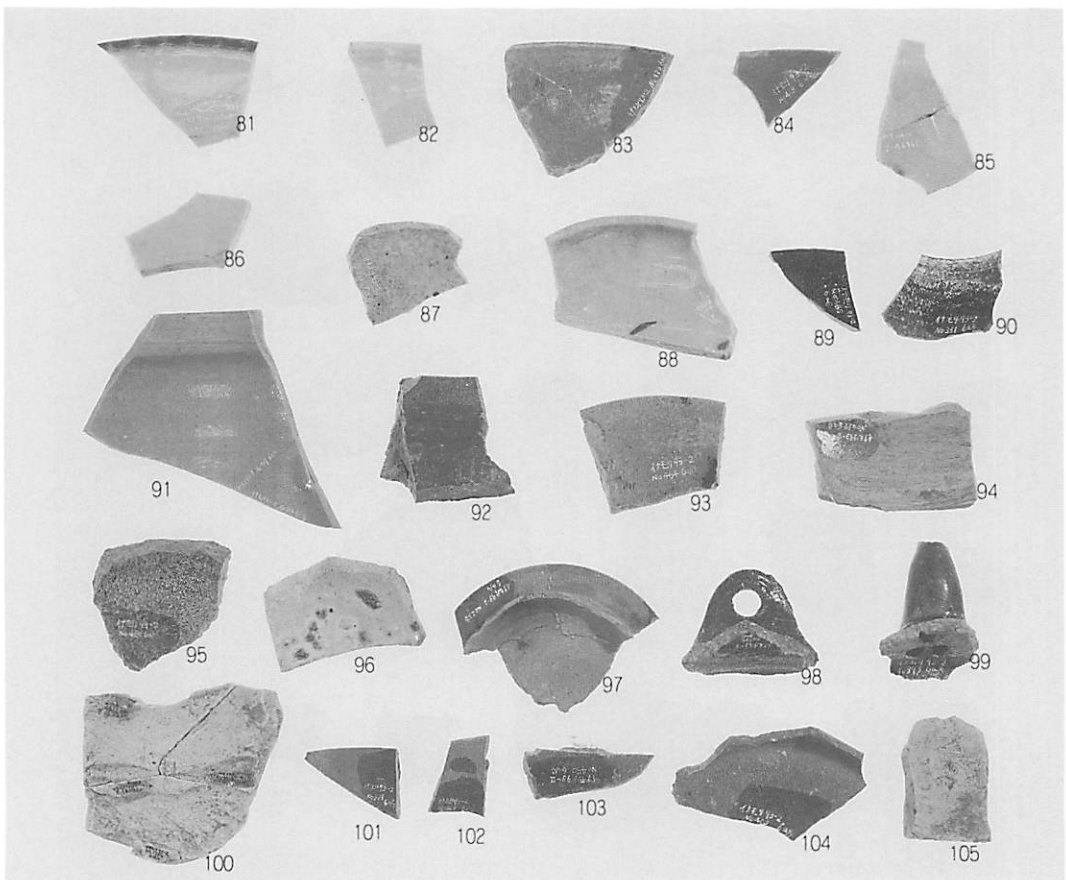
7. 5層出土遺物 (表)



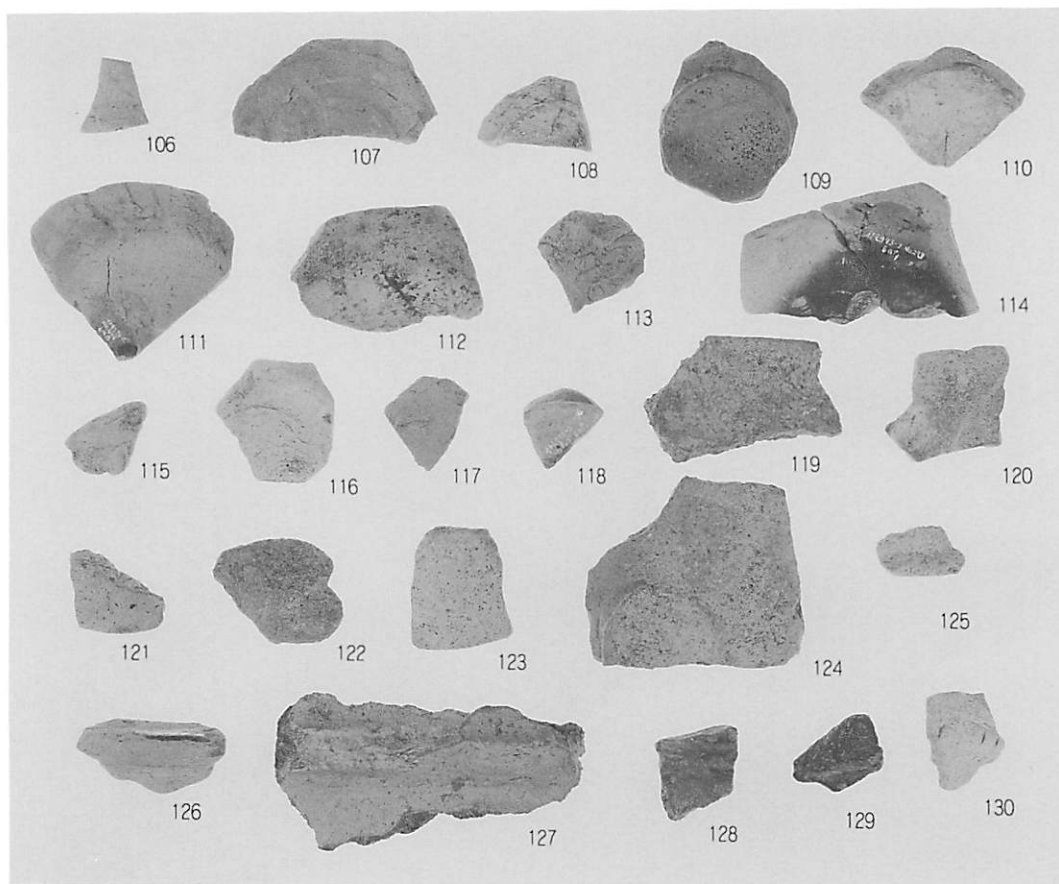
8. 5層出土遺物 (裏)



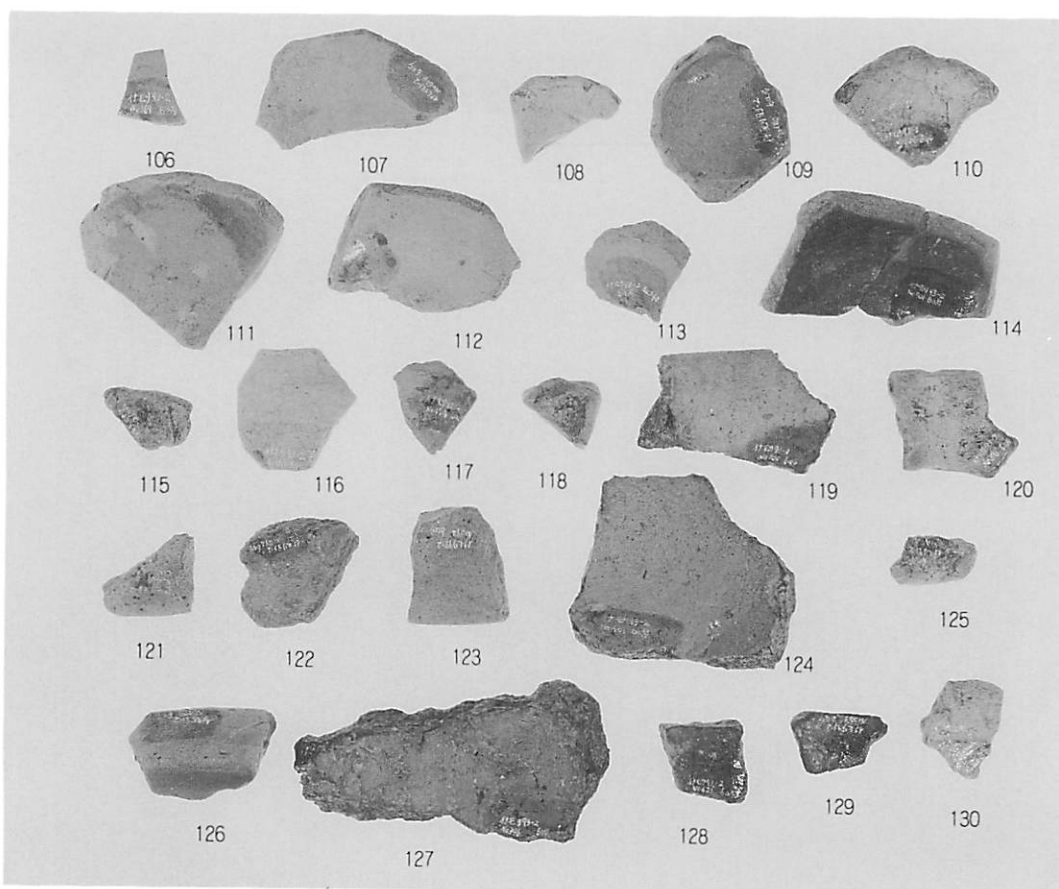
1. 6 a層出土遺物 1 (表)



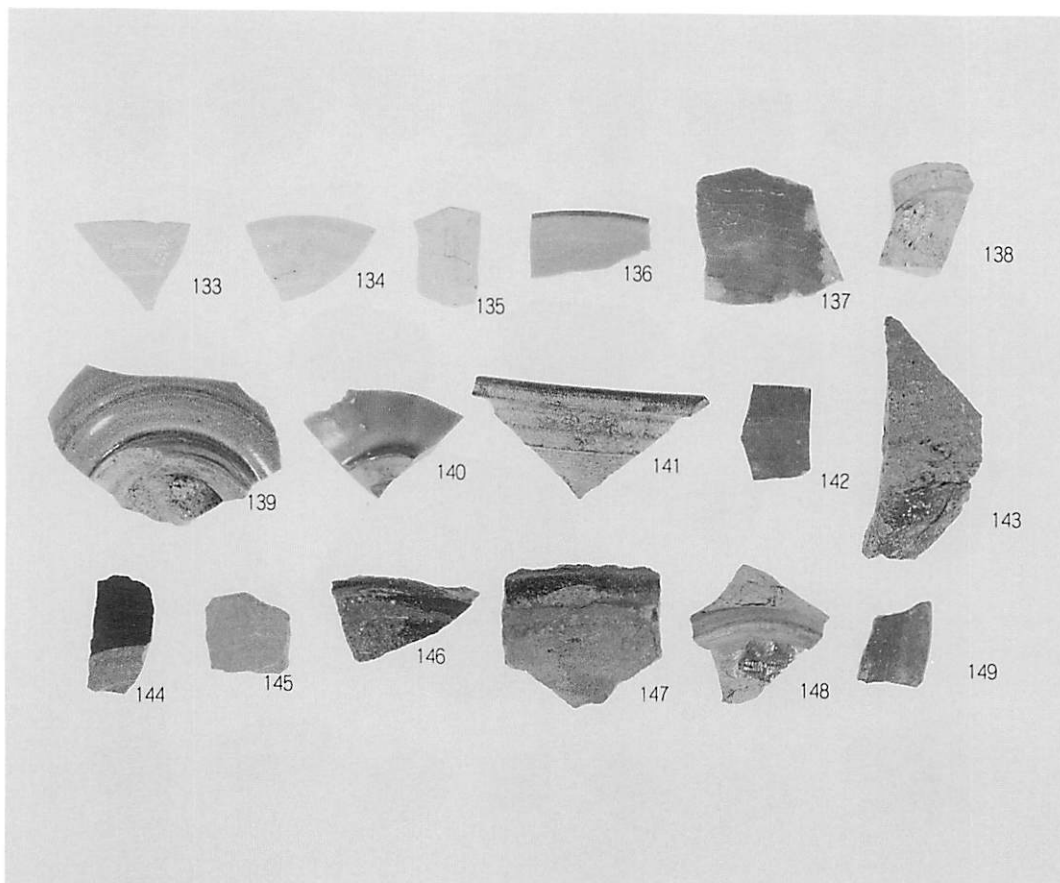
2. 6 a層出土遺物 1 (裏)



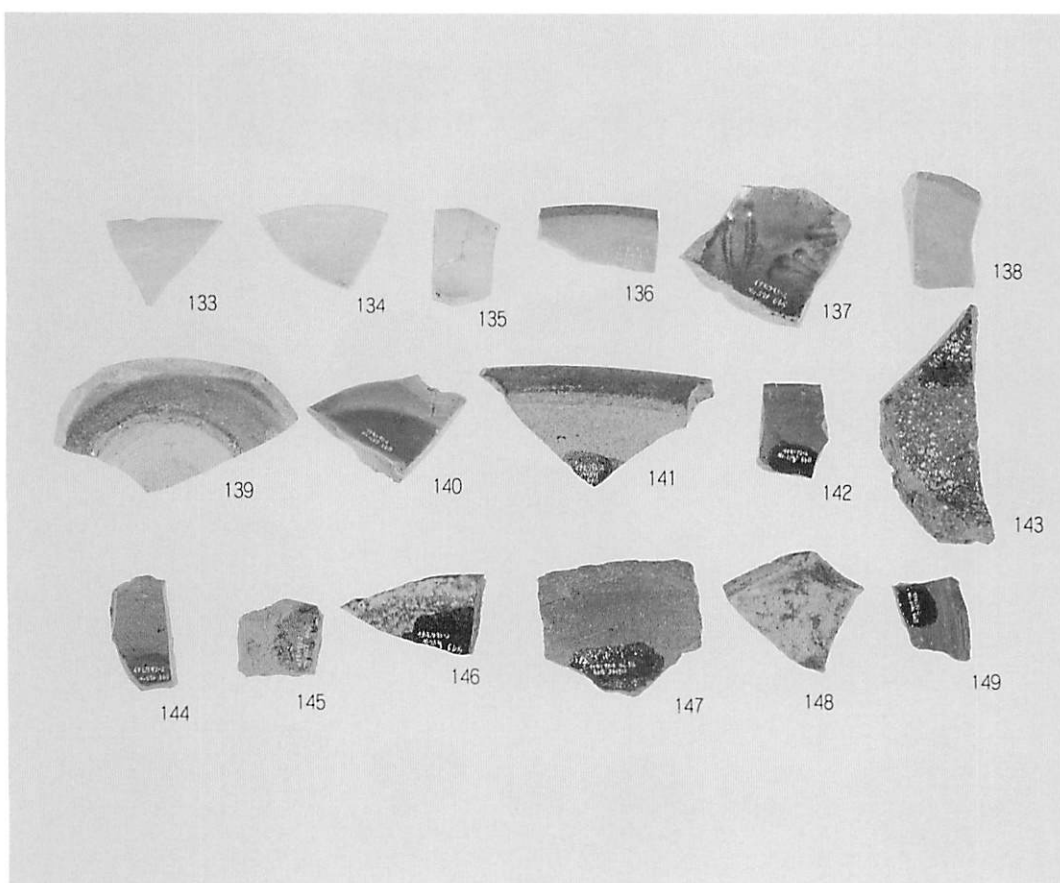
1. 6 a 層出土遺物 2 (表)



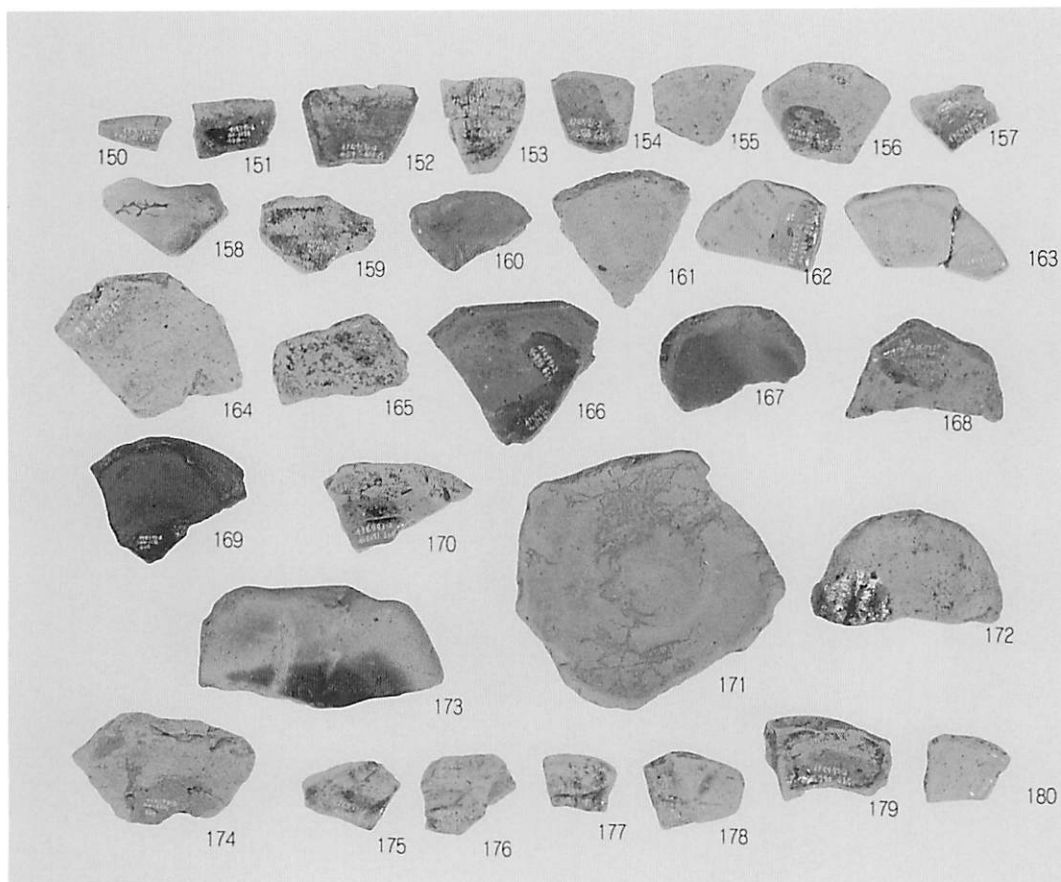
2. 6 a 層出土遺物 2 (裏)



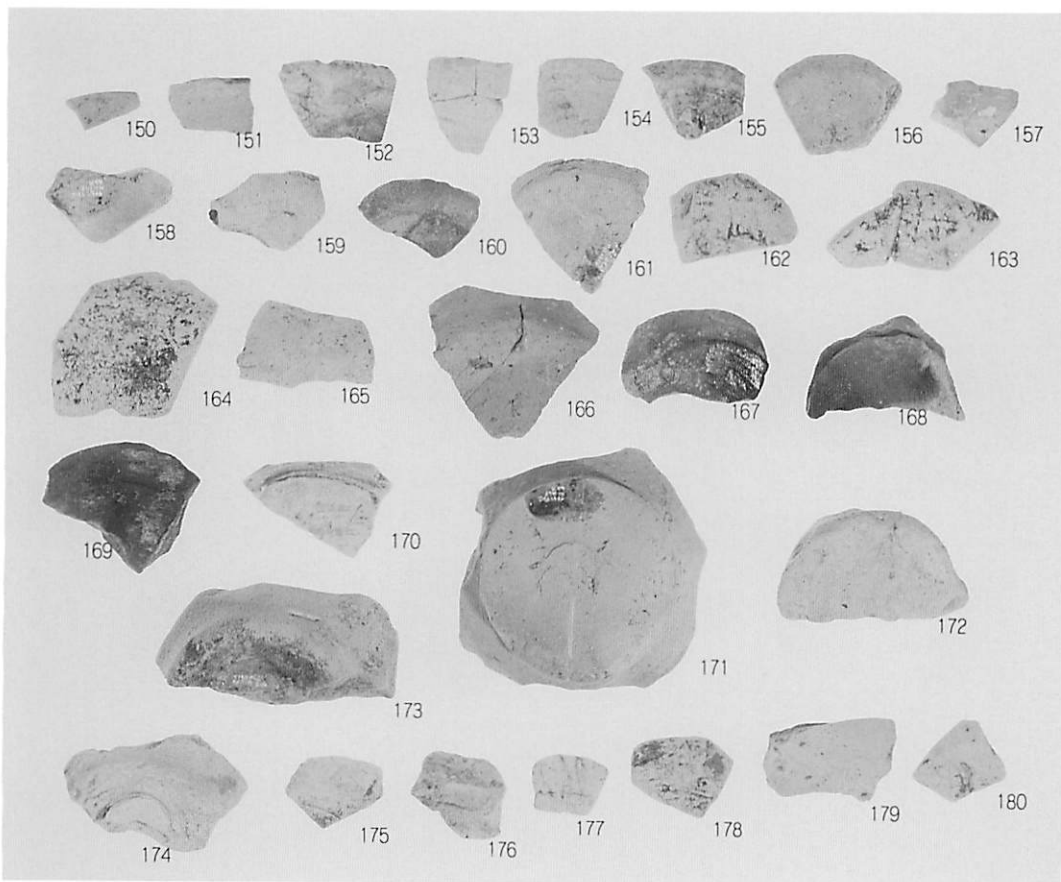
1. 6 b層出土遺物 1 (表)



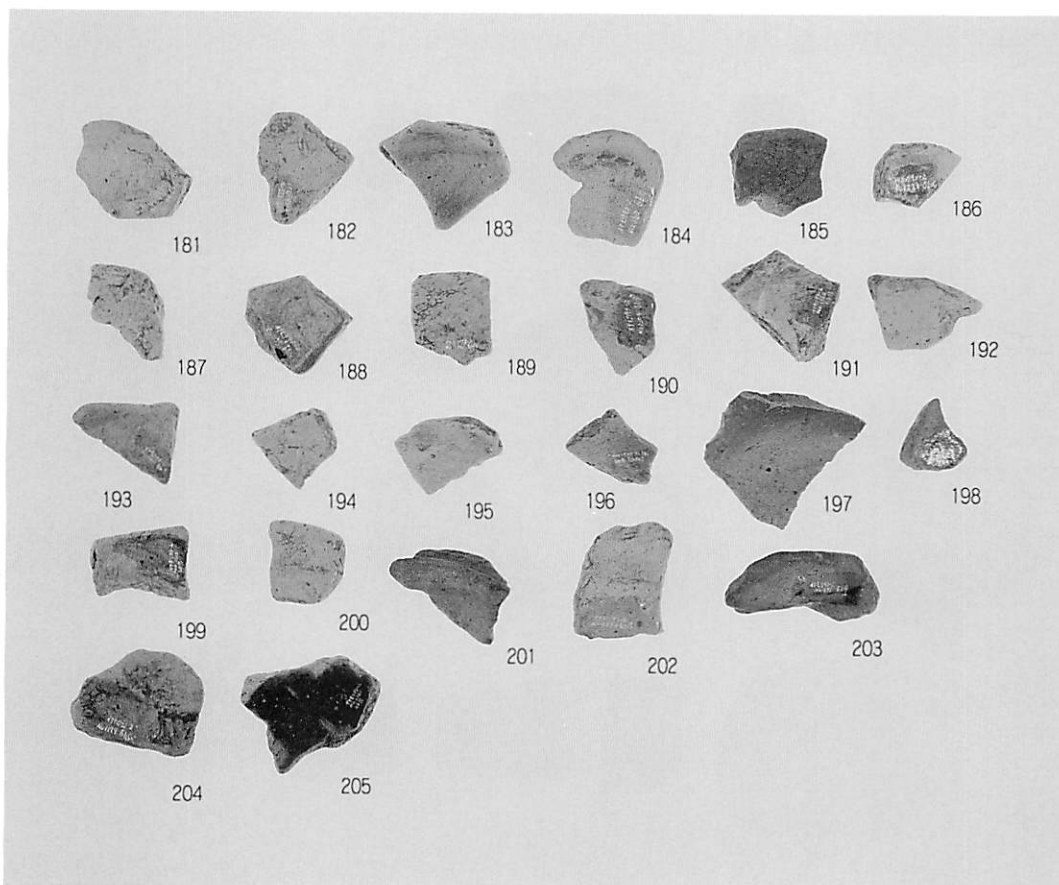
2. 6 b層出土遺物 1 (裏)



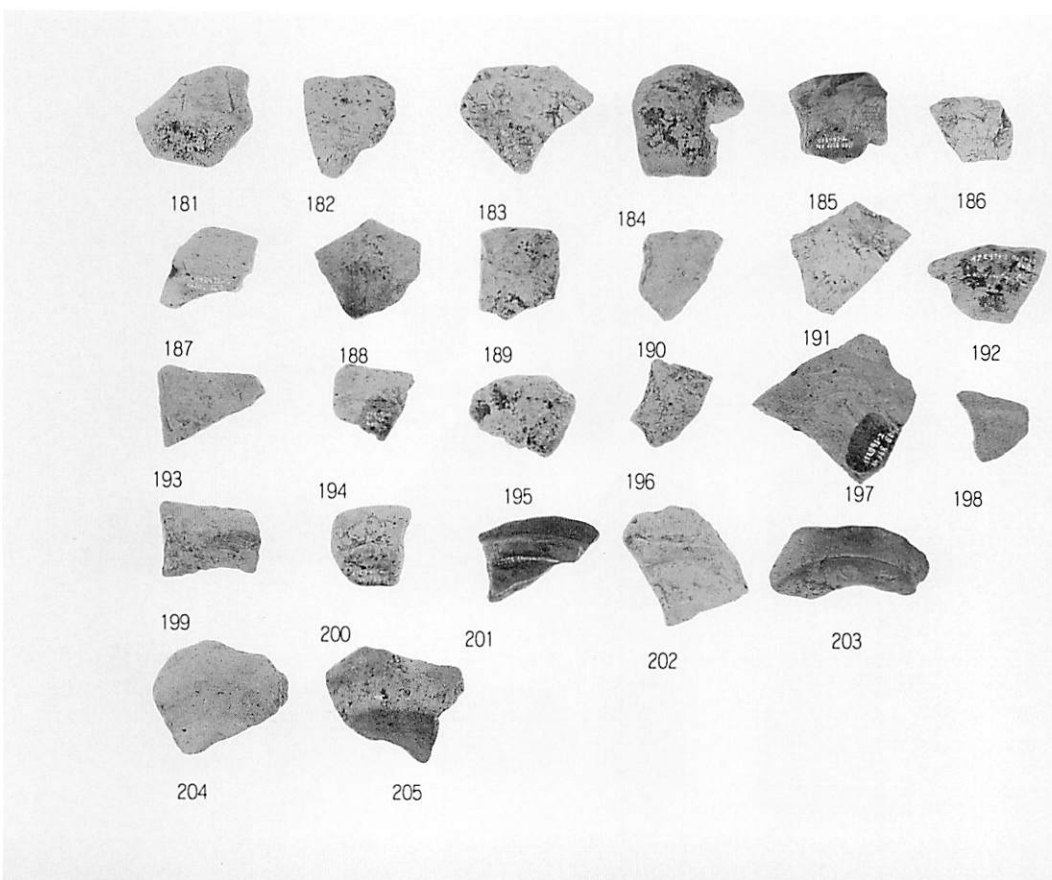
1. 6 b層出土遺物 2 (表)



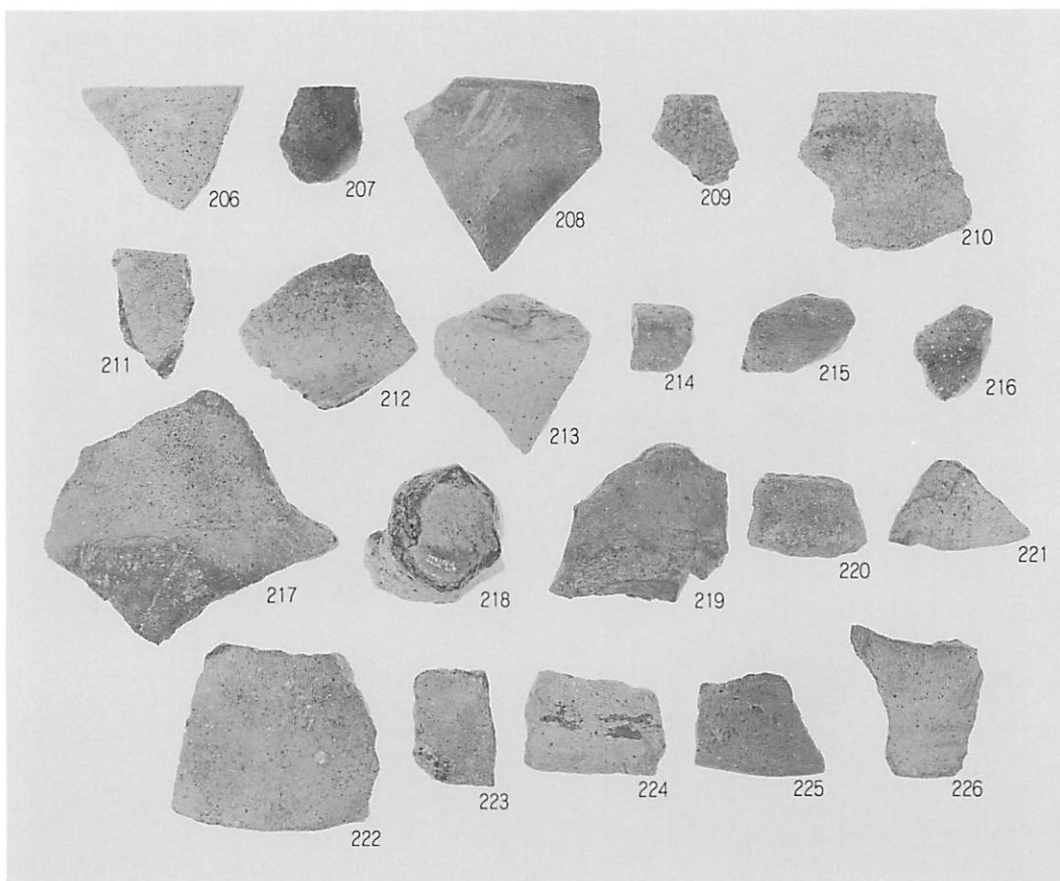
2. 6 b層出土遺物 2 (裏)



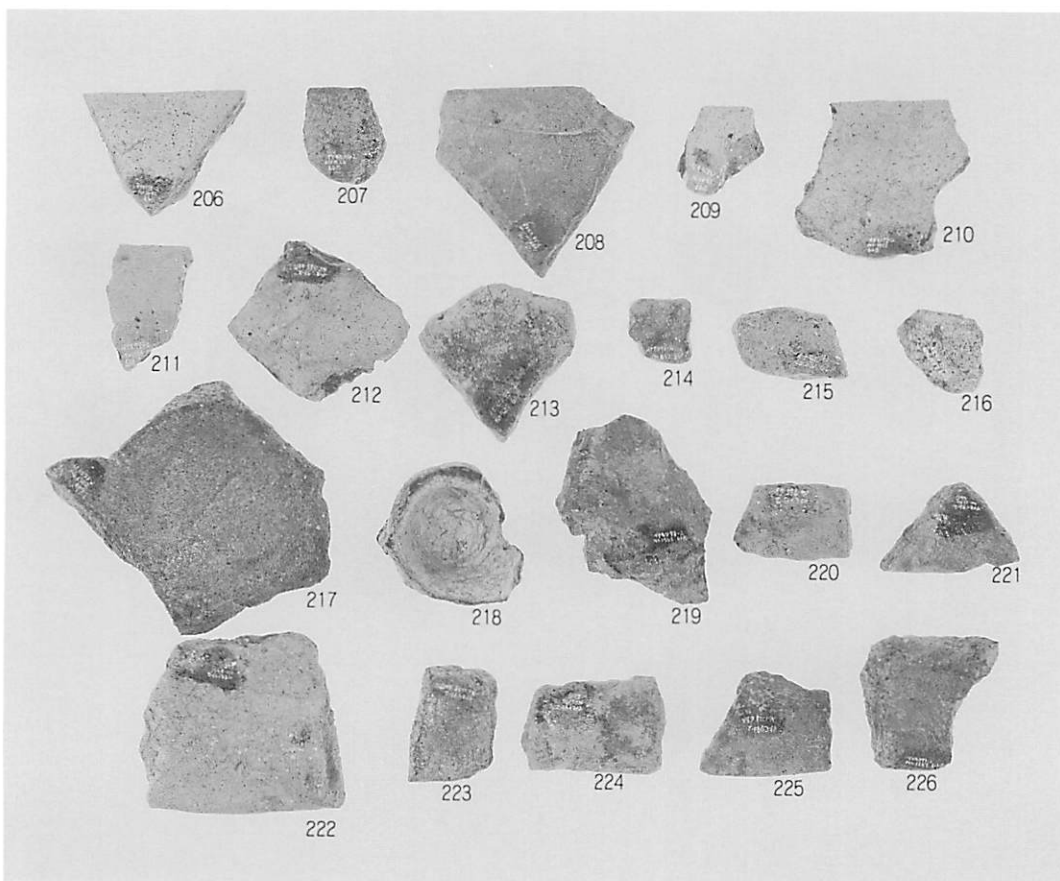
1. 6 b 層出土遺物 3 (表)



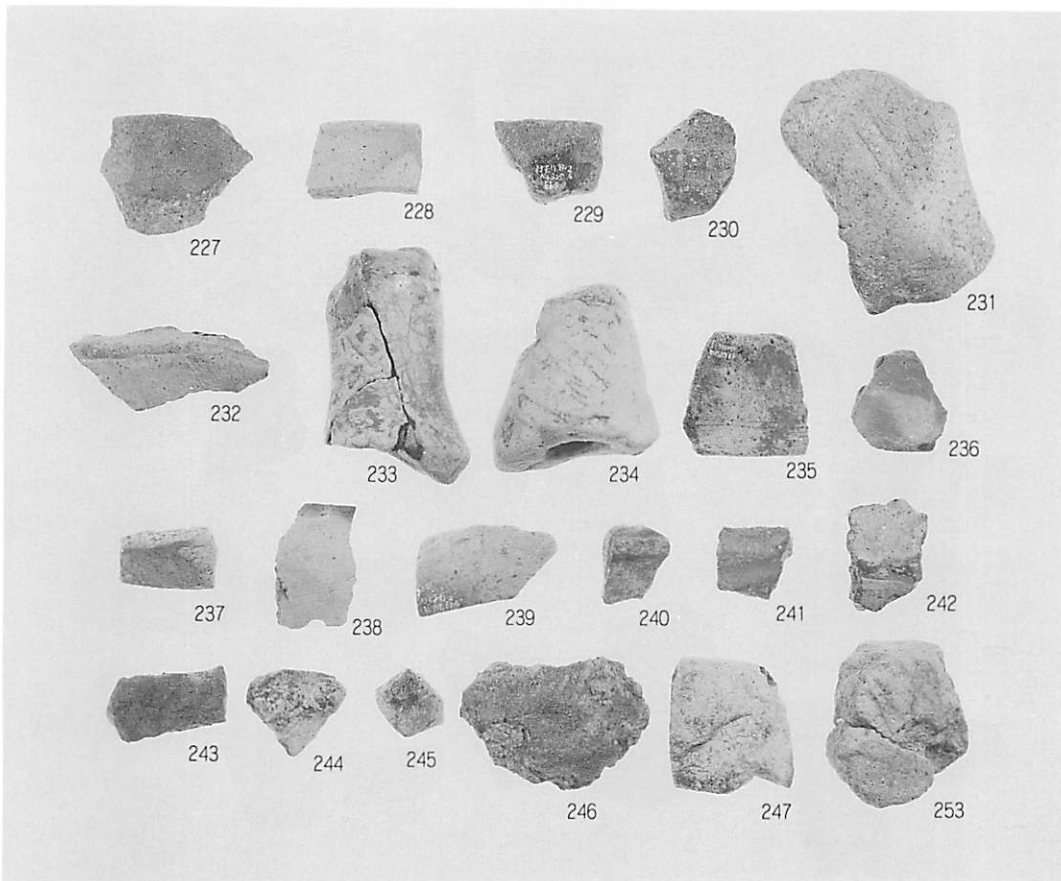
2. 6 b 層出土遺物 3 (裏)



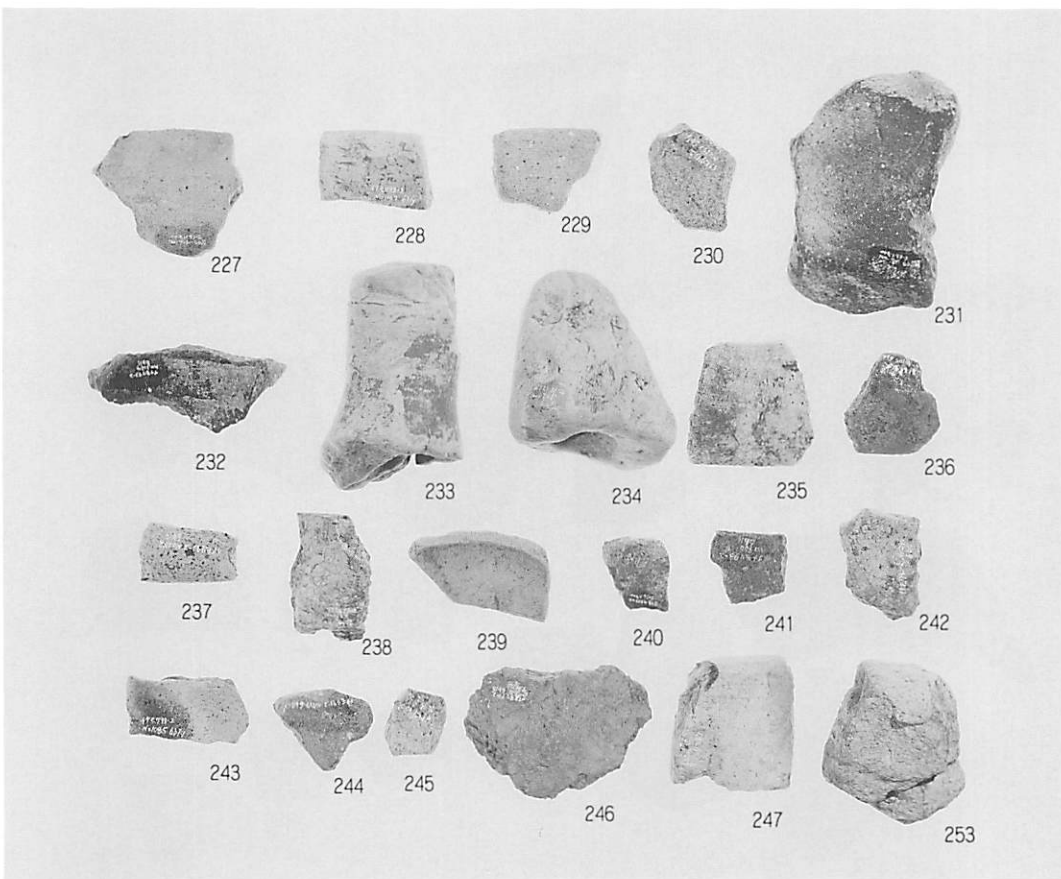
1. 6 b層出土遺物4 (表)



2. 6 b層出土遺物4 (裏)

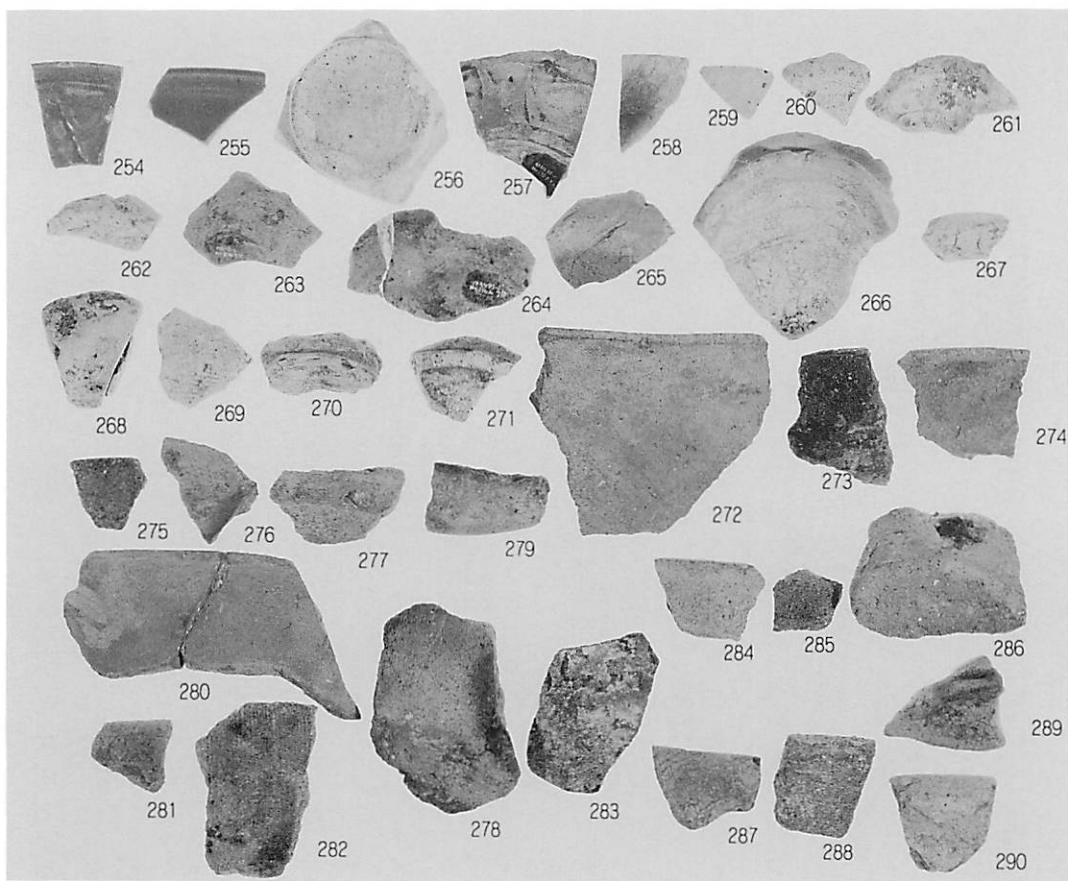


1. 6 b 層出土遺物 5 (表)

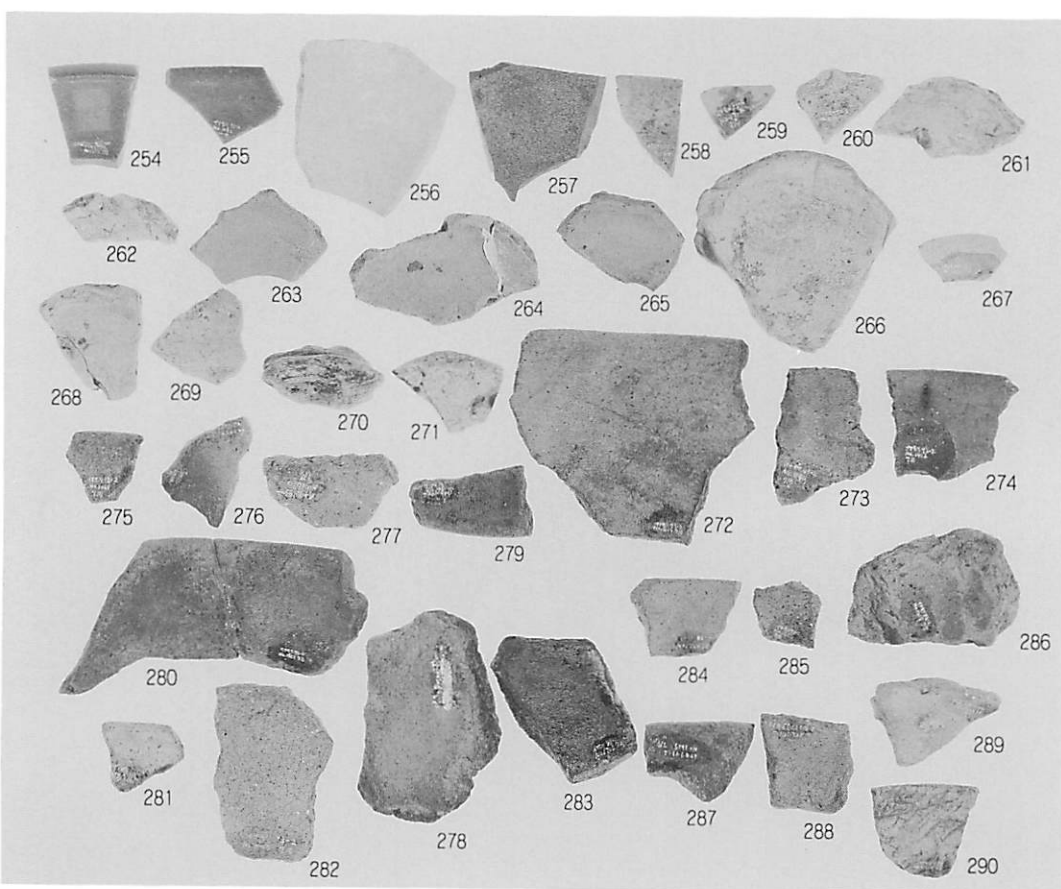


2. 6 b 層出土遺物 5 (裏)

PL. 34 出土遺物



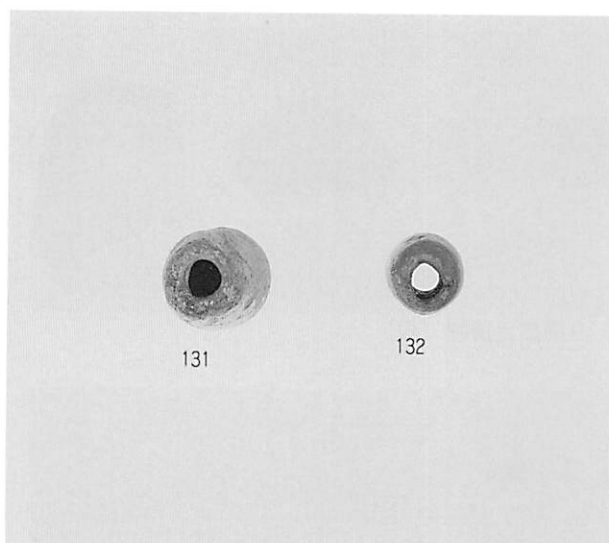
1. 7層出土遺物 (表)



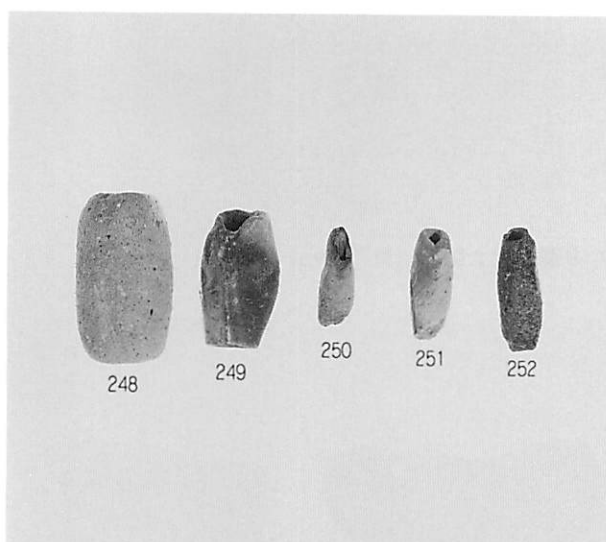
2. 7層出土遺物 (裏)



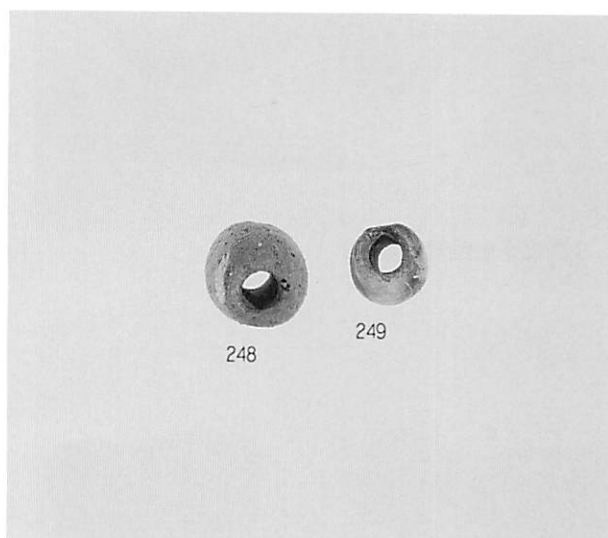
1. 6 a 層出土土錘 (側面)



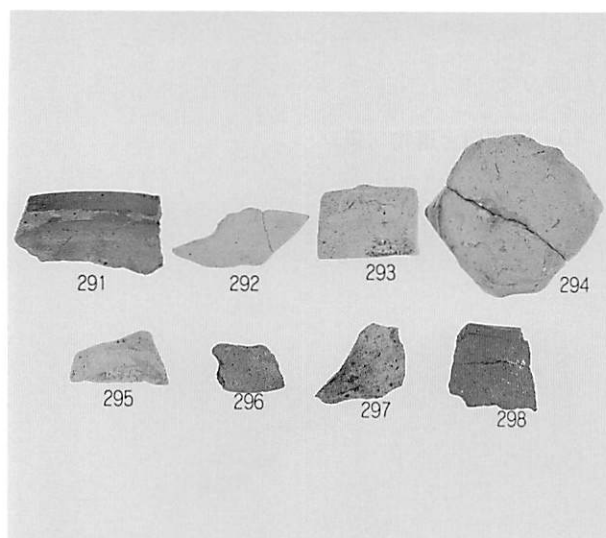
2. 6 a 層出土土錘 (真上から)



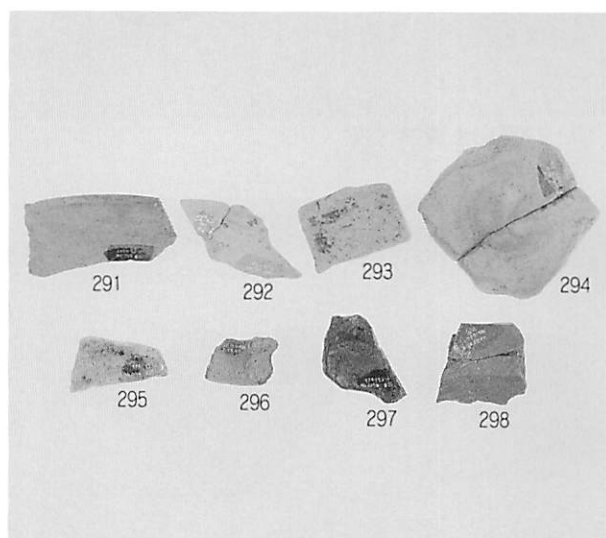
3. 6 b 層出土土錘 (側面)



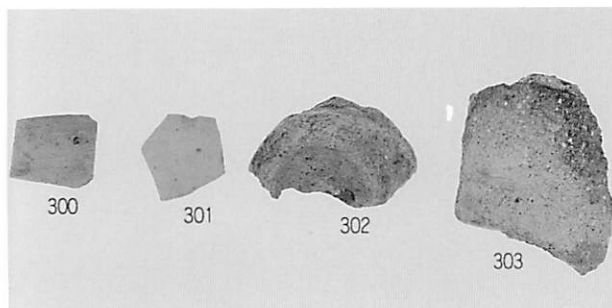
4. 6 b 層出土土錘 (真上から)



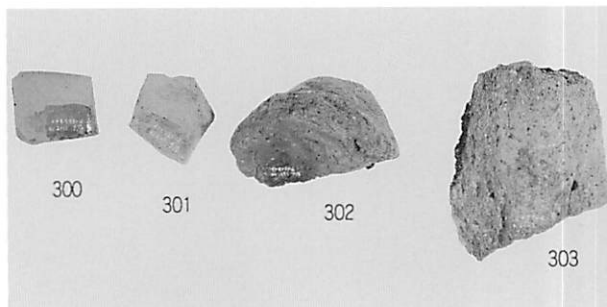
5. 8 層出土遺物 (表)



6. 8 層出土遺物 (裏)



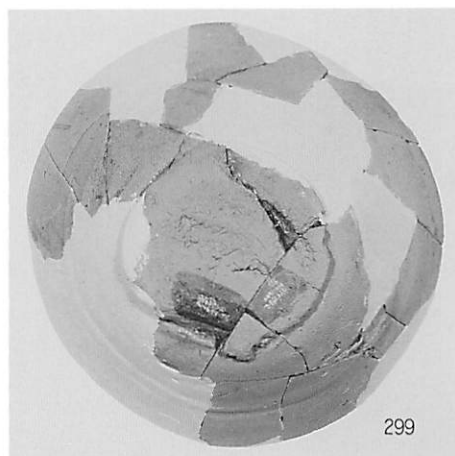
1. 9層出土遺物 (表)



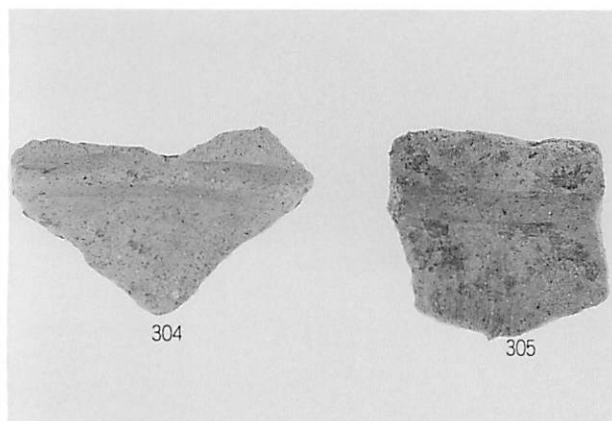
2. 9層出土遺物 (裏)



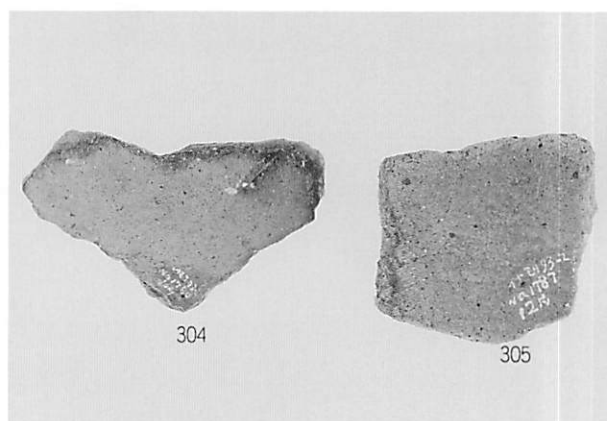
3. 9層出土土師器 (側面)



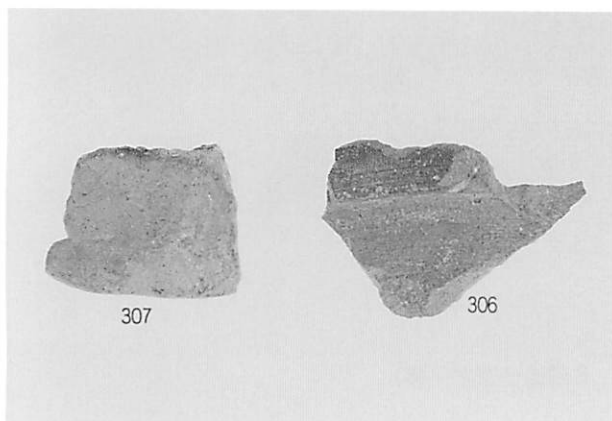
4. 9層出土土師器 (真下から)



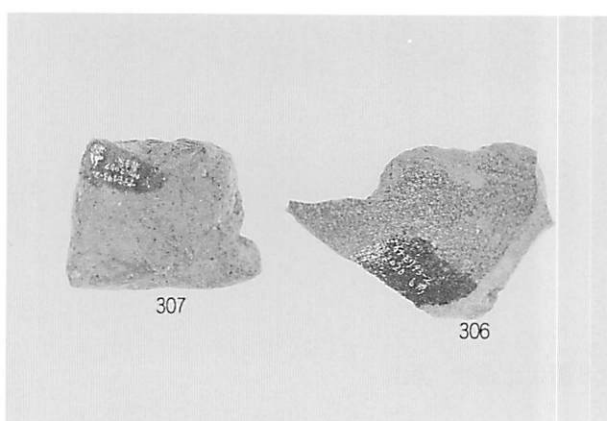
5. 10・12層出土遺物 (表)



6. 10・12層出土遺物 (裏)



7. 廃土中採取遺物 (表)



8. 廃土中採取遺物 (裏)

報 告 書 抄 録

| ふりがな | かごしまだいがくこうないせきこおりもとだんち | | | | | | | |
|--|---|-------------|------|-------------------|--|-----------------------|------------------------|------|
| 書名 | 鹿児島大学構内遺跡郡元団地L-11・12区 | | | | | | | |
| 副書名 | 鹿児島大学稲盛会館建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 | | | | | | | |
| 巻次 | | | | | | | | |
| シリーズ名 | | | | | | | | |
| シリーズ番号 | | | | | | | | |
| 編著者名 | 大西智和 | | | | | | | |
| 編集機関 | 鹿児島大学埋蔵文化財調査室 | | | | | | | |
| 所在地 | 〒890 鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21番24号 TEL 0992-85-7270 | | | | | | | |
| 発行年月日 | 西暦1994年11月 | | | | | | | |
| ふりがな 所収遺跡名 | ふりがな 所在地 | コード | | 北緯 °' " | 東経 °' " | 調査期間 | 調査面積 m ² | 調査起因 |
| | | 市町村 | 遺跡番号 | | | | | |
| かごしまだいがくこうない 鹿児島大学構内 いせきこおりもとだんち 遺跡郡元団地 L-11・12区 | かごしまけん 鹿児島県 かごしまし 鹿児島市 こおりもといっしょうめ 郡元一丁目 21番40号 | 46201 | | 31° 34' 11" | 130° 32' 48" | 19930506~ 19930929 | 950m ² | 建物建設 |
| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺跡 | | 主な遺物 | | 特記事項 | |
| 鹿児島大学構内 遺跡郡元団地 L-11・12区 | 散布地 水田 | 平安~近世 近世 | 畦, 溝 | | 弥生土器 成川式土器 土師器 須恵器 青磁 白磁 薩摩焼 | | | |

鹿児島大学構内遺跡 郡元団地L - 11・12区

- 鹿児島大学稲盛会館建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 -

1994年11月

編集 鹿児島大学埋蔵文化財調査室
発行 鹿児島市郡元一丁目21番24号
TEL 0992-85-7270

印刷 斯文堂株式会社
鹿児島市南栄三丁目1番地